

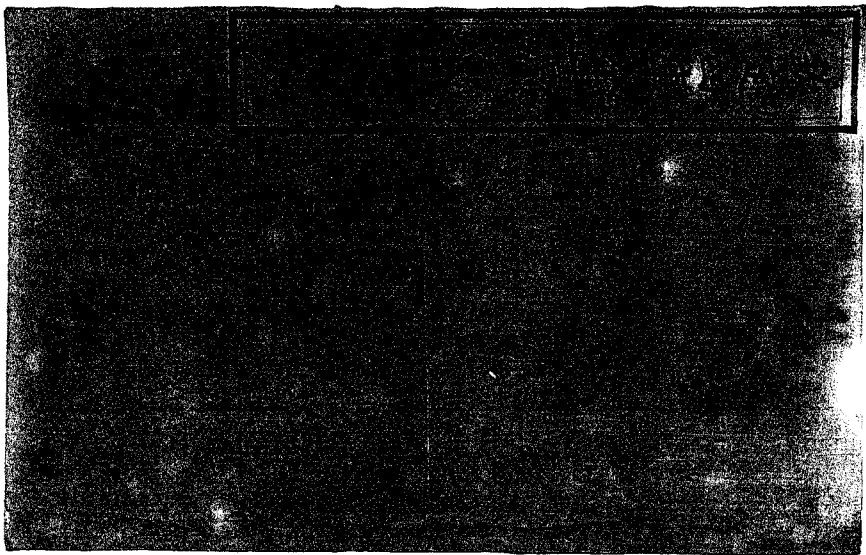
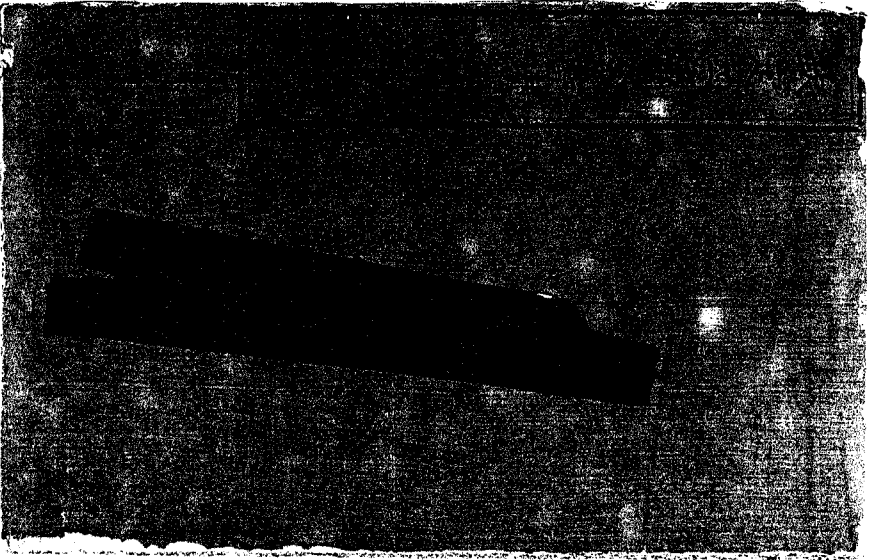
關西大學所藏

內藤文庫漢籍

古古
鈔刊

目錄

關西大學圖書館





六 内藤湖南設 内藤十湾 稿本 鹿角志

序

昭和六十一年十一月に挙行される関西大学創立百周年記念式典を機に、この度『内藤文庫漢籍古刊目録』上梓の運びとなった。図らずも本年は内藤湖南博士生誕一二〇周年に当り、十月初旬、生誕地秋田県鹿角市に於いて、博士終焉の地、京都府加茂町の協賛を得、遺墨展等顕彰の行事が催されると聞く。奇しき因縁と言うべきか。

本目録は当委員会が公刊する最初の漢籍目録である。その内容概略については、跋・凡例の記述に委ねるが、この経緯を略述すると、昨年春の総合図書館記念特別展示を終えた同年六月下旬の委員会に於いて早速その基本方針を決定、それに基づいて一年有余の歳月をかけ調査準備に万全を期した上で鋭意作業を進めて来たものである。その内容からして奥村郁三副委員長が、整理・編集・作成の實際を主担し、第二部『鹿角志』関係史料はとくに石尾芳久委員の手を煩わした。作業全般に亘って他の委員各位の協力援助を仰いだことは勿論である。

なお取り扱った点数は一〇三四点四五三〇冊、他一二八種であって文庫全体の約十分の一に過ぎない。その全般を網羅する目録完成がわが委員会に課せられた使命であり且つ私たちの目的である。それを果たすべく引き続き精進することは言うを俟たない。

最後に本目録の御高覧を賜った諸賢より、誤り、若しくはお気付きの点など御指摘御教示頂ければ幸いこれに過ぎるものはない。

昭和六十一年九月三十日

内藤文庫調査特別委員会
委員長 名 取 栄 史

凡 例

- (1) 本目録には自からその意図と限界があるので、編纂の基本的な考え方、方針、限界等は「跋」(三〇三頁)を見られたい。
- (2) 本目録に収録した漢籍は「内藤文庫」所蔵の諸史料のうち、次の通りである。
 - (イ) 乾隆年間以前の版本(嘉慶以降の書本が止むなく紛れこむ場合もある)。
 - (ロ) 鈔本は年代を問わず収録した。
 - (ハ) 内藤湖南の諸印記のうち、「炳卿審定善本」「炳卿珍藏旧槧古鈔之記」「湖南秘板」「炳卿監藏」の四種が押捺されている書本は年代を問わず収録した。和刻漢籍の収録の基準でもある。
- (3) 採録できなかった書本は次の通りである。
 - (イ) 嘉慶以後の版本、鉛印本、日本・中国・西洋の近・現代の著作類。
 - (ロ) 法帖、国書、朝鮮版本及び鈔本、仏典、満州語文献類、その他非冊子体史料(日本・中国を問わず、拓本、甲骨、手跡、写真多種)。
 - (ハ) 湖南郷里、鹿角地方関係史料のうち、本目録「第二部」に収録のものを除く古文書類、書簡類。
- (4) 記述内容の諸要素は、書名・撰者名・冊数・帙数・原題・刊年・匡郭・行格・辺欄及び版心状態・印記・序及び跋・湖南識語(まれに伯健識語)・四庫全書総目提要にあるものはその巻数・其他、である。すべて具有しているものとうでないものがある。鈔本については「鈔本」と記した。
- (5) 書名・撰者名及び分類は、内容が同じ書本については版本・鈔本の区別なく原則として『京都大学人文科学研究所漢籍分類目録』に従い、次に『東京大学東洋文化研究所漢籍分類目録』に依った。右両研究所にない書本については『内閣文庫漢籍分類目録』『静嘉堂文庫漢籍分類目録』、さらに『四庫全書総目提要』『王重民『中国善本書提要』等を参考にした。仮に「原題」とした書名・撰者名は、原則として第一巻巻頭、第一行に記されたものをそのまま録した。第一巻巻頭、第一行を欠くものについては他の巻、封面、刊記・版心口題・外題を明示した上、録した。
- (6) 第一行を欠くものについては他の巻、封面、刊記・版心口題・外題を明示した上、録した。

- (7) 「刊年」は刊記等で明らかなもの他、決定し難いものは主として序・跋・避諱例を考慮したが、乾隆以前という基準は従ってやや拡大されたものがある。
- (8) 「印記」は現時点ではなお考慮しなければならないものが存するが、その書本に何種類存するかは、明示した。
- (9) 「湖南識語」はすべてとりあげ、句読点を付した。
- (10) 「其の他」は、存卷、湖南以外の識語の有無、校語等の有無、付属物等である。
- (11) 「第二部『鹿角志』関係史料の部」は、内藤十湾撰、湖南校『鹿角志』編纂の際にその材料とされた史料のみを掲げた。他は絵図である。
- (i) 分類は仮分類である。
- (ii) 記述は検討の結果、漢籍に採用した方法を加味している。印記「三余堂」は十湾の室号であり、冊子体の史料はすべて鈔本(写本)で毛装(かりとじ)である。
- (iii) それぞれの標題は『鹿角志』中に示された標題をかりた他、編者において付与したものがある。ただし「原題」として記した部分等でその現実の姿を示せるようにした。他は類推された。
- (12) 「第三部『内藤文庫展観目録』の部」は、本目録が内藤文庫の一部のみの目録であるため、欠を補い、文庫全体の姿をわずかであるが紹介する意図で設けている。
- (13) 口絵一及び二の四庫全書本は内藤文庫善本の象徴として、三の朱彝尊、張之洞旧藏本、四の文史通義稿本、五の近衛家照自筆鈔本は湖南の学問の一つの象徴として、五の『鹿角志』稿本は内藤家家学を象徴するものとしてそれぞれ撰んだ。

内藤文庫漢籍古刊目録 総目

口 繪

序

凡 例

總 目

第一部 漢籍の部……………一

第二部 『鹿角志』関係史料の部……………一〇五

第三部 『内藤文庫展観目録』の部……………一三五

書名・人名通檢……………一八一

跋……………三〇三

第一部 漢籍の部

第一部 漢籍の部目次

經部

- 一 經注疏合刻類
- 二 易類
- 三 書類
- 四 詩類
- 五 禮類
- 六 春秋類
- 七 四書類
- 八 孝經類
- 九 諸經總義類
- 十 小學類

史部

- 一 正史類
- 二 編年類
- 三 紀事本末類
- 四 古史類
- 五 別史類
- 六 雜史類
- 七 載記類
- 八 詔令奏議類

五 五 九 一一 一三 一七 二〇 二三 二四 二七 四〇 四七 五〇 五一 五五 五九 六四 六六

子部

- 九 傳記類
- 十 時令類
- 十一 地理類
- 十二 職官類
- 十三 政書類
- 十四 書目類
- 十五 金石類
- 十六 史鈔類
- 十七 史評類
- 一 儒家類
- 二 兵書類
- 三 法書類
- 四 農書類
- 五 醫書類
- 六 天文算法類
- 七 術數類
- 八 藝術類
- 九 雜書類
- 十 類書類
- 十一 小說家類
- 十二 釋家類

六九 七三 七三 九二 九四 一〇五 一一一 一一五 一一五 一二〇 一二〇 一二八 一二九 一三〇 一三一 一三三 一三三 一三六 一三九 一三八 一六五 一六九 一七四

十三 道家類

一七六

集部

- 一 楚辭類
- 二 別集類
- 三 總集類
- 四 詩文評類
- 五 詞曲類

一七九
一七九
一九〇
一九五
一九七

叢書部

- 一 雜叢類
- 二 景仿類
- 三 輯佚類
- 四 一人所著書類

一九九
二〇一
二〇二
二〇二

經部

一 經注疏合刻類

1 九經

清秦鑿訂正 二十四册四帙

經1周易三卷二册。經2書經四卷二册。經3詩經四卷二册。經4春秋十七卷十册。經5禮記六卷四册。經6周禮六卷二册。經7孝經一卷・經8論語二卷以上一册。經9孟子七卷一册。

2 十三經註疏

百三十三册

經9周易兼義九卷・經7略例一卷・經8音義一卷六册。經7尚書註疏二十卷六册。經3毛詩註疏二十卷二十册。經5周禮註疏四十二卷二十册。經5儀禮註疏十七卷十六册。經5禮記註疏六十三卷二十册。經7春秋左傳註疏六十卷二十册。經6春秋公羊註疏二十八卷六册。經8春秋穀梁註疏二十卷四册。經9論語註疏解經二十卷四册。經7孝經註疏九卷一册。經11爾雅註疏十一卷五册。經9孟子註疏解經十四卷五册。

明刊本。〔其他〕匡郭等については各書に分記する。裝訂に三種、紙質に三種あり。

3 十三經註疏

五十二册

經7春秋左傳註疏六十卷三十册。經7春秋公羊註疏二十八卷十二册。經7春秋穀梁註疏二十卷八册。經9論語註疏解經二十卷二册。

明刊本。〔其他〕匡郭等については各書に分記する。裝訂に二種、紙質に二種あり。

二 易類

4 周易三卷

清秦鑿訂正

- 原題、「周易 錫山秦鏤訂正」。序跋，孔穎達「周易序」、程頤「周易序」（元符二年・一〇九九）、序。〔其他〕九經（別掲經一）所收本。
- 5 周易九卷附略例一卷 和刻本 略例魏王弼撰 日本松崎明復審定
原題，「周易」。印記，「炳卿審定善本」「夫邵氏藏」「德造書院」等四種。〔其他〕一、外題「縮刻唐石經周易」。二、縮刻唐開成石經（別掲經15）所收本。
〔周易略例一卷〕原題，「周易略例 王弼」。
- 6 周易略例一卷 魏王弼撰 日本松崎明復審定
周易九卷（別掲經5）に附す。
- 7 周易略例一卷 魏王弼撰 唐邢昺注
周易兼義九卷（別掲經9）に附す。
- 8 周易首義一卷 唐陸德明撰
周易兼義九卷（別掲經9）に附す。
- 9 周易兼義九卷附略例一卷首義一卷 魏王弼晉韓康伯注 唐孔穎達正義 略例魏王弼撰 唐邢昺注 音義唐陸德明撰 井井
原題，「周易兼義 魏王弼注 唐孔穎達正義」。明刊本。匡郭，19.5×12.6 9行21字。四周單邊。白口。刻工名。印記，一種。序跋，孔穎達「周易正義序」。四庫總目卷一「周易正義十卷」。〔其他〕一、外題「十三經註疏」。二、補鈔あり。三、伊藤長胤舊藏、書入あり。四、十三經註疏（別掲經7）所收本。
〔周易略例一卷〕原題，「周易略例 魏王弼撰」。
〔周易首義一卷〕原題，「經典釋文 唐國子博士兼太子中允贈齊州刺史吳縣開國男陸德明撰」。
- 10 周易二十四卷 宋程頤朱熹傳義 四冊一帙
- 11 周易經傳二十四卷首一卷 和刻本 宋程頤朱熹撰 八冊
原題，「周易 程朱傳義」。明刊本。匡郭，19.7×13.4 9行17字。左右雙邊。白口。刻工名。印記，一種。序跋，程頤「周易程子傳序」（元符二年・一〇九九）、「易序」。〔其他〕一、校者あり。二、卷末刻「巡按福建監察御史開州吉澄校刊繕雲焚獻科重訂」等。
- 12 周易三卷 清顧炎武撰
原題，「周易經傳 程朱傳義」。寬永二十年（一六四三）刊本。匡郭，21.1×12.8 9行17字。左右雙邊。黑口。刻工名。印記，「湖南秘極」等三種。序跋，程頤「周易程子傳序」（元符二年・一〇九九）、「易序」、如竹跋（寬永十一年・一六三四）。〔其他〕一、外題「周易傳義」。二、首卷內容，「程子易傳序」「易序」「上下篇義」「朱子易本義圖」「五贊」「筮儀」「周易卦象」、嘉靖十一年（一五三三）建寧府牒。
- 13 易卦圖說一卷 鈔本 清崔述撰
原題，「易卦圖說 大名崔述東壁著 石屏門人陳履和校刊」。〔其他〕一、封面「大名崔東壁先生著 易卦圖說 道光四年正月東陽縣署中刻」。二、崔東壁先生遺書（別掲叢17）所收本。
- 14 易緯乾坤鑿度二卷 漢鄭玄注
原題，「易緯乾坤鑿度」。序跋，「御製題乾坤鑿度」（乾隆三十八年・一七七三）、紀昀等「易緯乾坤鑿度提要」（乾隆三十八年）。四庫總目卷六附錄。〔其他〕易緯（別掲經13）所收本。
- 15 易緯乾鑿度二卷 漢鄭玄注
原題，「易緯乾鑿度 漢鄭康成注」。序跋，紀昀等「易緯乾鑿度提要」（乾隆三十八年・一七七三）。四庫總目卷六附錄。〔其他〕易緯（別掲經13）所收本。

16 易緯稽覽圖二卷 漢鄭玄注

原題、「易緯稽覽圖 漢鄭康成注」。序跋、紀昀等「易緯稽覽圖提要」(乾隆三十八年・一七七三)。四庫總目卷六附錄。〔其他〕易緯
〔別掲經23〕所收本。

17 易緯是類謀一卷 漢鄭玄注

原題、「易緯是類謀 漢鄭康成注」。序跋、紀昀等「易緯是類謀提要」(乾隆三十八年・一七七三)。四庫總目卷六附錄。〔其他〕易緯
〔別掲經23〕所收本。

18 易緯辨終備一卷 漢鄭玄注

原題、「易緯辨終備 漢鄭康成注」。序跋、紀昀等「易緯辨終備提要」(乾隆三十八年・一七七三)。四庫總目卷六附錄。〔其他〕易緯
〔別掲經23〕所收本。

19 易緯通卦驗二卷 漢鄭玄注

原題、「易緯通卦驗 漢鄭康成注」。序跋、紀昀等「易緯通卦驗提要」(乾隆三十八年・一七七三)。四庫總目卷六附錄。〔其他〕易緯
〔別掲經23〕所收本。

20 易通卦驗節候校文一卷 葉德輝撰

原題、「易通卦驗節候校文 吏部主事葉德輝撰」。〔其他〕觀古堂所著書第一集〔別掲叢18〕所收本。

21 易緯坤靈圖一卷 漢鄭玄注

原題、「易緯坤靈圖 漢鄭康成注」。序跋、紀昀等「易緯坤靈圖提要」(乾隆三十八年・一七七三)。四庫總目卷六附錄。〔其他〕易緯
〔別掲經23〕所收本。

22 易緯乾元序制記一卷 漢鄭玄注

原題、「易緯乾元序制記 漢鄭康成注」。序跋、紀昀等「易緯乾元序制記提要」(乾隆三十八年・一七七三)。四庫總目卷六附錄。〔其
他〕易緯〔別掲經23〕所收本。

23 易緯十二卷 漢鄭玄注 三冊

經11易緯乾坤鑿度二卷・經12易緯乾鑿度二卷以上一冊。經13易緯稽覽圖二卷一冊。經14易緯辨終備一卷・經15易緯通卦驗二卷・經16
易緯乾元序制記一卷・經17易緯是類謀一卷。經18易緯坤靈圖一卷以上一冊。

匡郭, 20.6×13.5 10行21字。四周雙邊。白口。印記,「掛川文庫」「島家藏印」。〔其他〕外題「易緯」。

三書類

24 書經四卷 清秦鏞訂正

原題,「書經 錫山秦鏞訂正」。序跋、孔安國「書經序」、孔穎達「書經序」、蔡沈「書經集傳序」(嘉定二年・二二〇九)、「書序」。〔其
他〕九經〔別掲經1〕所收本。

25 尚書十三卷 和刻本 日本松崎明復審定

原題,「尚書」。印記,「炳卿審定善本」等三種。〔其他〕一、外題「縮刻唐石經尚書」。二、縮刻唐開成石經〔別掲經15〕所收本。

26 尚書正義二十卷 和刻本 漢孔安國傳 唐孔穎達疏 二十冊一木箱

原題,「尚書正義 國子祭酒上護軍曲阜縣開國子臣孔穎達等奉勅撰」。弘化四年(一八四七)刊本。匡郭, 21.3×13.4 8行19字。左右
雙邊。白口。刻工名。印記,「炳卿審定善本」「湖南秘校」「時習館圖書之記」。序跋、式部少輔林韓「影鈔宋槧尚書正義序」(弘化四年
・一八四七)、細川利和例言、秦爽等上表(端拱元年・九八八)、長孫無忌「上五經正義表」(永徽四年・六五三)、孔穎達「尚書正義序」、
黃唐跋(紹熙三年・一一九二)。四庫總目卷十一。〔其他〕一、外題「影宋本尚書正義」。二、封面「影宋本尚書正義二十卷 弘化丁未
年刊」「熊本文庫藏梓」。三、卷頭・卷末刻「上杉安房守藤原憲實寄進」。欄外に「此書不許出學校外 憲實」と刻す。四、熊本書鋪
川口屋又次郎の印あり。

27 尚書註疏二十卷 漢孔安國傳 唐孔穎達疏
 原題,「尚書註疏 漢孔氏傳 唐孔穎達疏」。明刊本。匡郭, 280×138 9行21字。四周單邊。白口。刻工名。印記,「愚門之印」等二種。序跋,孔穎達「尚書正義序」。四庫總目卷十一「尚書正義二十卷」。「其他」十三經註疏(別掲經)所收本。

28 書經六卷 宋蔡沈集傳 二册一帙

原題,「書經 蔡沈集傳」。明刊本。匡郭, 195×135 9行17字。左右雙邊。白口。刻工名。印記,一種。序跋,蔡沈「書經集傳序」(嘉定二年・二二〇九)、「書序」。「其他」一、校者あり。二、卷末刻「巡按福建監察御史開州吉澄校刊繪雲樊猷科重訂」「福建建寧府知府曲梁楊一鶚重刊」等。

29 書纂言四卷 元吳澄撰 四册

原題,「書 臨川吳澄纂言」。康熙刊本。匡郭, 193×140 11行20字。左右雙邊。白口。刻工名及「通志堂」。印記,「嘯山書印」「馬氏藏書」等六種。序跋,納蘭成德「今文尚書纂言序」(康熙十六年・一六七七)。四庫總目卷十二。「其他」一、外題「尚書纂言」。二、卷末刻「後學成德校訂」。

30 定正洪範集說一卷首一卷 元胡一中撰 一册

原題,「定正洪範集說 會稽胡一中纂述」。康熙刊本。匡郭, 190×140 10行18字。左右雙邊。白口。刻工名及「通志堂」。序跋,貢師泰序(至正二十年・一三六〇)。胡一中「定正洪範集說序」(至元十四年・一三五四)。「其他」卷末刻「後學成德校訂」。

31 禹貢錐指二十卷略例一卷圖一卷 清胡渭撰 十二册一夾板

原題,「禹貢錐指 德清胡渭學」。康熙四十四年(一七〇五)刊本。匡郭, 186×140 11行21字。左右雙邊。白口。「漱六軒」。印記,「結一廬藏書印」等二種。序跋,胡會恩「禹貢錐指紀恩」(康熙四十四年・一七〇五)、李振裕序(康熙四十四年)、徐秉義序。四庫總目卷十二「禹貢錐指二十卷圖一卷」。「其他」封面「康熙乙酉孟夏 禹貢錐指 草莽臣胡渭恭進」。「禹貢錐指略例一卷」

〔禹貢錐指圖一卷〕

32 禹貢錐指略例一卷 清胡渭撰

禹貢錐指二十卷(別掲經)に附す。

33 禹貢錐指圖一卷 清胡渭撰

禹貢錐指二十卷(別掲經)に附す。

34 古文尙書辨僞二卷 鈔本 清崔述撰

原題,「古文尙書辨僞 大名崔述東壁稿 石屏門人陳履和校刊」。「其他」一、封面「大名崔東壁先生著 尙書辨僞 道光四年正月東陽縣署中刻」。二、崔東壁先生遺書(別掲書)所收本。

35 尙書大傳七卷 漢伏勝撰 漢鄭玄注 清王闈運補注

原題,「尙書大傳 鄭注王氏補注」。序跋,鄭玄序、王闈運「補注尙書大傳跋」(光緒十一年・一八八五)。「其他」一、封面「尙書大傳補注七卷 湘潭王氏補注」「靈鷲閣本」。二、靈鷲閣叢書第一集(別掲叢)所收本。

四 詩 類

36 詩經四卷 清秦鏞訂正

原題,「詩經 錫山秦鏞訂正」。「其他」九經(別掲經)所收本。

37 毛詩二十卷 和刻本 日本松崎明復審定

原題,「毛詩」。印記,「炳卿審定善本」等三種。「其他」一、外題「縮刻唐石經毛詩」。二、縮刻唐開成石經(別掲經)所收本。

38 毛詩註疏二十卷 漢毛亨傳 漢鄭玄箋 唐孔穎達疏

原題、「毛詩註疏 漢鄭氏箋 唐孔穎達疏」。明刊本。匡郭，202×126 9行21字。四周單邊。白口。刻工名。印記，「愚門之印」等二種。序跋，孔穎達「毛詩正義序」、「詩譜序」。四庫總目卷十五「毛詩正義四十卷」。〔其他〕十三經註疏（別掲經1）所收本。

39 詩經八卷 宋朱熹集傳 三册一帙

原題，「詩經 朱熹集傳」。明刊本。匡郭，157×136 9行17字。左右雙邊。白口。刻工名。印記，二種。序跋，朱熹「詩經集傳序」（淳熙四年・一一七七）。〔其他〕一、校者あり。二、卷末刻「巡按福建監察御史開州吉澄校刊稽雲樂獻科重訂」等。

40 詩經韻讀四卷 清江有誥撰

原題，「詩經韻讀」。嘉慶十九年（一八一四）刊本。序跋，段玉裁序（嘉慶十七年・一八一三）。〔其他〕一、封面「嘉慶甲戌春鐫 歙 邑江有誥學 詩經韻讀」。二、「毛詩韻讀」の鈔寫あり。三、江氏音學十書（別掲經10）所收本。

41 詩本音十卷 清顧炎武撰

原題，「詩本音」。匡郭，199×137 8行12字。左右雙邊。白口。四庫總目卷四十二。〔其他〕音學五書（別掲經9）所收本。

42 杲溪詩經補注二卷 清戴震撰

原題，「杲溪詩經補注」。〔其他〕一、卷二末刻「乾隆丁亥秋七月杲」。二、戴氏遺書（別掲叢15）所收本。

43 毛鄭詩考正四卷首一卷 清戴震撰

原題，「毛鄭詩考正」。〔其他〕一、卷四末刻「乾隆丁酉八月刊」。二、戴氏遺書（別掲叢15）所收本。

44 讀風偶識四卷 鈔本 清崔述撰

原題，「讀風偶識 大名崔述東壁稿 石屏門人陳履和校刊」。〔其他〕一、封面「大名崔東壁先生著 讀風偶識 道光四年正月東陽縣

署中刻」。二、崔東壁先生遺書（別掲叢11）所收本。

45 三家詩補遺三卷 清阮元撰

原題，「三家詩補遺 儀徵阮元伯元撰」。序跋，劉肇隅「重刊阮氏三家詩補遺序」（光緒二十五年・一八九九）、葉德輝「阮氏三家詩補遺跋」、李智僑「阮氏三家詩補遺跋」。〔其他〕一、封面「阮氏三家詩補遺」「光緒戊戌長沙葉氏郎園重刊」。二、觀古堂彙刻書第一集（別掲叢1）所收本。

46 韓詩遺說二卷訂譌一卷 清臧庸撰

原題，「韓詩遺說 武進臧庸用中述 會稽陶方琦紫緘校」。序跋，陶方琦「韓詩序」（光緒九年・一八八三）。〔其他〕一、封面「韓詩遺說二卷訂譌一卷 武進臧氏輯本」「光緒乙未仲夏元和江氏刻本」。二、靈鷲閣叢書第一集（別掲叢6）所收本。〔韓詩訂譌一卷〕原題，「韓詩訂譌 武進臧庸用中撰」。

47 韓詩訂譌一卷 清臧庸撰

韓詩遺說二卷（別掲經46）に附す。

五 禮 類

48 周禮六卷 清秦鏞訂正

原題，「周易 錫山秦鏞訂正」。序跋，賈公彥「周禮序」。〔其他〕九經（別掲經1）所收本。

49 周禮十二卷 和刻本 日本松崎明復審定

原題，「周禮」。印記，「炳卿審定善本」等二種。〔其他〕一、「益城松崎明復審定」「掛川徳造書院刻梓」の印あり。二、縮刻唐開成石經（別掲經15）所收本。

50 周禮註疏四十二卷 漢鄭玄注 唐賈公彥疏

原題，「周禮註疏 漢鄭氏註 唐賈公彥疏」。明刊本。匡郭，283×126 9行21字。四周單邊。白口。刻工名。序跋，賈公彥「周禮正義序」。四庫總目卷十九「周禮注疏四十二卷」。〔其他〕一、外題「周禮」。二、十三經註疏（別揭經₁）所收本。

51 考工記圖二卷 清戴震撰

原題，「考工記圖」。序跋，紀昀序。〔其他〕一、卷一末刻「乾隆己亥秋八月刊」「乾隆己亥秋重刊」。二、戴氏遺書（別揭經₁₅）所收本。

52 儀禮十七卷 和刻本 日本松崎明復審定

原題，「儀禮」。印記，「炳卿審定善本」等三種。〔其他〕一、外題「縮刻唐石經儀禮」。二、縮刻唐開成石經（別揭經₁₁₅）所收本。

53 儀禮注疏十七卷 漢鄭玄注 唐賈公彥疏

原題，「儀禮注疏 漢鄭氏注 唐賈公彥疏」。明刊本。匡郭，283×128 9行21字。四周單邊。白口。刻工名。序跋，賈公彥「儀禮注疏序」。四庫總目卷二十。〔其他〕一、外題「儀禮」。二、十三經註疏（別揭經₇）所收本。

54 儀禮逸經傳一卷 元吳澄撰 一冊

原題，「禮 吳澄學」。康熙刊本。匡郭，194×41 11行20字。左右雙邊。白口。刻工名及「通志堂」。序跋，李俊民序（至正十四年·一三五四）。四庫總目卷二十「儀禮逸經傳二卷」。〔其他〕卷末刻「後學成德校訂」。

55 禮記六卷 清秦鏞訂正

原題，「禮記 錫山秦鏞訂正」。序跋，孔穎達「禮記序」、陳皓「禮記序」。〔其他〕九經（別揭經₁）所收本。

56 禮記二十卷 和刻本 日本松崎明復審定

原題，「禮記」。印記，「炳卿審定善本」等一種。〔其他〕縮刻唐開成石經（別揭經₁₁₅）所收本。

57 月令章句四卷 漢蔡邕撰 葉德輝輯

原題，「月令章句 漢蔡邕撰 賜進士出身欽加四品銜吏部主事加五級葉德輝輯」。序跋，葉德輝「輯蔡邕月令章句序」（光緒三十年·一九〇四）。〔其他〕一、封面「輯蔡氏月令章句」「光緒甲辰秋中長沙葉氏刊行」。二、觀古堂所著書第一集（別揭叢₁₈）所收本。

58 禮記註疏六十三卷 漢鄭玄注 唐孔穎達疏

原題，「禮記註疏 漢鄭氏註 唐孔穎達疏」。明刊本。匡郭，204×128 9行21字。四周單邊。白口。刻工名。印記，「愚門之印」等二種。序跋，孔穎達「禮記正義序」、「禮記正義序」。四庫總目卷二十一「禮記正義六十三卷」。〔其他〕十三經註疏（別揭經₇）所收本。

59 禮記集說三十卷 元陳澧撰 六冊一帙

原題，「禮記集說」。明刊本。匡郭，200×135 9行17字。左右雙邊。白口。刻工名。印記，一種。序跋，陳皓「禮記集說序」。〔其他〕一、校者あり。二、卷末刻「巡按福建監察御史開州吉澄校刊縉雲樊獻科重訂」「福建_{福建}府知府曲梁楊一鵬重_刊」等。

60 禮記疏意參新二十三卷 明秦繼宗集 參新明陳郊輯 八冊一帙

上下二段。上段原題，「增補禮記參新 閩中陳郊壯明輯 周之禮章甫參 余應科夷較 鄭羽儀鴻伯訂」。下段原題，「禮記疏意 趙田衷黃了凡刪定 黃岡秦繼宗集」。明刊本。匡郭，218×117 上段19行20字、下段10行18·19字。四周單邊。白口。序跋，陳郊「疏意參新跋」（壬申）、秦繼宗「禮記疏意序」（萬曆二十八年·一六〇〇）。〔其他〕匡高上段101 下段117。

61 儒行集傳二卷 明黃道周撰 二冊一帙

原題，「儒行集傳 明漳海石齋黃道周輯」。康熙刊本。匡郭，185×128 9行20字。左右雙邊。白口。序跋，彭定求「重刻明大儒石齋黃先生儒行集傳小序」（康熙三十九年·一七〇〇）、陳奕序（_{康熙}三十九年）。四庫總目卷二十一。〔其他〕一、封面「黃石齋先生儒行集傳 執硯草堂藏板」。二、卷末刻「長洲後學彭定求重訂 陳奕較梓」。

62 朱子儀禮經傳通解六十九卷 宋朱熹撰 清梁萬方等校 四十冊四帙

原題，「朱子儀禮經傳通解 東雅梁萬方廣庵甫考訂 男開宗啓後甫參訂 金陵翁奎止園甫古絳李世牧武安甫校正」。乾隆十八年（一七五三）刊本。匡郭，21.9×14.4 10行25字。左右雙邊。白口。印記，一種。序跋，陳世倌「重刊朱子儀禮經傳通解序」（乾隆十五年・一七五〇）、電鏤「朱子儀禮經傳通解序」（乾隆十五年）、「原乞修三禮劄子」（嘉定十年・一二二七）、楊復「原喪禮後序」（嘉定十四年・一二二二）、楊復「原祭禮後序」（嘉定十六年・一二三三）、楊復「原喪祭二禮目錄後序」、張燾「原刻喪祭二禮序」（嘉定十六）、陳密「原刻喪祭二禮後書」（嘉定十六年）、梁開宗序（乾隆三年・一七三八）、梁思熾序（乾隆十八年・一七五三）、梁肇敏（乾隆十八年）。四庫總目卷二十五存目「重刊朱子儀禮經傳通解六十九卷」。〔其他〕封面「乾隆十八年新鐫 東雅梁廣庵考訂 朱子儀禮經傳通解 樹德堂藏板」。

63 儀禮經傳通解續二十九卷 宋黃榦撰 八冊

原題，「儀禮經傳通解續」。匡郭，19.6×14.1 12行25字。左右雙邊。白口。印記，「宛平王氏家藏」「纂齋監定」。

64 經傳禘祀通考一卷 鈔本 清崔述撰

原題，「經傳禘祀通考 大名崔述東壁著 石屏門人陳履和校刊」。〔其他〕一、封面「大名崔東壁先生著 經傳禘祀通考 道光四年正月 東陽縣署中刻」。二、崔東壁先生遺書（別掲卷7）所收本。

65 瑟譜六卷 鈔本 元熊朋來撰 二冊

原題，「欽定四庫全書瑟譜 元熊朋來撰」。匡郭，21.4×14.4 8行21字。四周雙邊。白口。印記，「文溯閣寶」「乾隆御覽之寶」。四庫總目卷三十八。〔其他〕文溯閣四庫全書本。

66 韶舞九成樂補一卷 鈔本 元余載撰 一冊

原題，「欽定四庫全書韶舞九成樂補 元余載撰」。匡郭，21.7×14.4 8行21字。四周雙邊。白口。印記，「文溯閣寶」「乾隆御覽之寶」。序跋，紀昀等「欽定四庫全書韶舞九成樂補提要」（乾隆四十六年・一七八一）。四庫總目卷三十八。〔其他〕文溯閣四庫全書本。

67 御製律呂正義上編二卷下編二卷續編一卷 康熙五十二年敕撰 五冊一帙

原題，「御製律呂正義上編」。康熙刊本。匡郭，20.3×3.7 9行20字。四周雙邊。白口。印記，「柔名文庫」「立教館圖書印」「白河文庫」「鳳翔閣祕藏印」等五種。湖南識語，「舊藏本燬於己亥（明治三十二年・一八九九）三月廿二夕之火。癸卯（明治三十六年・一九〇三）十月初二再得此。余喜可知也。炳卿記」。四庫總目卷三十八「御定律呂正義五卷」。〔其他〕帙外題「康熙律呂正義」、外題「康熙御製律呂正義」。

〔御製律呂正義下編二卷〕原題，「御製律呂正義下編」。

68 御製律呂正義下編二卷 康熙五十二年敕撰

御製律呂正義上編二卷（別掲經67）に附す。

69 御製律呂正義續編一卷 康熙五十二年敕撰

御製律呂正義上編二卷（別掲經67）に附す。

六 春秋類

70 春秋十七卷 清秦鏞訂正

原題，「春秋 錫山秦鏞訂正」。序跋，杜預「春秋序」、孔穎達「春秋序」、程頤「春秋序」（崇寧二年・一一〇三）、胡安國「春秋序」。〔其他〕九經（別掲經1）所收本。

71 春秋左氏傳三十卷 和刻本 日本松崎明復審定

原題，「春秋左氏傳」。印記，「炳卿審定善本」等三種。〔其他〕縮刻唐開成石經（別掲經15）所收本。

72 春秋經傳集解三十卷 和刻本 晉杜預撰 十五册

原題,「春秋經傳集解 杜氏」。慶元活字印本。匡郭, 20.1×16.3 8行17字。四周雙邊。黑口。印記,「炳卿珍藏舊槧古鈔之記」「黑頭尊者」等三種。序跋,杜預「春秋左氏傳序」。湖南識語,「舊刻本左傳十五册。其第一·二·三·四·十一·十二·六卷,係活字板本(當在慶元之際——傍記)。第五·六·七·八·九·十·十三·十四·十五·十六·十七·十八·十九·二十·廿五·廿六·廿七·廿八·十八卷九本,係寬永前刻本。以上竝為清岡長親卿手澤本。廿一·廿二·廿三·廿四·廿九·三十六卷三本,版式較新。有職正墨印蓋係中原氏舊藏歟。第一·二卷,殘破尤甚。第十一卷,闕首一紙。異日須抄補也。癸卯(明治三十六年·一九〇三)五月。炳卿記。」

73 春秋左傳註疏六十卷 晉杜預注 唐孔穎達疏

原題,「春秋左傳註疏 晉杜氏註 唐孔穎達疏」。明刊本。匡郭, 20.1×12.6 9行21字。四周單邊。白口。刻工名。印記,「愚門之印」等二種。序跋,孔穎達「春秋正義序」。四庫總目卷二十六「春秋左傳正義六十卷」。「其他」十三經註疏(別掲經)所收本。

74 春秋左傳註疏六十卷 晉杜預注 唐孔穎達疏

原題,「春秋左傳註疏 晉杜氏註 唐孔穎達疏」。明刊本。匡郭, 20.1×12.6 9行21字。四周單邊。白口。刻工名。序跋,孔穎達「春秋正義序」。四庫總目卷二十六「春秋左傳正義六十卷」。「其他」一、外題「左傳」。二、十三經註疏(別掲經)所收本。

75 春秋公羊傳十一卷 和刻本 日本松崎明復審定

原題,「春秋公羊傳」。印記,「炳卿審定善本」「清齋文庫」。「其他」一、外題「縮刻唐石經春秋公羊傳」。二、縮刻唐開成石經(別掲經)所收本。

76 春秋公羊註疏二十八卷 漢何休學 □闕名疏

原題,「春秋公羊註疏 漢何休學 □□□疏 明御史李元陽提學僉事江以遠校刊」。明刊本。匡郭, 19.9×12.6 9行21字。四周單邊。白口。刻工名。印記,「愚門之印」等二種。序跋,中書門下牒(景德二年·一〇〇五)。四庫總目卷二十六「春秋公羊傳註疏二十八卷」。

〔其他〕十三經註疏(別掲經)所收本。

77 春秋公羊註疏二十八卷 漢何休學 □闕名疏

原題,「春秋公羊註疏 漢何休學 □□□疏 明御史李元陽提學僉事江以遠校刊」。明刊本。匡郭, 19.9×12.6 9行21字。四周單邊。白口。刻工名。序跋,中書門下牒(景德二年·一〇〇五)。四庫總目卷二十六「春秋公羊傳註疏二十八卷」。「其他」一、外題「公羊傳」。二、十三經註疏(別掲經)所收本。

78 春秋穀梁傳十二卷 和刻本 日本松崎明復審定

原題,「春秋穀梁傳」。印記,「炳卿審定善本」「清齋文庫」。「其他」一、外題「縮刻唐石經春秋穀梁傳」。二、縮刻唐開成石經(別掲經)所收本。

79 春秋穀梁傳十二卷 和刻本 日本松崎明復審定 三冊

春秋穀梁傳十二卷石經本(別掲經)に同じ。

80 春秋穀梁註疏二十卷 晉范甯集解 唐楊士勛疏

原題,「春秋穀梁註疏 晉范甯集解 唐楊士勛疏」。明刊本。匡郭, 19.6×12.7 9行21字。四周單邊。白口。刻工名。印記,「愚門之印」等二種。四庫總目卷二十六「春秋穀梁傳註疏二十卷」。「其他」十三經註疏(別掲經)所收本。

81 春秋穀梁註疏二十卷 晉范甯集解 唐楊士勛疏

原題,「春秋穀梁註疏 晉范甯集解 唐楊士勛疏」。明刊本。匡郭, 19.6×12.7 9行21字。四周單邊。白口。刻工名。四庫總目卷二十六「春秋穀梁傳註疏二十卷」。「其他」一、外題「穀梁傳」。二、十三經註疏(別掲經)所收本。

82 春秋皇綱論五卷 宋王皙撰 一册

原題,「春秋皇綱論 太原王皙」。康熙刊本。匡郭, 19.0×14.0 10行18字。左右雙邊。白口。刻工名及「通志堂」。印記,一種。序跋,

納蘭成德「春秋皇綱論序」。(康熙十五年・一六七〇)。四庫總目卷二十六。〔其他〕卷末刻「後學成德校訂」。

83 春秋傳說例一卷 宋劉敞撰

鄭中記一卷(別掲史Ⅲ)に附す。

84 春秋四傳三十六卷 闕名輯 明吉澄校 七册

原題,「春秋四傳」。明刊本。匡郭,198×135 9行17字。左右雙邊。白口。刻工名。印記,一種。四庫總目卷三十存目。〔其他〕一、存卷、卷三より卷三十八。二、校者あり。卷末刻「巡按福建監察御史開州吉澄校刊稽雲樊獻科重訂」等。

七 四書類

85 論語二卷 清秦鏞訂正

原題,「論語 錫山秦鏞訂正」。序跋,何晏等「論語序」、「論語序說」。〔其他〕九經(別掲經Ⅰ)所收本。

86 論語十卷 和刻本 日本松崎明復審定

原題,「論語」。印記,「炳卿審定善本」等二種。〔其他〕一、外題「縮刻唐石經論語」。二、附屬物、「內藤湖南氏藏 縮刻唐石經論語 一册 松崎憐堂校刻」と記した展示札等。三、縮刻唐開成石經(別掲經Ⅱ)所收本。

87 論語殘卷 和刻本 一册

匡高,225 6行11字。四周單邊。印記,「炳卿審定善本」。序跋,何晏序。釋深尊跋(貞和二年・一三四六年)湖南識語。「甲辰(明治三十七年・一九〇四)十一月仲三。炳卿。〔其他〕一、外題「論語」。二、內容,學而篇零葉・八俗篇零葉。三、附屬物,「紹興府學本影刻漢石經論語 三卷 內藤湖南氏藏」「論語 藤堂本影刻 壹册 內藤氏藏」と記した展示札。四、大和綴。

88 論語十卷附正平本論語札記一卷 和刻本 魏何晏集解 札記日本市野光彦撰 四册

原題,「論語 何晏集解」。匡高,207 6行13字。四周單邊。印記,「炳卿審定善本」等五種。序跋,狩野望之序(文化十三年・一八一六)、何晏序。〔其他〕一、外題「正平本論語全解」。二、封面「正平本論語全解 青歸書屋藏版」。三、卷十末刻「界浦道祐居士重新命工鏤梓正平甲辰五月吉日謹誌」。〔正平本論語札記一卷〕原題,「正平本論語札記」。匡郭,210×180 10行22字。四周單邊。白口。

89 論語十卷 和刻本 魏何晏集解 二册一帙

原題,「論語 何晏集解」。覆慶長活字本。匡郭,214×154 7行17字。四周雙邊。黑口。印記,「炳卿珍藏舊契古鈔之記」「足利學校古本」「曼殊院藏」「曼殊圖書之印」。〔其他〕一、外題「五經館鈔」。帙外題「覆慶長活字本論語」。

90 論語十卷 和刻本 魏何晏集解 二册一帙

原題,「論語 何晏集解」。匡郭,196×139 9行18字。左右雙邊。白口。印記,「炳卿審定善本」。序跋,石川之駿「縮臨古本論語集解跋」(天保八年・一八三七)、何晏「論語序」、川村尚迪「縮臨古本論語集解跋」(天保八年)。湖南識語,「縮臨古鈔本論語集解二本 舊藏一分舉贈清國劉慈名。甲辰(明治三十七年・一九〇四)十一月仲三再購。炳卿。〔其他〕一、外題「縮臨古本論語集解」。二、封面「縮臨古本論語集解 津藩有造館藏」。

91 論語註疏解經二十卷 魏何晏集解 宋邢昺疏

原題,「論語註疏解經 魏何晏集解 宋邢昺疏」。明刊本。匡郭,196×127 9行21字。四周單邊。白口。刻工名。印記,「愚門之印」等二種。四庫總目卷三十五「論語正義二十卷」。〔其他〕十三經註疏(別掲經Ⅱ)所收本。

92 論語註疏解經二十卷 魏何晏集解 宋邢昺疏

原題,「論語註疏解經 魏何晏集解 宋邢昺疏」。明刊本。匡郭,196×127 9行21字。四周單邊。白口。刻工名。印記,「秋月春風樓磯氏印」。湖南識語,「闕本論語。共貳本。癸卯(明治三十六年・一九〇三)三月。炳卿」。四庫總目卷三十五「論語正義二十卷」。〔其他〕十三經註疏(別掲經Ⅱ)所收本。

93 正平本論語札記一卷 日本市野光彥撰
論語十卷（別掲經⁸⁸）に附す。

94 論語餘說一卷 鈔本 清崔述撰
原題，「論語餘說 大名崔述東壁稿 石屏門人陳履和校刊。」〔其他〕一、封面「大名崔東壁先生著 論語餘說 道光四年正月東陽縣署中刻」。二、崔東壁先生遺書（別掲經⁸⁷）所收本。

95 天文本單經論語校勘記一卷 葉德輝撰
原題，「天文本單經論語校勘記」。序跋，葉德輝「日本天文刻論語後跋」。〔其他〕一、封面「天文本單經論語校勘記一卷」。「壬寅夏六月長沙葉氏刊」。二、觀古堂所著書第一集（別掲經⁸⁸）所收本。

96 孟子七卷 清秦鏞訂正
原題，「孟子 錫山秦鏞訂正」。序跋，趙岐「孟子題辭」、孫奭「孟子序」、「孟子序說」。〔其他〕九經（別掲經¹）所收本。

97 孟子章句一卷 漢劉熙撰 葉德輝輯
原題，「孟子章句 漢劉熙注 長沙葉德輝撰集」。序跋，葉德輝「孟子劉熙注敘」（光緒十七年・一八九一）。〔其他〕一、封面「孟子劉熙注魏誠書端」、「光緒壬寅仲冬長沙葉氏刊行」。二、觀古堂所著書第一集（別掲經⁸⁸）所收本。

98 孟子註疏解經十四卷 漢趙岐注 宋孫奭疏
原題，「孟子註疏解經 漢趙氏註 宋孫奭疏」。明刊本。匡郭，20.6×12.8 9行21字。四周單邊。白口。刻工名。印記，「愚門之印」等二種。序跋，孫奭「孟子正義序」。四庫總目卷三十五「孟子正義十四卷」。〔其他〕十三經註疏（別掲經¹）所收本。

八 孝 經 類

99 孝經一卷 和刻本 日本松崎明復鑒定
原題，「孝經」。印記，「炳卿審定善本」等二種。〔其他〕一、外題「縮刻石經孝經」。二、縮刻唐開成石經（別掲經¹⁰）所收本。

100 孝經一卷 清秦鏞訂正
原題，「孝經 錫山秦鏞訂正」。序跋，「孝經序」。〔其他〕九經（別掲經¹）所收本。

101 孝經註疏九卷 唐玄宗明皇帝御注 宋邢昺疏
原題，「孝經註疏 宋邢昺註疏」。明刊本。匡郭，20.0×12.7 9行21字。四周單邊。白口。刻工名。印記，「愚門之印」等二種。序跋，邢昺「孝經註疏序」。四庫總目卷三十二「孝經正義三卷」。〔其他〕十三經註疏（別掲經¹）所收本。

102 孝經一卷 和刻本 唐玄宗明皇帝御注 一册
原題，「大唐開元天寶聖文神武皇帝注孝經」。匡郭，20.8×15.1 15行23字。左右雙邊。白口。印記，「炳卿審定善本」。序跋，「孝經序」、「符谷望之跋」（文政九年・一八二六）。湖南識語，「壬寅（明治三十五年・一九〇二）三月念壹，炳卿。〔其他〕一、外題「仿宋本孝經御注」。二、卷內刻「符谷望之審定宋本」、「湯島符谷氏求古樓重雕」。

103 孝經一卷 和刻本 漢孔安國傳 一册
原題，「孝經 孔氏傳」。文政刊本。匡高，24.8 6行。四周單邊。印記，「炳卿審定善本」等三種。序跋，孔安國「古文孝經序」、阿正精跋（文政六年・一八一三）。〔其他〕一、外題「古文孝經孔氏傳」。二、平古止點つき。

104 孝經一卷 和刻本 唐玄宗明皇帝御注 一册
原題，「孝經 御注」寬政刊本。匡郭，22.9×16.7 6行15字。四周單邊。白口。印記，「炳卿審定善本」。序跋，元行沖「御注孝經

序、源弘賢跋(寬政十二年・一八〇〇)。湖南識語、「影刻遼遙院內府眞蹟御注孝經一本。黎氏古逸叢書本、乃自此翻印也。刪去其國訓也。癸卯(明治三十六年・一九〇三)十一月初九、購置。炳卿。〔其他〕外題「御注孝經」。

105 孝經一卷 和刻本 唐玄宗明皇帝御注 一册

原題,「孝經 御注」。明治重刊本。匡郭, 23.5×16.5 6行15字。四周單邊。白口。印記,「炳卿審定善本」。序跋,元行冲「御注孝經序」、源弘賢跋(寬政十二年・一八〇〇)、三條實美跋(明治十七年・一八八四)、三條公美跋(明治二十四年・一八九一)。〔其他〕一、呼古止點つき。二、卷末、押小路內府眞跡覆刻を付す。三、大和綴。

106 近聖居三刻參補四書燃犀解二十卷 明陳祖經撰著 明周鍾等參補 八册一帙

上下二段。上段原題,「近聖居三刻參補 金沙周鍾介生父 雲間夏允彝彝仲父 潭水余昌年肩生父參補」。下段原題,「四書燃犀解 晉陵陳祖經伯玉父輯著 錢江黃澍仲霖父較閱 雲間陳子龍臥子父訂正」。明刊本。匡郭, 21.2×11.4 上段19行20字、下段10行21字。四周單邊。白口。印記,「子孫永保 雲煙家藏書記」。序跋,夏允彝跋。〔其他〕匡高上段〇1、下段121。

九 諸經總義類

107 古經解鈎沈三十卷 清余蕭客輯 十二册一帙

原題,「古經解鈎沈 吳郡余蕭客仲林」。匡郭, 17.2×12.4 11行20字。四周雙邊。黑口。序跋,余蕭客「前序」、余蕭客「後序」(乾隆二十四年・一七五九)。四庫總目卷三十三。

108 緯學原流與廢考三卷 蔣清翔編 一册

原題,「緯學原流與廢考 吳縣蔣清翔編」。光緒刊本。匡郭, 18.1×13.4 11行25字。左右雙邊。黑口。「吳縣蔣氏雙唐碑館刊本」。印記,「湖南秘板」。序跋,孤子翻跋(光緒二十三年・一八九七)。湖南識語,「庚戌(明治四十三年・一九一〇)十月在燕都日、蔣伯參學部所贈。炳卿。〔其他〕封面「緯學源流與廢考三卷 陶溶宣署」「蔣氏雙唐碑館架」。

109 經典釋文三十卷 唐陸德明撰 十二册二帙

原題,「經典釋文 唐國子博士兼太子中允贈齊州刺史吳縣開國男陸德明撰」。康熙刊本。匡郭, 19.3×14.4 11行17字。左右雙邊。白口。刻工名及「通志堂」。印記,三種。序跋,馮瑛跋。湖南識語,「共貳函十二本。庚子(明治三十三年・一九〇〇)九月十六日。炳卿」(帙背)。四庫總目卷三十三。〔其他〕一、封面「徐健菴鑒定 經典釋文 通志堂藏板」。二、卷末刻「後學成德校訂」。

110 羣經音辨七卷 宋賈昌朝撰

原題,「羣經音辨 朝奉郎尚書司封員外郎直集賢院兼天章閣侍講輕車都尉賜緋魚袋賈昌朝撰」。匡郭, 19.0×14.7 10行20字。左右雙邊。白口。序跋,賈昌朝「羣經音辨序」、中書門下牒(寶元二年・一〇三九)、王觀國「羣經音辨後序」(紹興十二年・一一四二)、張士俊「羣經音辨後跋」(康熙五十三年・一七二四)。四庫總目卷四十。〔其他〕一、封面「張氏重刊 羣經音辨 澤存堂藏板」。二、澤存堂五種(別提經圖)所收本。

111 羣經音辨七卷 宋賈昌朝撰

原題,「羣經音辨 朝奉郎尚書司封員外郎直集賢院兼天章閣侍講輕車都尉賜緋魚袋賈昌朝撰」。匡郭, 16.3×12.2 10行20字。左右雙邊。黑口。序跋,賈昌朝序、中書門下牒(寶元二年・一〇三九)、王觀國後序(紹興十二年・一一四二)、張士俊跋(康熙五十三年・一七二四)。四庫總目卷四十。〔其他〕一、卷末刻「光緒甲申九秋茂苑蔣氏鏤木」「吳郡徐元圃刻」。二、鐵華館叢書(別提叢書)所收本。

112 羣經韻讀一卷 清江有誥撰

原題,「羣經韻讀」。嘉慶二十二年(一八一七)刊本。〔其他〕一、封面「歙江有誥晉三學 羣經韻讀 嘉慶丁丑開雕」。二、江氏音學十書(別提經圖)所收本。

113 五經文字三卷 和刻本 唐張參撰 日本松崎明復審定

原題,「五經文字」。匡高, 22.9 5行。四周單邊。印記,「炳卿審定善本」「夫部氏藏」「德造書院」等四種。序跋,張參「五經文字序例」(大曆十一年・七七〇)。〔其他〕一、外題「鈎摹石本五經文字」。二、「益城松崎明復審定」印あり。三、縮刻唐開成石經(別提

經115)に附す。

114 新加九經字樣一卷 和刻本 日本松崎明復審定

原題、「新加九經字樣」。匡高、230 5行。四周單邊。印記、「炳卿審定善本」「夫部氏藏」「德造書印」等四種。序跋、唐玄度「新加九經字樣序」(開成二年・八三七)。「其他」一、外題「鈎摹石本九經字樣」。二、「益城松崎明復審定」印あり。三、縮刻唐開成石經(別掲經115)に附す。

115 縮刻唐開成石經附五經文字三卷九經字樣一卷 和刻本 日本松崎明復審定 三十七册

經、周易九卷・經6略例一卷二册。經5尚書十三卷二册。經3詩二十卷二册。經4周禮十二卷三册。經7儀禮十七卷三册。經6禮記二十卷四册。經11春秋左氏傳三十卷十册。經7春秋公羊傳十一卷二册。經8春秋穀梁傳十二卷二册。經6論語十卷一册。經7孝經一卷一册。經11爾雅三卷一册。經11五經文字三卷三册。經11新加九經字樣一卷一册。天保刊本。匡郭、230×152 8行19字。四周單邊。白口。序跋、松崎明復「縮刻唐石經例言」。「其他」一、封面「縮刻唐開成石經附五經文字九經字樣」「益城松崎明復審定」。二、五經文字・九經字樣は款識異なる。三、裝訂に七種あり。

116 欽定石經考文提要舉正四卷首一卷 鈔本 清和珩等奉敕覆定 四册一帙

原題、「欽定石經考文提要舉正 總裁經筵日講起居注官太子太保文華殿大學士翰林院掌院學士忠襄伯臣和珩等奉敕覆定」。匡郭、225×137 7行19字。四周雙邊。白口。「其他」一、「古稀天子之寶」印あり。二、朱絲欄。

117 經義考二百九十七卷 清朱彝尊撰 六十四册六帙

原題、「經義考 日講官起居注翰林院檢討臣朱彝尊恭錄 廣西等處承宣布政使司布政使臣李澐恭校」。乾隆刊本。匡郭、125×143 12行23字。四周單邊。白口。印記、「子孫永保 靈煙家藏書記」。序跋、「御題朱彝尊經義考」、毛奇齡序(康熙四十年・一七〇二)、陳廷敬序(康熙三十八年・一六九九)、盧見曾序(康熙三十三年・一六九四)、朱稻孫後序(乾隆二十年・一七五五)。四庫總目卷八十五「經義考三百卷」。「其他」存卷、卷一より卷二百八十五、卷二百八十七より卷二百九十八。

十小學類

118 爾雅三卷 和刻本 日本松崎明復審定

原題、「爾雅」。印記、「炳卿審定善本」等二種。「其他」一、外題「縮刻唐石經爾雅」。二、縮刻唐開成石經(別掲經115)所收本。

119 爾雅二卷 晉郭璞注 一册

原題、「爾雅 晉郭璞註」。明刊本。匡郭、180×124 10行20字。左右雙邊。白口。「宜靜書堂」。印記、「炳卿珍藏善製古鈔之記」「三省堂」等十一種。序跋、郭璞「爾雅序」、邢昺等「爾雅注疏序」。湖南識語、「甲辰(明治三十七年・一九〇四)十一月念七。炳卿」。

120 爾雅圖贊一卷 晉郭璞撰 清嚴可均輯

原題、「爾雅圖贊 晉郭璞撰 鳥程嚴可均集」。序跋、嚴可均「爾雅圖贊跋」(嘉慶二十一年・一八一六)、葉德輝跋(光緒十五年・一八八九)。「其他」一、封面「爾雅圖贊」「長沙葉氏郎園藏板」。二、觀古堂彙刻書第一集(別掲叢1)所收本。

121 爾雅註疏十一卷 晉郭璞注 宋邢昺疏

原題、「爾雅注疏 晉郭璞註 宋邢昺疏」。明刊本。匡郭、200×128 9行21字。四周單邊。白口。刻工名。序跋、邢昺「爾雅註疏序」。四庫總目卷四十。「其他」一、外題「十三經註疏爾雅」。二、十三經註疏(別掲經2)所收本。

122 爾雅補注四卷 清周春撰

原題、「爾雅補注 海甯周春述兮」。序跋、葉德輝「爾雅補註序」(光緒三十四年・一九〇八)、齋召南序(乾隆二十五年・一七六〇)、王鳴盛序。「其他」一、封面「爾雅補注 周聲澂著」「光緒戊申季秋長沙葉氏校刊」。二、觀古堂彙刻書第一集(別掲叢1)所收本。

123 翰軒絕代語一卷 漢楊雄撰

原題，「翰軒絕代語 漢楊雄」。四庫總目卷四十一「方言十三卷」。「其他」龍威秘書成集（別揭叢）所收本。

124 翰軒使者絕代語釋別國方言十三卷 漢楊雄撰 清戴震疏證

原題，「翰軒使者絕代語釋別國方言 戴震疏證」。序跋，「李孟傳刻方言後序」（慶元六年・一一〇〇）、「朱質跋李刻方言」（慶元六年）。「其他」一、外題「方言疏證」。二、戴氏遺書（別揭叢）所收本。

125 埤雅二十卷 宋陸佃撰 六冊一夾板

原題，「埤雅 中大夫守尚書左丞上柱國吳郡開國公賜紫金魚袋陸佃撰」。明刊本。匡郭，21.0×14.2 10行20字。四周雙邊。黑口。印記，「炳卿審定善本」「過庭」「陸繼私印」等六種。序跋，陸宰「埤雅序」（宣和七年・一一二五）。四庫總目卷四十。「其他」識語一種。

126 釋人疏證二卷 葉德輝撰

原題，「釋人疏證 長沙葉德輝彙彬述」。序跋，葉德輝跋（光緒二十八年・一九〇二）。「其他」一、封面「釋人疏證 魏誠書」「光緒壬寅仲冬長沙葉氏印行」。二、觀古堂所著書第一集（別揭叢）所收本。

127 通俗編三十八卷 清翟灝撰 十二冊

原題，「通俗編 仁和翟灝」。匡郭，16.7×11.9 12行22字。左右雙邊。白口。序跋，周天度序（乾隆十六年・一七五二）。「其他」封面「通俗編 無不宜齋雕本」。

128 說文解字十五卷 漢許慎撰 宋徐鉉等奉敕校定 八冊一帙

原題，「說文解字 漢太尉祭酒許慎記 銀青光祿大夫守右散騎常侍上柱國東海縣開國子食邑五百戶臣徐鉉等奉敕校定」。明刊本。匡郭，20.6×14.9 7行。左右雙邊。白口。印記，「湖南祕極」「華山藏書」。四庫總目卷四十一「說文解字三十卷」。「其他」一、帙外題「汲古閣本說文 華山院家舊藏」。二、封面「北宋本校刊 說文真本 汲古閣藏板」。「虎邱萃古齋書坊發兌印」あり。三、卷內刻「後學毛

晉從宋本校刊 田辰再校」。

129 說文解字十五卷 漢許慎撰 宋徐鉉等奉敕校定 十冊一帙

原題，「說文解字 漢太尉祭酒許慎記 銀青光祿大夫守右散騎常侍上柱國東海縣開國子食邑五百戶臣徐鉉等奉敕校定 大興朱筠依宋本重付開雕 宛平徐瀚校字」。乾隆三十八年（一七七三）刊本。匡郭，20.7×14.9 7行。左右雙邊。白口。序跋，朱筠「重刻說文解字敘」。四庫總目卷四十一「說文解字三十卷」。「其他」封面「乾隆癸巳開雕 說文解字 文字十三經同異詞刊椒華吟紡藏板」，「安徽提督學院頒行」印あり。

130 說文解字十五卷 漢許慎撰 宋徐鉉等奉敕校定 八冊一帙

原題，「說文解字 漢太尉祭酒許慎記 銀青光祿大夫守右散騎常侍上柱國東海縣開國子食邑五百戶臣徐鉉等奉敕校定」。嘉慶十二年（一八〇七）刊本。匡郭，19.8×13.9 10行。左右雙邊。白口。印記，「炳卿審定善本」「拜經樓」等十六種。序跋，顧勳布序（嘉慶十二年・一八〇七）。四庫總目卷四十一「說文解字三十卷」。「其他」一、外題「藤花樹刻仿宋小字本說文拜經樓舊藏」，帙外題「藤花樹刻仿北宋本說文解字」。二、封面「仿北宋小字本說文解字 嘉慶丁卯年開雕 藤花樹藏板」。

131 六書正譌五卷 元周伯琦撰 五冊一帙

原題，「六書正譌 元鄱陽周伯琦編注 明海陽胡正言訂篆」。匡郭，20.1×13.2 5行。注文雙行18字。四周單邊。白口。「十竹堂」序跋，周伯琦「六書正譌敘」（至正十一年・一三五二）。「其他」封面「元周伯琦先生著 六書正譌 古香閣藏板」。

132 說文解字注十五卷用部目分韻一卷六書音均表五卷段氏說文注訂八卷 清段玉裁注 邵目分韻清陳奐編 六書音均表清段玉裁撰 段氏說文注訂清鍾樹玉撰 十二冊二帙

原題，「說文解字 金壇段玉裁注」。匡郭，18.5×12.9 9行。注文雙行22字。左右雙邊。白口。印記，「炳卿審定善本」「結一廬藏書印」「上津野內藤氏」「結一廬藏」等五種。序跋，王念孫「說文解字注序」（嘉慶十三年・一八〇八）、江沅「說文解字注後敘」（嘉慶十九年・一八一四）、陳煥跋（嘉慶二十年・一八一五）、盧文弨「說文解字讀序」（乾隆五十一年・一七八六）。「其他」一、封面「說文解字注

六書音均表附 經韻樓藏版。二、展觀目錄十四頁參照。

〔說文部目分韻一卷〕原題，「說文部目分韻」。匡郭，18.5×12.9 9行22字。左右雙邊。白口。

〔六書音均表五卷〕原題，「六書音均表 四川候補知縣前貴州玉屏縣知縣巨段玉裁記」。匡郭，21.0×15.0 10行20字。四周單邊。白口。序跋，戴震序（乾隆四十二年・一七七七）、吳省欽序（乾隆四十二年）、錢大昕「原序」（乾隆三十五年・一七七〇）、戴震「戴東原先生來書」（乾隆三十八年・一七七三）、段玉裁「寄戴東原先生書」。

〔段氏說文注訂八卷〕原題，「段氏說文注訂 吳縣鈕樹玉著」。匡郭，18.2×11.9 9行23字。左右雙邊。白口。序跋，阮元序（道光四年・一八二四）、鈕樹玉序（道光三年・一八二三）。〔其他〕一、封面「段氏說文注訂」。二、卷八末刻「吳郡閬門外洞涇橋西首青霞齋吳學圃局刻」。

133 桂未谷說文段注鈔一卷補鈔一卷 清段玉裁撰 清桂馥鈔

原題，「桂未谷說文段注鈔 湘潭劉肇隅校錄」。序跋，葉德輝跋（光緒二十七年・一九〇一）。〔其他〕觀古堂彙刻書第一集（別揭叢一）所收本。

〔桂未谷說文段注補鈔一卷〕原題，「桂未谷說文段注補鈔 湘潭劉肇隅校錄」。

134 桂未谷說文段注補鈔一卷 清段玉裁撰 清桂馥鈔

桂未谷說文段注鈔一卷（別揭經133）に附す。

135 段氏說文注訂八卷 清鈕樹玉撰

說文解字注十五卷（別揭經132）に附す。

136 徐星伯說文段注札記一卷 清徐松撰 清劉肇隅錄

原題，「徐星伯說文段注札記 湘潭劉肇隅編校」。序跋，劉肇隅跋。〔其他〕一、封面「說文段注校三種 徐松說文段注札記一卷 龔自珍說文段注札記一卷 桂馥說文段注抄按二卷 許崇熙署首」「光緒壬寅仲冬長沙葉氏印行」。二、觀古堂彙刻書第一集（別揭叢一）所

收本。

137 說文部目分韻一卷 清陳象撰

說文解字注十五卷（別揭經132）に附す。

138 龔定菴說文段注札記一卷 清龔自珍撰 清劉肇隅錄

原題，「龔定菴說文段注札記 湘潭劉肇隅編校」。〔其他〕觀古堂彙刻書第一集（別揭叢一）所收本。

139 說文解字索隱一卷補例一卷 清張度撰

原題，「說文解字索隱 吳興張度跋」。序跋，江標跋（光緒二十二年・一八九〇）。〔其他〕一、封面「說文解字索隱一卷補例一卷」。「張辟非先生撰靈鶴刻」。二、靈鶴閣叢書第一集（別揭叢一）所收本。

〔說文補例一卷〕原題，「說文補例 吳興張度跋」。

140 說文補例一卷 清張度撰

說文解字索隱一卷（別揭經139）に附す。

141 說文古語考一卷 清程際盛輯 一冊

原題，「說文古語考 長州程際盛東治輯 男世英芝培世萱靈門世茂松坡校」。乾隆刊本。匡郭，18.1×12.5 10行21字。左右雙邊。白口。印記，「程」等二種。序跋，李蔡序，程際盛自序（乾隆五十五年・一七九〇）。

142 皇家本急就章一卷 漢史游撰 清鈕樹玉校定

原題，「急就章 漢黃門令史游撰」。序跋，鈕樹玉自序，鈕樹玉跋（嘉慶十七年・一八二二）。〔其他〕一、封面「急就章考證」「光緒乙未夏元和江氏師郵室刊於長沙使院」。二、靈鶴閣叢書第一集（別揭叢一）所收本。

143 玉篇殘一卷 梁顧野王撰 一册

原題，「玉篇卷第十八之後分」。明治刊本。匡郭，24.0×28.6 6行。四周單邊。白口。印記，「湖南祕板」。序跋，柏木探古跋（明治十五年・一八八二）。湖南識語，「此原本探古死後歸三浦觀樹將軍。復以此集乎藤田男爵矣。丁未（明治四十年・一九〇七）一月。炳卿」。〔其他〕外題「玉篇卷十八之後分」。

144 大廣益會玉篇三十卷 宋陳彭年等奉敕重修

原題，「大廣益會玉篇」。匡郭，20.7×15.0 10行。注文雙行27字。左右雙邊。白口。刻工名。序跋，朱彝尊「重刊玉篇序」（康熙四十四年・一七〇四）、張士俊「篇後跋」。四庫總目卷四十一「重修玉篇三十卷」。〔其他〕一、封面「張氏重刊 宋本玉篇 澤存堂藏板」。二、澤存堂五種（別揭經函）所收本。

145 汗簡七卷目錄一卷 後周郭忠恕撰 二册一帙

原題，「汗簡」。康熙刊本。匡郭，20.1×14.4 7行。左右雙邊。白口。印記，一種。序跋，鄭思肖序（庚寅）、後序。四庫總目卷四十一「汗簡三卷目錄略一卷」。

146 佩觿三卷 後周郭忠恕撰

原題，「佩觿 朝請大夫國子周易博士柱國臣郭忠恕記」。匡郭，20.4×14.7 8行17字。左右雙邊。白口。序跋，跋。四庫總目卷四十一。〔其他〕一、封面「張氏重刊 佩觿 澤存堂藏板」。二、澤存堂五種（別揭經函）所收本。

147 佩觿三卷 後周郭忠恕撰

原題，「佩觿 朝請大夫國子周易博士柱國臣郭忠恕記」。匡郭，16.3×12.2 8行18字。左右雙邊。黑口。序跋，張士俊跋（康熙四十九年・一七二〇）。四庫總目卷四十一。〔其他〕一、卷末刻「光緒十季歲在瑪逢涪灘長州蔣鳳藻香生校梓」「吳門徐元圃刻」。二、鐵華館叢書（別揭叢）所收本。

148 新集古文四聲韻五卷 宋夏竦撰 五册一帙

原題，「新集古文四聲韻 開府儀同三司行吏部尚書知亳州軍州事上柱國夏竦集」。匡郭，20.1×14.7 7行。左右雙邊。白口。序跋，夏竦序（慶曆四年・一〇四四）、汪啓淑跋（乾隆四十四年・一七七九）。四庫總目卷四十一「古文四聲韻五卷」。〔其他〕封面「宋英公夏竦集 古文四聲韻 新安汪氏藏板」。

149 類篇十五卷 宋司馬光等奉敕撰 十四册二夾板

原題，「類篇 朝散大夫右諫議大夫權御史中丞充理檢使上護軍河內郡開國侯食邑一千三百戶賜紫金魚袋臣司馬光等奉敕修纂」。康熙四十五年（一七〇六）刊本。匡郭，16.4×10.8 8行16字。左右雙邊。白口。刻工名。印記，一種。序跋，「類篇序」。四庫總目卷四十一「類篇四十五卷」。〔其他〕卷末刻「棟亭藏本丙戌九月重刻于揚州使院」。

150 龍龕手鑑四卷 遼釋行均撰 六册一帙

原題，「龍龕手鑑 遼釋行均撰」。嘉慶刊本。匡郭，13.3×12.7 8行。左右雙邊。白口。印記，「湖南祕板」。序跋，燕臺憫忠寺沙門智光「龍龕手鑑原序」（統和十五年・九九七）。四庫總目卷四十一。〔其他〕封面「龍龕手鑑 虛竹齋付梓」。

151 字鑑五卷 元李好文撰

原題，「字鑑 吳郡學生李文仲編」。匡郭，18.8×3.2 8行。四周單邊。白口。序跋，「字鑑序」、朱彝尊「字鑑後序」（康熙四十八年・一七〇九）。四庫總目卷四十一。〔其他〕澤存堂五種（別揭經函）所收本。

152 字鑑五卷 元李文仲撰

原題，「字鑑 吳郡學生李文仲編」。匡郭，16.2×12.2 8行20字。左右雙邊。黑口。序跋，顏秀煥序、干文傳序、張樸序、唐泳涯序、黃潛序、白序、朱彝尊後序、張士俊跋。四庫總目卷四十一。〔其他〕一、卷末刻「光緒甲申九秋長州蔣氏鐫木」「吳門徐元圃刻」。二、鐵華館叢書（別揭叢）所收本。

- 153 纂圖附音增廣古註千字文三卷 鈔本 梁周興嗣撰 五代李潛注 一册
原題,「纂圖附音增廣古註千字文 勅員外散騎侍郎周興嗣次韵」。匡郭, 24.1×15.5 9行、注文雙行20字。四周單邊。白口。印記,「炳卿珍藏舊契古鈔之記」「仲山眞禪院什物」。「其他」書入あり。
- 154 廣韻五卷 宋陳彭年等奉敕撰 五册
原題,「廣韻」。匡郭, 20.3×3.6 8行、注文雙行24字。左右雙邊。白口。印記,「陵川王氏藏書」。序跋,「題廣韻書後」,「陳州司馬孫福唐韻序」(天寶十載・七五一)、陳上年「重刻廣韻序」。四庫總目卷四十二。「其他」封面「依宋板重刻 廣韻 符山堂藏板」。
- 155 廣韻五卷 宋陳彭年等奉敕撰
原題,「廣韻」。匡郭, 20.7×15.0 10行、注文雙行27字。左右雙邊。白口。刻工名。序跋,潘耒「重刊古本廣韻原序」、朱彝尊「重刊廣韻序」(康熙四十三年・一七〇四)。四庫總目卷四十二。「其他」一、封面「張氏重刊 宋本廣韻 澤存堂藏板」。二、澤存堂五種(別掲經180)所收本。
- 156 廣韻五卷 宋陳彭年等奉敕撰 五册(佚)
原題,「廣韻」。康熙刊本。匡郭, 20.5×15.0 10行、注文雙行25字より29字不等。左右雙邊。白口。刻工名。印記,「尹定鉉印」等三種。序跋,朱彝尊「重刊廣韻序」(康熙四十三年・一七〇四)、朱彝尊「重刊廣韻序」(康熙四十一年・一七〇〇)、潘耒「重刊古本廣韻原序」、張士俊跋。四庫總目卷四十二。「其他」一、佚外題「澤存堂本廣韻 朝鮮尹定鉉舊藏」。二、封面「張氏重刊 宋本廣韻 澤存堂藏板」。
- 157 韻補五卷 宋吳棫撰 二册一帙
原題,「韻補」。匡郭, 18.1×12.7 8行、注文雙行20字。左右雙邊。白口。印記,「且州寶秘」「赤松石室」「沈謙之印」「水邨」等九種。序跋,徐臧序(乾道四年・一一六八)、吳棫記。四庫總目卷四十二。「其他」一、清姜用楨の手書・校語あり。二、補鈔あり。三、附屬物、姜用楨手書の箋一葉(乾隆十七年・一七五二)。
- 158 中原音韻二卷 鈔本 元周德清撰 二册一夾板
原題,「欽定四庫全書 中原音韻」。匡郭, 21.5×14.3 8行21字。序跋,虞集「中原音韻序」、周德清「中原音韻起例」。四庫總目卷一百九十九。「其他」一、欽定四庫全書模本。二、西安田東陽より北京正金銀行小實先生宛郵便袋入。
- 159 中原音韻二卷 鈔本 元周德清撰 明文璧增註 二册
原題,「中原音韻 高安周德清編輯 吳興王文璧增註 古吳葉以鑿較正」。9行18字。序跋,「中原音韻序」。「其他」一、外題「重訂中原音韻」。二、封面「度曲須知 諸名家定本 重訂中原音韻 九思堂藏板」。
- 160 音論三卷 清顧炎武撰
原題,「音論」。匡郭, 19.9×13.7 8行12字。左右雙邊。白口。四庫總目卷四十二。「其他」音學五書(別掲經180)所收本。
- 161 唐韻正二十卷 清顧炎武撰
原題,「唐韻正」。匡郭, 20.1×13.8 8行。左右雙邊。白口。四庫總目卷四十二。「其他」音學五書(別掲經180)所收本。
- 162 古音表二卷 清顧炎武撰
原題,「古音表」。匡郭, 20.1×13.8 左右雙邊。白口。四庫總目卷四十二。「其他」音學五書(別掲經180)所收本。
- 163 音學五書 清顧炎武撰 十六册二帙
經11音論三卷・經11詩本音十卷・經11易音三卷以上七册。經11唐韻正二十卷・經11古音表二卷以上九册。
康熙刊本。印記,「炳卿審定善本」「平原」「沙山義體乾藏」「上津野内藤氏」。序跋,曹學佺「顧氏音學五書跋」(崇禎十六年・一六四三)、顧炎武「音學五書跋」、顧炎武後序、顧炎武「音學五書後跋」、顧炎武「音學五書跋」,「其他」一、封面「亭林先生著 顧氏音學五書 一音論 二詩本音 三易音 四唐韻正 五古音表 符山堂藏板」。二、卷內刻「姓氏 東吳顧炎武亭林著 明徐乾學健菴秉義果亭元文立齋參閱 後學張昭力臣較訂 男叶增吐篋同書」。三、匡郭等各書に分記す。

- 164 五方元音二卷 清樊騰鳳原本 清年希堯增補 二册一帙
 原題,「五方元音 堯山凌虛樊騰鳳原本 廣寧年希堯允恭增補」。匡郭, 188×124 9行20字。左右雙邊。白口。序跋,年希堯「五方元音序」(康熙四十九年・一七二〇)。湖南識語,「丙午(明治三十九年・一九〇六)七月,在韓京購。炳卿」(帙背)。四庫總目卷四十四存目。〔其他〕封面「音韻正訛附 同文堂藏板 五方元音 汪駒卿題」。
- 165 康熙字典子史館新刊古今通韻十二卷首一卷 清毛奇齡撰 八册一帙
 原題,「康熙字典子史館新刊古今通韻 翰林院檢討臣毛奇齡撰本」。康熙二十三年(一六八四)刊本。匡郭, 194×135 10行20字。四周單邊。白口。序跋,王熙等序,明珠等序,緣起,毛奇齡表(康熙二十四年・一六八五)、毛奇齡疏(康熙二十四年)。四庫總目卷四十二「古今通韻十二卷」〔其他〕一、封面「史館定本 西河毛先生撰 古今通韻 學聚堂藏板」。二、首卷內容,「序」「緣起」「表」「疏」「圖」「韻表」「古韻目」「韻目」「論例」。
- 166 古今韻略五卷例言一卷 清邵長蘅撰 五册一帙
 原題,「古今韻略 商丘宋牧仲先生闕定 毗陵邵長蘅子湘纂 商丘宋至山言校」。康熙刊本。匡郭, 201×138 9行,注文雙行28字。四周單邊。黑口。印記,二種。序跋,宋榮「古今韻略敘」(康熙三十五年・一六九〇)。〔其他〕一、封面「宋漫堂先生闕定 毗陵邵子湘纂 古今韻略」。二、附屬物,箋一葉。
- 167 類音八卷 清潘耒撰 八册一夾板
 原題,「類音」。雍正刊本。匡郭, 204×142 11行22字。左右雙邊。白口。刻工名。印記,「小萬卷齋藏本」「至孝」。四庫總目卷四十四存目。
- 168 官韻異同質疑五卷 鈔本 東屏甫輯 二册
 原題,「官韻異同質疑 長白豫山東屏甫輯」。匡郭, 195×120 8行。四周單邊。白口。湖南識語,「共貳本。戊申(明治四十一年・一九〇八)四月,廣池千九郎君游清國歸時持贈。炳卿」〔其他〕一、表紙「辛未秋七月既望 東屏手輯」。二、朱絲欄。三、毛裝。
- 169 音韻闡微十八卷 清康熙五十四年敦撰 十册一帙
 原題,「音韻闡微」。雍正刊本。匡郭, 201×137 8行,注文雙行24字。四周雙邊。白口。序跋,「御製音韻闡微序」(雍正四年・一七二〇)、「職名」(雍正六年・一七二八)。湖南識語,「音韻闡微十本。壬寅(明治三十五年・一九〇二)十一月在天津購。炳卿」(帙背)。四庫總目卷四十二「欽定音韻闡微十八卷」。
- 170 古韻標準六卷 鈔本 清江永撰 六册一帙
 原題,「古韻標準 務源江永慎修編」。9行23字。印記,「讀杜草堂」。序跋,「古韻標準例言」。四庫總目卷四十二「古韻標準四卷」〔其他〕校訂・書入あり。
- 171 聲韻攷四卷 清戴震撰
 原題,「聲韻攷 休寧戴震撰」。〔其他〕一、卷四末刻「乾隆己亥小除夕前重刊」。二、戴氏遺書(別掲叢書)所收本。
- 172 聲類表九卷首一卷 清戴震撰
 原題,「聲類表」〔其他〕卷二末刻「乾隆四十二年夏六月筭於京師之壽雲移」。二、戴氏遺書(別掲叢書)所收本。
- 173 六書音均表五卷 清段玉裁撰
 說文解字注十五卷(別掲經說)に附す。
- 174 先秦韻讀不分卷 清江有誥撰
 原題,「先秦韻讀」。嘉慶二十五年(一八二〇)刊本。〔其他〕一、封面「歙江有誥音三學 先秦韻讀 嘉慶庚辰開雕」。二、江氏音學十書(別掲經說)所收本。
- 175 唐韵四聲正一卷 清江有誥撰
 原題,「唐韵四聲正」。道光七年(一八二七)刊本。〔其他〕一、封面「歙江有誥音三學 唐韵四聲正 道光丁亥開雕」。二、江氏音學

十書(別掲經筋)所收本。

176 二十一部諧聲表一卷 清江有誥撰

原題、「廿一部諧聲表」。道光十一年(一八三一)刊本。〔其他〕一、封面「歙江有誥管三學 諧聲表 道光辛卯年開雕」。二、江氏音學十書(別掲經筋)所收本。

177 入聲表一卷 清江有誥撰

原題、「入聲表」。道光十二年(一八三二)刊本。〔其他〕一、封面「歙江有誥管三學 入聲表 道光辛卯年開雕」。二、江氏音學十書(別掲經筋)所收本。

178 等韻叢說一卷 清江有誥撰

原題、「等韻叢說」。道光十一年(一八三一)刊本。〔其他〕一、封面「歙江有誥管三學 等韻叢說 道光辛卯開雕」。二、江氏音學十書(別掲經筋)所收本。

179 江氏音學十書 清江有誥撰 四冊

經40詩經韻讀四卷一冊。經111羣經韻讀卷・集・楚辭韻讀一卷・集・宋賦韻讀一卷以上一冊。經110先秦韻讀不分卷一冊。經115唐韻四聲正一卷・經116廿一部諧聲表一卷・經117入聲表一卷・經118等韻叢說一卷以上一冊。

嘉慶道光開刊本。匡郭, 17.6 x 12.3, 10行21字。左右雙邊。白口。印記, 「炳卿審定善本」「江都薛氏藏書」「江都薛氏收藏」等七種。湖南藏語, 「丙寅(昭和元年・一九一三)十月, 金頌清託郭壽臣持贈。炳卿。〔其他〕一、「詩經韻讀」は10行20字。二、書入あり。三、附屬物、封筒一通。

180 澤存堂五種 清張士俊輯 八冊一帙

經155廣韻五卷二冊。經114大廣益會玉篇三十卷三冊。經116佩觿三卷一冊。經151字鑑五卷一冊。經110羣經音辨七卷一冊。

康熙刊本。印記, 「炳卿審定善本」「一六洲海」「上津野内藤氏」等五種。〔其他〕匡郭等各書に分記す。

181 至元譯語考證 鈔本 一冊

6行。〔其他〕一、湖南自筆鈔本。三省堂書店用原稿用紙等二種の用紙五十六葉を用いて筆寫されている。二、毛裝。

史部

一 正史類

1 十七史 一百五十六册十八帙
史? 史記一百三十卷十六册。史? 漢書一百二十卷二十册。史? 宋書一百卷十六册。史? 南齊書五十九卷五册。史? 梁書五十六卷八册。史? 陳書三十六卷三册。史? 魏書一百十四卷二十册。史? 北齊書五十卷四册。史? 周書五十卷五册。史? 隋書八十五卷十六册。史? 唐書二百二十五卷三十八册。史? 五代史七十四卷五册。
崇禎順治開琴川毛氏汲古閣刊本。印記, 三種。序跋, 「重鐫十三經十七史緣起」。〔其他〕一、匡郭等各書に分記す。二、附屬物、十七史序の鈔寫二十二葉。

2 史記一百三十卷 漢司馬遷撰 劉宋裴駟集解
原題, 「史記」。崇禎十四年(一六四二)刊本。匡郭, 21.5×14.7 12行25字。左右雙邊。白口。「汲古閣毛氏正本」。序跋, 裴駟「史記集解序」。四庫總目卷四十五。〔其他〕一、第一册第一葉に、「皇明崇禎十有四年歲在昭陽大荒駱陬月上日琴川毛氏開雕」と刻す。二、卷頭・卷末刻「琴川毛鳳苞氏審定宋本」。三、十七史(別掲史)所收本。

3 史記一百三十卷 漢司馬遷撰 劉宋裴駟集解 唐司馬貞索隱 唐張守節正義 二十册
原題, 「史記」。同治刊本。匡郭, 19.0×13.0 11行22字。四周雙邊。黑口。印記, 「湖南秘板」「黑頭尊者」。序跋, 司馬貞「史記索隱序」, 「史記索隱後序」, 張守節「史記正義論例」, 裴駟「史記集解序」。四庫總目卷四十五。〔其他〕一、封面「史記集解索隱正義合刻本」。「同治五年首夏金陵書局校榮九年仲春畢工」。二、校語あり。

4 史記一百三十卷 漢司馬遷撰 劉宋裴駟集解 唐司馬貞索隱 唐張守節正義 二十册四帙
原題, 「史記」。同治刊本。匡郭, 18.7×13.0 11行22字。四周雙邊。黑口。序跋, 司馬貞「史記索隱序」, 「史記索隱後序」, 張守節「史記正義論例」, 裴駟「史記集解序」。四庫總目卷四十五。〔其他〕一、封面「史記正義論例」, 裴駟「史記集解序」。四庫總目卷四十五。〔其他〕一、封面「史記集解索隱正義合刻本」。「同治五年首夏金陵書局校榮九年仲春畢工」。二、伯建付箋「金陵書局本史記」。

5 史記一百三十卷 漢司馬遷撰 明陳仁錫評 二十四册二帙
原題, 「史記 漢掌大官太子令龍門司馬遷撰 皇明翰林院日講官長洲陳仁錫評」。明刊本。匡郭, 24.4×13.7 10行20字。左右雙邊。白口。印記, 「白岑閑印」「虹村」「白岑」「天下之志」等六種。序跋, 陳仁錫「史記序」(崇禎元年・一六二八)、裴駟「史記集解序」, 司馬貞「史記索隱序」, 「史記索隱後序」, 「補史記序」, 張守節「史記正義序」(開元二十四年・七三六)。〔其他〕一、補鈔あり。二、欄外刻あり。

6 史記一百三十卷方望溪平點史記四卷 漢司馬遷撰 明歸有光評點 方望溪平點史記清方苞撰 二十册四帙
原題, 「史記」。光緒二年(一八七六)刊本。匡郭, 15.6×10.8 11行20字。四周雙邊。黑口。印記, 「湖南秘板」。序跋, 張裕釗後序。〔其他〕封面「歸震川評點本 史記 方望溪評點附後」。「光緒二年正月武昌張氏校刊」。「方望溪平點史記四卷」原題, 「方望溪平點史記」。〔其他〕外題「史記評點」。

7 前漢書一百卷 漢班固撰 唐顏師古注 二十册
原題, 「前漢書 漢蘭臺令史班固撰 唐正議大夫行秘書少監琅邪縣開國子顏師古注 大明南京國子監祭酒臣張邦晉司業臣江汝璧奉旨校刊」。明刊本。匡郭, 24.4×14.4 10行21字。四周雙邊。白口。印記, 「綠靜堂圖書章」「增島氏圖書記」等五種。序跋, 顏師古「新刊前漢書敘例」。四庫總目卷四十五「漢書一百二十卷」。〔其他〕一、外題「漢書」。二、校訂・書入あり。三、補刻・補鈔あり。四、補刻部版心「嘉靖九年刊」「萬曆十年刊」「萬曆二十六年刊」「崇禎三年春」等。五、遞修本。

8 漢書一百二十卷 漢班固撰 唐顏師古注
原題, 「漢書 正議大夫行秘書少監琅邪縣開國子顏師古注」。崇禎十五年(一六四二)刊本。21.5×14.7 12行25字。左右雙邊。白口。「汲古閣毛氏正本」。四庫總目卷四十五。〔其他〕一、帙外題「十七史前漢書」二、第一册第一葉に「皇明崇禎十有五年歲在橫文敦牂

如月初吉琴川毛氏開雕」と刻す。三、卷末刻「琴川毛鳳苞氏審定宋本」。四、十七史(別掲史一)所收本。

9 後漢書九十卷附續漢志三十卷

劉宋范曄撰 唐韋懷太子李賢注 續志晉司馬彪撰 梁劉昭注 二十冊

原題,「後漢書 宋宣城太守范曄撰 唐韋懷太子賢註 大明南京國子監祭酒黃儒炳司業葉燦修」。明刊本。匡郭, 217×144 10行21字。四周雙邊。白口。印記,「陽明藏」等二種。序跋,黃儒炳「重修後漢書題辭」(天啓三年・一六三三)、葉燦「重修後漢書小敘」(天啓三年)、「後漢序」。四庫總目卷四十五「後漢書一百二十卷」。「其他」一、補刻あり。二、補刻部版心「萬曆十年刊」「天啓二年刊」「崇禎三年刊」「順治十五年刊」「康熙三十九年刊」等。三、遞修本。

10 續漢志三十卷

晉司馬彪撰 梁劉昭注

後漢書三十卷(別掲史一)に附す。

11 宋書一百卷

梁沈約撰

原題,「宋書」。崇禎七年(一六三四)刊本。匡郭, 214×147 12行25字。左右雙邊。白口。「汲古閣毛氏正本」。四庫總目卷四十五。「其他」一、帙外題「十七史宋書」。二、第一冊第一葉に「皇明崇禎七年歲在閏逢蘭茂餘月八日琴川毛氏開雕」と刻す。三、卷頭・卷末刻「琴川毛鳳苞審定宋本」。四、校訂あり。五、十七史(別掲史一)所收本。

12 南齊書五十九卷

梁蕭子顯撰

原題,「南齊書」。崇禎十年(一六三七)刊本。匡郭, 213×147 12行25字。左右雙邊。白口。「汲古閣毛氏正本」。序跋,臣恂等序。四庫總目卷四十五。「其他」一、帙外題「十七史南齊書」。二、第一冊第三葉に「皇明崇禎十年歲在強圉赤奮若陽月望日琴川毛氏開雕」と刻す。三、卷頭・卷末刻「琴川毛鳳苞氏審定宋本」。四、校訂あり。五、十七史(別掲史一)所收本。

13 梁書五十六卷

唐姚思廉奉敕撰

原題,「梁書」。崇禎六年(一六三三)刊本。匡郭, 209×146 12行25字。左右雙邊。白口。「汲古閣毛氏正本」。四庫總目卷四十五。「其他」一、帙外題「十七史梁書」。二、第一冊第一葉に「皇明崇禎六年歲在昭陽作噩涂月望日琴川毛氏開雕」と刻す。三、卷頭・卷末刻「琴川毛鳳苞氏審定宋本」。四、十七史(別掲史一)所收本。

14 陳書三十六卷

唐姚思廉奉敕撰

原題,「陳書」。崇禎四年(一六三二)刊本。匡郭, 215×147 12行25字。左右雙邊。白口。「汲古閣毛氏正本」。序跋,臣恂等序。四庫總目卷四十五。「其他」一、帙外題「十七史陳書」。二、第一冊第一葉に「皇明崇禎四年歲在重光協洽相月七夕琴川毛氏開雕」と刻す。三、卷頭・卷末刻「琴川毛鳳苞氏審定宋本」。四、十七史(別掲史一)所收本。

15 魏書一百十四卷

北齊魏收奉敕撰

原題,「魏書」。崇禎九年(一六三六)刊本。匡郭, 214×147 12行25字。左右雙邊。白口。「汲古閣毛氏正本」。序跋,臣攸等序。四庫總目卷四十五。「其他」一、帙外題「十七史魏書」。二、第一冊第一葉に「皇明崇禎九年歲在柔兆困敦舉月端午琴川毛氏開雕」と刻す。三、卷頭・卷末刻「琴川毛鳳苞氏審定宋本」。四、十七史(別掲史一)所收本。

16 北齊書五十卷

唐李百藥奉敕撰

原題,「北齊書」。崇禎十一年(一六三八)刊本。匡郭, 212×147 12行25字。左右雙邊。白口。「汲古閣毛氏正本」。四庫總目卷四十五。「其他」一、帙外題「十七史北齊書」。二、第一冊第一葉に「皇明崇禎十一年歲在著雍攝提格夏五日琴川毛氏開雕」と刻す。三、卷頭・卷末刻「琴川毛鳳苞氏審定宋本」。四、十七史(別掲史一)所收本。

17 周書五十卷

唐令狐德棻等奉敕撰

原題,「周書」。崇禎五年(一六三二)刊本。匡郭, 211×147 12行25字。左右雙邊。白口。「汲古閣毛氏正本」。序跋,臣彞等序。四庫總目卷四十五。「其他」一、帙外題「十七史周書」。二、第一冊第一葉に「皇明崇禎五年歲在玄默涒灘寧月冬至琴川毛氏開雕」と刻す。三、卷頭・卷末刻「琴川毛鳳苞氏審定宋本」。四、十七史(別掲史一)所收本。

- 18 隋書八十五卷 唐魏徵長孫無忌等奉敕撰
 原題,「隋書 特進臣魏徵上」。崇禎八年(一六三五)刊本。匡郭,213×144 12行25字。左右雙邊。白口。「汲古閣毛氏正本」。四庫總目卷四十五。〔其他〕一、帙外題「十七史隋書」。二、第一冊第一葉に「皇明崇禎八年歲在旃蒙大淵獻狀月中秋琴川毛氏開雕」と刻す。三、卷頭・卷末刻「琴川毛鳳苞氏審定宋本」。四、十七史(別掲史一)所收本。
- 19 南史八十卷 唐李延壽撰 二十冊
 原題,「南史 李延壽撰」。萬曆三十一年(一六〇三)北京國子監刊本。匡郭,232×142 10行21字。四周雙邊。白口。印記,「炳卿審定善本」。「篁菴氏」。四庫總目卷四十六。〔其他〕一、原裝保存。二、展觀目錄三頁參照。
- 20 北史一百卷 唐李延壽撰 三十冊
 原題,「北史 李延壽撰」。萬曆二十六年(一五九八)北京國子監刊本。匡郭,217×142 10行21字。左右雙邊。白口。印記,「炳卿審定善本」。「篁菴氏」。四庫總目卷四十六。〔其他〕一、原裝保存。二、展觀目錄三頁參照。
- 21 唐書一百五十卷 後晉劉昫等奉敕撰 二十一冊
 原題,「唐書 劉昫等修 聞人詮校刻沈桐同校」。匡郭,212×143 14行26字。左右雙邊。白口。印記,「永順寺印」「耳爾子孫」「小野節家藏書」等四種。四庫總目卷四十六。〔其他〕一、存卷、列傳卷より卷一百五十。二、列傳卷一百四十四より卷一百五十補鈔。三、書入あり。
- 22 唐書二百二十五卷 宋歐陽脩宋祁等奉敕撰
 原題,「唐書」。崇禎二年(一六二九)刊本。匡郭,213×147 12行25字。左右雙邊。白口。「汲古閣毛氏正本」。序跋,曾公亮「進新唐書表」(嘉祐五年・一〇六〇)。四庫總目卷四十六「新唐書二百二十五卷」。〔其他〕一、帙外題「十七史唐書」。二、第一冊第三葉に「皇明崇禎二年歲在屠維大荒落臘月上日琴川毛氏開雕」と刻す。三、卷頭・卷末刻「琴川毛鳳苞審定宋本」。四、校訂あり。五、十七史(別掲史一)所收本。
- 23 五代史七十四卷 宋歐陽脩撰 宋徐無黨注
 原題,「五代史 徐無黨注」。崇禎三年(一六三〇)刊本。匡郭,212×147 12行25字。左右雙邊。白口。「汲古閣毛氏正本」。序跋,陳師錫「五代史記序」。四庫總目卷四十六「新五代史記七十五卷」。〔其他〕一、帙外題「十七史五代史」。二、第一冊第一葉に「皇明崇禎三年歲在尚章敦牂且望日琴川毛氏開雕」と刻す。三、卷頭・卷末刻「琴川毛鳳苞審定宋本」。四、十七史(別掲史一)所收本。
- 24 宋史四百九十一卷 元脫脫等奉敕撰 一百冊
 原題,「宋史 開府儀同三司上柱國錄軍國重事前中書右丞相監修國史領經筵事都總裁臣脫脫等奉勅修」。明刊本。匡郭,204×141 10行20字。四周雙邊。白口。序跋,「朱刊宋史序」(成化十六年一四八〇)。四庫總目卷四十六。〔其他〕一、存卷、卷一より卷二百九十八。卷三百四より卷四百九十六。二、補刻・補鈔あり。三、補刻部版心「嘉靖丙辰年」「嘉靖丁巳年」「萬曆六年刊」「萬曆二十八年刊」「萬曆三十五年刊」「萬曆三十八年刊」「萬曆四十五年刊」「崇禎十三年補」等。四、遞修本。
- 25 宋史五卷 鈔本 元脫脫等奉敕撰 二冊
 原題,「宋史 開府儀同三司上柱國錄軍國重事前中書右丞相監修國史領經筵事都總裁臣脫脫等奉勅修」。10行20字。四庫總目卷四十六。〔其他〕一、存卷、列傳卷五十八より卷六十一。二、毛裝。
- 26 元史二百十卷 明王禕宋濂等奉敕撰 四十五冊
 原題,「元史 翰林學士亞史大夫知制誥兼修國史臣宋濂翰林待制承直郎兼國史院編修官臣王禕等奉勅修」。洪武三年(一三七〇)刊本。匡郭,25.5×16.1 10行20字。四周雙邊。黑口。刻工名。印記,一種。四庫總目卷四十六。〔其他〕一、補刻・補鈔・校訂あり。二、補刻部版心「嘉靖十年刊」「萬曆三十七年刊」「天啓三年刊」「崇禎三年刊」「康熙二十九年刊」等。三、遞修本。四、展觀目錄八頁參照。
- 27 元史二百十卷 明王禕宋濂等奉敕撰 五十冊
 原題,「元史 皇明翰林學士亞中大夫知制誥兼修國史臣宋濂翰林待制承直郎同知制誥兼國史院編修官臣王禕等奉勅修 朝議大夫國子監祭酒臣楊道賓奉訓大夫右春坊右諭德管國子監司業事臣蕭雲舉等奉勅重校刊」。萬曆三十年(一六〇二)刊本。匡郭,232×141 10行21字。左右雙邊。白口。「萬曆三十年刊」。序跋,李善長「進元史表」(洪武二年・一三六九)。「纂脩元史凡例」,宋濂記(洪武二年)。

湖南識語，「共五十本。壬寅（明治三十五年・一九〇二）十二月，在杭州購。彭卿」。四庫總目卷四十六。

28 明史三百三十二卷 清張廷玉等奉敕撰 八十冊八夾板

原題，「明史 總裁官總理事務經筵講官少保兼太子太保保和殿大學士兼管吏部戶部尚書事加六級張廷玉等奉敕修」。乾隆刊本。匡郭，21.3×14.2 10行21字。左右雙邊。白口。印記，「長崎海關管史掄明」「內山氏故吾齋圖書記」等四種。湖南識語，「卯四共八帙十冊」（夾板）。四庫總目卷四十六「明史三百三十六卷」。

29 史記索隱三十卷 唐司馬貞撰 四冊一帙

原題，「史記索隱 小司馬氏撰」。明刊本。匡郭，21.6×14.8 14行27字。左右雙邊。白口。「汲古閣毛氏正本」。印記，「湖南祕板」「炳卿審定善本」等三種。序跋，斐駟「史記集解序」，毛晉跋。「其他」一、外題「毛本史記索隱」。二、卷頭刻「琴川毛鳳苞氏審定宋本」。三、書入あり。

30 史記評林一百二十七卷首一卷 明凌稚隆輯校 明李光縉增補 二十九冊

原題，「史記評林 吳興凌稚隆輯校 溫陵李光縉增補」。明刊本。匡郭，22.0×14.1 10行19字。左右雙邊。白口。印記，「伊木氏圖書記」「寺田」等三種。序跋，黃洪憲「敍李生增補史記評林」，王世貞「史記評林敍」，茅坤「刻史記評林序」（萬曆四年・一五七〇），徐中行「史記評林序」（萬曆五年・一五七七）。「其他」一、存卷，卷一より卷十八，卷二十二より卷一百三十。二、卷一百三十末刻「宏遠堂熊氏增補續梓行」。三、書入あり。四、首卷內容，「史記索隱序」「史記索隱後序」「補史記序」「史記正義序」「史記集解敍」「史記正義論例」「史記正義論法解」「史記正義列國分野」「三皇五帝譜系圖」「五帝國都地理圖」「史記評林凡例」「史記評林姓氏」「史記評林引用書目」「讀史總評」「短長說」「史記評林目錄」「三皇本紀」。

31 史記評林四卷 明凌稚隆輯校 明李光縉增補 一冊

原題，「史記評林 吳興凌稚隆輯校 溫陵李光縉增補」。明刊本。匡郭，23.1×33.7 10行19字。左右雙邊。白口。印記，「成澤氏藏書」。「其他」存卷，卷十九より卷二十二。

32 陳明卿史記考一百三十卷 和刻本 明陳仁錫撰 五冊

原題，「陳明卿史記考」（外題）。寛文十二年（一六七二）刊本。匡郭，22.9×16.4 12行19字。四周單邊。黑口。「寛文壬子年刊」「八尾友春」。印記，「炳卿審定善本」「上津野内藤氏」。湖南識語，「共五本。戊申（明治四十一年・一九〇八）正月在名古屋其中堂購。炳卿」。「其他」卷末刻「享保貳丁酉霜月吉日 京堀川通本國寺前 金屋半右衛門來板」。

33 方望溪平點史記四卷 清方苞撰

史記一百三十卷（別掲史6）に附す。

34 史記志義三十六卷 清梁玉繩撰 十冊一帙

原題，「史記志疑 梁玉繩」。乾隆刊本。匡郭，18.8×12.8 12行24字。左右雙邊。白口。印記，「賜硯堂圖書記」「慧海樓藏書印」「復廬藏書」「竹南藏書」「子清授藏祕籍」「映山」「奎臺之印」「仁和朱氏」。序跋，錢大昕序（乾隆五十二年・一七八七），梁玉繩自序（乾隆四十八年・一七八三）。「其他」帙外題「史記志疑原刻本」。

35 十七史商榷一百卷 清王鳴盛撰 二十四冊二帙

原題，「十七史商榷 東吳王鳴盛述」。乾隆五十二年（一七八七）刊本。匡郭，17.9×12.7 10行20字。四周雙邊。白口。印記，「玉巖」等二種。序跋，王鳴盛「十七史商榷序」。「其他」封面「乾隆丁未新鐫 東吳王氏述 十七史商榷洞涇草堂藏版」。

36 明史擬纂六卷 清尤侗纂 二冊

原題，「明史擬纂 史官尤侗纂」。康熙刊本。匡郭，17.3×13.0 10行21字。左右雙邊。白口。序跋，尤侗序（康熙三十年・一六九二）。「其他」外題「西堂總集 明史擬纂」。

37 新刻明卿陳太史校正古本歷史大方通鑑二十一卷 明陳仁錫校正 十三冊

原題,「新刻明卿陳太史校正古本歷史大方通鑑 明卿陳仁錫校正石齋黃道周全校 君召余應詔刊行」。明刊本。匡郭, 28.0×13.6 11行 24字。四周雙邊。白口。〔其他〕外題「陳仁錫批評資治通鑑」(下半闕損)。

38 大事記一卷 宋呂祖謙撰

原題,「大事記 宋呂祖謙」。四庫總目卷四十七「大事記十二卷通釋三卷解題十二卷」。〔其他〕重較說郭寫第五十五(別揭叢一)所收本。

39 大事記十二卷通釋三卷解題十二卷 宋呂祖謙撰 十六冊二帙

原題,「大事記 宋東萊呂祖謙伯恭撰」。匡郭, 18.0×13.0 8行21字。左右雙邊。白口。印記,「河野文庫」「三双堂書畫記」。序跋, 呂祖謙「大事記原序」(淳熙七年・一一八〇)、紀昀等「欽定四庫全書大事記提要」(乾隆五十一年・一七八〇)。四庫總目卷四十七。〔其他〕封面「武英殿聚珍版校訂宋本無誤 呂東萊大事記」。

〔大事記通釋三卷〕原題,「大事記通釋 宋東萊呂祖謙伯恭撰」。

〔大事記解題十二卷〕原題,「大事記解題 宋東萊呂祖謙伯恭撰」。

40 大事記通釋三卷 宋呂祖謙撰

大事記十二卷(別揭史39)に附す。

41 大事記解題十二卷 宋呂祖謙撰

大事記十二卷(別揭史39)に附す。

42 續資治通鑑綱目二卷 明商輅等奉敕撰 一冊

原題,「續資治通鑑綱目」。匡郭, 26.1×16.3 8行18字。四周雙邊。黑口。印記,「表章經史之寶」等二種。〔其他〕存卷, 卷五・卷六。

43 大唐創業起居注三卷 唐溫大雅撰

原題,「大唐創業起居注 唐溫大雅」。四庫總目卷四十七。〔其他〕重較說郭寫第四十二(別揭叢一)所收本。

44 乾淳起居注一卷 宋周密撰

原題,「乾淳起居注」(版心)。〔其他〕一、第一葉表,印刷不良のため卷頭書名不明。二、重較說郭寫第四十二(別揭叢一)所收本。

45 皇明通紀十卷續紀三卷 明陳建撰著 續紀明卜大有纂述 十一冊

原題,「新鐫官板音釋標題皇明通紀 粵濱逸史清瀾鈞史臣東莞陳建撰著 金陵摘星樓繡梓」。萬曆刊本。匡郭, 22.0×13.7 12行25字。四周雙邊。白口。湖南識語,「共十一本。丁未(明治四十年・一九〇七)十一月,在東京購。炳卿」。〔其他〕一、封面「官板資治皇明通紀 金陵摘星樓梓行」。二、刊記「旨皇明萬曆新春廣東東莞臣陳建著刊」。

〔皇明續紀三卷〕原題,「皇明續紀 秀水卜大有纂述 卜六典校正」。匡郭, 21.6×13.7 12行25字。四周雙邊・左右雙邊・四周單邊混在。白口・黑口混在。

46 皇明通紀述遺十二卷皇明續紀三卷 明卜世昌等校訂 續紀明卜大有纂述 六冊一帙

原題,「皇明通紀述遺 繡水卜世昌校訂」。明刊本。匡郭, 20.5×13.7 10行21字。四周單邊。白口。序跋,馮夢禎「皇明通紀述遺序」(萬曆三十三年・一六〇五)。湖南識語,「乙巳(明治三十八年・一九〇五)十二月,在燕都購。炳卿」(映背)。四庫總目卷四十八行目「明通紀述遺十二卷」。〔其他〕卷三・六・七・十一卷頭「繡水屠衡校訂」とあり。

〔皇明續紀三卷〕原題,「皇明續紀 秀水卜大有纂述 卜六典校正」。

47 皇明續紀三卷 明卜大有纂述

皇明通紀十卷(別揭史46)に附す。

48 皇明續紀三卷 明卜大有纂述

皇明通紀述遺十二卷(別揭史46)に附す。

49 皇明典要八卷 明陳建輯著 十册

原題，「皇明典要 東莞陳建輯著 眞州李春培 古信王册宗參訂 書林王涇督梓」。明刊本。匡郭，20.9×13.5 8行18字。四周單邊。白口。印記，「富川文庫」「立習書庫」。〔其他〕卷三以下の卷頭書名は「皇明紀要」。

50 昭代典則二十八卷 明黃光昇撰 二十册

原題，「昭代典則 賜進士太子少保刑部尚書晉江黃光昇編輯 吳郡陸獅之校閱 金陵周日校刊行」。明刊本。匡郭，22.0×12.8 11行22字。四周單邊。白口。印記，四種。序跋，豫章祝「昭代典則序」（萬曆二十八年・一六〇〇）。四庫總目卷四十八存目。

三 紀事本末類

51 元史紀事本末四卷 明陳邦瞻撰 四册一帙

原題，「元史紀事本末 高安陳邦瞻編 吳興臧懋循補 句吳徐申豫章劉日梧校」。明刊本。匡郭，21.1×14.4 11行22字。四周單邊。白口。序跋，徐申「元史紀事本末跋」（萬曆三十四年・一六〇六）。陳邦瞻「元史紀事本末序」（萬曆三十四年）。四庫總目卷四十九。

52 三朝遼事實錄十七卷 鈔本 明王在晉撰 十七册二帙

原題，「三朝遼事實錄 黎陽王在晉明初父編 男會茲釋菟父較閱」。10行20字。序跋，王會茲「三朝遼事實錄跋」（崇禎十二年・一六三九）。

53 明朝紀事本末八十卷 清谷應泰撰 十册二帙

原題，「□□紀事本末 提督浙江學政會事豐潤谷應泰編著 男際科際第訂。順治刊本。匡郭，17.8×13.0 9行20字。左右雙邊。白口。印記，「文公十九世孫弘曜印」等二種。序跋，傅以漸序（順治十五年・一六五八）。四庫總目卷四十九「明史紀事本末八十卷」。〔其他〕一、伯健付箋「明朝紀事本末」。二、書入あり。

54 大義覺迷錄四卷 清雍正中敷撰 四册一帙

原題，「大義覺迷錄」（版心）。雍正刊本。匡郭，19.2×13.4 8行17字。四周雙邊。白口。

55 皇朝武功紀盛四卷 清趙翼撰

原題，「皇朝武功紀盛 陽湖趙翼撰」。匡郭，17.6×13.0 11行21字。左右雙邊。白口。印記，「藤虎」「字炳卿」。序跋，盧文昭「皇朝武功紀盛序」（乾隆五十七年・一七九二）。趙翼「皇朝武功紀盛序」（乾隆五十七年）。〔其他〕一、封面「皇朝武功紀盛 湛貽堂藏板」。二、明清紀略三種彙編（別掲史部）所收本。

四 古 史 類

56 國語二十一卷 吳韋昭解 四册

原題，「國語 韋氏解」。明刊本。匡郭，19.8×14.0 10行20字。四周單邊。白口。印記，一種。序跋，韋昭「國語解敘」、董氏序（萬曆六年・一五七八）。四庫總目卷五十一。〔其他〕一、書入あり。二、伯健付箋「國語韋氏解（萬曆序刊本）」。

57 國語二十一卷札記一卷戰國策三十三卷札記三卷 吳韋昭解 札記清黃丕烈撰 戰國策漢高誘注 札記清黃丕烈撰 十册一帙

原題，「國語 韋氏解」。嘉慶五年（一八〇〇）刊本。匡郭，20.6×13.7 11行20字。左右雙邊。白口。印記，「炳卿審定善本」。序跋，錢大昕序（嘉慶五年・一八〇〇）、段玉裁「重刊明道二年國語序」（嘉慶五年）、「國語解敘」。四庫總目卷五十一。〔其他〕一、帙外題「士禮居仿宋國語國策」。二、封面「天聖明道本國語 嘉慶庚申讀未見書齋重雕」。三、刊記「嘉慶庚申吳門黃氏讀未見書齋開彫同邑李福書」。四、卷末刻「天聖七年七月二十日開印 江陰軍鄉貢進士葛惟肖再刊正 鎮東軍權節度掌書記魏庭堅再註 明道二年四月初五日得真本凡刊正增戊」。

〔國語札記一卷〕序跋，黃丕烈「校刊明道本韋氏解國語札記」（嘉慶四年・一七九九）。

〔戰國策三十三卷〕原題，「戰國策高誘注」。嘉慶八年（一八〇三）刊本。匡郭，22.2×14.4 11行20字。左右雙邊。白口。刻工名。

序跋、錢大昕序、「曾子固序」、「李文叔書戰國策後」、「王覺題戰國策」、「孫元忠書閣本戰國策後」(元祐八年・一〇九三)、「孫元忠記劉原父語、姚宏伯跋」(紹興十六年・一一四六)。四庫總目卷五十一「戰國策注三十三卷」。「其他」一、封面「剡川姚氏本戰國策 讀未見書齋重雕」。二、刊記「嘉慶癸亥秋吳門黃氏讀未見書齋影摹宋本重雕」。

〔戰國策札記三卷〕原題、「重刻剡川姚氏本戰國策札記」。匡郭, 222×144 11行20字。左右雙邊。白口。刻工名。序跋, 黃丕烈「重刻剡川姚氏本戰國策并札記序」(嘉慶八年・一八〇三)、顧廣圻「策後序」(嘉慶八年)。「其他」卷末刻「男玉堂校字」。

58 國語補音三卷 鈔本 宋宋庠撰 一冊

原題, 「補音」。9行20字。印記「弘前醫官澁江氏藏書記」。「津山氏所藏記」。序跋, 宋庠「國語補音跋錄」、趙伸「國語後序」(嘉靖五年・一五二六)。四庫總目卷五十一。「其他」一、外題「國語補音」。二、校訂・書入あり。

59 國語三君注輯存四卷 清汪遠孫撰

原題, 「國語三君注輯存 汪遠孫」。序跋, 汪遠孫「國語三君注輯存序」。「其他」國語校注本三種(別掲史記)所收本。

60 國語發正三十一卷 清汪遠孫撰

原題, 「國語發正 汪遠孫」。序跋, 汪遠孫「國語發正序」。「其他」國語校注本三種(別掲史記)所收本。

61 國語明道本攷異四卷 清汪遠孫撰

原題, 「國語明道本攷異 汪遠孫」。序跋, 汪遠孫「國語明道本攷異序」。「其他」一、外題「國語攷異」。二、國語校注本三種(別掲史記)所收本。

62 國語校注本三種 清汪遠孫撰 六冊一帙

史59 國語三君注輯存四卷一冊。史60 國語發正三十一卷四冊。史61 國語明道本攷異四卷一冊。

道光二十六年(一八四六)刊本。匡郭, 288×113 10行21字。左右雙邊。白口。印記, 「湖南祕極」。序跋, 陳象序(道光二十五年・一八四五) 湖南識語, 「丁未(明治四十年・一九〇七)六月。炳卿」(帙背)。「其他」一、帙外題「國語校注本三種」。二、封面「國語校注本三種 次問題之探題」。「道光丙午閏五月振綺堂汪氏刊藏」。

63 國語札記三卷 清黃丕烈撰

國語二十一卷(別掲史記)に附す。

64 戰國策三十三卷 漢高誘注

國語二十一卷(別掲史記)に附す。

65 戰國策札記三卷 清黃丕烈撰

國語二十一卷(別掲史記)に附す。

66 山海經十八卷 晉郭璞傳

水經注四十卷(別掲史記)に附す。

67 山海經十八卷附山海經五方山經章首山名題目不分卷 鈔本 晉郭璞傳 清畢沅校 附日本森約之撰 二冊

原題, 「山海經 晉記室參軍郭璞傳 兵部侍郎兼都察院右副都御史巡撫陝西西安等處地方管理軍務兼理糧餉欽賜一品頂帶畢沅新校正」。11行22字。印記, 「森氏」。序跋, 畢沅「山海經新校正序」(乾隆四十六年・一七八一)、「郭璞注山海經序」、孫星衍「山海經新校正後序」(乾隆四十八年・一七八三)。四庫總目卷一百四十二。「其他」一、外題「山海經校注」。二、封面「經訓堂書目」。三、卷內手寫「靈巖山館刊」。四、校語・書入あり。五、森約之識語あり。

〔山海經五方山經章首山名題目不分卷〕

68 山海經圖贊二卷 晉郭璞撰 清嚴可均輯

原題，「山海經圖贊」 晉郭璞撰 嚴程嚴可均集。序跋，嚴可均「山海經圖贊跋」(嘉慶二十一年・一八一六)、葉德輝跋。〔其他〕一、封面「山海經圖贊二卷」(光緒乙未春二月長沙葉氏郎園刊)。二、觀古堂彙刻書第一集(別揭叢一)所收本。

69 山海經釋義十八卷圖一卷 明王崇慶釋義 四冊一帙

原題，「山海經釋義」 晉河東郭璞景純父著傳 明澧州王崇慶德徵父釋義 董漢儒學舒父校訂。明刊本。匡郭，22.1×13.9 9行19字。四周單邊。白口。序跋，郭璞序(第一葉闕寸)、蔣一葵序、王崇慶「序山海經釋義」、董漢儒「重刻山海經釋義序」、劉秀序、趙維垣「山海經釋義跋」(萬曆四十七年・一六一九)。四庫總目卷一百四十四存目「山海經釋義十八卷圖二卷」。

〔山海經圖一卷〕

70 山海經圖一卷

山海經釋義(別揭史部)に附す。

71 山海經五方山經章首山名題目不分卷 日本森約之撰

山海經十八卷(別揭史部)に附す。

72 竹書紀年校補二卷 清趙祖暉撰 二冊一帙

原題，「竹書紀年」 涇川趙祖暉校補 男國楨校字。匡郭，19.7×13.4 10行22字。四周單邊。黑口。印記，「湖南祕板」。序跋，洪亮吉「校補竹書紀年跋」、「竹書原委」。四庫總目卷四十七「竹書紀年二卷」。〔其他〕一、外題「校補竹書紀年」。二、封面「校補竹書紀年」 古墨齋藏板。

73 晏子春秋八卷 四冊一帙

原題，「晏子春秋」。嘉慶二十一年(一八一六)刊本。匡郭，16.5×11.2 9行18字。四周雙邊。黑口。印記，「炳卿監藏」。序跋，吳

兩敘(嘉慶二十一年・一八一六年)、顧廣圻「重刻晏氏春秋後序」。〔其他〕一、帙外題「影元刻本晏氏春秋」。二、封面「晏子春秋八卷」 嘉慶丙子歲全椒吳氏刊。

74 吳越春秋六卷 漢趙曄撰 一冊

原題，「吳越春秋」 漢趙曄撰 明吳瑄校。明刊本。匡郭，20.1×13.0 10行20字。左右雙邊。白口。

75 三墳補逸二卷 明胡應麟撰

原題，「三墳補逸」 東越胡應麟撰。序跋，「三墳補逸引」。〔其他〕少室山房集少室山房叢書(別揭叢一)所收本。

五 別 史 類

76 重訂古史全本六十卷 宋蘇轍撰 九冊 一木箱

原題，「重訂古史全本」 宋眉山蘇轍著 明雲間陳子龍閱 明西陵吳弘基吳思穆全訂。明刊本。匡郭，18.7×11.5 8行20字。左右雙邊。白口。印記，「內史之章」、「溫陵張氏藏書」、「翰園藏書」等六種。序跋，「古史跋」、焦竑「跋古史」(萬曆四十年・一六一二)、孫如游「古史序」(萬曆四十年)、汪定國「古史跋」、張孔法「古史序」、吳弘基「跋古史」。四庫總目卷五十。〔其他〕欄外刻あり。

77 重訂路史全本前紀九卷後紀十四卷國名紀八卷發揮六卷餘論十卷 宋羅泌撰 子奉注 二十冊二帙

原題，「重訂路史全本」 廬陵羅泌撰 男奉註 雲間陳子龍閱 西湖全堡參 仁和吳弘基錢唐吳思穆仁和董聖麟全訂。明刊本。匡郭，18.5×11.3 8行20字。左右雙邊。白口。序跋，金堡敘、費輝「路史別序」(淳熙三年・一一七六)、羅泌「路史序」(乾道六年・一一七〇)。四庫總目卷五十「路史四十七卷」。〔其他〕一、帙外題「路史」。二、欄外刻あり。

〔重訂路史後紀十四卷〕序跋，羅泌「路史後紀小序」。

〔重訂路史國名紀八卷〕序跋，羅泌「路史國名紀小序」。

〔重訂路史發揮六卷〕
〔重訂路史餘論十卷〕

78 重訂路史後紀十四卷 宋羅泌撰 子莘注
重訂路史全本前紀九卷（別掲史行）に附す。

79 重訂路史國名紀八卷 宋羅泌撰 子莘注
重訂路史全本前紀九卷（別掲史行）に附す。

80 重訂路史發揮六卷 宋羅泌撰 子莘注
重訂路史全本前紀九卷（別掲史行）に附す。

81 重訂路史餘論十卷 宋羅泌撰 子莘注
重訂路史全本前紀九卷（別掲史行）に附す。

82 晉書六十六卷 清周濟撰 十冊一帙
原題，「晉書 荆溪周濟撰」。光緒二年（一八七六）刊本。匡郭，189×137，12行25字。左右雙邊。白口。印記，「湖南祕板」。序跋，包世臣序（道光二十三年・一八四三）、周濟「晉書序目」（道光十八年・一八三八）、潘樹辰跋（光緒三年・一八七七）、鮑源深跋（光緒二年・一八七六）、曹文煥跋（光緒三年）、周佐臣跋（光緒三年）。〔其他〕封面「道光己亥 晉略 江開題」「光緒二年丙子六月 味尚齋重刊」。

83 西魏書二十四卷 清謝啓昆撰 四冊一帙
原題，「西魏書 通議大夫浙江按察使司按察使加二級南康謝啓昆撰」。匡郭，188×131，11行23字。左右雙邊。白口。序跋，錢大昕序

（乾隆五十七年・一七九二）、姚鼐序（乾隆五十六年・一七九二）、翁方綱・畢沅「書二通」、謝啓昆「西魏書敘錄」、廷堪跋（乾隆五十七年）、胡虔跋（乾隆六十年・一七九五）。

84 脩史試筆二卷 清藍鼎元撰
原題，「脩史試筆 漳浦藍鼎元玉霖氏纂 衡山曠敏本魯之氏評」。〔其他〕一、外題「鹿洲五集 脩史試筆」。二、鹿洲全集（別掲叢刊）所收本。

85 隆平集二十卷 宋曾鞏撰 四冊一帙
原題，「隆平集 宋曾文定公編撰 南豐後學湯來實參 彭期訂 男立齊永袞亮章育校」。康熙刊本。匡郭，201×120，9行20字。左右雙邊。白口。印記，「湖南祕板」「趙氏種藝仙館藏書印」。序跋，趙伯衡「隆平集序」（紹興十二年・一一四二）、彭期「校刻隆平集序」（康熙四十年・一七〇二）、曾鴻麟「讀隆平集敘後」（康熙四十七年・一七〇八）。四庫總目卷五十。

86 契丹國志二十七卷首一卷 宋葉隆禮撰 二冊
原題，「契丹國志 宋葉隆禮撰」。匡郭，203×140，12行25字。左右雙邊。白口。「掃葉山房」。序跋，席世臣序、葉隆禮「進契丹國志表」（淳熙七年・一一八〇）。湖南識語，「契丹國志二本。壬寅（明治三十五年・一九〇二）十一月卅日在燕京琉璃廠購得。彭卿」。四庫總目卷五十「契丹國志二十七卷」。〔其他〕首卷內容，「圖」「契丹國九主年譜」「契丹國初興本末」。

87 契丹國志二十七卷 宋葉隆禮撰 四冊一夾板
原題，「契丹國志。乾隆五十八年（一七九三）刊本。匡郭，180×126，10行20字。左右雙邊。白口。序跋，葉隆禮「經進契丹國志表」（淳熙七年・一一八〇）。四庫總目卷五十。〔其他〕封面「乾隆癸丑孟夏刻 契丹國志 承恩堂藏版」。

88 大金國志四十卷 宋宇文懋昭撰 四冊
原題，「大金國志 宋宇文懋昭撰」。匡郭，204×142，12行25字。左右雙邊。白口。「掃葉山房」。湖南識語，「大金國志四十本。壬寅

〔明治三十五年・一九〇二〕十一月卅日在燕京琉璃廠購得。炳卿。四庫總目卷五十。〔其他〕校訂・書入あり。
89 名山藏一百二卷 明何喬遠撰 三十八冊
原題,「名山藏 臣何喬遠恭輯」。明刊本。匡郭, 21.4×14.1 10行20字。四周單邊。白口。序跋, 錢謙益「名山藏序」(崇禎十三年・

一六四〇)、李建泰序、王邵沐序。湖南識語,「何喬遠傳附見明史卷二百四十二洪文衡傳。又四庫全書提要吏部地理類都會郡縣存目闕書一百五十四卷,即何喬遠撰。略具事蹟」。〔其他〕封面「晉江何鏡山先生著 名山藏 本府藏版翻刻必究」。

90 滿州名臣傳四十八卷漢名臣傳三十二卷 清閻名輯 八十冊十二帙

原題,「滿州名臣傳」。匡郭, 10.5×7.9 9行17字。四周單邊。白口。印記,「炳卿審定善本」。湖南識語,「滿漢名臣傳十二函八十本。壬寅(明治三十五年・一九〇二)十一月,在燕都購。彪卿」(帙背)。〔其他〕一、封面「欽定名臣傳」。二、校訂あり。
〔漢名臣傳三十二卷〕原題,「漢名臣傳」。

91 漢名臣傳三十二卷 清閻名輯

滿州名臣傳四十八卷(別掲史90)に附す。

92 李氏藏書六十八卷 明李賢撰 二十八冊四帙

原題,「藏書」。明刊本。匡郭, 23.0×14.3 9行20字。四周單邊。白口。印記,「高陵王氏之章」等二種。序跋, 劉東星序(萬曆二十七年・一五九九)、梅國禎「李氏藏書跋」、祝世祿「李氏藏書序」(萬曆二十七年)、耿定力「李氏藏書序」、方時化「書李氏藏書後」(萬曆二十七年)。湖南識語,「李氏藏書四函二十八本。辛丑(明治三十四年・一九〇一)五月十八日。炳卿」(帙背)。四庫總目卷五十存目「藏書六十八卷」。〔其他〕展觀目錄十五頁參照。

93 李氏藏書二卷 明李賢撰 一冊

原題,「藏書」。明刊本。匡郭, 23.3×14.3 9行20字。四周單邊。白口。印記,「六五堂」。序跋, 焦竑「李氏藏書序」(萬曆二十七

年・一五九九)、劉東星「李氏藏書序」(萬曆二十七年)、梅國禎「李氏藏書跋」、祝世祿「李氏藏書序」(萬曆二十七年)、方時化「書李氏藏書後」(萬曆二十七年)。四庫總目卷五十存目「藏書六十八卷」。〔其他〕存卷, 世紀卷一・卷二。

94 李氏續藏書二十七卷 明李賢撰 二十四冊四帙

原題,「續藏書 溫陵李戴贊輯著 古吳陳仁錫明卿評正」。明刊本。匡郭, 22.1×13.9 10行22字。四周單邊。白口。序跋, 陳仁錫「續藏書序」(天啓三年・一六二三)、焦竑「續藏書序」、李維禎「續藏書序」。湖南識語,「李氏續藏書四函廿四本。辛丑(明治三十四年・一九〇一)五月十八日。炳卿」。四庫總目卷五十存目「續藏書二十七卷」。〔其他〕展觀目錄十五頁參照。

六 雜 史 類

95 青溪寇軌一卷 宋方勺撰

原題,「青溪寇軌 泊宅翁方勺」。四庫總目卷五十二存目。〔其他〕重較說郭易第五十五(別掲叢一)所收本。

96 熙豐日曆一卷 宋王明清撰

原題,「熙豐日曆 宋王明清」。〔其他〕重較說郭易第四十二(別掲叢一)所收本。

97 南燼紀聞錄一卷 鈔本 宋辛棄疾撰

竊憤錄一卷(別掲史98)に附す。

98 竊憤錄一卷南燼紀聞錄一卷竊憤續錄一卷 鈔本 宋辛棄疾撰 一冊。

原題,「竊憤錄 宋辛棄疾著」。10行20字。序跋,「南渡錄目錄序文大略」。四庫總目卷五十二存目「南渡錄」一卷竊憤錄一卷。〔其他〕一、卷內手寫「小衫醉校字」。二、校定あり。
〔南燼紀聞錄一卷〕

〔竊憤續錄一卷〕

99 竊憤續錄一卷 鈔本 宋辛棄疾撰

竊憤錄一卷（別掲史98）に附す。

100 辛巳泣斬錄一卷 鈔本 宋趙興發撰 一冊一帙

原題、「辛巳泣斬錄 從政郎斬州司理權通判兼淮西制置司僉廳行司公事趙興發編 帥功郎斬州黃梅縣主簿權錄事參軍兼僉廳陶時鈞校勘」。匡郭、21.8×12.5 10行20字。左右雙邊。白口。四庫總目卷五十二存目。〔其他〕「毛晉之印」「席鑑之印」「黃山珍本」等の印記八種を朱で模寫す。

101 平胡錄一卷 明陸深撰 一冊一帙

原題、「平胡錄 雲間陸深著」。明刊本。匡郭、17.3×12.0 10行20字。左右雙邊。白口。「袁氏」。

102 平定交南錄一卷 明丘濬撰

原題、「平定交南錄 明邱濬」。〔其他〕龍威秘書戊集說郭雜著十種（別掲叢2）所收本。

103 廣右戰功一卷 明唐順之撰 一冊一帙

原題、「廣右戰功 唐潤之撰」。明刊本。匡郭、17.4×12.0 10行18字。左右雙邊。白口。「袁氏」。序跋、袁發跋（嘉靖三十八年・一五五九）。四庫總目卷五十三存目「廣右戰功錄一卷」。

104 伏戎紀事一卷 明高拱撰 一冊

原題、「大學士高中玄公伏戎紀事 新鄭高拱著 秀水項德楨校 華亭陳繼儒訂」。明刊本。匡郭、19.7×12.0 8行18字。四周單邊。白口。四庫總目卷五十三存目。

105 弇州史料後集四十一卷 明王世貞撰 八冊一帙

原題、「弇州史料後集 鄧耶王世貞纂撰 華亭後學董復表彙次」。明刊本。匡郭、21.1×14.4 9行18字。四周單邊。白口。刻工名。四庫總目卷六十二存目「弇州史料三十卷」。〔其他〕存卷、卷三十より卷七十。

106 毛大將軍海上情形不分卷 鈔本 明汪汝淳撰 一冊

原題、「毛大將軍海上情形」。10行18字。〔其他〕封面「毛大將軍海上情形 由庚堂梓」。

107 萬曆三大征考四卷 鈔本 明茅瑞徵撰 一冊

原題、「萬曆三大征考」（外題）。9行19字。序跋、清遠居士「三大征攷序」（天啓元年・一六二二）。〔其他〕一、卷末手寫「小衫醇校合」。二、校訂・書入あり。

108 瀋陽日記不分卷 鈔本 朝鮮閔名撰 九冊一帙

原題、「瀋陽日記」（外題）。10行20字。〔其他〕丁丑正月より甲申六月までの記事がある。

109 揚州十日記一卷 鈔本 明王秀楚撰

原題、「揚州十日記 江都王秀楚記」。〔其他〕八家集（別掲史III）所收本。

110 嘉定屠城紀畧一卷 鈔本 清閔名撰

原題、「嘉定屠城紀畧」。〔其他〕一、校訂あり。二、八家集（別掲史III）所收本。

III 八家集 鈔本 四冊

史101 東明聞見錄一卷・史102 行在陽秋一卷以上二冊。史103 粵游見聞一卷・史104 也是錄一卷・史105 求野錄一卷・史106 嘉定屠城紀畧一卷以上二冊。史107 揚州十日記・史108 四王合傳一卷以上二冊。

匡郭、19.2×13.4 9行21字。左右雙邊。白口。印記、「得所託傳印記」「讀我書屋之印」。

- 112 劫灰錄六卷 鈔本 清馮鍾撰 一冊
 原題,「劫灰錄 珠江寓舫偶記」。13行25字。印記,「方俗司馬」。「其他」一、卷六末手寫「十二月初三日」。二、書入あり。
- 113 蜀碧四卷附記一卷 清彭遵泗撰 四冊一帙
 原題,「蜀碧 丹溪生彭遵泗泉聲編述」。康熙刊本。匡郭,183×114 9行23字。左右雙邊。白口。印記,「內藤」「字炳卿」。序跋,彭端洲序,「義例總言」。湖南識語,「實名款翁校定蜀碧。共四本。庚子(明治三十三年・一九〇〇)十月一日。炳卿」。四庫總目卷六十三存目「蜀碧四卷」。「其他」一、帙外題「蜀碧紀略」。二、封面「蜀碧 本衙藏板」。三、校定あり。四、第四冊末手鈔十六葉が附されている。手鈔部内容は,「自序」,彭端淑「跋」,楊邊泗「楊展傳」,「劉道貞傳」,彭遵泗「余飛傳」,「後跋」。
 「蜀碧附記」一卷 原題,「蜀碧附記」。
- 114 蜀碧附記一卷 清彭遵泗撰
 蜀碧四卷(別掲史113)に附す。
- 115 東征集六卷 清藍鼎元撰
 原題,「東征集 漳浦藍鼎元玉霖稿 天長王者輔近顏評」。序跋,王者輔序(雍正十年・一七三三)、藍廷珍「舊序」(康熙六十一・一七三三)。「其他」一、外題「鹿洲三集 東征集」。二、鹿洲全集(別掲叢4)所收本。
- 116 平臺紀畧一卷 清藍鼎元撰
 原題,「平臺紀畧 漳浦藍鼎元玉霖著 天長王者輔近顏評」。序跋,王者輔序(雍正十年・一七三三)、藍鼎元序(雍正元年・一七三三)、跋(雍正十年)。「其他」一、外題「鹿洲四集 平臺紀畧」。二、鹿洲全集(別掲叢4)所收本。
- 117 五代新說一卷 宋徐攸撰
 原題,「五代新說 徐攸」。「其他」重較說郭寫第五十五(別掲叢1)所收本。
- 118 蘇黃門龍川別志二卷 宋蘇轍撰 一冊
 原題,「蘇黃門龍川別志 宋眉山蘇轍」。明刊本。匡郭,204×134 9行20字。四周單邊。白口。四庫總目卷一百四十「龍川略志十卷 別志八卷」。「其他」外題「神海三十六」。
- 119 三朝野史一卷 元吳萊撰
 原題,「三朝野史 元吳萊」。「其他」重較說郭寫第五十五(別掲叢1)所收本。
- 120 南宋雜事詩七卷 清沈嘉轍吳輝陳芝光符曾趙長萬鶴鶴信撰 四冊
 原題,「南宋雜事詩 錢唐沈嘉轍鑿城」。康熙刊本。匡郭,172×124 11行21字。左右雙邊。白口。序跋,查慎行序,萬經序,章藻功序,趙殿成題辭。湖南識語,「計四本。壬寅(明治三十五年・一九〇二)十二月在寧波購。炳卿」。四庫總目卷百九十。
- 121 燕北錄一卷 宋王易撰
 原題,「燕北錄 宋王易撰 陶宗儀輯」。「其他」五朝小說(別掲叢3)所收本。
- 122 虜廷事實一卷 宋文惟簡撰
 原題,「虜廷事實 宋文惟簡撰 陶宗儀輯」。「其他」五朝小說(別掲叢3)所收本。
- 123 松漢記聞一卷松漢記聞補遺 宋浩皓撰 一冊
 原題,「松漢記聞 宋洪皓撰 明吳瑄校」。明刊本。匡郭,201×128 10行20字。左右雙邊。白口。印記,「季振宜印」「滄葦」。四庫總目卷五十一「松漢記聞一卷續一卷」。
 「松漢記聞補遺」一卷 原題,「松漢記聞補遺」。
- 124 松漢記聞補遺一卷 宋浩皓撰
 松漢記聞一卷(別掲史123)に附す。

125 蒙韃備錄一卷 宋孟珙撰

原題，「蒙韃備錄」 宋孟珙撰 武林徐仁毓閱。〔其他〕五朝小說（別掲叢書）所收本。

126 幸存錄一卷 鈔本 明夏允彝撰 一冊

原題，「幸存錄」。9行25字。序跋，夏允彝序（弘光元年・一六四五）。〔其他〕一、存卷、卷一・卷二。二、毛裝。

127 瀋陽狀啓一卷 鈔本 一冊

原題，「瀋陽狀啓」（外題）。11行25字。

128 文移選要二卷 明張希龜撰 二冊一帙

原題，「新鐫文移選要」 金陵書坊唐錦池惠疇重梓。明刊本。匡郭，22.3×13.5 12行24字。四周單邊。白口。序跋，張希龜「文移選要序」（萬曆二十八年・一六〇〇）。〔其他〕一、外題「明版文移選要」、帙外題「文移選要」 明板。二、展觀目錄十一頁參照。

129 檔案冊 鈔本 二冊

7行23字。〔其他〕光緒鈔本。

130 檔案冊 鈔本 一冊

13行25字。〔其他〕一、光緒鈔本。二、校訂あり。

七 載 記 類

131 鄴中記一卷春秋傳說例一卷 晉陸翹撰 春秋傳說例宋劉敞撰 一冊

原題，「鄴中記 晉陸翹撰」。乾隆武英殿聚珍版。匡郭，18.9×11.5 9行21字。四周雙邊。白口。校者名。四庫總目卷六十六。

〔春秋傳說例一卷〕原題，「春秋傳說例」 宋劉敞撰。四庫總目卷二十六。

132 十六國春秋一百卷 後魏崔鴻撰 十六冊四帙

原題，「春秋 魏散騎常侍崔鴻撰」。乾隆重刊本。匡郭，20.4×13.8 9行18字。左右雙邊。白口。序跋，汪日桂「重刊十六國春秋序」（乾隆四十六年・一七八一）。四庫總目卷六十六。〔其他〕一、外題・帙外題「十六國春秋」。二、封面「汪氏正本 十六國春秋 欣託山房重刊」。三、校訂・書入あり。

133 三楚新錄一卷 宋周羽冲撰

原題，「三楚新錄」 宋周羽冲。四庫總目卷六十六「三楚新錄三卷」。〔其他〕重較說郛第五十五（別掲叢書）所收本。

134 僞齊錄二卷 鈔本 宋楊堯弼撰 二冊

原題，「僞齊錄」 從政郎楊堯弼撰。8行21字。湖南識語，「共貳本壬子（大正元年・一九一二）正月。炳卿」。

135 粵游見聞一卷 鈔本 明瞿共美撰

原題，「粵游見聞」 前行人司行人瞿共美記。〔其他〕八家集（別掲史冊）所收本。

136 求野錄一卷 鈔本 明客溪樵隱撰

原題，「求野錄」 客溪樵隱編。〔其他〕八家集（別掲史冊）所收本。

137 也是錄一卷 鈔本 明鄧凱撰

原題，「也是錄」 自非逸史編。序跋，樵隱「也是錄序」。〔其他〕八家集（別掲史冊）所收本。

138 行在陽秋一卷 鈔本 明劉湘客撰

原題、「行在陽秋」。「其他」八家集（別掲史Ⅲ）所收本。

139 東明聞見錄一卷 鈔本 明積共美輯

原題、「東明聞見錄」。「其他」八家集（別掲史Ⅲ）所收本。

140 三藩紀事本末四卷 清楊陸榮撰 二冊

原題、「三藩紀事本末 青浦楊陸榮采南氏編」。康熙五十六年（一七一七）刊本。匡郭，180×128 9行20字。左右雙邊。白口。印記。「杉恒移珍藏記」「松菊莊文庫」等三種。序跋，楊陸榮自序（康熙五十六年・一七一七）。湖南識語，「丁未（明治四十年・一九〇七）十一月，在東京購。即自侍先生手澤本也。炳卿」。四庫總目卷四十九。「其他」封面「康熙丁酉春鐫 三藩紀事本末 本衙藏板」。

141 三藩紀事本末四卷 清楊陸榮撰

原題，「三藩紀事本末 青浦楊陸榮采南氏編」。康熙五十六年（一七一七）刊本。匡郭，180×128 9行20字。左右雙邊。白口。印記。「藤虎」「字炳卿」等三種。序跋，楊陸榮自序（康熙五十六年・一七一七）。四庫總目卷四十九。「其他」一、封面「康熙丁酉春鐫 三藩紀事本末 本衙藏板」。二、明清紀略三種彙編（別掲史Ⅳ）所收本。

142 明清紀略三種彙編 六冊一帙

史Ⅲ三藩紀事本末四卷二冊。史55 皇朝武功紀盛四卷二冊。子24 齋曝雜記六卷二冊。湖南識語，「都計六本。庚子（明治三十三年・一九〇〇）十月念七。炳卿」（帙背）。「其他」匡郭等については各書分記す。

八 詔令奏議類

143 唐大詔令集二十卷 鈔本 宋宋敏求輯 四冊一帙

原題，「唐大詔令集」。9行21字。印記，「竹花」「朱彝尊印」「張之洞印」。序跋，朱彝尊記。四庫總目卷五十五「唐大詔令集一百三十卷」。「其他」京大人文研目錄に存する「唐大詔令集一百三十卷，原闕二十三卷 宋宋敏求輯 一九五九年北京商務印書館據北京圖書館藏顧廣圻校舊鈔本排印」本と比較すると、右鈔本は卷十より卷十三、卷二十五より卷三十三にあたる。ただし、同本所收卷二十九「太和七年冊皇太子德音」はない。

144 上諭合律鄉約全書一卷附六諭集解一卷 清陳秉直撰 增清魏象樞撰 二冊一帙

原題，「上諭合律鄉約全書 巡撫浙江等處地方提督軍務兵部右侍郎兼都察院右副都御史加至正一品陳謹撰」。康熙刊本。匡郭，20.8×13.4 9行20字。四周單邊。白口。印記，「伯健祕笈」「內藤乾吉。序跋，陳秉直「上諭合律註解序」（康熙十八年・一六七九）、衛執滄序（康熙十八年）、李士楨序（康熙十八年）、程汝璞序（康熙十八年）、許三禮跋（康熙十七年・一六七八）。

「六諭集解一卷」原題，「六諭集解」。序跋，許三禮「六諭集解序」（康熙十三年・一六七四）。

145 六諭集解一卷 清魏象樞撰

上諭合律鄉約全書一卷（別掲史Ⅳ）に附す。

146 山公啓事一卷附佚事一卷 晉山濤撰 葉德輝輯

原題，「山公啓事 晉侍中尚書僕射奉車都尉新野伯山濤撰 賜進士出身誥授中憲大夫四品銜吏部主事葉德輝輯」。序跋，許鄧起樞跋（光緒二十三年・一八九七）、劉鑾隅跋（光緒二十六年・一九〇〇）。「其他」一、封面「山公啓事」「光緒庚子八月癸」。二、觀古堂所著書第一集（別掲叢書Ⅱ）所收本。

「山公佚事一卷」原題，「山公佚事」。

147 山公佚事一卷 葉德輝輯

山公啓事一卷（別掲史Ⅳ）に附す。

148 唐陸宣公集二十二卷 唐陸贄撰 明吳繼武校 四冊

原題，「唐陸宣公集 明繡谷肖川吳繼武校刊」。明刊本。匡郭，21.5×13.6 10行20字。四周單邊。白口。「光裕堂梓」。序跋，齊政「唐陸宣公集後跋」（永樂十四年・一四一〇）、基忠「重梓宣公奏議跋」（萬曆三十四年・一六〇六）、李懋楨「重刻陸宣公奏議跋」（萬曆九年・一五八二）、劉珵「重刻陸宣公奏議跋」（萬曆九年）、權德輿「唐陸宣公敕」、「宋朝名臣進奏議劄子」、「淳熙講筵劄子」、「進唐陸宣公奏議表」（紹興二年・一一三三）、金寔「陸宣公奏議跋」、項忠「陸宣公奏議跋」（宣德三年・一四二八）、「清之採用輿論」（天順元年・一四五七）、錢福「陸宣公制冊奏議集跋」（弘治十五年・一五〇二）、沈伯威「陸宣公文集跋」（嘉靖十六年・一五三七）、葉逢春「陸宣公奏議跋」（萬曆九年）、王世貞「讀宣公奏議說」。四庫總目卷一百五十「翰苑集二十二卷」。〔其他〕一、外題「陸宣公奏議」。二、封面「唐權德輿先生原本 陸宣公奏議 製錦堂吳吉徵梓」「本衙藏版」。

149 唐陸宣公集二十二卷首一卷 唐陸贄撰 六册一帙

原題，「唐陸宣公集」。匡郭，18.6×13.2 10行20字。四周單邊。白口。印記，「徐相雨印」「相雨賞顧」「秋堂」等十四種。序跋，雍正御筆序、年羹堯序（康熙六十一年・一七二二）、年羹堯紀（雍正元年・一七二三）、權德輿「唐陸宣公翰苑集序」、「宋進呈奏議劄子」。四庫總目卷一百五十「翰苑集二十二卷」。〔其他〕外題・封面「陸宣公集」。

150 唐陸宣公翰苑集二十四卷 清張佩芳注 六册一帙

原題，「唐陸宣公翰苑集 山右張佩芳孫圃注釋 新安汪肇龍稚川程瑤田易田汪梧鳳在湘方矩歸原參討」。匡郭，17.6×11.7 9行21字。左右雙邊。白口。「希晉堂」。序跋，鄭虎文「唐陸宣公翰苑集注序」、劉大猷「唐陸宣公翰苑集注序」、張佩「唐陸宣公翰苑集注自序」、權德輿「唐陸宣公翰苑集跋」、「宋朝名臣進奏議劄子」、「淳熙講筵劄子」、「進唐陸宣公奏議表」（紹興二年・一一九二）。〔其他〕外題・帙外題「陸宣公翰苑集注」。

151 范文正公政府奏議二卷 宋范仲淹撰

范文正公集二十卷（別掲集II）に附す。

152 趙忠定奏議四卷 宋趙汝愚撰 清葉德輝編輯 二册

原題，「趙忠定奏議 宋趙汝愚撰 後學葉德輝編輯」。宣統二年（一九一〇）刊本。匡郭，17.2×12.4 11行22字。左右雙邊。黑口。印記，「湖南祕板」。序跋，葉德輝「宋趙忠定奏議序」。〔其他〕一、外題「宋趙忠定奏議」。二、封面「宋趙忠定奏議」「宣統庚戌六月 葉氏觀古堂刊」。

153 會通館校正宋諸臣奏議零本 宋趙汝愚撰 一册

原題，「會通館校正宋諸臣奏議」。匡郭，23.1×15.0 9行17字。四周雙邊。黑口。四庫總目卷五十五「諸臣奏議一百五十卷」。〔其他〕一、存卷，卷一百三十九。二、外題「會通館校正宋諸臣奏議零本」。

154 諫草二卷 明郝敬撰 二册一帙

原題，「諫草 戶科給事中臣郝敬草」。明刊本。匡郭，21.1×14.1 9行18字。四周單邊。白口。「山草堂集」。郝敬「諫草題辭」（天啓四年・一六二四）、曹學佺「舊刻諫疏序」。〔其他〕帙外題「山草堂諫草」。

九傳記類

155 洙泗考信錄四卷 鈔本 清崔述撰

原題，「洙泗考信錄 大名崔述東壁誦考 石屏門人陳履和校刊」。序跋，王崧「重刻洙泗考信錄序」（嘉慶二十三年・一八一八）。〔其他〕一、封面「大名崔東壁先生著 洙泗考信錄 道光四年正月東陽縣署中刻」。二、崔東壁先生遺書（別掲卷II）所收本。

156 洙泗考信餘錄三卷 鈔本 清崔述撰

原題，「洙泗考信餘錄 大名崔述東壁誦考 石屏門人陳履和校刊」。序跋，「孔檢討大戴記註序錄」。〔其他〕一、封面「大名崔東壁先生著 洙泗考信餘錄 道光四年正月東陽縣署中刻」。二、崔東壁先生遺書（別掲卷II）所收本。

157 孟子事實錄二卷 鈔本 清崔述撰

原題，「孟子事實錄 大名崔述東壁謹考 石屏門人陳履和校刊」。〔其他〕一、封面「道光二年刊 孟子事實錄 遺經樓藏板」。二、崔東壁先生遺書（別揭叢書）所收本。

158 劉熙事蹟考一卷 葉德輝撰

原題，「劉熙事蹟考」。〔其他〕觀古堂所著書第一集（別揭叢書）所收本。

159 華陽陶隱居內傳三卷 宋賈嵩撰

原題，「華陽陶隱居內傳 薛羅孺子賈嵩撰」。序跋，葉德輝「新刊華陽陶隱居內傳序」（光緒二十九年・一九〇三）。〔其他〕一、封面「華陽陶隱居內傳」「光緒癸卯五月長沙葉氏觀古堂據歷城馬氏玉函山房道藏抄本刊安化陶觀儀署首」。二、觀古堂彙刻書第二集（別揭叢書）所收本。

160 宋忠定趙周王別錄八卷 清葉德輝編輯 四冊

原題，「宋忠定趙周王別錄 賜進士出身四品銜吏部主事加三級長沙葉德輝編輯」。光緒刊本。匡郭，180×124 11行22字。左右雙邊。黑口。印記，「湖南祕板」。序跋，葉德輝序（光緒三十四年・一九〇八）。〔其他〕封面「宋忠定趙周王別錄 錢塘吳慶坻題」「長沙葉氏編刻」。

161 金粟逸人逸事一卷 清朱致煥撰

竹雲題跋四卷（別揭子部）に附す。

162 漢事會最人物志三卷 清惠棟撰

原題，「漢事會最人物志 元和惠棟輯錄」。〔其他〕一、封面「漢事會最人物志三卷 元和惠定宇先生輯」「光緒乙未借仁和汪氏振綺堂寫本刊」。二、靈鷲閣叢書第一集（別揭叢書）所收本。

163 元儒考略四卷 明馮從吾撰 一冊

原題，「元儒考畧 長安馮從吾仲好纂 新安余懋衡持國校 吳明基伯恭閱」。明刊本。匡郭，203×136 9行20字。四周單邊。白口。印記，「皋泉藏書」。序跋，畢懋康「元儒考畧序」（萬曆四十三年・一六一五）、吳明基「元儒考畧後序」（天啓元年・一六二一）。四庫總目卷五十八。

164 啓禎野乘一集十六卷 清鄒漪撰 十冊

原題，「啓禎野乘一集 梁谿鄒漪流綺甫纂」。康熙刊本。匡郭，197×131 9行20字。四周單邊。白口。序跋，錢謙益序、薛案序、鄒漪序（甲申）、鄒漪「凡例」（康熙五年・一六六六）。

165 明史儒林詠二卷明史文苑詠二卷 鈔本 黃山外史弘著 四冊一帙

原題，「明史儒林詠 黃山外史弘著」。9行20字。印記，「黃山外史」等三種。〔明史文詠苑二卷〕原題，「明史文苑詠 黃山外史弘著」。

166 明史文苑詠二卷 鈔本 黃山外史弘著

明史儒林詠二卷（別揭史部）に附す。

167 王烈婦一卷 □闕名撰

原題，「王烈婦」。〔其他〕龍威秘書戊集說郭雜著十種（別揭叢書）所收本。

168 四王合傳一卷 鈔本 清闕名撰

原題，「四王合傳」（外題）。〔其他〕八家集（別揭史部）所收本。

169 召對錄一卷 明申時行撰 一冊

原題，「召對錄」。明刊本。匡郭，19.5×13.7。9行18字。四周單邊。白口。序跋，申時行「召對錄序」。四庫總目卷五十三存目。〔其他〕一、卷末刻「吳邑布衣陳廣日書」。二、校訂・書入あり。

170 虎口餘生記一卷 明邊大綬撰

原題，「虎口餘生記」。序跋，路坦然序（順治二年・一六四五）。〔其他〕龍威秘書戊集（別掲卷4）所收本。

171 鹿洲公案二卷 清藍鼎元撰

原題，「鹿洲公案」。漳浦藍鼎元玉霖著。衡山曠敏本魯之評。宣逸夫校。序跋，曠敏本序（雍正七年・一七二九）。〔其他〕一、外題「鹿洲二集（公案）」。二、鹿洲全集（別掲卷II）所收本。

172 考信附錄二卷 鈔本 清崔述撰

原題，「考信附錄」。大名崔述東壁著。石屏門人陳履和校刊。〔其他〕崔東壁先生遺書（別掲卷II）所收本。

173 使德日記一卷 清李鳳苞撰

原題，「使德日記」。崇明李鳳苞丹崖。〔其他〕一、封面「使德日記一卷」。二、靈鶴閣叢書第二集（別掲卷6）所收本。

174 明季遂志錄序 鈔本 一冊

9行18字。〔其他〕一、內容，「明季遂志錄徵信序」。二、外題「明季遂志錄」。三、毛裝。

175 黃堯圃先生年譜二卷 清江標撰

原題，「黃堯圃先生年譜」。元和江標輯。〔其他〕一、封面「黃堯圃先生年譜二卷」。二、靈鶴閣叢書第六集（別掲卷6）所收本。

十時令類

176 古今夏時表一卷 葉德輝撰

原題，「古今夏時表」。吏部主事葉德輝撰。序跋，葉德輝「古今夏時表序」（光緒二十九年・一九〇三）。〔其他〕一、封面「古今夏時表附易通卦驗節候校文」。二、光緒癸卯冬長沙葉氏刊曹篇光署首。三、觀古堂所著書第一集（別掲卷II）所收本。

十一地理類

177 廣輿記二十四卷圖一卷 明陸應陽撰 八冊一帙

原題，「廣輿記」。明雲間陸應陽伯生彙輯。錢塘閻光表子鏡增訂。明刊本。匡郭，20.4×13.9。9行20字。四周單邊。白口。「凝香閣」印記，「岸藩文庫」。「藤虎」。「字炳卿」。「戴笠字曼公」等十種。序跋，黃汝亨「廣輿地圖記序」。申時行跋。湖南識語，「己亥（明治三十二年・一八九九）八月十日。炳卿。舊藏增訂廣輿記於己亥三月仲一夕之災。及再訪求其書乃得此。此書蓋係明末高人戴曼公所藏。近時在稅所子爵文庫云」（帙背）。〔其他〕書入あり。
〔廣輿記圖一卷〕

178 廣輿記圖一卷

廣輿記二十四卷（別掲史17）に附す。

179 大明一統名勝志二百八卷 明曹學佺撰 四十冊四帙

原題，「閩中曹學佺能始著」。明刊本。匡郭，20.1×13.0。10行19字。左右雙邊。白口。印記，「四明盧氏抱經樓藏書印」。序跋，曹學佺「大明輿地名勝志自序」（崇禎三年・一六三〇）。〔其他〕伯健付箋「大明輿地名勝志」。

180 彙輯輿圖備攷全書十七卷 明潘光祖撰 十五册二帙

原題,「彙輯輿圖備攷全書 明關中潘光祖海虞父彙輯 邦江李雲翔爲霖父參訂 繡谷傅昌辰少山氏較梓」。明刊本。匡郭, 19.6×13.0 10行20字。四周雙邊。白口。「版築居」。湖南識語,「計十四本,缺第一册。戊申(明治四十一年・一九〇八)正月,在東京琳瑯閣購。炳卿」。「其他」一、存卷,卷二より卷十八。二、外題・帙外題「輿圖備攷」。

181 讀史方輿紀要三十七卷 鈔本 清顧祖禹撰 二十七册

原題,「讀史方輿紀要」。匡郭, 19.8×4.0 9行18・19字不等。四周雙邊。白口。「清白草廬」。印記,「烏家藏印」「子孫永保 共八十卷 雲煙家藏書記」等四種。序跋,魏禧「讀史方輿紀要序」、彭士望「讀史方輿紀要序」、「讀史方輿紀要總敘一」、「總序二」、「總序三」。「其他」一、存卷,卷一より卷十七。卷十九より卷三十六。卷三十九・卷四十。二、展觀目錄四頁參照。

182 天下山河兩戒考十四卷圖一卷 清徐文靖撰 五册一帙

原題,「天下山河兩戒考 當塗徐文靖註。雍正元年(一七二三)刊本。匡郭, 19.6×12.4 9行20字。左右雙邊。白口。印記,「春島書庫之記。序跋,黃叔琳序(雍正二年・一七二四)、徐文靖自序(雍正元年・一七二三)。湖南識語,「共五本。壬寅(明治三十五年・一九〇二)三月念壹,彪卿」(原裝表紙)。四庫總目卷七十二存目「山河兩戒考十四卷」。「其他」一、封面「雍正元年鐫 當塗徐位山注 天下山河兩戒考 本衙藏板」。二、附屬物、原裝表紙。
〔天下山河兩戒考圖一卷〕

183 天下山河兩戒考圖一卷

天下山河兩戒考十四卷(別掲史記)に附す。

184 陳留風俗傳一卷 晉江微撰

原題,「陳留風俗傳 晉江微」。〔其他〕重較說郛第六十二(別掲叢一)所收本。

185 石柱記五卷 唐顏真卿撰 清朱彝尊補 清鄭元慶箋釋 二册一帙

原題,「石柱記 苾畦鄭元慶箋釋 荻溪章廷宏審定」。康熙刊本。匡郭, 18.9×13.5 11行21字。左右雙邊。白口。序跋,張希良序(康熙四十一年・一七〇二)、朱彝尊序、鄭開極序、蔣國序、自序(康熙四十年・一七〇一)。四庫總目卷七十「石柱記箋釋五卷」。「其他」一、帙外題「顏魯公石柱記」。二、封面「清雪鄭正畦箋釋 顏魯公石柱記 魚計亭雕版」。

186 臨榆縣志十四卷圖一卷 清鍾和梅纂修 六册一帙

原題,「臨榆縣志。乾隆刊本。匡郭, 18.5×13.0 9行20字。四周雙邊。白口。序跋,常亮「臨榆縣志序」(乾隆二十一年・一七五六)、七十四「臨榆縣志序」(乾隆二十一年)、鍾和梅「臨榆縣志序」(乾隆二十一年)、「山海關志原序」。
〔臨榆縣志圖一卷〕原題,「臨榆縣輿地圖」。

187 臨榆縣志圖一卷

臨榆縣志十四卷(別掲史記)に附す。

188 口北三廳志十六卷首一卷 清黃可潤纂修 六册一帙

原題,「口北三廳志」。乾隆刊本。匡郭, 17.2×13.8 10行22字。左右雙邊。白口。序跋,黃可潤序(乾隆二十三年・一七五八)。
欽定盛京通志一卷 鈔本 清阿桂等修 清劉誥之等纂 一册
原題,「欽定盛京通志」。9行。四庫總目卷六十八「欽定盛京通志一百二十卷」。「其他」一、校訂あり。二、毛裝。

190 湖北通志未成稿一卷 鈔本 清章學誠撰

〔其他〕章氏遺書(別掲叢16)所收本。

191 湖北通志檢存稿四卷 鈔本 清章學誠撰

〔其他〕章氏遺書(別掲叢16)所收本。

132 蒙古游牧記十六卷 清張穆撰 清何秋濬補 四册一帙

原題,「蒙古游牧記 平定張穆石州撰 光澤何秋濬願船校」。同治六年(一八六七)刊本。匡郭, 172×125 10行22字。左右雙邊。白口。印記,「湖南秘板」。序跋, 祁寓「蒙古游牧記序」(咸豐九年・一八五九)。湖南識語,「計四本。戊申(明治四十一年・一九〇八)一月,在東京琳琅閣購。炳卿」。「其他」一、封面「蒙古游牧記十六卷」。「同治六年春壽陽祁氏榮洪洞王軒書」,「京都琉璃廠西門寶經堂書坊發兌」印あり。二、卷十三以下,卷頭に「平定張穆初稿 光澤何秋濬補輯」とある。三、各卷末に「吳履敬」「吳式訓」等の覆校者名あり。

133 衛藏圖識五卷 清馬揚盛繩祖同纂 四册一帙

原題,「衛藏圖識」。乾隆刊本。匡郭, 137×89 8行20字。左右雙邊。黑口。序跋, 魯華祝「衛藏圖識序」(乾隆五十七年・一七九二)。跋, 湖南識語,「共四本。丙午(明治三十九年・一九〇六)十二月。炳卿」。「其他」書入あり。

134 西域釋地一卷 鈔本 清祁韻士撰 一册

原題,「西域釋地 前史官壽陽祁韻士鶴舉輯」。10行21字。序跋, 張瀛運序(道光十六年・一八三六)、祁寓藻跋(道光十六年)。「其他」卷內刻「男采藻宿藻謹校字」。

135 新疆圖志一百十六卷 清袁大化修 王樹枏等纂 三十二册

原題,「新疆圖志」。民國十二年(一九二二)排印本。匡郭, 189×146 14行25字。四周單邊。白口。印記,「湖南秘板」等二種。序跋, 袁大化「新疆圖志序」(宣統三年・一九一一)。「其他」封面「重校訂新疆圖志百十六卷」。「歲癸亥東方學會據志局本重校正增補天津博愛印刷局印行」。

136 日下舊聞四十二卷增補遺 清朱彝尊撰 補遺子昆田撰 十二册二帙

原題,「日下舊聞」。康熙刊本。匡郭, 182×128 12行21字。四周單邊。白口。印記,「華亭高氏耆書堂印章」等二種。序跋, 馮溥序, 陳廷敬序, 張鵬序, 高士奇序, 姜宸英序, 朱彝尊序(康熙二十七年・一六八八)。「其他」卷內刻「秀水朱彝尊會粹 男昆田補遺」。

〔日下舊聞補遺〕

137 日下舊聞補遺 清朱昆田撰

日下舊聞四十二卷(別掲史略)に附す。

138 欽定滿州源流考二十卷 清乾隆四十三年敕撰 八册一夾板

原題,「欽定滿州源流考」。乾隆刊本。匡郭, 189×130 9行20字。四周雙邊。白口。序跋, 上諭(乾隆四十九年・一七八四)、奏摺(乾隆四十九年)。四庫總目卷六十八。

139 遼東志略一卷 元戚輔之撰

原題,「遼東志畧 元戚輔之」。「其他」重較說郭島第六十二(別掲叢一)所收本。

200 東夷考略不分卷 鈔本 明茅瑞徵撰 一册

原題,「東夷考畧 碧上偶公撰次」。9行19字。印記,「湖南秘板」。序跋, 浣花主人「攷原」。「其他」一、「林氏藏書」「淺草文庫」「日本政府圖書」「昌平坂學問所」等の印の模寫あり。二、校訂あり。

201 金陵百詠一卷 宋曾極撰

原題,「金陵百詠 宋曾極撰」。序跋, 葉德輝「金陵百詠跋」(光緒二十九年・一九〇三)、四庫提要。四庫總目卷一百六十。「其他」一、封面「金陵百詠 于廷榮署」「光緒癸卯冬長沙葉氏刊」。二、觀古堂叢刻書第二集(別掲叢一)所收本。

202 揚州畫舫錄十八卷 清李斗撰 八册一帙

原題,「揚州畫舫錄 儀徵李斗著」。乾隆六十年(一七九五)刊本。匡郭, 163×108 10行24字。左右雙邊。白口。印記,「內山氏故吾齋圖書記」。序跋, 阮元序(嘉慶二年・一七九七年)、袁枚「揚州畫舫錄序」(乾隆五十八年・一七九三)、謝容序, 李斗記(乾隆六十年・一七九五)。「其他」封面「乾隆乙卯年鐫 揚州畫舫錄 自然齋藏板」。

203 廬陽客記一卷 明楊循吉撰

原題，「廬陽客記 吳郡楊循吉」。四庫總目卷七十七存目。〔其他〕說郛續寫第二十六（別揭叢）所收本。

續

204 嘉禾百詠一卷 宋張堯同撰

原題，「嘉禾百詠 宋秀州張堯同撰」。序跋，四庫提要。四庫總目卷一百六十五。〔其他〕一、封面「嘉禾百詠 于廷築書」「光緒癸卯冬長沙葉氏刊」。二、觀古堂彙刻書第二集（別揭叢）所收本。

205 西吳枝乘一卷 明謝肇淛撰

原題，「西吳枝乘 陳留謝肇淛」。〔其他〕說郛續寫第二十六（別揭叢）所收本。

206 會稽三賦四卷

宋王十朋撰 明南逢吉註 明尹壇補注 二册一帙

原題，「會稽三賦 宋東嘉王十朋撰 明渭南南逢吉註 上虞尹壇補註 會稽胡大臣訂正」。明刊本。匡郭，20.4×13.4 8行18字。四周單邊。白口。

207 豫章漫抄一卷 明陸深撰

原題，「豫章漫抄 吳郡陸深」。〔其他〕說郛續寫第二十五（別揭叢）所收本。

208 楚小志一卷 明錢希言撰

原題，「楚小志 吳郡錢希言」。〔其他〕說郛續寫第二十六（別揭叢）所收本。

209 岳陽風土記一卷 宋范致明撰

原題，「岳陽風土記 宋范致明」。四庫總目卷七十。〔其他〕重較說郛寫第六十二（別揭叢）所收本。

210 岳陽風土記一卷 眞臘風土記一卷 宋范致明撰 眞臘風土記元周達觀撰 一册

原題，「岳陽風土記 宋范致明撰 明吳瑄校」。明刊本。匡郭，20.1×12.8 10行20字。左右雙邊。白口。印記，「季振宣印」「季滄葦圖書記」。四庫總目卷七十。

〔眞臘風土記一卷〕原題，「眞臘風土記 元永嘉周達觀撰 明新安吳瑄校」。四庫總目卷七十一。

211 成都古今記一卷 宋趙朴撰

原題，「成都古今記 趙朴」。〔其他〕重較說郛寫第六十二（別揭叢）所收本。

212 蜀都雜抄一卷 明陸深撰

原題，「蜀都雜抄 雲間陸深」。四庫總目卷七十七存目「蜀都雜抄」卷。〔其他〕說郛續寫第二十五（別揭叢）所收本。

213 榕城隨筆一卷 明凌登名撰

原題，「榕城隨筆 武林凌登名」。〔其他〕說郛續寫第二十六（別揭叢）所收本。

214 泉南雜志一卷 明陳懋仁撰

原題，「泉南雜志 攜李陳懋仁」。四庫總目卷七十七存目「泉南雜志」卷。〔其他〕說郛續寫第二十五（別揭叢）所收本。

215 臺海采風圖考二卷 清六十七著 一册

原題，「臺海采風圖考 白麓六十七居魯甫著」。乾隆刊本。匡郭，21.6×11.8 8行20字。四周雙邊。白口。印記，「仁和朱後廬校藏書籍」。序跋，六十七「臺海采風圖考序」（乾隆十一年・一七四六）、范成跋（乾隆十一年）。〔其他〕附屬物，六十七稿「上西林相公」を記した箋（六十七居魯甫「印あり」一葉）。

216 廣東新語二十八卷 清屈大均撰 十二册一帙

原題，「廣東新語 番禺屈大均翁山驛」。康熙刊本。匡郭，19.0×27. 11行19字。四周單邊。白口。印記，一種。序跋，自序。湖南識語，「計十二本。甲辰（明治三十七年・一九〇四）四月十八日。炳卿」。「其他」封面「番禺屈翁山先生撰 廣東新語 水天閣繡版」。

217 瓊州雜事詩一卷 清程秉釗撰

原題，「瓊州雜事詩 續鉛程秉釗」。序跋，汪鳴鑾序（光緒十三年・一八八七）、程秉釗序（光緒十三年・一八八七）。「其他」一、封面「瓊州雜事詩」「續鉛程庶常遺書元和江氏據錢塘汪氏本刻」。二、靈鷲閣叢書第三集（別掲叢書）所收本。

218 海槎餘錄一卷 明顧訥撰

原題，「海槎餘錄 吳郡顧訥」。序跋，「海槎餘錄跋」。四庫總目卷七十八存目。「其他」說郛續寫第二十五（別掲叢書）所收本。

219 雲南志略一卷 元李京撰

原題，「雲南志略 元李京」。「其他」重較說郛第六十二（別掲叢書）所收本。

220 西北域記一卷 清謝濟世撰

原題，「西北域記」。「其他」龍威秘書戊集說郛雜著十種（別掲叢書）所收本。

221 聽園西疆雜述詩四卷 清蕭維撰

原題，「聽園西疆雜述詩 益陽蕭維撰」。序跋，黃運藩跋（光緒二十三年・一八九七）、蕭維自序（光緒十八年・一八九二）。「其他」一、封面「西疆雜述詩」「光緒乙未七月據益陽蕭氏遺稿原本寫樣傳刻于湖南提學署」。二、靈鷲閣叢書第三集（別掲叢書）所收本。

222 和林詩一卷 清李文田撰

和林金石錄一卷（別掲史部）に附す。

223 北邊備對一卷 宋程大昌撰

新刻溪蠻叢笑一卷（別掲史部）に附す。

224 北邊備對一卷 宋程大昌撰

原題，「北邊備對 宋程大昌著 張拱樞校閱」。序跋，程大昌「北邊備對序」（紹熙二年・一一九二）。四庫總目卷七十五存目。「其他」五朝小說（別掲叢書）所收本。

225 全邊略記十卷 明方孔炤撰 十冊一帙

原題，「全邊略記 桐城方孔炤潛夫父暉」。明刊本。匡郭，21.0×31.4 9行20字。四周雙邊。白口。序跋，白瑜漫序（崇禎四年・一六三二）、方孔炤「全邊略記自序」（崇禎元年・一六二八）、方孔炤「全邊略記再序」、「全邊略記後序」。「其他」一、存卷，卷一より卷十。ただし卷九・卷十は鈔本。二、校訂あり。三、伯健付箋「全邊略記（珍本）」。

226 朔方備乘札記一卷 清李文田撰

原題，「朔方備乘札記 順德李文田」。序跋，江標跋（光緒二十一年・一八九五）。「其他」一、封面「朔方備乘札記」一卷 順德李若農先生撰 門人江標謹校刊「靈鷲閣叢書本」。二、靈鷲閣叢書第二集（別掲叢書）所收本。

227 使高麗錄一卷 宋徐兢撰

原題，「使高麗錄 宋徐兢」。「其他」重較說郛第五十六（別掲叢書）所收本。

228 雞林類事一卷 宋孫穆撰

原題，「雞林類事 宋孫穆撰 陶宗儀輯」。「其他」五朝小說（別掲叢書）所收本。

229 眞臘風土記一卷 元周達觀撰

原題、「眞臘風土記 元周達觀」。序跋、「眞臘風土記序」。四庫總目卷七十一。〔其他〕重校說郛第六十二（別掲兼一）所收本。

230 眞臘風土記一卷 元周達觀撰

岳陽風土記一卷（別掲史20）に附す。

231 新嘉坡風土記一卷 清李鍾珪撰

原題、「新嘉坡風土記」。序跋、李鍾珪「新嘉坡風土記跋言」。〔其他〕一、封面「新嘉坡風土記」「光緒乙未仲夏刊於長沙使院」。二、靈鷲閣叢書第二集（別掲叢6）所收本。

232 英軹私記一卷 清劉錫鴻撰

原題、「英軹私記 粵東劉錫鴻雲生著」。〔其他〕一、封面「英軹私記一卷」「乙未三月江氏刻寫錄正本於長沙」。二、靈鷲閣叢書第二集（別掲叢6）所收本。

233 澳大利亞洲新志一卷 清吳宗濂趙元益同譯

原題、「澳大利亞洲新志 嘉定吳宗濂新陽趙元益同譯」。〔其他〕一、封面「澳大利亞洲新志譯本一卷」「光緒二十三年丁酉二月中旬元和江氏刻于長沙建霞記」。二、靈鷲閣叢書第四集（別掲叢6）所收本。

234 瀛涯勝覽一卷 明馬觀撰 一冊

原題、「亦政堂訂正瀛涯勝覽 稽山馬觀撰記 旰江張昇刪述 瀟水郁之臚臧校」。明刊本。匡郭，19.5×12.3 8行18字。四周單邊。白口。四庫總目卷七十八存目。

235 瀛涯勝覽一卷 明馬觀撰

原題、「瀛涯勝覽 稽山馬觀」。四庫總目卷七十八存目。〔其他〕說郛續寫第二十五（別掲叢4）所收本。

236 新刻星槎勝覽不分卷 鈔本 明費信撰 一冊

原題、「新刻星槎勝覽 錢唐胡文煥德甫校正」。10行20字。印記、「南部氏藏書印」「西川吉印」「藏書物主西川善六」。

237 海語三卷 明黃衷撰 一冊

原題、「陳眉公訂正海語 鐵橋病叟黃衷著 恬澹道人張可大蒙菴主人吳恕校」。明刊本。匡郭，19.5×12.3 8行18字。四周單邊。白口。印記、「寧靜齋藏書印」。序跋、黃衷「海語序」（嘉靖十五年・一五三六）、延年跋（嘉靖十六年・一五三七）。四庫總目卷七十一。

238 殊域周咨錄二十四卷 鈔本 明 濟嚴從簡撰 七冊

原題、「殊域周咨錄 皇明行人司行人刑科右給事中嘉禾嚴從簡輯」。9行20字。序跋、嚴清「諸蕃國記序」（萬曆十一年・一五八三）。〔殊域周咨錄題詞〕。〔其他〕校訂あり。

239 職方外紀三卷首一卷 鈔本 明西洋文儒略撰 二冊

原題、「職方外紀 西海文儒略增譯 東海楊廷筠彙記」。匡郭，20.4×13.7 9行19字。四周雙邊。白口。序跋、葉向高「職方外紀序」、李之藻「刻職方外紀序」（天啓三年・一六三三）、楊廷筠「職方外紀序」、瞿式穀「職方外紀小言」、許晉臣「職方外紀小言」、艾儒略「職方外紀自序」、奏疏。四庫總目卷七十一「職方外紀五卷」。〔其他〕一、存卷、卷一・卷二・卷三。二、書入あり。

240 水經注四十卷 後魏酈道元撰 十冊一帙

原題、「水經注 漢桑欽撰 後魏酈道元注」。明刊本。匡郭，19.9×13.7 9行20字。四周單邊。白口。印記、「長崎海關管史掄明」「東堂」等三種。序跋、「刻水經注批點跋」、朱謀埠「水經注序」（萬曆四十三年・一六一五）、黃省曾「水經注序」（嘉靖十三年・一五三三）、李長庚「水經注序」（萬曆四十三年）。四庫總目卷六十九。〔其他〕一、外題・帙外題「水經註」。二、「刻水經注批點跋」の後に「評閱姓氏 景陵鍾惺伯敬甫 成都朱之臣無易甫 景陵譚元春友夏甫」と刻す。三、欄外刻あり。

- 241 水經注四十卷山海經十八卷 後魏酈道元撰 山海經晉郭璞傳 十册二帙
 原題,「水經 漢桑欽撰 後魏酈道元注」。匡郭, 17.8×13.4 11行21字。四周單邊。黑口。序跋,「補正水經序」、黃省曾「原序」(嘉靖十三年·一五三四)、王世懋「原序」(萬曆十三年·一五八五)、朱謀埠「原序」(萬曆四十三年·一六一五)、李長庚「原序」(萬曆四十三年·黃晟「水經跋」(乾隆十八年·一七五三)。四庫總目卷六十九。〔其他〕一、封面「天都黃曉峯校刊 水經注 槐蔭草堂藏版」。二、卷十末刻「重校刊於槐蔭草堂」。三、卷內刻「天都黃晟鑑定」。
 〔山海經十八卷〕原題,「山海經 晉郭璞傳」。序跋,楊慎「山海經後序」、劉秀「上海海經奏」、郭璞「山海經序」。四庫總目卷一百四十二。〔其他〕封面「天都黃曉峯校刊 山海經 槐蔭草堂藏版」。

242 水經注四十卷首一卷 後魏酈道元撰 十一册

原題,「水經注 後魏酈道元撰」。乾隆武英殿聚珍版。匡郭, 18.4×11.4 9行21字。白口。校者名。印記,「掛川文庫」「島家藏印」。序跋,「御製題酈道元水經注六韻」。四庫總目卷六十九。

243 水經注箋四十卷 後魏酈道元注 明朱謀埠箋 十二册一夾板

原題,「水經注箋 漢桑欽撰 後魏酈道元注 明李長庚訂 孫汝澄 朱謀埠箋 李克家全校」。明刊本。匡郭, 21.5×13.5 10行20字。左右雙邊。白口。刻工名。印記,「六合余萊畦藏書印」「德清蔡氏份卿藏書印」。序跋,李長庚「水經注箋序」(萬曆四十三年·一六一五)、朱謀埠「水經注箋序」(萬曆四十三年)、黃省曾「水經序」。

244 水道提綱二十八卷 清齊召南撰 八册一夾板

原題,「水道提綱 原任禮部侍郎臣齊召南編錄」。乾隆刊本。匡郭, 18.4×12.7 9行22字。左右雙邊。白口。印記,「哲圃藏書」等四種。四庫總目卷六十九。

245 水地記一卷 清戴震撰

原題,「水地記 休寧戴震」。〔其他〕戴氏遺書(別掲叢書)所收本。

246 河源志一卷 元潘昂霄撰

原題,「河源志 元潘昂霄」。四庫總目卷七十五存目「河源記一卷」。〔其他〕重較說郭寫第六十五(別掲叢書)所收本。

247 峽程記一卷 唐韋莊撰

原題,「峽程記 唐韋莊」。〔其他〕重較說郭寫第六十五(別掲叢書)所收本。

248 西浮籍一卷 明錢希言撰

原題,「西浮籍 吳郡錢希言」。〔其他〕說郭續寫第二十六(別掲叢書)所收本。

249 烏蠻瀧夜談記一卷 明董傳策撰

原題,「烏蠻瀧夜談記 明董傳策」。〔其他〕說郭續寫第二十六(別掲叢書)所收本。

250 和林考一卷 清黃楫材撰

和林金石錄一卷(別掲史部)に附す。

251 金陵冬遊記畧一卷 明羅洪先撰

原題,「金陵冬遊記畧 明羅洪先」。〔其他〕說郭續寫第二十五(別掲叢書)所收本。

252 吳中勝記一卷 明華鑰撰

原題,「吳中勝記 明華鑰」。〔其他〕說郭續寫第二十五(別掲叢書)所收本。

253 居山雜志一卷 明楊循吉撰

原題,「居山雜志 吳郡楊循吉」。〔其他〕說郭續寫第二十六(別掲叢書)所收本。

254 太湖泉志一卷 明潘之恆撰

原題、「太湖泉志 歙潘之恆」。(其他)說郛續寫第二十六(別掲叢)所收本。

255 洛陽龍門志一卷 鈔本 清路朝霖輯 二册一帙

原題、「洛陽龍門志」。7行20字。印記,一種。序跋,路朝霖「洛陽龍門志序」(同治九年・一八七〇)。(其他)一、帙外題「龍門志」。二、封面「洛陽龍門志」光緒丁亥十二月開雕于漢縣。三、表紙に「古柏草堂」とあり。

256 游臺岩路程一卷 明陶望齡撰

原題、「游臺岩路程 會稽陶望齡」。(其他)說郛續寫第二十六(別掲叢)所收本。

257 廬山記五卷 和刻本 宋陳舜俞撰 三册

原題、「廬山記 尚書屯田員外郎嘉禾陳舜俞令舉撰」。元祿十年(一六九七)刊本。匡郭,20.2×3.4 10行18字。四周單邊。白口。印記,「炳卿珍藏舊集古鈔之記」「內藤」「字炳卿」。序跋,李常「廬山記序」、劉煥「廬山記跋」。湖南識語,「共三本。庚子(明治三十三年・一九〇〇)十一月念一。炳卿」。「守山閣叢書所收即四庫本。以此對校,不止篇目有□乃字句亦頗有異同。第一卷、署撰人名而不冠時代,可證此本由宋本出也」。「四庫全書提要廬山記三卷附廬山紀略一卷、宋陳舜俞撰即此書也。然四庫本所存僅初三篇耳。以其目有總跋山篇第一、二、三、四、五篇。圖亦不存。勘驗永樂大典所闕亦同。今以此書驗之,乃知四庫本所闕第四至第八五篇、不止二篇矣。蓋此書原本傳于我邦在末關佚以前。此殆完本也。但卷首所載圖、乃後來所附入、非李序所謂原圖。四庫本所附廬山紀略、此書載取其半入總跋山水篇內而不單行。原書體制自當如此」。四庫總目卷七十「廬山記三卷附廬山紀略一卷」。(其他)一、封面「廬山記 洛下尾崎盈綱堂藏版」。二、第三册末に「元祿十丁丑歲季春上浣 京寺町四條尾崎七左衛門 同五條梅村彌與門 江戸通石町三町目山形屋吉兵衛 店」と刻す。三、校語あり。

258 武夷游記一卷 明吳拭撰

原題,「武夷游記 新都吳拭」。(其他)說郛續寫第二十六(別掲叢)所收本。

259 貴陽山泉志一卷 明慎蒙撰

原題,「貴陽山泉志 吳興慎蒙」。(其他)說郛續寫第二十五(別掲叢)所收本。

260 三輔黃圖六卷 漢闕名撰 三册一帙

原題,「三輔黃圖」。明刊本。匡郭,18.4×3.2 9行18字。左右雙邊。白口。刻工名。序跋,劉景韶「合刻秦漢圖記跋」(嘉靖三十八年・一五五九)。「三輔黃圖序」、郭子章「重刻三輔黃圖引」(萬曆十三年・一五八五)、江一山「刻三輔黃圖跋」(嘉靖三十八年)。湖南識語,「此本、丁巳歲(大正六年・一九一七)、予獲之燕都。蓋經訓堂本全出於此本、而刊落序跋加補遺數葉耳。乙丑(大正十四年・一九二五)五月記。虎」。四庫總目卷六十八。(其他)帙外題「三輔黃圖 秦漢圖記本」。

261 洛陽名園記一卷 宋李格非撰

新刻溪蠻叢笑一卷(別掲史記)に附す。

262 諸寺奇物記一卷 明遜園居士撰

原題,「諸寺奇物記 遜園居士」。(其他)說郛續寫第二十六(別掲叢)所收本。

263 半塘小志一卷 明潘之恆撰

原題,「半塘小志 歙潘之恆」。(其他)說郛續寫第二十六(別掲叢)所收本。

264 西于十寺記一卷 明謝廷瓚撰

原題,「西于十寺記 豫章謝廷瓚」。(其他)說郛續寫第二十六(別掲叢)所收本。

265 洛陽伽藍記五卷附集證一卷 後魏楊衒之撰 集證清吳若準撰 一册一帙

原題,「洛陽伽藍記 魏撫軍府司馬楊衒之撰」。道光十四年(一八三四)刊本。匡郭,17.6×12.7 12行23字。左右雙邊。白口。印記,

「湖南秘板」仁和吳氏雙照樓藏書。序跋，潘世恩序（道光十四年・一八三四）、李宗昉序（道光十五年・一八三五）、吳若準序（道光十三年・一八三三）。湖南識語，「庚戌（明治四十二年・一九〇九）十月，在燕都日董樓徑法部所贈。炳卿」。四庫總目卷七十。〔其他〕封面「道光甲午新鐫 洛陽伽藍記 錢塘吳氏藏板」。

〔洛陽伽藍記集證一卷〕原題，「洛陽伽藍記集證 錢塘吳若準撰」。序跋，朱紫貴「洛陽伽藍記集證序」（道光十四年）。

266 洛陽伽藍記集證一卷 清吳若準撰

洛陽伽藍記一卷（別掲史部）に附す。

267 來南錄一卷 唐李翔撰

原題，「來南錄 唐李翔」。〔其他〕重較說郭寫第六十五（別掲叢一）所收本。

268 于役志一卷 宋歐陽脩撰

原題，「于役志 宋歐陽脩」。〔其他〕重較說郭寫第六十五（別掲叢一）所收本。

269 入蜀記一卷 宋陸游撰

原題，「入蜀記 宋陸游」。四庫總目卷五十八「入蜀記一卷」。〔其他〕重較說郭寫第六十五（別掲叢一）所收本。

270 汎舟錄二卷 宋周必大撰

原題，「汎舟錄 宋周必大」。〔其他〕重較說郭寫第六十五（別掲叢一）所收本。

271 乾道庚寅奏事錄一卷 宋周必大撰

原題，「乾道庚寅奏事錄 宋周必大」。〔其他〕重較說郭寫第六十五（別掲叢一）所收本。

272 攬轡錄一卷 宋范成大撰

原題，「攬轡錄 宋范成大」。〔其他〕重較說郭寫第六十五（別掲叢一）所收本。

273 攬轡錄一卷 宋范成大撰

驂鸞錄一卷（別掲史部）に附す。

274 驂鸞錄一卷 宋范成大撰

原題，「驂鸞錄 宋范成大」。四庫總目卷五十八。〔其他〕重較說郭寫第六十五（別掲叢一）所收本。

275 驂鸞錄一卷 攬轡錄一卷 宋范成大撰 一冊

原題，「陳眉公訂正驂鸞錄 宋石湖范成大著 明麻林王體元子長王錫祚校」。明刊本。匡郭，19.5×12.0 8行18字。四周單邊。白口。

〔攬轡錄一卷〕原題，「陳眉公訂正攬轡錄 宋石湖范成大著 明緯章主體國天生沈德先校」。

276 吳船錄一卷 宋范成大撰

原題，「吳船錄 宋范成大」。四庫總目卷五十八「吳船錄二卷」。〔其他〕重較說郭寫第六十五（別掲叢一）所收本。

277 北轅錄一卷 宋周輝撰

原題，「北轅錄 宋周輝」。〔其他〕重較說郭寫第五十六（別掲叢一）所收本。

278 南陸志一卷 明崔銑撰

原題，「南陸志 相臺崔銑」。〔其他〕說郭續寫第二十五（別掲叢一）所收本。

279 銀山鐵壁護談一卷 明李元陽撰

原題，「銀山鐵壁護談 明李元陽」。〔其他〕說郭續寫第二十六（別揭叢一）所收本。

280 朔雪北征記一卷 明屠隆撰

原題，「朔雪北征記 東海屠隆」。〔其他〕說郭續寫第二十六（別揭叢一）所收本。

281 滇行紀畧一卷 明馮時可撰

原題，「滇行紀畧 吳郡馮時可」。〔其他〕說郭續寫第二十六（別揭叢一）所收本。

282 禮白獄記一卷 明李日華撰

原題，「禮白獄紀 嘉禾李日華」。四庫總目卷六十四存目。〔其他〕說郭續寫第二十六（別揭叢一）所收本。

283 篷櫺夜話一卷 明李日華撰

原題，「篷櫺夜話 嘉禾李日華」。〔其他〕說郭續寫第二十六（別揭叢一）所收本。

284 高昌行紀一卷 宋王延德撰

原題，「高昌行紀 宋王延德」。〔其他〕重較說郭寫第五十六（別揭叢一）所收本。

285 西遊錄注一卷 清李文田撰

原題，「西遊錄注 元耶律楚材撰 盛如梓刪略 順德李文田注」。〔其他〕一、封面「李若農先生西遊錄注 門人江標謹校刻」，「丁酉二月成」。二、靈鷲閣叢書第四集（別揭叢一）所收本。

286 邊墩紀行一卷 元張德輝撰

原題，「邊墩紀行 元張耀卿」。〔其他〕說郭續寫第二十六（別揭叢一）所收本。

287 西使記一卷 元劉郁撰

原題，「西使記 元劉郁」。四庫總目卷五十八。〔其他〕重較說郭寫第五十六（別揭叢一）所收本。

288 天南行記一卷 元徐明善撰

原題，「天南行記 元徐明善」。〔其他〕重較說郭寫第五十六（別揭叢一）所收本。

289 奉使朝鮮信和集 鈔本 明倪謙撰 一冊

原題，「奉使朝鮮信和集」。匡郭，183×127，12行。四周單邊。黑口。〔其他〕羅振玉手寫本。

290 奉使錄二卷 明張寧撰 一冊

原題，「方洲先生奉使錄 海鹽張寧詩之撰 後學姚士舜叔祥校」。明刊本。匡郭，195×123，8行18字。四周單邊。白口。印記，「寧齋藏書印」。四庫總目卷一百七十五存目。

291 御塞行程一卷 宋趙彥衛撰

原題，「御塞行程 宋趙彥衛」。〔其他〕重較說郭寫第四十二（別揭叢一）所收本。

292 新刻溪蠻叢笑一卷北邊備對一卷洛陽名園記一卷 宋朱輔撰 北邊備對宋程大昌撰 洛陽名園記宋李格非撰 一冊

原題，「新刻溪蠻叢笑 宋桐鄉朱輔季公撰 明錢唐胡文煥德父校」。明刊本。匡郭，193×128，10行20字。左右雙邊。白口。印記，「季濟草圖書記」。序跋，葉錢「溪蠻叢笑序」（慶元元年·一一九五）。四庫總目卷七十一「溪蠻叢笑一卷」。〔北邊備對一卷〕原題，「北邊備對 宋新安程大昌著 明新安吳瑄校」。序跋，程大昌「北邊備對序」（紹熙二年·一一九二）。四庫總

目卷七十五。
〔洛陽名園記一卷〕原題，「洛陽名園記 宋山東李文叔記 明新安吳瑄校」。序跋，張琰「洛陽名園記序」(紹興八年・一一三八)。四庫總目卷七十。

十二職官類

293 大唐六典三十卷 唐玄宗明皇帝御撰 唐李林甫等奉敕注 六册一帙

原題，「大唐六典 御撰 集賢院學士兵部尚書兼中書令修國史上柱國開國公臣李林甫等奉敕注上」。明刊本。匡郭，184×128 12行20字。左右雙邊。白口。刻工名。印記，「炳卿珍藏舊槧古鈔之記」等六種。序跋，王鑿「重刊唐六典序」(正德十年・一五一五)。四庫總目卷七十九「唐六典三十卷」。〔其他〕一、帙外題「唐六典正德刊本」。二、校訂・補鈔あり。三、附屬物，原稿用紙一枚。

294 大唐六典三十卷 和刻本 唐玄宗明皇帝御撰 唐李林甫等奉敕注 三十册

原題，「大唐六典 御撰 集賢院學士兵部尚書兼中書令修國史上柱國開國公臣李林甫等奉敕注上」。享保九年(七二四)刊本。匡郭，218×153 8行18字。四周單邊。白口。印記，「炳卿審定善本」^{氏虎}「上津野内藤氏」^{氏虎}「藤成氏印」。序跋，近衛家熙序(享保九年・一七二四)・王鑿「重刊唐六典序」(正德十年・一五一五)。湖南識語，「共三十本，癸卯(明治三十六年・一九〇三)六月念七。炳卿。四庫總目卷七十九「唐六典三十卷」。〔其他〕外題「大唐六典考訂」。

295 大唐六典三十卷 和刻本 唐玄宗明皇帝御撰 唐李林甫等奉敕注 十五册 (伯健校訂本)

原題，「大唐六典 御撰 集賢院學士兵部尚書兼中書令修國史上柱國開國公臣李林甫等奉敕注上」。享保刊大正新印本。匡郭，218×153 8行18字。四周單邊。白口。印記，「聖華鑿藏」「聖華房藏」。序跋，近衛家熙序(享保九年・一七二四)・王鑿「重刊唐六典序」(正德十年・一五一五)。四庫總目卷七十九「唐六典三十卷」。〔其他〕一、附屬物，紹興刊本跋の寫し一葉。二、伯健校訂本として特に掲出。三、展觀目錄十一頁参照。

296 麟臺故事五卷 宋程俱撰 一册

原題，「麟臺故事 宋程俱撰。乾隆武英殿聚珍版。匡郭，185×115 9行21字。四周雙邊。白口。校者名。印記，「掛川文庫」「島家藏印」。序跋，「進麟臺故事申省原狀」(紹興元年・一一三一)・程俱「麟臺故事後序」。四庫總目卷七十九。

297 翰苑羣書二卷 宋洪遵輯 二册

原題，「翰苑羣書」(封面)。乾隆刊本。匡郭，126×90 9行18字。左右雙邊。黑口。「知不足齋叢書」。序跋，盧文弼序(乾隆三十九年・一七七四)・洪遵跋(乾道九年・一一七三)。四庫總目卷七十九。

298 禮部志稿十九卷 鈔本 明俞汝楨撰 八册

原題，「欽定四庫全書禮部志稿 明俞汝楨編」。8行21字。四庫總目卷七十九「禮部志稿一百十卷」。〔其他〕一、存卷，卷三より卷八。卷三十五より卷四十。卷八十九より卷九十五。二、卷末手寫「總校官候補博士臣徐以坤 校對官待詔臣胡士震 謄錄監生臣沈啓晉」等。

299 禮部志稿十五卷 鈔本 明俞汝楨撰 六册

原題，「欽定四庫全書禮部志稿 明俞汝楨編」。8行21字。序跋，紀昀等「禮部志稿提要」(乾隆四十七年・一七八二)。四庫總目卷七十九「禮部志稿一百十卷」。〔其他〕一、存卷，卷一より卷十一。卷十四・卷十五・卷九十九・卷一百。二、卷末手寫「總校官候補博士臣徐以坤 校對官中書臣程琰 謄錄監生程世英」等。三、毛裝。

300 禮部志稿假目錄不分卷 鈔本 七册

原題，「禮部志稿假目錄」。匡郭，187×119 10行。〔其他〕一、「京都帝國大學文科大學」用原稿用紙に鈔寫されている。二、第七册に「大正元年十二月九日寫了」とあり。

301 南省公餘錄八卷 清梁章鉅撰 二册

原題，「南省公餘錄 福州梁章鉅撰」。道光刊本。匡郭，176×135 12行22字。四周單邊。黑口。印記，「湖南秘校」。序跋，謝振定

「南省公餘錄序」(嘉慶十年・一八〇五)、盧蔭溥・戴敦元・顏檢・薩迎阿・達麟題詞。湖南識語。「丁未(明治四十年・一九〇七)五月」。

302 館閣漫錄十卷 六冊一夾板

原題,「館閣漫錄 不二齊校梓」。匡郭, 210×145 10行20字。四周雙邊。白口。刻工名。印記,「曾在李鹿山處」「宗室文懿公家世藏」「宗室盛昱收藏圖書印」。湖南識語,「此書,宗室文懿公家世藏印記。乃清宗室盛伯義祭酒舊藏也」。四庫總目卷八十存目。〔其他〕一、表紙に「明閣臣餘姚呂□」^本とあり。二、卷一巻首に「翰林起居汪督抄鈔」の印あり。

303 古今官名異同攷 鈔本 清沈家本撰 一冊一帙

原題,「古今官名異同攷」。10行22字。印記,「內藤乾藏書」。〔其他〕一、外題「古今官名異同攷 沈奇移撰」。二、帙外題「古今官名異同攷 沈家本撰」。

304 吏學指南 和刻本 元闕名撰 一冊(伯健校訂本)

原題,「居家必用事類全集辛集 吏學指南」。匡郭, 142×99 9行16字。四周單邊。白口。印記,「內藤乾藏書」「山本」等三種。伯健識語,「昭和十一年(一九三六),以傳沅叔所藏元刊本校。乾吉記。四庫總目卷一百三十存目「居家必用事類全集十卷」。〔其他〕一、伯健校訂本として特に掲出。二、裏表紙裏面に速水房常氏の署名あり。三、附屬物、「吏學指南序」等を鈔寫した箋十五葉。

十三 政書類

305 通志略五十二卷 宋鄭樵撰 明陳宋襲校 二十四冊四帙

原題,「通志略」(帙外題)。「宋右迪功郎來滄鄭樵著 明御史少岳陳宗襲校」。乾隆刊本。匡郭, 185×230 10行20字。四周單邊。白口。序跋,龔用卿「刻通志二十略序」(正德庚戌歲)、于敏中序(乾隆十三年・一七四八)、鄭樵「通志總序」(至治二年・一三三一)。四庫總目卷五十「通志二百卷」。

306 文獻通考十七卷 元馬端臨撰 三冊

原題,「文獻通考 宋鄱陽馬端臨撰 明蕪陽馮天馥應房校刊」。明刊本。匡郭, 192×136 13行24字。左右雙邊。白口。刻工名。四庫總目卷八十一「文獻通考三百四十八卷」。〔其他〕存卷,卷一百三十一より卷一百三十四。卷一百九十九より卷二百五。卷二百四十四より卷二百四十九。

307 三代正朔通考一卷 鈔本 清崔述撰

原題,「三代正朔通考 大名崔述東壁著 石屏門人陳履和校刊」。〔其他〕一、封面「大名崔東壁先生著 三代正朔通考 道光四年正月東陽縣署中刻」。二、崔東壁先生遺書(別掲叢書)所收本。

308 宋朝事實二十卷 宋李攸撰 八冊一帙

原題,「宋朝事實 宋李攸撰」。乾隆武英殿聚珍版。匡郭, 185×114 9行21字。四周雙邊。白口。校者名。湖南識語,「計八本。壬寅(明治三十五年・一九〇二)十一月,在燕京琉璃廠購。彪卿」。四庫總目卷八十一。〔其他〕帙外題「聚珍板宋朝事實」。

309 皇明經濟文輯十二卷 明陳其謙點輯 六冊

原題,「皇明經濟文輯 餘杭陳其謙點輯 同社姚明卿開訂」。明刊本。匡郭, 200×140 8行18字。四周單邊。白口。四庫總目卷一百九十三存目「經濟文輯三十二卷」。〔其他〕一、存卷,卷四より卷七。卷十・卷十一・卷十四・卷十五。卷十八より卷二十一。二、書入あり。三、伯健付箋「皇明經濟文輯殘本」。

310 大元聖政國朝典章六十卷新集至治條例不分卷 元闕名撰 二十四冊二夾板

原題,「典章」。光緒三十四年(一九〇八)重校本。匡郭, 184×129 13行23字。左右雙邊。白口。印記,「湖南秘校」「乾吉」。序跋,吳城「典章序」(庚申)、沈家本跋、錢大昕跋。四庫總目卷八十三存目「元典章前集六十卷、附新集無卷數」。〔其他〕一、外題「重校元典章」。二、封面「重校元典章六十卷附新集二冊 曹廣權書首」。光緒戊申夏修訂法律館以杭州丁氏藏本重校付梓。〔大元聖政典章新集至治條例不分卷〕原題,「大元聖政典章新集至治條例 至治二年新集」。〔其他〕一、外題「重校元典章新集」。

二、封面「重校元典章新集二册 曹廣權書首」「光緒戊申夏修訂法律館以杭州丁氏藏本重校付梓」。

311 大元聖政典章新集至治條例不分卷 元闕名撰
大元聖政國朝典章六十卷(別掲史30)に附す。

312 大清會典八十二卷 清雍正十年敕撰 三十二册

原題,「大清會典」。雍正刊本。匡郭, 22.9×16.3 10行20字。四周雙邊。白口。〔其他〕一、存卷、卷二十二より卷二十五。卷三十八より卷五十二。卷五十五より卷五十八。卷六十三より卷七十五。卷九十六より卷一百二十六。卷一百三十一より卷一百四十四。卷一百四十七より卷一百四十八。二、内府特裝本。

313 德國議院章程一卷 清徐建寅譯

原題,「德國議院章程 無錫徐建寅譯」。江標序(光緒二十一年・一八九五)、徐建寅「德國議院章程序」(光緒八年・一八八二)、江之漁跋(光緒十六年・一八九〇)。〔其他〕一、封面「德國議院章程一卷」「刻於湘中使院」。二、靈鷲閣叢書第二集(別掲叢6)所收本。

314 讀禮通考一百二十卷 清徐乾學撰 三十册四帙

原題,「讀禮通考 經筵講官禮部左侍郎兼翰林院學士教習庶吉士充大清會典一統志副總裁明史總裁徐乾學」。康熙刊本。匡郭, 18.4×13.0 13行21字。左右雙邊。白口。刻工名。印記,「頤志齋藏書記」等二種。序跋,朱彝尊序(康熙三十五年・一六九六)、樹穀敬後序(康熙三十五年)。四庫總目卷二十。

315 五禮通考二百六十二卷目錄二卷首四卷 清秦惠田撰 九十册十二帙

原題,「五禮通考 内廷供奉禮部右侍郎金匱秦惠田編輯 太子太保總督眞隸右都御史桐城方觀承同訂 國子監司業金匱吳鼎眞隸按察司副使元和宋宗元參校」。乾隆刊本。匡郭, 18.4×13.9 13行21字。左右雙邊。白口。印記,「識往齋藏印」「頤志齋藏書記」「高凌霨澤番書收藏印」等四種。序跋,蔣汾功序(乾隆十八年・一七五三)、方觀承序、秦惠田序。四庫總目卷二十二。〔其他〕一、卷末刻「博

野尹嘉銓校字」。二、首卷内容,「禮經作述源流」「歷代禮制沿革」。

316 五服異同彙考三卷 鈔本 清崔述撰

原題,「五服異同彙考 大名崔述東壁稿 石屏門人陳履和校刊」。序跋,崔述「五服異同彙考小引」(嘉慶十二年・一八〇七)。〔其他〕一、封面「大名崔東壁先生著 五服異同彙考 道光四年正月東陽縣署中刻」。二、崔東壁先生遺書(別掲叢17)所收本。

317 司馬氏書儀十卷 宋司馬光撰 四册一帙

原題,「司馬氏書儀」。雍正刊本。匡郭, 18.6×12.7 11行19字。左右雙邊。黑口。印記,「白河文庫」「立教館圖書印」「蔡名文庫」「要齋藏書」「要齋珍藏」。序跋,序、汪亮采「書儀序」(雍正元年・一七三三)、汪祁跋(雍正二年・一七二四)、汪祁跋(雍正元年)。〔其他〕一、外題・帙外題「溫公書儀」。二、封面「司馬溫公書儀 研香書屋汪宅發兌住杭城菜市橋馬所巷內」。三、卷末刻「後學汪郊校訂」。

318 文公家禮儀節八卷 宋朱熹編 明丘濬輯 三册

原題,「文公家禮儀節 宋新安朱熹編 明瓊山丘濬輯」。明刊本。匡郭, 21.9×13.0 9行20字。四周單邊。白口。印記,「志賢藏書」。序跋,周孔教「家禮儀節序」、楊廷筠「家禮儀節序」、方大鎮「家禮儀節序」、杜承式「家禮儀節序」、錢時「家禮儀節序」、丘濬「文公家禮儀節序」(成化十年・一四七四)。「文公家禮序」。四庫總目卷二十五「家禮儀節八卷」。〔其他〕一、外題「文公家禮」。二、封面「鐫丘瓊山訂輯 文公家禮儀節」。

319 錢穀刑名便覽二卷 清董公振撰 二册

原題,「錢穀刑名便覽」(封面)。雍正十二年(一七三四)刊本。匡郭, 19.4×13.6 左右雙邊。白口。序跋,董公振自序(雍正十二年・一七三四)。伯健識語,「丙子(昭和十一年・一九三六)四月、在滬上購。伯健」。〔其他〕一、封面「雍正甲寅年鐫 華亭董南厚輯 錢穀刑名便覽 乙卯年續增 誠意堂藏板」。二、上卷の錢穀目錄に「華亭董公振南厚編輯董公賜端木參訂受業生萬鍾文伯校閱」、下卷の刑名目錄に「華亭董公振南厚編輯董公賜端木參訂長洲申萬鍾文伯校閱」と刻す。

320 三代經界通考一卷 鈔本 清崔述撰

原題，「三代經界通考 大名崔述東壁著 石屏門人陳腹和校刊」。〔其他〕一、封面「大名崔東壁先生著 三代經界通考 道光四年正月東陽縣署中刻」。二、崔東壁先生遺書（別掲卷II）所收本。

321 中西度量權衡表一卷 清閻名撰

原題，「中西度量權衡表」。〔其他〕一、封面「中西度量權衡表一卷 依天津官本重校勘刊」。「刻於湖南節署」。二、靈鷲閣叢書第二集（別掲叢6）所收本。

322 畿輔義倉圖不分卷 清方觀承撰 六册一帙

原題，「畿輔義倉圖」（帙外題）。乾隆刊本。匡郭，23.5×15.0 序跋，方觀承「義倉奏議」（乾隆十八年・一七五三）。

323 建州女直考一卷燕市雜誌一卷 明天都山臣撰 燕市雜誌明于燕芳撰 一册

原題，「陳眉公訂建州女直考 天都山臣輯 王以繩子長王以純子建校」。明刊本。匡郭，19.1×12.3 8行18字。四周單邊。白口。
〔燕市雜誌一卷〕原題，「陳眉公訂正燕市雜誌 雲間于燕芳著」。匡郭，19.1×12.3 9行19字。

324 漢律輯存不分卷 鈔本 一册一帙

原題，「漢律輯存」（外題）。匡郭，16.6×16.2 12行20字。四周雙邊。白口。印記，「內藤乾藏書」。〔其他〕一、書入あり。二、附屬物、寫真二枚。

325 故唐律疏議三十卷附釋文三十卷 鈔本 唐長孫無忌等奉敕撰 釋文元王元亮撰 十六册二帙

原題，「故唐律疏議」。9行18字。印記，「內藤乾藏書」「留堯」「漢軍楊氏竹堯華刻閣收藏經籍金石記」。序跋，柳贊「新刊故唐律疏議序」（泰定四年・一三二七）、劉有慶序（泰定二年・一三二五）、「讀刊唐律疏議官職名氏」、長孫無忌等「進律疏表」（永徽四年・六

五三）。〔其他〕一、批點・按語あり、過錄批點本。二、附屬物、校語を書した紙片。三、展觀目錄十二頁参照。

〔唐律釋文三十卷〕原題，「唐律釋文 奉訓大夫江西等處行中書省檢校官王元亮長卿重編」。序跋，「唐律釋文序」。

326 故唐律疏議三十卷附釋文三十卷 和刻本 唐長孫無忌等奉敕撰 釋文元王元亮撰 十五册二帙（伯健校訂本）

原題，「故唐律疏議」。文化二年（一八〇五）刊本。匡郭，19.4×13.0 9行20字。左右雙邊。序跋，柳贊「唐律疏議序」（泰定四年・一三二七年）、勳廷儀「新刊故唐律疏議序」（雍正十三年・一七三五）、長孫無忌等「進律疏表」（永徽四年・六五三）、「讀刊唐律疏議官職名氏」、朱彝尊「唐律疏議跋」。湖南識語，「共拾五本。癸卯（明治三十六年・一九〇三）四月。炳卿」。四庫總目卷八十二「唐律疏議三十卷」。〔其他〕一、封面「官板唐律疏議」。二、伯健校訂本として特に掲出。三、附屬物、伯健手寫の「胡居敬唐律序」「王元亮唐律纂例序」「劉有慶唐律纂例序」「張從直唐律疏議釋文纂例序」あり、六枚。他にメモ一枚。
〔唐律釋文三十卷〕原題，「唐律釋文 奉訓大夫江西等處行中書省檢校官王元亮長卿重編」。文化三年（一八〇六）刊本。序跋，「唐律釋文序」。

〔唐律釋文三十卷〕原題，「唐律釋文 奉訓大夫江西等處行中書省檢校官王元亮長卿重編」。文化三年（一八〇六）刊本。序跋，「唐律釋文序」。

327 唐律釋文三十卷 鈔本 元王元亮撰

故唐律疏議三十卷（別掲史5）に附す。

328 唐律釋文三十卷 和刻本 元王元亮撰

故唐律疏議三十卷（別掲史5）に附す。

329 唐明律合編稿本 清薛允升撰 二十六册四帙

原題，「唐明律合刻」（明律部卷頭）。印記，「王研堂」「潛璞」等三種。〔其他〕一、内容 唐律部三十卷、十二册。底本、沈家本重刻故唐律疏議薛氏批註。明律部三十卷、十四册。鈔本。二、伯健付箋「唐明律合編稿本」。三、展觀目錄五頁参照。

330 刑統賦解二卷 鈔本 宋傅藻撰 元鄭□韻釋 元王亮增注 二册

原題，「刑統賦解 宋左宣德郎律學博士傅藻撰 東原鄭□韻釋 益都王亮增注」。10行16字。印記，「閻枝」。序跋，趙孟頫「刑統賦解

紋」(延祐三年・一三一六)。四庫總目卷一百一「刑統賦二卷」。(其他)識語一種。

331 大明律例附解十二卷附錄不分卷 明嘉靖二十九年官撰 十二册二帙

原題,「大明律例附解 太末龍岡魏邦錄重刊」。明刊本。匡郭,20.5×23.5 9行19字。左右雙邊。白口。刻工名。印記,「內藤乾藏書」
「田安府藝堂印」
「田藩文庫」。序跋,「御製大明律序」(洪武三十年・一三九七)、「進大明律表」(洪武二十八年・一三九五)、「御製大誥續編序」(洪武十九年・一三八六)、「御製大誥三編序」(洪武十九年)。伯健識語,「昭和十三年(一九三八)四月購。伯健」
「帙背」。(其他)附屬物,「御製大誥武臣序」を鈔寫した原稿用紙九枚。
「大明律例附錄不分卷」

332 大明律例附錄不分卷

大明律例附解十二卷(別掲史31)に附す。

333 大明律十六卷續集一卷 六册二帙

原題,「大明律 巡按河南監察御史臣浦之浩 巡按河南監察御史臣雍焯重刊」。匡郭,21.7×14.3 10行22字。四周雙邊。白口。印記,
「昌平坂學問所」「文化己巳」。(其他)存卷、卷十五より卷二十。
「大明律續集一卷」原題,「大明律續集 巡按河南監察御史臣浦之浩 巡按河南監察御史臣雍焯重刊」。

334 大明律續集一卷

大明律十六卷(別掲史31)に附す。

335 大明律附例三十卷首一卷坊慎刑說一卷 明王樵私箋 明王肯堂彙釋 慎刑說明王肯堂撰 十册一帙

原題,「大明律附例 南京都察院右都御史刑部右侍郎大理卿王樵私箋 男南京禮部精膳司郎中前翰林院檢討肯堂彙釋」。明刊本。匡郭,
20.7×13.7 10行20字。四周單邊。白口。印記,「內藤乾藏書」。序跋,「御製大明律序」(洪武三十年・一三九七)、王肯堂「律例箋

釋自序」(萬曆四十年・一六一二)、舒化・耿定向「進新刻大明律附例題稿」(萬曆十三年・一五八五)。伯健識語,「乙亥(昭和十年
・一九三五)一月購。伯健」。(其他)一、外題・帙外題「律例箋釋」。二、封面「王字恭先生著 律例箋釋 本衙藏板」。
「慎刑說一卷」原題,「慎刑說」。

336 慎刑說一卷 明王肯堂撰

大明律附例三十卷(別掲史31)に附す。

337 讀律佩觿八卷八法一卷 清王明德撰 十册一帙

原題,「讀律佩觿 奉差督理通惠河道刑部陝西清吏司郎中王明德私輯 次男心湛較字」。康熙刊本。匡郭,19.1×13.9 9行20字。四周
雙邊。白口。序跋,王明德「本序」(康熙十三年・一六七四)、王豫嘉序、彭師度跋、詹惟聖序、陳丹赤序、嚴沅序(康熙十五年・一
六七六)、王明德「小序」。四庫總目卷一百一。(其他)一、封面に「冷然閣主人識」及び印一種あり。二、「參訂姓氏」あり。
「讀律八法一卷」原題,「讀律八法」。

338 讀律八法一卷 清王明德撰

讀律佩觿八卷(別掲史37)に附す。

339 大清律集解附例三十卷坊大清律附一卷 清康熙九年官撰 大清律附清順治二年官撰 十册二帙

原題,「大清律集解附例」。康熙四十五年(一七〇六)刊本。匡郭,21.5×15.8 9行21字。左右雙邊。白口。序跋,「御製大清律序」
(順治三年・一六四〇)、剛林等「疏」。(其他)一、封面「附例集解原本 大清律」「康熙四十五年鐫 六部則例全判即出硃鈔各家箋
釋備載」「聽松樓」。二、版心に「大清律例批註集解(例以下五字朱印)」とある。三、朱墨本。四、附屬物、納品案内書一枚。伯健付
箋「大清律硃鈔各家箋釋備載」。
「大清律附一卷」原題,「大清律附 順治二年奏定」。

340 大清律附一卷 清順治二年官撰

大清律集解附例三十卷(別掲史33)に附す。

341 大清律集解附例三十卷首一卷附大清律例總類六卷 清朱軾等奉敕撰 大清律例總類清闕名撰 二十冊二帙

原題,「大清律集解附例」。雍正刊本。匡郭,21.7×15.7 9行20字。四周雙邊。白口。印記,「伯健秘笈」「內藤乾吉」。序跋,「御製大清律集解序」(雍正三年・一七二五)、朱軾等「奏疏」,「世祖章皇帝御製大清律原序」(順治三年・一六四〇)、「聖祖仁皇帝上諭」(康熙十八年・一六七九)、「皇上諭旨」(雍正三年)、剛林等「奏疏」、圖納等「奏疏」(康熙二十八年・一六八九)、圖納等「奏疏」(康熙二十八年)、張玉書等「奏疏」、朱輯「進表」。「其他」一、封面「欽定大清律」。二、伯健付箋「大清律集解附例 雍正本」。

「大清律例總類六卷」原題,「大清律例總類」匡等奉命纂修律例進呈御覽蒙。

342 大清律例四十七卷 清乾隆五年官撰 二十冊二帙

原題,「大清律例」。乾隆刊本。匡郭,21.5×15.8 9行20字。四周雙邊。白口。序跋,「世祖章皇帝御製大清律原序」(順治三年・一六四〇)、「聖祖仁皇帝上諭」(康熙十八年・一六七九)、剛林等「奏疏」、圖納等「奏疏」(康熙二十八年・一六八九)、圖納等「奏疏」(康熙二十八年)、張玉書等「奏疏」(康熙三十四年・一六九五)、「官銜」。四庫總目卷八十二。「其他」封面「欽定大清律例」。

343 蒙古律例十二卷 鈔本 清嘉慶中官撰 三冊

原題,「蒙古律例」。9行20字。

344 大清律例總類六卷 清闕名撰

大清律集解附例三十卷(別掲史33)に附す。

345 說帖四卷 鈔本 清闕名撰 四冊一帙

原題,「說帖」。匡郭,19.7×12.8 9行22字。四周雙邊。白口。刻工名。印記,「燕庭藏書」。伯健識語,「丙子(昭和十一年・一九三

六)四月、在滬上購。伯健」(帙背)。「其他」一、朱絲欄。二、題簽に「道光八年」とあり。

346 刑案萃珍便覽八卷 鈔本 口闕名撰 八冊一帙

原題,「刑案萃珍便覽」(外題)。匡郭,17.9×11.9 9行。四周雙邊。白口。「其他」一、書入あり。二、每卷頭に「德蔭堂」と捺印した付箋あり。

347 營造法式三十四卷補遺一卷 鈔本 宋李誠撰 九冊

原題,「營造法式 宋李誠撰」。8行21字。序跋,紀昀等「提要」(乾隆四十七年・一七八二)、「劄子」、李誠「進新修營造法式序」。「看詳」。四庫總目卷八十二「營造法式三十四卷」。「其他」卷二十九以下、假綴。

「營造法式補遺一卷」

348 營造法式補遺一卷 鈔本 宋李誠撰

營造法式三十四卷(別掲史33)に附す。

349 木經一卷 宋李誠撰

原題,「木經 李誠」。序跋,沈括跋。「其他」重校說郭身第一百九(別掲叢一)所收本。

350 欽定武英殿聚珍版程式一卷 清金簡撰 一冊

原題,「欽定武英殿聚珍版程式」(版心)。乾隆武英殿聚珍版。匡郭,18.8×11.8 9行21字。四周雙邊。白口。校者名。四庫總目卷八十二。

351 詞科掌錄十七卷餘話八卷 清杭世駿撰 八冊一帙

原題,「詞科掌錄 仁和杭世駿編輯」。乾隆刊本。匡郭,16.5×11.1 11行21字。左右雙邊。黑口。序跋,上諭。「其他」一、帙外題

「詞科掌錄附餘話」。二、封面「詞科掌錄 道古堂藏板」。
 「詞科餘話八卷」原題，「詞科餘話 仁和杭世駿編輯」。

352 詞科餘話八卷 清杭世駿撰

詞科掌錄十七卷（別掲史35）に附す。

353 日本華族女學校規則一卷 清欽差出使日本國大臣東文編譯官譯

原題，「日本華族女學校規則 大清欽差出使日本國大臣裕隨帶東文編譯官譯錄」。〔其他〕一、封面「新譯日本女學校規則」「光緒二十三年七月元和江氏靈鶴閣據寫本付刊於長沙」。二、靈鶴閣叢書第六集（別掲叢6）所收本。

354 識小錄一卷 鈔本 清王夫之撰 一册

原題，「識小錄 衡陽王夫之撰」。10行22字。序跋，王夫之「識小錄引」。〔其他〕毛裝。

355 水曹清暇錄十六卷 和刻本 清汪啓淑撰 五册

原題，「水曹清暇錄 古歎詠汪啓淑述」。文久二年（一八六二）刊本。匡郭，16.7×12.6 9行18字。左右雙邊。白口。印記，「湖南秘板」。序跋，錢大昕序（乾隆五十七年・一七九二）、翟槐跋（乾隆四十六年・一七八一）。〔其他〕一、外題「官版水曹清暇錄」。二、卷十六末刻「文久二年刊」。

356 養吉齋餘錄六卷 清吳振棫撰 一册

原題，「養吉齋餘錄 賜進士出身雲貴總督翰林院編修巨吳振棫纂」。匡郭，18.5×12.8 12行24字。四周單邊。白口。印記，「湖南秘板」。〔其他〕存卷，卷一より卷六。

十四書目類

357 祕書省續編到四庫闕書目二卷 宋紹興時改定 葉德輝考證

原題，「祕書省續編到四庫闕書目 紹興□□年改定 長沙葉德輝考證」。序跋，葉德輝「刊祕書省續編到四庫闕書目序」（光緒二十九年・一九〇三）。〔其他〕一、封面「宋祕書省續編到四庫闕書目二卷 朱益藩書」「光緒癸卯仲春葉氏觀古堂刊」。二、觀古堂所著書第一集（別掲叢1）所收本。

358 南離志經籍考二卷 明梅鷟撰

原題，「南離志經籍考」。序跋，葉德輝「重刻明南離志經籍考跋」（光緒二十八年・一九〇二）。四庫總目卷八十存目「南離志二十四卷」。〔其他〕一、封面「明南離志經籍考二卷 朱益藩書」「光緒壬寅嘉平長沙葉氏校刊」。二、觀古堂彙刻書第一集（別掲叢1）所收本。

359 國史藝文志不分卷 鈔本 四册

匡郭，17.2×10.4 8行20字。白口。「松竹齋」。序跋，王同愈補記（光緒三十一年・一九〇五）。〔其他〕一、伯健付箋「蒙本國志藝文志」。二、附屬物、書名を列記した原稿用紙一葉。その中の一項に「蒙本國史藝文志四區冊 翰林院原本 庚子之變脫出」とあり。

360 欽定四庫全書總目四卷 和刻本 清乾隆四十七年敕撰 六册

原題，「乾隆欽定四庫全書總目」。文化十一年（一八一四）刊本。匡郭，18.4×12.0 10行24字。四周單邊。白口。印記，「弘前藩官澁江氏藏書記」「森氏」。〔其他〕一、外題「四庫全書總目」。二、卷四末刻「文化十一年甲戌新鐫 學問所御藏板 製本頒行所 和泉屋莊次郎」。三、澁江抽齋校訂あり。四、森約之識語あり。五、附屬物、佐藤坦「刻四庫全書簡明目録序」（享和二年・一八〇二）の寫し一葉。

361 欽定四庫全書簡明目録二十卷 清乾隆四十七年敕撰 八册一帙

原題,「欽定四庫全書簡明目録」。匡郭,12.6×9.1 9行21字。左右雙邊。白口。印記,「湖南祕極」「湖南」「春錦堂圖書記」等四種。湖南識語,「異本」(帙上の題簽に朱筆)。〔其他〕一、帙外題「簡明目録」。二、卷末に「番禺黎永椿」「番禺王國瑞」等の校者名あり。

362 四庫簡明目録標注二十卷 鈔本 清邵懿辰撰 六册

原題,「欽定四庫全書簡明目録」。匡郭,18.8×12.8 10行26字。四周雙邊。白口。印記,「湖南祕極」。〔其他〕一、外題「半巖廬書目」。二、書入あり。

363 四庫簡明目録版本疏不分卷 鈔本 王頌蔚撰 一册

原題,「欽定四庫全書簡明目録 仁和邵懿辰校注」。匡郭,17.7×12.1 10行20字。左右雙邊。印記,「湖南祕極」。〔其他〕一、外題「四庫簡明目録版本疏 邵懿辰」。二、島田翰の識語あり。

364 欽定四庫全書總目提要四部類敘一卷 清乾隆四十七年敕撰

原題,「欽定四庫全書總目提要四部類敘」。〔其他〕一、封面「欽定四庫全書總目提要四部類敘」「光緒乙未四月元和江氏恭校刊」。二、靈鷲閣叢書第一集(別掲叢。)所收本。

365 古越藏書樓書目二十卷 清徐樹蘭撰 八册

原題,「古越藏書樓書目」。光緒三十年(一九〇四)石印本。匡郭,15.8×11.4 12行28字。四周單邊。白口。〔會稽徐氏寫本〕。印記,「湖南祕極」「湖南」。序跋,徐樹蘭序(光緒二十八年・一九〇二)。〔其他〕封面「古越藏書樓書目 陽湖王洵署檢」「光緒三十年十月崇實書局石印」。

366 萬卷堂書目四卷 明朱陸樸撰

原題,「萬卷堂書目」。序跋,葉德輝「刊萬卷堂書目序」(光緒二十九年・一九〇三)、鈺、朱陸樸「萬卷堂家藏藝文自記」。〔其他〕

一、封面「萬卷堂書目」「光緒癸卯秋長沙葉氏刊」。二、觀古堂彙刻書第一集(別掲叢。)所收本。

367 重編紅雨樓題跋不分卷 鈔本 明徐燭撰 清繆荃孫輯 一册

原題,「紅雨樓題跋 徐燭與公」。匡郭,15.4×9.5 10行24字。四周單邊。白口。印記,「江陰繆荃孫藏書記」。〔其他〕一、校訂あり。二、毛裝。

368 汲古閣珍藏祕本書目一卷 鈔本 清毛扆撰 一册

原題,「汲古閣珍藏祕本書目 毛扆斧季書」。11行。

369 絳雲樓書目補遺一卷 靜惕堂書目宋人集一卷 元人文集一卷 清錢謙益撰 靜惕堂書目宋人集元人文集清曹溶撰

原題,「絳雲樓書目補遺」。序跋,葉德輝序(光緒二十二年・一八九六)。〔其他〕一、封面「絳雲樓書目補遺增靜惕堂宋元集書目」「光緒壬寅秋九月刊」。二、觀古堂彙刻書第一集(別掲叢。)所收本。

〔靜惕堂書目宋人集一卷〕原題,「靜惕堂書目宋人集」。序跋,葉德輝「靜惕堂書目序」(光緒二十八年・一九〇二)。

〔靜惕堂書目元人文集一卷〕原題,「靜惕堂書目元人文集」。

370 靜惕堂書目宋人集一卷 清曹溶撰

絳雲樓書目補遺一卷(別掲史369)に附す。

371 靜惕堂書目元人文集一卷 清曹溶撰

絳雲樓書目補遺一卷(別掲史369)に附す。

372 竹菴齋傳鈔書目一卷 清趙魏撰

原題,「竹菴齋傳鈔書目 仁和趙魏撰」。序跋,葉德輝「趙晉齋竹庵庵傳鈔書目序」(光緒三十年・一九〇四)。〔其他〕一、封面「竹

庵庵傳鈔書目」。「光緒甲辰新秋葉氏觀古堂刊」。二、觀古堂彙刻書第一集（別掲叢一）所收本。

373 士禮居藏書題跋記續一卷 清黃丕烈撰

原題，「士禮居藏書題跋記續」。序跋，江標序（光緒二十二年・一八九六）。〔其他〕一、封面「吳縣黃夔圃先生士禮居藏書題跋記續錄」。「元和江氏據江陰繆氏輯本寫刻於湘中」。二、靈鶴閣叢書第二集（別掲叢二）所收本。

374 邵亭知見傳本書目十六卷 清莫友芝撰 十册一帙

原題，「邵亭知見傳本書目」。宣統元年（一九〇九）排印本。匡郭，153×88 10行。四周雙邊。白口。印記，「湖南祕極」。序跋，董康序。〔其他〕一、封面「邵亭知見傳本書目 宣統元年正月校印」。二、卷末刻「明治四十二年二月即宣統元年正月東京田中氏刊行于清國北京」。「北京德興堂印字局聚珍版」。

375 結一廬書目四卷附錄一卷 清朱學勳撰

原題，「結一廬書目 唐樓朱氏收藏」。序跋，葉德輝「結一廬書目序」（光緒二十七年・一九〇二）。〔其他〕一、封面「結一廬書目四卷」。「壬寅仲春觀古堂刊」。二、觀古堂彙刻書第二集（別掲叢二）所收本。

376 結一廬書目附錄一卷 清朱學勳撰

結一廬書目四卷（別掲史部）に附す。

377 八千卷樓書目不分卷 鈔本 清丁丙撰 八册一帙

原題，「八千卷樓書目」。11行。序跋，胡鳳丹「錢塘丁氏嘉惠堂珍藏書目序」、「八千卷樓收藏書籍記」（同治二年・一八六三）、序、張溶萬「錢塘丁氏嘉惠堂八千卷樓記」、張大昌「八千卷樓藏書記」、俞樾・張上和「題八千卷樓藏書圖」。

378 從好堂藏書志四卷 鈔本 清陸心源編 一册

原題，「從好堂藏書志 歸安陸心源子剛甫編」。匡郭，170×113 10行。四周雙邊。白口。印記，「湖州陸氏所藏」。〔其他〕一、外題「從好堂藏書志稿本」。二、附屬物 書名を列記した「南滿州鐵道株式會社」用箋十九枚および原稿用紙一枚。

379 四部正譌三卷 明胡應麟撰

原題，「四部正譌 明東越胡應麟撰」。序跋，「四部正譌引」。〔其他〕少室山房集少室山房筆叢（別掲叢二）所收本。

380 徵刻唐宋祕本書目一卷附考證一卷徵刻書啓五先生事略一卷 清黃虞稷周在浚同撰 附錄葉德輝撰

原題，「徵刻唐宋祕本書目 晉江黃虞稷鄭祥符周在浚雪客編次」。序跋，葉德輝「重刊徵刻唐宋祕本書目序」（光緒三十四年・一九〇八）、紀映鐘・錢陸燦・朱彝尊・魏禧・汪楫「徵刻唐宋祕本書啓」、楊復吉「徵刻唐宋祕本書目跋」（光緒元年・一八七五）。〔其他〕一、封面「徵刻唐宋祕本書目一卷附考證二卷 朱益潛書」「長沙葉氏郎園校刊」。二、觀古堂彙刻書第一集（別掲叢一）所收本。
〔徵刻唐宋祕本書目考證一卷〕原題，「徵刻唐宋祕本書目考證 長沙葉德輝煥彬撰錄」。
〔徵刻書啓五先生事略一卷〕原題，「徵刻書啓五先生事略 長沙葉德輝煥彬撰錄」。

381 徵刻唐宋祕本書目考證一卷 清葉德輝撰

徵刻唐宋祕本書目一卷（別掲史部）に附す。

382 徵刻書啓五先生事略一卷 清葉德輝撰

徵刻唐宋祕本書目一卷（別掲史部）に附す。

383 藏書紀事詩六卷 清葉昌熾撰

原題，「藏書紀事詩 長洲葉昌熾」。序跋，劉奎陽跋（光緒二十三年・一八九七）。〔其他〕靈鶴閣叢書第五集（別掲叢二）所收本。

384 經籍會通四卷 明胡應麟撰

原題、「經籍會通 明東越胡應麟撰」。序跋，胡應麟「經籍會通引」（萬曆十七年・一五八九）。〔其他〕少室山房集少室山房叢書（別揭叢書）所收本。

385 河內東洋學院藏書目不分卷 鈔本 二册一帙

10行。印記，「炳卿監藏」「虎」「湖南」。〔其他〕一、帙外題「河內東洋學院藏書目」。二、第一册外題「河內東洋學院藏支那書目」、第二葉「佛國東洋學院所藏支那書籍目錄」。第二册外題「河內東洋學院藏安南書目」、第二葉「佛國東洋學院所藏安南書籍目錄」。三、第一册末尾に「千九百十二年七月十日 印度支那河內於法國東洋學院 北圻與安省快州府恩施縣惠來扶擁社陳壁蓮寫」、第二册末尾に「千九百十二年七月十七日 印度支那河內於法國東洋學院 北圻與安省快州府恩施縣惠來總扶擁社陳壁蓮寫」と署す。

386 王觀堂先生校本批本書目一卷 鈔本 一册

原題，「王觀堂先生校本批本書目」。12行。

387 敦煌石室書目及發見之原始一卷 附羅振玉自筆稿本 羅振玉撰 一册

原題，「敦煌石室書目及發見之原始」。民國誦芬室排印本。匡郭，17.4×11.7 10行21字。四周單邊。白口。〔誦芬室校印。印記，「湖南秘板」。〔其他〕一、外題「敦煌石室書目附叢本」。二、湖南校訂・書入あり。三、稿本部原題，「敦煌石室書目及發見之原始」。匡郭，19.8×13.9 11行。四周單邊。

388 燉煌石室經卷中未入藏諸經目錄 鈔本 李翊灼錄 一册

原題，「燉煌石室經卷中未入藏諸經目錄 臨川李翊灼錄」。匡郭，19.3×13.8 11行22字。四周單邊。白口。〔其他〕京師圖書館紙襖用箋に鈔寫される。

十五 金石類

389 隸釋二十七卷 宋洪适撰 十二册二帙

原題，「隸釋」。乾隆刊本。匡郭，20.2×15.0 9行20字。四周單邊。白口。印記，「河東郡」等三種。序跋，洪适「隸釋序」（乾道三年・一一六七）、汪日秀跋、吾進跋。四庫總目卷八十六。〔其他〕卷末刻「樓松書屋汪氏校本」。

390 兩漢金石記二十二卷 清翁方綱撰 六册一帙

原題，「兩漢金石記 口講起居注官文淵閣直閣事詹事府詹事兼翰林院侍讀學士大興翁方綱」。乾隆五十四年（一七八九）刊本。匡郭，20.3×14.3 10行20字。左右雙邊。白口。〔其他〕一、封面「兩漢金石記 乾隆五十四年己酉秋八月錄于南昌使院 凡廿一卷北平翁方綱」。網。

391 金石一跋四卷二跋四卷三跋二卷 清武億撰 二册

原題，「金石一跋 偃師武億著錄男木淳編」。匡郭，19.3×14.4 10行21字。左右雙邊。白口。印記，「結一廬藏書印」。序跋，武億「金石三跋序」（乾隆五十五年・一七九〇）。〔其他〕一、封面「金石三跋」。二、卷末刻「受業王裕棫王恩錫校」。〔金石二跋四卷〕原題，「金石二跋 偃師武億著錄男木淳編」。〔金石三跋二卷〕原題，「金石三跋 偃師武億著錄男木淳編」。

392 金石二跋四卷 清武億撰

金石一跋四卷（別掲史別）に附す。

393 金石三跋二卷 清武億撰

金石一跋四卷（別掲史別）に附す。

394 望堂金石文字不分卷 清楊守敬輯 十七册一帙

原題,「望堂金石文字」(封面)。匡郭,23.6×14.7 四周單邊。白口。印記,「湖南祕極」。〔其他〕一、封面「望堂金石文字 賓臣題籤」。二、伯健付箋「望堂金石文字(初集)初印」。

395 古籀拾遺三卷附宋政和禮器文字攷一卷 清孫詒讓撰 一册一帙

原題,「古籀拾遺 瑞安孫詒讓記」。光緒刊本。匡郭,23.0×16.5 11行22字。左右雙邊。黑口。印記,「湖南祕極」。序跋,孫詒讓敘(同治十一年・一八七二)、劉恭冕「古籀跋」(同治十一年)。
〔宋政和禮器文字攷一卷〕原題,「宋政和禮器文字攷」。〔其他〕卷末刻「永嘉戴鍾毓刻字」。

396 宋政和禮器文字攷一卷 清孫詒讓撰

古籀拾遺三卷(別掲史部)に附す。

397 雪履尋碑錄不分卷 鈔本 清盛尊輯 十册

原題,「雪履尋碑錄」(外題)。匡郭,17.3×10.6 9行25字。四周雙邊。白口。〔其他〕一、「松古齋」用原稿用紙に鈔寫されている。二、附屬物、伯健宛金銀紙封書一通。

398 校碑隨筆不分卷 方若撰 一册

原題,「校碑隨筆 定海方若藥雨甫著」。匡郭,18.4×12.4 10行20字。四周單邊。白口。印記,「湖南祕極」。湖南識語,「庚戌(明治四十三年・一九一〇)十月十三日、在天津日方藥雨持贈。炳卿」。〔其他〕卷末刻「天津中東石印局石印」。

399 江寧金石待訪目二卷 清嚴觀撰

原題,「江寧金石待訪目 冶城嚴觀子進編」。序跋,嚴晉「江寧金石待訪目」(嘉慶九年・一八〇四)。〔其他〕一、封面「江寧金石待訪目 據原本重刻」。「丙申五月竣」。二、靈鷲閣叢書第二集(別掲叢)所收本。

400 山左南北朝石刻存目一卷 清尹彭壽撰

原題,「山左南北朝石刻存目 諸城尹彭壽」。〔其他〕一、封面「山左南北朝石刻存目 諸城尹氏本」。「江氏重刻」。二、靈鷲閣叢書第二集(別掲叢)所收本。

401 和林金石錄一卷詩一卷附和林考一卷 清李文田撰 和林考清黃林材撰

原題,「和林金石錄」。〔其他〕一、封面「和林金石錄 和林金石詩 丁酉二月刻」。「江氏靈鷲閣本」。二、靈鷲閣叢書第四集(別掲叢)所收本。
〔和林詩一卷〕原題,「和林詩 順德李文田撰」。
〔和林考一卷〕原題,「和林考」(版心)。

402 景教碑文紀事攷正一卷 清楊榮鏡撰 一册

原題,「景教碑文紀事攷正」。光緒二十七年(一九〇二)刊本。匡郭,20.8×14.5 12行25字。左右雙邊。白口。印記,「湖南祕極」。序跋,王先謙「重刊景教碑文紀事攷正序」(光緒二十七年・一九〇二)、葵園老人「後序」(光緒二十七年)。〔其他〕封面「重刊景教碑文紀事攷正一卷」。「光緒辛丑歲思賢書局刊」。

403 楷法溯源十四卷所采古碑目錄一卷所采集帖目錄一卷 清潘存原輯 清楊守敬編 十五册一夾板

原題,「楷法溯源 文昌潘存原初原輯 宜都楊守敬惺吾編 東湖饒敦秩季音校」。光緒三年(一八七七)刊本。匡郭,22.6×14.7 四周雙邊。白口。印記,「湖南祕極」。序跋,畢保蘆「楷法溯源序」(光緒四年・一八七八)。〔其他〕一、封面「楷法溯源十四卷目錄一卷 光緒三年七月開雕四年十月貳月鄭知同題署」。二、卷十四末刻「宜都李宏讓鐫刻」。

〔所采古碑目錄一卷〕原題,「楷法溯源所采古碑目錄」。
〔所采集帖目錄一卷〕原題,「楷法溯源所采集帖目錄」。

404 所采古碑目錄一卷 清潘存原輯 清楊守敬編

楷法溯源十四卷(別掲史籍)に附す。

405 所采集帖目錄一卷 清潘存原輯 清楊守敬編

楷法溯源十四卷(別掲史籍)に附す。

406 蒼崖先生金石例十卷 鈔本 元潘昂霄撰 四册

原題、「蒼崖先生金石例 鄱陽楊本編輯校正」。9行20字。印記、「張家鳳」「讀杜草堂」「希中」等十六種。序跋、楊本・傅貴全・湯植翁・王思明等「金石例序」。四庫總目卷一百九十六「金石例十卷」。〔其他〕第一册闕損多し。

407 語石十卷 清葉昌熾撰 四册一帙

原題、「語石 長洲葉昌熾」。宣統刊本。匡郭、16.6×12.2 11行23字。左右雙邊。黑口。印記、「湖南秘板」。序跋、葉昌熾自序(光緒二十七年・一九〇一)、葉昌熾記(宣統元年・一九〇九)。〔其他〕卷十末刻「蘇城徐元圃子穉圃刻印」。

408 銅僊傳一卷 鈔本 清徐元潤撰 一册一帙

原題、「銅僊傳 太倉徐元潤秋士纂」。9行22字。序跋、蔣希曾序、盛大士跋。〔其他〕伯健付箋「精寫本銅僊傳一本」。

409 古泉雜詠四卷 葉德輝撰

原題、「古泉雜詠 長沙葉德輝撰并註。序跋、皮錫瑞「古泉雜詠序」(光緒二十七年・一九〇一)。〔其他〕一、封面「古泉雜詠 粟拔題」「辛丑冬月刊成」。二、觀古堂所著書第二集(別掲叢書)所收本。

410 北齊道興治疾方不分卷 鈔本 北齊道興 一册

10行20字。印記、「炳卿審定善本」「湖南秘板」「弘前醫官澁江氏藏書」「森氏」等六種。序跋、丹波元堅「北齊都邑師造像記并治疾方跋」(文政八年・一八二五)、澁江抽齋跋(文政九年・一八二六)。湖南識語、「丁未(明治四十年・一九〇七)六月、幸田巨浪君持贈。炳卿」。〔其他〕一、森約之識語あり。二、澁江抽齋自筆鈔本。三、展觀目錄八頁參照。

411 天下碑刻目錄不分卷 鈔本 清林何撰 一册

8行。序跋、林何「天下碑刻目錄小引」(康熙五十七年・一七一八)。

412 高昌麴斌造寺碑一卷 鈔本 一册

原題、「高昌麴斌造寺碑」。11行30字。序跋、羅振玉「高昌寧朔將軍麴斌造寺碑跋」(民國八年・一九一九)。〔其他〕一、羅振玉自筆。二、附屬物、羅振玉書簡四通。封書一通。三、毛裝。

十六 史 鈔 類

413 古今紀要十九卷 宋黃震撰

慈溪黃氏日抄分類九十七卷(別掲子目)に附す。

414 歷代帝王編年互見之圖不分卷 和刻本 馬仲虎編 一册

原題、「歷代帝王編年互見之圖 繁臺馬仲虎編」。匡郭、23.3×19.0 8行。四周單邊。黑口。印記、「炳卿珍藏書槧古鈔之記」「松本氏圖書印」「森氏開萬册府之記」「勝鹿文庫」。序跋、「歷代帝王編年互見之圖序」、贊皇李書後、謙菴道慶跋(寬永六年・一六二九)、李眞榮跋(寬永六年)。〔其他〕一、表紙に「宋本摹刻」とあり。二、贊皇李書後に續けて「永和第一季冬初弦重刊于洛之大用菴」とあり。三、森立之識語あり。四、展觀目錄九頁參照。

十七 史 評 類

415 史通二十卷 唐劉知幾撰 四册一帙

原題、「史通」。明刊本。匡郭、19.8×13.7 10行20字。四周單邊。白口。印記、「肖林程氏收藏書畫印」「畏堂張氏收藏」等三種。序

跋，「史通序錄」(景龍四年・七一〇)。四庫總目卷八十八。〔其他〕校訂あり。

416 史通通釋二十卷 清浦起龍撰 八册一帙

原題，「史通通釋 南村秋浦起龍二田釋 長州方懋福駿公同里蔡焯敦復蔡龍孫初篁參釋」。乾隆刊本。匡郭，189×125 9行22字。左右雙邊。白口。印記，「湖南祕校」。序跋，浦起龍跋(乾隆十七年・一七五二)、郭延年・王惟儉・黃叔琳「別本序三首」。湖南識語，「庚戌(明治四十三年・一九一〇)十月，在燕都購。炳卿」(映背)，「史通書本二種。黃崑圃本出于王損仲本。此本出于郭延年本。損仲自記出于張玄趙本。延年亦自記所誤。審父本再加校定。張審父乃再刻陸儼山校本。然余所藏嘉靖時陸本，不與王校本合。可疑。若更得張刻本庶幾此款可決矣。丁卯(昭和二年・一九二七)十二月仲七、虎記。四庫總目卷八十八。〔其他〕書入あり。

417 史通通釋二十卷 清浦起龍撰 四册一帙

原題，「史通通釋 南村秋浦起龍二田釋 長洲方懋福駿公同里蔡焯敦復蔡龍孫初篁參釋」。乾隆刊本。匡郭，189×125 9行22字。左右雙邊。白口。印記，「內藤乾藏書」「頤志齋主人珍藏」。序跋，鈺(乾隆十七年・一七五二)、郭延年・王惟儉・黃叔琳「別本序三首」、劉知幾「史通原序」。四庫總目卷八十八。〔其他〕書入あり。

418 唐書直筆新例不分卷新例須知一卷校記一卷反離騷一卷 宋呂夏卿撰 反離騷漢楊雄撰 一册

原題，「唐書直筆 呂夏卿撰」。匡郭，21.0×14.0 14行25字。左右雙邊。白口。刻工名。〔其他〕朱絲欄。
 「唐書直筆新例須知一卷」原題，「唐書新例須知」。
 「唐書直筆校記一卷」原題，「唐書直筆校記」。
 「反離騷一卷」原題，「反離騷」。匡郭，17.6×12.2 7行15字。左右雙邊。白口。刻工名。序跋，張鈞衡跋。

419 唐書直筆新例須知一卷 宋呂夏卿撰

唐書直筆新例不分卷(別掲史418)に附す。

420 唐書直筆校記一卷 宋呂夏卿撰

唐書直筆新例不分卷(別掲史418)に附す。

421 文史通義九卷 鈔本 清章學誠撰

〔其他〕章氏遺書(別掲叢16)所收本。

422 文史通義補編一卷鈔本目一卷刊本所有鈔本所無目一卷 清章學誠撰

原題，「文史通義補編 會稽章學誠」。〔其他〕一、封面「章實齋文史通義補編」「丁酉春元和江氏靈鶴閣據盧江何氏鈔本刻」。二、靈鶴閣叢書第四集(別掲叢6)所收本。
 「文史通義鈔本目一卷」原題，「文史通義鈔本目」。
 「文史通義刊本所有鈔本所無目一卷」原題，「文史通義刊本所有鈔本所無目」。

423 文史通義鈔本目一卷 清章學誠撰

文史通義補編一卷(別掲史422)に附す。

424 文史通義刊本所有鈔本所無目一卷 清章學誠撰

文史通義補編一卷(別掲史422)に附す。

425 校讐通義四卷 鈔本 清章學誠撰

〔其他〕章氏遺書(別掲叢16)所收本。

426 文史校讐通義不分卷 鈔本 清章學誠撰 六册

原題，「文史校讐通義」(封面)。匡郭，14.5×9.2 8行20字。四周雙邊。白口。「唵梅書屋」。印記，「韓氏藏書」「玉雨堂印」。

〔其他〕一、校訂あり。二、伯健付箋「古鈔本 文史校讐通義」。

427 唐史論斷三卷附錄一卷 鈔本 宋孫甫撰 三册

原題,「唐史論斷 宋孫甫之翰撰」。8行21字。印記,「內藤」字丙卿。序跋,孫甫「唐史論斷序」、張敦後序(紹興二十七年・一一五七)。湖南識語,「共三本。庚子(明治三十三年・一九〇〇)十一月念一。炳卿。四庫總目卷八十八。〔其他〕校訂あり。〔唐史論斷附錄一卷〕

428 唐史論斷附錄一卷 宋孫甫撰

唐史論斷三卷(別掲史1)に附す。

429 史書佔畢六卷 明胡應麟撰

原題,「史書佔畢 明東越胡應麟撰」。序跋,胡應麟「史書佔畢引」。〔其他〕少室山房集少室山房叢(別掲叢1)所收本。

430 考信錄提要二卷 鈔本 清崔述撰

原題,「考信錄提要 大名崔述東壁著 石屏門人陳履和校刊」。序跋,「考信錄自序」。〔其他〕一、封面「道光二年刊 考信錄提要 遺經樓藏板」。二、崔東壁先生遺書(別掲叢1)所收本。

431 補上古考信錄二卷 鈔本 清崔述撰

原題,「補上古考信錄 大名崔述東壁補考 石屏門人陳履和校刊」。〔其他〕一、封面「道光二年刊 補上古考信錄 遺經樓藏板」。二、崔東壁先生遺書(別掲叢1)所收本。

432 唐虞考信錄四卷 鈔本 清崔述撰

原題,「唐虞考信錄 大名崔述東壁謹考 石屏門人陳履和校刊」。序跋,王崧「三代考信錄序」(嘉慶二十二年・一八一七)。〔其他〕

433 夏考信錄二卷 鈔本 清崔述撰

一、封面「道光二年刊 唐虞考信錄 遺經樓藏板」。二、崔東壁先生遺書(別掲叢1)所收本。
原題,「夏考信錄 大名崔述東壁謹考 受業門人石屏陳履和校刊」。序跋,「夏考信錄自序」、陳履和序。〔其他〕一、封面「大名崔東壁先生著 夏考信錄 嘉慶丁丑二月太谷縣署中刻」。二、崔東壁先生遺書(別掲叢1)所收本。

434 商考信錄二卷 鈔本 清崔述撰

原題,「商考信錄 大名崔述東壁謹考 受業門人石屏陳履和校刊」。序跋,「商考信錄自序」。〔其他〕一、封面「大名崔東壁先生著 商考信錄 嘉慶丁丑二月太谷縣署中刻」。二、崔東壁先生遺書(別掲叢1)所收本。

435 豐鎬考信錄八卷 鈔本 清崔述撰

原題,「豐鎬考信錄 大名崔述東壁謹考 受業門人石屏陳履和校刊」。序跋,「豐鎬考信錄自序」。〔其他〕一、封面「大名崔東壁先生著 豐鎬考信錄 嘉慶丁丑二月太谷縣署中刻」。二、崔東壁先生遺書(別掲叢1)所收本。

436 豐鎬考信別錄三卷 鈔本 清崔述撰

原題,「豐鎬考信別錄 大名崔述東壁謹考 石屏門人陳履和校刊」。〔其他〕一、封面「大名崔東壁先生著 豐鎬考信別錄 道光四年正月東陽縣署中刻」。二、崔東壁先生遺書(別掲叢1)所收本。

437 考古續說二卷 鈔本 清崔述撰

原題,「考古續說 大名崔述東壁著 石屏門人陳履和校刊」。〔其他〕一、封面「大名崔東壁先生著 考古續說 道光四年正月東陽縣署中刻」。二、崔東壁先生遺書(別掲叢1)所收本。

子部

一 儒家類

- 1 孔子家語十卷附札記一卷 魏王肅注 札記清劉世珩撰 四冊一帙
 原題,「孔子家語 王肅注」。光緒二十四年(一八九八)刊本。匡郭, 28.5×16.9 9行17字。左右雙邊。黑口。印記,「湖南祕板」等三種。序跋,王肅「孔子家語序」、毛晉跋(崇禎九年・一六三二)、毛辰跋。湖南識語,「共四本。癸卯(明治三十六年・一九〇三)四月劉聚卿觀察持贈。炳卿」。四庫總目卷九十一「孔子家語十卷」。(其他)一、外題「景宋蜀本孔子家語附札記」。二、封面「宋蜀本孔子家語十卷」。三、玉海堂景宋叢書之二光緒二十四年太歲在戊戌二月貴池劉世珩以家藏汲古閣舊本付刻于武昌黃岡陶子霖鐫。三、書背に「貴池南山蜀劉氏家刻書」印あり。四、附屬物,封筒一通(劉世珩より湖南宛)。
 「孔子家語札記一卷」原題,「孔子家語札記」。匡郭, 28.6×16.9 13行23字。左右雙邊。黑口。序跋,劉世珩序(光緒二十六年・一九〇〇)。後序,劉世珩記(光緒二十二年・一八九六)。
- 2 孔子家語札記一卷 清劉世珩撰
 孔子家語十卷(別掲子1)に附す。
- 3 新序十卷 漢劉向撰
 原題,「新序 陽朔元年二月癸卯護左都水使者光祿大夫臣劉向上」。匡郭, 16.1×12.3 13行23字。左右雙邊。黑口。四庫總目卷九十一。(其他)一、封面「校宋本新序」。二、卷末刻「光緒癸未以蔣子遠校本繕錄上版臘月記」。「吳門徐元圃刻」。三、鐵華館叢書(別掲叢8)所收本。
- 4 揚子法言十三卷附音義一卷 漢揚雄撰 晉李軌注 音義宋闕名撰 二冊一帙
 原題,「揚子法言 李軌注」。嘉慶刊本。匡郭, 20.3×16.7 10行18字。左右雙邊。白口。刻工名。印記,「湖南祕板」等二種。序跋,秦恩復「重刻治平監本揚子法言并音義序」(嘉慶二十四年・一八一九)。(其他)一、外題「秦刻仿宋本揚子法言」。二、封面「宋治平監本揚子法言」。「江都秦氏石硯齋重刊」。
 「揚子法言音義一卷」原題,「揚子法言音義」。
- 5 揚子法言音義一卷 宋闕名撰
 揚子法言十三卷(別掲子4)に附す。
- 6 傅子一卷 晉傅玄撰 一冊
 原題,「傅子 晉傅玄撰」。乾隆武英殿聚珍版。匡郭, 18.9×11.4 9行21字。四周雙邊。白口。校者名。四庫總目卷九十一。
- 7 傅子三卷附訂譌一卷 晉傅玄撰 葉德輝輯併撰訂譌
 原題,「傅子 晉傅玄撰 長沙葉德輝撰輯」。序跋,葉德輝「傅子跋」(光緒十七年・一八九二)。四庫總目卷九十一「傅子一卷」。(其他)一、封面「傅子」。「光緒壬寅八月長沙葉氏輯刊」。二、觀古堂所著書第二集(別掲叢18)所收本。
 「傅子訂譌一卷」原題,「傅子訂譌 長沙葉德輝校刊」。
- 8 傅子訂譌一卷 清葉德輝撰
 傅子三卷(別掲子7)に附す。
- 9 文中子中說十卷 和刻本 隋王通撰 宋阮逸注 一冊
 原題,「中說」。文政十年(一八二七)刊本。匡郭, 16.4×10.9 14行27字。四周單邊。白口。刻工名。印記,「湖南祕板」。序跋,「文中子中說序」。湖南識語,「己酉(明治四十二年・一九〇九)三月念九。炳卿」。(其他)一、外題「仿宋本文中子中說」。二、卷十末刻「文政十年暮刊」。三、伯健付箋「官板文中子 又玄集 玉臺新詠集 餞中集 神田氏の『かし』の』」。

10 貞觀政要十卷 鈔本 唐吳兢撰 十册

原題、「貞觀政要 史臣吳兢撰」。6行13字。印記、「湖南祕板」。序跋，吳兢「上貞觀政要表」。四庫總目卷五十一。「其他」一、卷十末手寫「松下見林藏書」。二、胡蝶裝、平古止點つき。三、展觀目錄二頁參照。

11 大學衍義四十三卷 宋真德秀撰 明陳仁錫評 十册一帙

原題、「大學衍義 宋學士真德秀彙輯 明史官陳仁錫評閱」。明刊本。匡郭，21.1×13.8 10行20字。四周單邊。白口。印記，一種。序跋，文震孟「大學衍義序」、陳仁錫「大學衍義序」（崇禎五年・一六三三）、陳仁錫「續補衍義全書序」（崇禎五年、真德秀「大學衍義序」、真德秀「進大學衍義表」、真德秀「中書門下省時政房申狀」（端平元年・一二三四）、真德秀跋、真德秀「尚書省劄子」（端平元年、楊廉表（嘉靖元年・一五二二）、楊廉「進大學衍義節畧表」（嘉靖元年）、楊廉「大學衍義節畧題辭」。

12 大學衍義補一百六十卷首一卷 明丘濬撰 二十四册

原題、「大學衍義補」。明刊本。匡郭，19.9×17.2 11行22字。四周單邊。白口。印記，三種。序跋，丘濬序、廣陵宗「重刊大學衍義台補序」（嘉靖三十八年・一五五九）、姚朱錦「刻大學衍義補跋」（萬曆三十三年・一六〇五）、周洪謨等題請（弘治元年・一四八八）、丘濬「進大學衍義補」（成化二十三年・一四八七）。四庫總目卷九十三「大學衍義補一百六十卷」。

13 釋志十九卷 清胡承禎撰 八册

原題、「釋志 竟陵石莊胡承禎撰」。同治十一年（一八七二）刊本。匡郭，17.9×12.5 10行21字。左右雙邊。白口。印記，「湖南祕板」。序跋，顧錫麒序、毛嶽生序（道光十七年・一八三七）、李念慈「釋志原序」（康熙二十八年・一六八九）、楊昌濬「重刻釋志跋」（同治十一年・一八七二）、李兆洛序（道光十七年）。「其他」封面「釋志」同治十一年夏浙江書局重刊。

14 噩夢一卷 鈔本 清王夫之撰 一册

原題、「噩夢 衡陽王夫之撰」。10行22字。序跋，王夫之「噩夢序」。「其他」毛裝。

15 黃書一卷 鈔本 清王夫之撰 一册

原題、「黃書 衡陽王夫之撰」。10行22字。序跋，後序。「其他」毛裝。

16 近思錄集解十四卷 和刻本 宋朱熹原編 宋葉采集解 四册

原題，「近思錄集解 新安朱熹原編 建安葉采集解」。天保五年（一八三四）刊本。匡郭，18.0×12.2 9行19字。左右雙邊。白口。印記，「湖南祕板」。序跋，葉采「進近思錄表」（淳祐十二年・一二五二）、葉采「近思錄集解序」（淳祐八年・一二四八）、朱熹「近思錄前引」、呂祖謙「近思錄後引」（淳熙三年・一一七六）。「其他」一、外題「官板 近思錄集解」。二、卷十四末刻「天保五年刊」。三、校訂・書入あり。

17 吉齋漫錄二卷 鈔本 明吳廷翰撰 二册

原題，「吉齋漫錄 正德辛巳進士蘇原山人瀟須吳廷翰著 嘉靖庚戌進士男吳國寶編 萬曆丁亥進士男吳國寅刊 虎林後學施紹勳校」。寬政三年（一七九一）鈔本。9行19字。印記，二種。序跋，劉洪謨「蘇原先生吉齋漫錄序」（萬曆二十八年・一六〇〇）。湖南藏語，「共二本。辛丑（明治三十四年・一九〇一）三月初旬。炳卿」。「其他」一、下卷末手寫「寬政三年歲在辛亥秋九月四日於桂園塾鈴木義明寫之畢」。二、書入あり。

18 東林商語二卷 虞山商語三卷 明顧憲成撰 一册

原題，「顧端文公東林商語 同邑諸門人錄 古燕後學張純修重訂」。匡郭，18.7×13.1 10行20字。左右雙邊。黑口。
「虞山商語三卷」原題，「顧端文公虞山商語 門人史孟麟錄 古燕後學張純修重訂」。

19 虞山商語三卷 明顧憲成撰

東林商語二卷（別掲子18）に附す。

20 明儒學案六十二卷 清黃宗羲撰 二十四册

原題、「明儒學案 姚江黃宗羲著 門人萬言訂」。乾隆刊本。匡郭，113×129 11行20字。四周單邊。黑口。印記，四種。序跋，鄭性序（乾隆四年・一七三九）、黃千秋跋（乾隆四年）。四庫總目卷五十八。〔其他〕封面「黃梨洲先生著 明儒學案 四明講堂藏板」。

21 棉陽學準五卷 清藍鼎元撰

原題，「棉陽學準 鹿洲藍鼎元著 受業諸子全校」。序跋，陳華國「棉陽學準序」（雍正七年・一七二九）、蕭嗣禎序、鄭啓秀序、林夢鵬序、姚先登序、劉峯銳序、鄭炳文序、鄭發祥「棉陽學準後序」、鄭大釗後序。〔其他〕一、外題「鹿洲六集 棉陽學準」。二、封面「鹿洲藍子著 棉陽學準 闕存堂藏板」。三、鹿洲全集（別掲叢書）所收本。

22 原善三卷 清戴震撰

原題，「原善」。〔其他〕一、卷三末刻「乾隆丁酉八月刊」。二、卷一第一葉より五葉まで開す。三、戴氏遺書（別掲叢書）所收本。

23 孟子字義疏證三卷 清戴震撰

原題，「孟子字義疏證」。序跋，戴震序。〔其他〕戴氏遺書（別掲叢書）所收本。

24 夢溪筆談二十六卷補筆談三卷續筆談一卷 宋沈括撰 六冊

原題，「夢溪筆談 沈括存中」。匡郭，188×119 9行18字。左右雙邊。黑口。印記，「陸坪詒氏家藏」等二種。序跋，馬元調「重刻夢溪筆談序」（崇禎四年・一六三三）、巽甫「重刻夢溪筆談後序」、沈括「夢溪筆談序」、湯脩年「筆談跋」（乾道二年・一一六〇）。湖南識語，「共六本。壬寅（明治三十五年・一九〇二）七月。炳卿」。四庫總目卷一百二十「夢溪筆談二十六卷補筆談一卷續筆談一卷」。〔其他〕封面「汲古閣原本 沈存中先生著 夢溪筆談三槐堂藏板」。〔夢溪補筆談三卷〕原題，「補筆談 沈括存中」。序跋，巽甫「重編補筆談序」。〔夢溪續筆談一卷〕原題，「續筆談 沈括存中」。

25 夢溪補筆談三卷 宋沈括撰

夢溪筆談二十六卷（別掲子24）に附す。

26 夢溪續筆談一卷 宋沈括撰

夢溪筆談二十六卷（別掲子24）に附す。

27 西溪叢語二卷 宋姚寬撰 一冊

原題，「西溪叢語 宋剡川姚寬」。明刊本。匡郭，201×134 9行20字。四周單邊。白口。四庫總目卷一百十八「西溪叢語三卷」。〔其他〕表紙に「稱海六十五」とあり。

28 臆乘一卷 宋楊伯岳撰

原題，「臆乘 宋楊伯岳」。〔其他〕龍威秘書戊集（別掲叢書）所收本。

29 困學紀聞二十卷 和刻本 宋王應麟撰 十五冊二帙

原題，「困學紀聞 浚儀王應麟伯厚甫」。寛文元年（一六六一）刊本。匡郭，212×134 10行20字。四周雙邊。白口。印記，「湖南秘極」。序跋，吳獻堂「重刻困學紀聞序」（萬曆三十一年・一六〇三）、牟應龍序（至治二年・一三三二）、袁桷「困學紀聞序」（泰定二年・一三三二）、王應麟自序、陸晉之跋（泰定二年）。四庫總目卷一百十八。〔其他〕一、卷二十末刻「孫厚孫寧孫校正 慶元路儒學學正胡不監刊」。二、刊記「寛文辛丑九月望日 路吻三條辨慶石町 書林中野道也新刊」。

30 困學紀聞注二十卷 清翁元圻撰 十二冊二帙 （湖南手批本）

原題，「困學紀聞注 餘姚翁元圻載青輯」。道光五年（一八二五）刊本。匡郭，181×133 11行20字。左右雙邊。白口。印記，「六一山房藏書」「鄧六一山房董氏藏書」。序跋，牟應龍「困學紀聞原序」（至治二年・一三三二）、袁桷跋（泰定二年・一三三二）、男詠序（康熙三十七年・一六九八）、全祖望「困學紀聞三箋序」（乾隆七年・一七四二）、胡敬「困學紀聞注序」（道光六年・一八二六）、黃

徵鉞（道光五年・一八二五）、自序（道光五年）。〔其他〕一、帙外題「困學紀聞注 湖南府君手批本」。二、封面「道光乙酉年開雕困學紀聞注 餘姚守福堂藏版」。三、湖南手批本として特に掲出。四、展覧目錄七頁参照。

31 慈溪黃氏日抄分類九十七卷古今紀要十九卷 宋黃震撰 三十二册四帙

原題，「慈溪黃氏日抄分類 慈溪黃震東發編集集」。匡郭，183×126 14行26字。四周雙邊。黑口。序跋，沈遠「黃氏日抄序」（至元三年・一三三七）。四庫總目卷九十二「黃氏日抄九十五卷」。〔其他〕封面「宋板較刻 黃氏日抄」。

〔古今紀要十九卷〕原題，「慈溪黃氏日抄分類古今紀要 慈溪黃震東發」。匡郭，181×126 12行22字。四周雙邊。黑口。

32 丹鉛新錄八卷 明胡應麟撰

原題，「丹鉛新錄 明東越胡應麟撰」。序跋，「丹鉛新錄引」、「丹鉛錄序」。〔其他〕少室山房集少室山房筆叢（別掲叢12）所收本。

33 日知錄三十二卷 清顧炎武撰 十六册二帙

原題，「日知錄」。康熙刊本。匡郭，162×145 11行22字。左右雙邊。白口。印記，「兩日屋圖書」等二種。序跋，潘耒「日知錄序」（康熙三十四年・一六九五）。四庫總目卷一百十九。〔其他〕封面「顧寧人先生著 日知錄 遂初堂藏板」。

34 湛園札記四卷 清姜宸英撰 二册一帙

原題，「湛園札記 慈谿姜宸英著 邑後學葉元埤重校」。匡郭，167×120 9行21字。左右雙邊。白口。「鶴麓山房藏本」。序跋，「欽定四庫全書提要」（乾隆五十三年・一七八八）、「湛園札記原序」。四庫總目卷一百十九。

35 潛邱劄記六卷左汾近藁一卷 清閻若璩撰 八册一帙

原題，「潛邱劄記」。匡郭，189×140 11行20字。左右雙邊。白口。「卷西堂」。序跋，王允謙序（乾隆十年・一七四五）、沈儼「潛邱劄記序」（乾隆九年・一七四四）、閻若璩「潛邱劄記」、閻學林序（乾隆九年）。四庫總目卷一百十九。〔其他〕一、封面「潛邱劄記 閻百詩先生全集 卷西堂原本 大成齋重梓」。

〔左汾近藁一卷〕原題，「左汾近藁 太原閻詠復申遺藁 岑川程釜夔州校梓」。

36 蛾術編序不分卷 鈔本 一册

10行21字。〔其他〕一、表紙「嘉定王西莊先生著 蛾術編 世楷堂藏版」「道光二十一年歲次辛丑春二月開雕」。二、內容，梁章鉅「蛾術編序」（道光二十一年・一八四一）、楊承湛「蛾術編序」（道光二十三年・一八四三）、陶澍「蛾術編原序」（道光九年・一八二九）、趙彥修「蛾術編序」、迄鶴壽「蛾術編凡例」、「審定參閱勘姓氏」、「原本參校姓氏」、「蛾術編目錄」。三、毛裝。

37 陔餘叢考四十三卷 清趙翼撰 十二册一夾板

原題，「陔餘叢考 陽湖趙翼撰」。乾隆五十五年（一七九〇）刊本。匡郭，179×131 11行21字。左右雙邊。白口。序跋，吳錫麒「陔餘叢考序」（乾隆五十六年・一七九一）、趙翼「陔餘叢考小引」（乾隆五十五年・一七九〇）。〔其他〕封面「乾隆庚戌 陔餘叢考 貽堂藏板」。

38 閱書隨劄一卷 鈔本 清童學誠撰

〔其他〕章氏遺書（別掲叢16）所收本。

39 菴友臆說一卷 清王筠撰

原題，「菴友臆說」。序跋，江標鉞（光緒二十二年・一八九六）、葉德輝「菴友臆說跋」。〔其他〕一、封面「菴友臆說」「光緒乙未夏元和江氏師郵室刊于長沙使院」。二、靈鷲閣叢書第一集（別掲叢6）所收本。

40 女學六卷 清藍鼎元撰

原題，「女學 漳浦藍鼎元王霖編」。序跋，沈涵序（康熙五十七年・一七一八）、車鼎晉序（康熙五十六年・一七一七）、「女學自序」。〔其他〕一、外題「鹿洲七集 女學」。二、鹿洲全集（別掲叢14）所收本。

41 小學六卷 宋朱熹撰 陳澧點 四冊一帙

原題，「小學 天臺陳選點」。明刊本。匡郭，20.1×13.4 11行21字。四周雙邊。黑口。刻工名。印記，「平安掘氏時習齋藏」等五種。序跋，陳選「小學句讀序」（成化九年・一四七三）、李德用「重刻小學序」（嘉靖三十五年・一五五〇）。湖南識語，「明嘉靖卅五年板。掘氏時習館舊藏」。〔其他〕一、帙外題「小學 嘉靖板 掘氏時習館舊藏」。二、書入あり。

42 教童子法一卷 清王筠撰

原題，「教童子法 安邱王筠」。序跋，江標鈺（光緒二十二年・一八九六）。〔其他〕一、封面「安邱王萊友先生教童子法一卷 乙未冬月刊」。二、江氏靈鷲閣重刻本。二、靈鷲閣叢書第一集（別揭裝）所收本。

43 先正讀書訣一卷 清周永年輯

原題，「先正讀書訣 歷城周永年書昌甫輯」。序跋，祁藻藻「重刻先生讀書訣序」（同治四年・一八六五）、宗稷辰「重刻先生讀書訣序」（同治四年・一八六五）、閻敬「重刻先正讀書訣序」（同治五年・一八六六）、孔憲彝「先正讀書訣序」（道光二十二年・一八四二）、王大准「先正讀書訣序」（道光二十三年・一八四三）、顧復初「重刻先正讀書訣序」（光緒四年・一八七八）、元孫「重刻先正讀書訣跋」（光緒四年・一八七八）。〔其他〕一、封面「周書倉先生集先正讀書訣」「元和江氏校」。二、靈鷲閣叢書第一集（別揭裝）所收本。

二 兵 家 類

44 孫子一卷 吳子二卷 司馬子一卷 黃石公素書一卷 黃石公素書漢黃石公撰 一冊

原題，「孫子 明新安吳中珩校」。明刊本。匡郭，19.1×13.4 9行18字。左右雙邊。白口。印記，「了袁」。序跋，司馬遷「孫子列傳序」。四庫總目卷九十九。〔其他〕外題「明刊孫子吳子司馬子黃石子」。

〔吳子二卷〕原題，「吳子 明新安吳勉學校」。四庫總目卷九十九「吳子一卷」。

〔司馬子一卷〕原題，「司馬子」。序跋，一壑居士「司馬子題辭」。四庫總目卷九十九「司馬法一卷」。

〔黃石公素書一卷〕原題，「黃石公素書 明新安吳勉學校」。序跋，英天覺「黃石公素書序」。四庫總目卷九十九「素書一卷」。

45 吳子二卷

孫子一卷（別揭子帙）に附す。

46 司馬子一卷

孫子一卷（別揭子帙）に附す。

47 司馬法直解不分卷 鈔本 劉寅解 一冊

原題，「司馬法直解 前辛亥科進士太原劉寅解」。匡郭，21.0×14.2 10行20字。四周單邊。印記，一種。序跋，劉寅「司馬法直解」。〔其他〕一、外題「司馬法」。二、卷末手寫「光緒六年庚辰仲秋下澣手抄於筆谷精舍 爲帆」。

48 黃石公素書一卷 漢黃石公撰

孫子一卷（別揭子帙）に附す。

三 法 家 類

49 管子二十四卷 唐房玄齡注 四冊二帙

原題，「管子 唐司空房玄齡註」。光緒五年（一八七九）刊本。匡郭，21.8×14.7 12行23字。四周雙邊。白口。刻工名。印記，「湖南秘校」。序跋，楊忱「管子序」（大宋甲申）、黃丕烈記（嘉慶十一年・一八〇六）。〔其他〕一、外題「影宋本管子」、帙外題「仿宋本管子」。二、封面「光緒五年影宋 宋本管子」。

50 韓非子二十卷附識誤三卷 □闕名注 識誤清顧廣圻撰 八册一帙

原題,「韓非子」。匡郭, 181×129 13行24字。四周單邊。黑口。印記,「炳卿監藏」。序跋,跋,吳鼎序,黃三八郎「韓非子序」(乾道元年・一六五)。四庫總目卷一百一「韓非子二十卷」。「其他」一、帙外題「影宋槧本韓非子」。二、封面「宋本校刊 韓晏合編 道光乙巳重鐫」。「揚州汪氏藏板」。「乾道本韓非子廿卷 嘉慶二十三年重刊」。「全樹吳氏四世 學士祠堂藏板」。

「韓非子識誤三卷」原題,「韓非子識誤」。匡郭, 178×123 10行20字。左右雙邊。白口。序跋,顧廣圻「韓非子識誤序」(嘉慶二十一年・一八一六)、顧廣圻「韓非子識誤跋」(嘉慶二十四年・一八一九)。

51 韓非子識誤三卷 清顧廣圻撰

乾非子二十卷(別揭子50)に附す。

52 晰獄龜鑑一卷 宋鄭克撰

原題,「晰獄龜鑑 宋鄭克」。四庫總目卷一百一「折獄龜鑑八卷」。「其他」龍威秘書戊集(別揭叢5)所收本。

四 農家類

53 耒耜經一卷 唐陸龜蒙撰

原題,「耒耜經 唐陸龜蒙」。序跋,陸深跋。四庫總目卷一百二存目。「其他」重較說郭弼第一百九(別揭叢1)所收本。

54 御製耕織圖 清焦秉貞繪 一册

原題,「御製耕織圖」(外題)。康熙三十五年(一六九六)內府銅版印本。匡郭, 240×241 四周單邊。白口。序跋,「御製耕織圖序」(康熙三十五年・一六九六)。「其他」末尾に「欽天監五官臣焦秉貞畫 鴻臚寺序班臣朱圭鐫」とあり。

55 蔬菓爭奇三卷 明鄧志讓撰

三册

原題,「蔬菓爭奇 竹溪風月主人新編」。明刊本。匡郭, 201×116 6行20字。四周單邊。白口。印記,一種。序跋,醉中浪史「蔬菓爭奇跋」(天啓四年・一六二四)。「其他」封面「百拙生鄧志讓纂 蔬菓爭奇 萃慶堂梓」。

56 臨海水土記一卷 □闕名撰

原題,「臨海水土記 闕名」。「其他」重較說郭弼第六十二(別揭叢1)所收本。

57 臨海異物志一卷 □沈瑩撰

原題,「臨海異物志 沈瑩」。「其他」重較說郭弼第六十二(別揭叢1)所收本。

58 桂海虞衡志一卷 宋范成大撰

原題,「桂海虞衡志 宋范成大」。序跋,范成大「桂海虞衡志序」。四庫總目卷七十。「其他」重較說郭弼第六十二(別揭叢1)所收本。

五 醫家類

59 黃帝內經太素二十三卷遺文一卷黃帝內經明堂一卷附錄一卷 隋楊上善奉敕撰 六册

原題,「黃帝內經太素 通直郎守太子文學臣楊上善奉勅撰注」。光緒二十三年(一八九七)刊本。匡郭, 181×214 9行21字。左右雙邊。白口。「漸西村舍」。印記,「湖南秘校」。序跋,袁祖「校刻黃帝內經太素跋」(光緒二十三年・一八九七)、汪宗沂跋(光緒二十一年・一八九五)。「其他」封面「楊上善太素三十卷」。「光緒二十三年秋九月通隱堂刊」。

「黃帝內經太素遺文一卷」原題,「黃帝內經太素遺文并楊氏元注」。

「黃帝內經明堂一卷」原題,「黃帝內經明堂 通直郎守太子文學臣楊上善奉勅撰注」。序跋,「黃帝內經明堂序」。「其他」校訂あり。「黃帝內經明堂附錄一卷」

60 黃帝內經太素遺文一卷 隋楊上善奉敕撰
黃帝內經太素二十三卷 (別掲子59) に附す。

61 黃帝內經明堂一卷 隋楊上善奉敕撰
黃帝內經太素二十三卷 (別掲子59) に附す。

62 黃帝內經明堂附錄一卷 隋楊上善奉敕撰
黃帝內經太素二十三卷 (別掲子59) に附す。

63 脉經一卷 晉甄權撰
原題, 「脉經 晉甄權」。〔其他〕重較說郭号第一百九 (別掲叢1) 所收本。

64 子午經一卷 〇扁鵲撰
原題, 「子午經 扁鵲」。〔其他〕重較說郭号第一百九 (別掲叢1) 所收本。

65 人參攷一卷 清唐榮鈞撰
原題, 「人參攷 練水唐秉鈞銜銓纂」。序跋, 石阪圭宗註「刻人參攷序」(文政十三年・一八三〇)、跋。〔其他〕一、封面「人參攷依日本國舊本重刻丙申三月戊」, 「元和江氏印行」。二、靈鷲閣叢書第一集 (別掲叢6) 所收本。

66 玄女房中經一卷 唐孫思邈撰
原題, 「玄女房中經 唐孫思邈」。〔其他〕重較說郭号第一百九 (別掲叢1) 所收本。

67 褚氏遺書一卷 南齊褚澄撰
原題, 「褚氏遺書 齊陽翟褚澄」。序跋, 蕭淵「褚氏遺書序」(清泰二年・九三五)。四庫總目卷一百三。〔其他〕重較說郭号第一百九 (別掲叢1) 所收本。

六 天文算法類

68 漏刻經一卷 〇闕名撰
原題, 「漏刻經 闕名」。〔其他〕重較說郭号第一百九 (別掲叢1) 所收本。

69 天問答一卷 鈔本 明西洋陽瑪諾條答 一冊
原題, 「天問畧 泰西陽瑪諾條答」。9行20字。印記, 「宮川」。四庫總目卷一百六。

70 天元曆理全書十二卷 清徐發撰 十冊
原題, 「天元曆理全書 北海成愚崑先生鑒定嘉興徐發圃臣著輯」。康熙刊本。匡郭, 19.6×13.6 10行21字。四周單邊。白口。序跋, 馮序、徐發「述畧總序」。〔其他〕一、封面「橋李徐圃臣輯註 天文曆理大全 本衙藏板翻刻必究」。二、欄外刻あり。

71 大清乾隆六十一年歲次丙辰時憲書不分卷 一冊
原題, 「大清乾隆六十一年歲次丙辰時憲書」。匡郭, 21.4×13.2 四周雙邊。黑口。

72 原象一卷 清戴震撰
原題, 「原象 休寧戴震」。〔其他〕一、卷末刻「乾隆丁酉六月刻」。二、戴氏遺書 (別掲叢15) 所收本。

73 續天文略二卷 清戴震撰

原題，「續天文略」。(其他)戴氏遺書(別掲B)所收本。

74 孫子算經三卷夏侯陽算經三卷海島算經一卷 唐李淳風等奉敕注釋 夏侯陽算經夏侯陽撰 海島算經魏劉徽撰 唐李淳風等奉敕注釋 一冊

原題，「孫子算經」。乾隆武英殿聚珍版。匡郭，186×115。9行21字。四周雙邊。白口。校者名。印記，「掛川文庫」「島家藏印」。序跋，「孫子算經原序」、陸錫熊等「孫子算經提要」(乾隆四十一年・一七七六)。四庫總目卷一百七。

〔夏侯陽算經三卷〕原題，「夏侯陽算經」。序跋，「夏侯陽算經原序」。四庫總目卷一百七。
〔海島山經一卷〕原題，「海島算經」。晉劉徽撰 唐李淳風注。序跋，陸錫熊等「海島算經提要」(乾隆四十年・一七七五)。四庫總目卷一百七。

75 海島算經一卷 魏劉徽撰 唐李淳風等奉敕注釋

孫氏算經三卷(別掲子H)に附す。

76 夏侯陽算經三卷 □夏侯陽撰

孫氏算經三卷(別掲子H)に附す。

77 五經算術二卷 北周甄鸞撰 唐李淳風等奉敕注釋 一冊

原題，「五經算術」。周甄鸞撰 唐李淳風注。乾隆武英殿聚珍版。匡郭，184×115。9行21字。四周雙邊。白口。校者名。印記，「掛川文庫」「島家藏印」。四庫總目卷一百七。

78 籌算一卷 鈔本 明西洋羅雅谷撰

空際格致二卷(別掲子206)に附す。

79 重刻二十五言一卷交友論一卷 鈔本 明西洋利瑪竇撰

原題，「重刻二十五言 大西利瑪竇述 閩中欽一堂梓」。9行18字。序跋，馮應京「重刻二十五言序」(萬曆三十二年・一六〇四)、徐光啓「跋二十五言」(萬曆三十二年)。(其他)一、外題「二十五言」。二、封面「利西泰先生著 二十五言 欽一堂繙梓」。三、校訂あり。四、西學凡等七種(別掲子B)所收本。

〔交友論一卷〕原題，「交友論 歐邏巴人利瑪竇撰 閩中欽一堂梓」。9行20字。序跋，馮應京「刻交友論序」(萬曆二十九年・一六〇一)、羅汝璣「大西域利公友論序」(萬曆二十七年・一五九九)。四庫總目卷一百二十五存目。(其他)一、卷末手寫「小杉醇校字」。二、校訂あり。

80 交友論一卷 鈔本 明西洋利瑪竇撰

重刻二十五言一卷(別掲子79)に附す。

81 西學凡一卷 鈔本 明西洋文儒略述

原題，「重刻西學凡 大西文儒略答述 閩中欽一堂梓」。9行19字。序跋，何喬遠「西學凡序」(天啓六年・一六二六)、楊廷筠「刻西學凡序」(天啓三年・一六二三)、許胥臣「西學凡引」、熊士旂跋。四庫總目卷一百二十五存目「西學凡一卷附錄唐大秦寺碑一篇」。

〔其他〕一、封面「艾思及先生著 西學凡 欽一堂藏板」。二、卷末手寫「小杉醇校字」。三、校訂あり。四、西學凡等七種(別掲子B)所收本。

82 西學凡等七種 鈔本 六冊一帙

子81西學凡一卷二冊。子304天主十誠解略不分卷二冊。子79重刻二十五言一卷・子80交友論一卷一冊。子301重刻隋人十編二卷・子302西琴曲意八章二冊。子303三山論學紀一卷一冊。
標題は假。各書別掲す。

83 句股割圓記三卷 清戴震撰 清吳思孝注

原題，「句股割圓記」。序跋，吳思孝序(乾隆二十三年・一七五八)。(其他)戴氏遺書(別掲B)所收本。

84 策算一卷 清戴震撰

原題，「策算」(版心)。序跋，戴震跋(乾隆九年・一七四四)。「其他」戴氏遺書(別掲叢B)所收本。

七 術 數 類

85 揚子太玄經十卷圖一卷 明趙如源集注併附校 三冊

原題，「揚子太玄經」 錢塘趙如源潛之甫聞 同社王道焜昭平甫 朱欽明堯心甫校。明刊本。匡郭，19.5x13.7 9行18字。四周單邊。白口。印記，三種。序跋，朱欽明「合刻繁露太玄經」(天啓五年・一六二五)、司馬光「揚子太玄經舊序」(元豐五年・一〇八二)、張元徽「太玄經序」(天啓六年・一六二六)。「其他」一、外題「太玄經」。二、欄外刻あり。「揚子太玄經圖一卷」

86 揚子太玄經圖一卷

揚子太玄經十卷(別掲子85)に附す。

87 太微經二十卷 鈔本 明文翔鳳著 十六冊二帙

原題，「太微經」 西極文翔鳳天瑞著 北折賈鴻洙憲仲訂。9行20字。印記，「桐蔭書屋藏書」。序跋，賈鴻洙「太微經序」(崇禎二年・一六二九)。四庫總目卷一百十。

88 相地骨經一卷 漢青烏子授

原題，「相地骨經」 漢青烏子授。「其他」重較說郭寫第一百九(別掲叢I)所收本。

89 新鑄京板工師雕斲正式魯班經匠家鏡二卷祕訣仙機不分卷新刻許眞君玉匣記不分卷 鈔本 清午榮彙編 三冊一帙

原題，「新鑄京板工師雕斲正式魯班經匠家鏡」 北京提骨工部御匠司司正午榮彙編 局匠所把總章巖全集 南京遞匠司司承周言校正。9行20字。印記，「古香齋圖書記」。湖南識語，「魯班經匠家鏡三本。壬寅(明治三十五年・一九〇二)三月念三。炳卿」(帙背)。「其他」帙外題「魯班經匠家鏡」。「祕訣仙機不分卷」。「新刻許眞君玉匣記不分卷」原題，「新刻許眞君玉匣記 明錢塘胡文煥德父校正」。

90 祕訣仙機不分卷 鈔本 清午榮彙編

新鑄京板工師雕斲正式魯班經匠家鏡二卷(別掲史89)に附す。

91 新刻許眞君玉匣記不分卷 鈔本 清午榮彙編

新鑄京板工師雕斲正式魯班經匠家鏡二卷(別掲史89)に附す。

92 瑞應圖記一卷 梁孫柔之撰 葉德輝輯

原題，「瑞應圖記」 梁孫柔之撰 賜進士出身誥授中憲大夫四品銜吏部主事葉德輝輯。序跋，葉德輝「瑞應圖記跋」(光緒二十三年・一八九七)。「其他」一、外題「軒瑞應圖記」。二、封面「瑞應圖記」「光緒辛丑夏六月刊」。三、觀古堂所著書第一集(別掲叢B)所收本。

93 龜經一卷 □闕名撰

原題，「龜經 闕名」。「其他」重較說郭寫第一百九(別掲叢I)所收本。

94 箕龜論一卷 宋陳師道撰

原題，「箕龜論」 宋陳師道撰。「其他」重較說郭寫第一百九(別掲叢I)所收本。

95 卜記一卷 宋王安石撰

原題，「卜記 宋王宏」。〔其他〕重較說郭弼第一百九（別掲叢1）所收本。
96 相兒經一卷 晉嚴助撰
原題，「相兒經 晉嚴助」。〔其他〕重較說郭弼第一百九（別掲叢1）所收本。

97 太乙經一卷 □玄女授
原題，「太乙經 玄女授」。〔其他〕重較說郭弼第一百九（別掲叢1）所收本。

98 土牛經一卷 宋向孟撰
原題，「土牛經 宋向孟」。〔其他〕重較說郭弼第一百九（別掲叢1）所收本。

99 夢書一卷 □闕名撰
原題，「夢書 闕名」。〔其他〕重較說郭弼第一百九（別掲叢1）所收本。

100 淮南萬畢術二卷 漢劉安撰 葉德輝輯
原題，「淮南萬畢術 漢淮南王劉安纂 賜進士出身員外郎銜吏部文選司主事加三級葉德輝輯刊」。序跋，葉德輝「淮南萬畢術序」。〔光緒十七年・一八九一〕、葉德輝「淮南萬畢術跋」。〔光緒二十年・一八九四〕。〔其他〕一、封面「淮南萬畢術」「長沙葉氏郎園藏板」。二、觀古堂所著書第二集（別掲叢18）所收本。

101 感應類從志一卷 宋釋贊寧撰
原題，「感應類從志 吳僧贊寧」。〔其他〕重較說郭弼第一百九（別掲叢1）所收本。

102 感應經一卷 宋陳樸撰

原題，「感應經 宋陳樸」。〔其他〕重較說郭弼第一百九（別掲叢1）所收本。

103 百怪斷經一卷 宋俞誨撰
原題，「百怪斷經 宋俞誨」。〔其他〕重較說郭弼第一百九（別掲叢1）所收本。

八 藝術類

104 筆陣圖一卷 鈔本 晉衛夫人撰
書法一卷（別掲子10）に附す。

105 古畫品錄一卷 南齊謝赫撰
原題，「古畫品錄 南齊謝赫撰」。四庫總目卷一百十二。〔其他〕一、校訂あり。二、王氏畫苑（別掲子10）所收本。

106 續畫品一卷 陳姚最撰
原題，「續畫品 陳姚最撰」。序跋，序。四庫總目卷一百十二。〔其他〕一、校訂あり。二、王氏畫苑（別掲子10）所收本。

107 書法一卷筆陣圖一卷 鈔本 唐歐陽詢撰 筆陣圖晉衛夫人撰 一册
原題，「書法 唐歐陽詢撰 王道焜閱」。9行20字。〔其他〕一、卷頭手寫「百川學海續集第十」。二、毛裝。
〔筆陣圖一卷〕原題，「筆陣圖 晉衛夫人撰 王道焜閱」。

108 貞觀公私畫史一卷 唐張孝源撰
原題，「貞觀公私畫史 中書舍人張孝源撰」。序跋，張孝源序（貞觀十三年・六三九）。四庫總目卷一百十二。〔其他〕王氏畫苑（別掲

子山)所收本。

109 後畫錄一卷 唐釋彥標撰

原題,「後畫錄 唐弘福寺沙門彥標撰」。序跋,彥標序(貞觀九年・六三五)。四庫總目卷一百十四存目。〔其他〕一、校訂・書入あり。二、補鈔あり。三、王氏畫苑(別掲子山)所收本。

110 續畫品錄一卷 唐李嗣真撰

原題,「續畫品錄 唐御史大夫李嗣真撰」。四庫總目卷一百十四存目。〔其他〕一、校訂あり。二、王氏畫苑(別掲子山)所收本。

111 書譜一卷 唐孫過庭撰

原題,「書譜 吳郡孫過庭撰」。四庫總目卷一百十二。〔其他〕一、校訂あり。二、王氏畫苑補益(別掲子山)所收本。

112 山水論一卷 唐王維撰

原題,「王維山水論」。〔其他〕一、校訂あり。二、王氏畫苑(別掲子山)所收本。

113 法書要錄十卷 唐張彥遠撰

原題,「法書要錄 唐河東張彥遠集」。序跋,「法書要錄序」。四庫總目卷一百十二。〔其他〕一、校訂・書入あり。二、附屬物、メモ一枚。三、王氏畫苑(別掲子山)所收本。

114 歷代名畫記十卷 唐張彥遠撰

原題,「歷代名畫記 唐河東張彥遠撰」。四庫總目卷一百十二。〔其他〕一、校訂・書入あり。二、補鈔あり。三、王氏畫苑(別掲子山)所收本。

115 唐朝名畫錄一卷 唐朱景玄撰

原題,「唐朝名畫錄 吳郡朱景玄撰」。序跋,朱景玄自序。四庫總目卷一百十二。〔其他〕王氏畫苑(別掲子山)所收本。

116 筆法記一卷 後梁荆浩撰

原題,「筆法記 洪谷子荆浩撰」。四庫總目卷一百十二「畫山水賦一卷附筆法記一卷」。〔其他〕一、校訂あり。二、王氏畫苑(別掲子山)所收本。

117 益州名畫錄三卷 宋黃休復撰

原題,「益州名畫錄 江夏黃休復纂」。序跋,李昉「益州名畫錄序」(景德三年・一〇〇六)。四庫總目卷一百十二「益州名畫錄二卷」。〔其他〕王氏畫苑(別掲子山)所收本。

118 五代名畫補遺一卷 宋劉道醇撰

原題,「五代名畫補遺 大梁劉道醇纂」。序跋,陳洵直「五代名畫補遺序」(嘉祐四年・一〇五九)。四庫總目卷一百十二。〔其他〕王氏畫苑(別掲子山)所收本。

119 聖朝名畫評三卷 宋劉道醇撰

原題,「聖朝名畫評 大梁劉道醇纂」。序跋,「聖朝名畫評序」。四庫總目卷一百十二「宋朝名畫評三卷」。〔其他〕一、校訂あり。二、王氏畫苑(別掲子山)所收本。

120 紀藝一卷 宋郭若虛撰

原題,「紀藝 郭思若虛編」。〔其他〕一、校訂あり。二、王氏畫苑補益(別掲子山)所收本。

121 郭若虛畫論一卷 宋郭若虛撰

原題,「郭若虛畫論 宋大中大夫徽猷閣待制秦鳳經昭安撫馬步軍都總管郭思若虛著」。〔其他〕一、校訂・書入あり。二、王氏畫苑補

益(別掲子181)所收本。

122 沈存中圖畫歌一卷 宋沈括撰

原題、「沈存中圖畫歌」。(其他)一、校訂あり。二、王氏畫苑(別掲子181)所收本。

123 墨池編二十卷印典八卷 宋朱長文撰 印典清朱象賢輯 十册一帙

原題、「墨池編 吳郡朱長文伯原纂次」。乾隆刊本。匡郭, 15.6×10.6 11行21字。左右雙邊。黑口。印記, 「節堂藏書」「安福山文庫印」「癡念菴藏書印」等四種。序跋, 王澐序(雍正十一年・一七三三)、朱長文序(治平三年・一〇六六)、朱之勳後跋(康熙五十三年・一七一四)。四庫總目卷一百十二「墨池編六卷」。(其他)一、帙外題「墨池編印典」。二、封面「家藏正本 墨池編 就問堂雕板」, 「進呈御覽印」あり。三、校訂・書入あり。

〔印典八卷〕原題, 「印典 清溪朱象賢編」。序跋, 鈕護序、朱象賢序、白長庚跋(康熙六十一年・一七二二)、朱廷詔後跋。四庫總目卷一百十三。(其他)封面「家藏正本 印典 就問堂雕版」。

124 米海嶽書史一卷 宋米芾撰

原題, 「米海嶽書史」。四庫總目卷一百十二「書史一卷」。(其他)一、校訂・書入あり。二、王氏畫苑(別掲子180)所收本。

125 米海嶽畫史一卷 宋米芾撰

原題, 「米海嶽畫史」。四庫總目卷一百十二「畫史一卷」。(其他)一、卷末刻「萬曆庚寅歲夏五月王氏淮南書院重刊」。二、王氏畫苑(別掲子181)所收本。

126 寶章待訪錄一卷 宋米芾撰

原題, 「寶章待訪錄 襄陽米芾撰」。四庫總目卷一百十二。(其他)王氏畫苑補益(別掲子180)所收本。

127 海岳名言一卷 宋米芾撰 一册一帙

原題, 「海岳名言 襄陽米芾」。匡郭, 13.0×13.7 12行20字。左右雙邊。白口。四庫總目卷一百十二。

128 山水純全集一卷 宋韓拙撰

原題, 「山水純全論」。序跋, 韓拙「山水純全集序」(宣和三年・一一二二)、張懷「山水純全集後序」(宣和三年)。四庫總目卷一百十二。(其他)一、校訂・書入あり。二、王氏畫苑補益(別掲子181)所收本。

129 山水純全集一卷 鈔本 宋韓拙撰

畫訣一卷(別掲子172)に附す。

130 廣川畫跋十卷 宋董道撰

原題, 「廣川書跋 宋廣川董道著」。序跋, 孤笄「廣川書跋序」(紹興二十七年・一一五七)。四庫總目卷一百十二。(其他)一、校訂あり。二、附屬物、箋一葉。三、王氏畫苑補益(別掲子180)所收本。

131 廣川畫跋六卷 宋董道撰

原題, 「廣川畫跋 宋廣川董道著」。四庫總目卷一百十二。(其他)王氏畫苑補益(別掲子181)所收本。

132 東觀餘論二卷附錄一卷 宋黃伯思撰

原題, 「左朝奉郎行秘書省秘書郎黃伯思撰」。序跋, 黃伯思「法帖刊誤序」(大觀二年・一一〇八)。四庫總目卷一百十八「東觀餘論一卷」。(其他)一、外題「東觀餘論」。二、校訂あり。三、王氏畫苑(別掲子180)所收本。
〔東觀餘論附錄一卷〕

133 東觀餘論附錄一卷 宋黃伯思撰

東觀餘論二卷 (別掲子132) に附す。

134 宣和論畫雜評一卷 宋徽宗皇帝御撰

原題, 「宣和論畫雜評」。四庫總目卷一百十四存目。〔其他〕一、書入あり。二、王氏畫苑補益 (別掲子131) 所收本。

135 高宗皇帝御製翰墨志一卷 宋高宗皇帝御撰

原題, 「高宗皇帝御製翰墨志」。四庫總目卷一百十二「翰墨志」一卷。〔其他〕一、校訂あり。二、王氏畫苑補益 (別掲子130) 所收本。

136 畫繼十卷 宋郭椿撰

原題, 「畫繼」。序跋, 郭椿「畫繼序」。四庫總目卷一百十二。〔其他〕一、校訂あり。二、王氏畫苑 (別掲子131) 所收本。

137 續書譜一卷 宋姜夔撰

原題, 「續書譜 番禺姜夔堯章撰」。序跋, 謝采伯「續書譜序」(嘉定元年・一二〇八)。四庫總目卷一百十二。〔其他〕一、書入あり。二、王氏畫苑補益 (別掲子130) 所收本。

138 畫山水訣一卷 宋李澄叟撰

原題, 「畫山水訣 宋李澄叟」。序跋, 李澄叟自序 (嘉定十四年・一二二二)。四庫總目卷一百十四存目。〔其他〕王氏畫苑補益 (別掲子131) 所收本。

139 法帖譜系一卷 宋曹士冕撰

原題, 「法帖譜系 序跋, 曹士冕「法帖譜系序」(淳祐五年・一二四五、跋 (景定三年・一二二二))。四庫總目卷八十六。〔其他〕王氏畫苑補益 (別掲子130) 所收本。

140 衍極一卷 攷釋一卷 元鄭杓撰 元劉有定釋 攷釋元沈率祖著 二册一帙

原題, 「衍極 莆田鄭杓子經述 同郡劉有定能靜釋 蘇州沈率祖行父校」。明刊本。匡郭, 162×110 8行16字。左右雙邊。黑口。〔縮閣〕印記, 「南書珍藏」長州顧氏珍藏「葆彝堂」程氏藏。〔封方〕「王謝審定印」「東吳顧八」「蕉合龍」等十二種。序跋, 李齊「衍極序」(延祐七年・一三二〇)、沈率祖序 (萬曆十六年・一五八八)。四庫總目卷一百十二「衍極二卷」。〔衍極攷釋一卷〕原題, 「衍極攷釋 蘇州沈率祖行父著 弟懷祖季述校」。

141 衍極三卷 鈔本 元鄭杓撰 元劉有定釋 一册

原題, 「衍極 元莆田鄭杓子經述 元莆田劉有定能靜釋」。12行24字。印記, 「內藤」「字炳卿」「歐陽閣圖書記」。序跋, 宋端儀「衍極重刊序」(成化二十一年・一四八五)、李齊「衍極序」(延祐七年・一三二〇)。湖南識語, 「衍極一本購時錄入王氏畫苑內。然王氏原輯無此書。自當單行耳。庚子 (明治三十三年・一九〇〇) 十一月初泮。炳卿」。四庫總目卷一百十二「衍極二卷」。〔其他〕校訂あり。

142 衍極攷釋一卷 元沈率祖著

衍極一卷 (別掲子140) に附す。

143 書法鈞玄四卷 元蘇霖撰

原題, 「書法鈞玄 朱方蘇霖子啓纂」。序跋, 蘇霖「書法鈞玄序」(元統二年・一三三四)。四庫總目卷二百十四存目。〔其他〕一、校訂・書入あり。二、王氏畫苑 (別掲子130) 所收本。

144 圖繪寶鑑續編一卷 鈔本 明韓昂纂 一册

原題, 「圖繪寶鑑續編 玉泉韓昂孟顛纂 賓山吳麟子仁謹錄」。10行18字。序跋, 跋署「圖繪寶鑑續編序」。四庫總目卷一百十二。〔其他〕識語一種。

145 書史會要九卷補遺一卷 元陶宗儀撰 六册一夾板

原題, 「書史會要 南村處士陶宗儀九成著 厭原山人朱謀壘隱之較」。崇禎二年 (一六二九) 刊本。匡郭, 192×130 10行20字。左右

雙邊。黒口。印記。「黃常移」「經錫堂藏書」「墨眇亭」等四種。序跋。朱謀壘「書史會要序」(崇禎三年・一六三〇)。四庫總目卷一百十三「書史會要九卷補遺一卷續編一卷」。「其他」卷三末刻「崇禎己巳豫章朱氏寒玉館鈔梓」。

145 書史會要補遺一卷 鈔本 元陶宗儀撰 三册

原題。「書史會要 南村處士陶宗儀九成著」。11行20字。印記。「內藤「字炳卿」「赤穗城下南三木氏」等四種。序跋。宋濂「書史會要跋」(洪武九年・一三七六)。陶宗儀「書史會要序」(洪武九年)、鄭真「書史會要後序」(洪武九年)、曹睿「書史會要序」。湖南識語。「共三本。庚子(明治三十三年・一九〇〇)十一月一日。炳卿」。四庫總目卷一百十三。「其他」校訂あり。

147 書史會要補遺一卷 元陶宗儀撰

書史會要九卷(別掲子145)に附す。

148 書史會要補遺一卷 鈔本 元陶宗儀撰

書史會要九卷(別掲子146)に附す。

149 字學新書摘抄一卷 元劉惟志撰

原題。「字學新書摘抄 武夷劉惟志編集」。四庫總目卷一百十四存目。「其他」一、校訂・書入あり。二、補鈔あり。三、王氏書苑補益(別掲子150)所收本。

150 鐵網珊瑚書品十卷畫品六卷 明朱存理撰 八册一夾板

原題。「鐵網珊瑚書品 吳郡朱存理性父集錄」。明刊本。匡郭, 28.6×13.7 10行21字。左右雙邊。白口。印記。「此君軒」。四庫總目卷一百十三「趙氏鐵網珊瑚十六卷」。「其他」一、封面「欣賞齋原編 鐵網珊瑚」。二、附屬物、「鐵網珊瑚書畫品鈔版本異同記」を記

した原稿用紙十二葉。

〔鐵網珊瑚畫品六卷〕原題。「鐵網珊瑚畫品 吳郡朱存理性父集錄」。

151 鐵網珊瑚書品八卷畫品五卷金石品一卷 鈔本 明朱存理撰 十四册一夾板

原題。「書品」(版心)。12行24字。印記。「東圃陶銘之章」等七種。四庫總目卷一百十三「趙氏鐵網珊瑚十六卷」。「其他」第一册首手寫「鐵網珊瑚書畫品總目 吳郡朱存理集」。

〔鐵網珊瑚畫品五卷〕原題。「畫品」(版心)。

〔鐵網珊瑚金石品一卷〕原題。「金石品」(版心)。

152 鐵網珊瑚二十卷 明都穆撰 四册一夾板

原題。「鐵網珊瑚 太僕少卿吳郡都穆」。匡郭, 16.8×12.4 10行22字。左右雙邊。白口。序跋。沈德潛「鐵網珊瑚序」(乾隆二十三年・一七五八)。四庫總目卷一百三十存目「都氏鐵網珊瑚二十卷」。「其他」封面「吳郡都太僕編 鐵網珊瑚 本衙藏板」。

153 鐵網珊瑚畫品六卷 明朱存理撰

鐵網珊瑚畫品十卷(別掲子150)に附す。

154 鐵網珊瑚畫品五卷 鈔本 明朱存理撰

鐵網珊瑚畫品八卷(別掲子151)に附す。

155 鐵網珊瑚金石品一卷 鈔本 明朱存理撰

鐵網珊瑚書品八卷(別掲子151)に附す。

156 書畫跋跋三卷續三卷 明孫鑣撰 三册一帙

原題,「書畫跋跋 月峯孫鑣著 六世孫宗溥宗濂校刻」。匡郭, 18.1×12.8 11行21字。左右雙邊。白口。印記,「小安樂窩」。序跋,任蘭枝「書畫跋跋序」(乾隆五年・一七四〇)、先舒跋(順治六年・一六四九)。湖南識語,「此書係吳平齋舊藏書。處題簽乃其手筆也。虎」。四庫總目卷一百十三。〔其他〕封面「書畫跋跋 居業堂藏板」。

157 書畫跋跋續三卷 明孫鑣撰

書畫跋跋三卷(別掲子156)に附す。

158 畫禪室隨筆四卷 明董其昌撰 二册

原題,「畫禪室隨筆 華亭董其昌著 長洲楊補編次 吳趨陳王賓校訂」。康熙刊本。匡郭, 16.7×10.7 8行18字。左右雙邊。白口。印記,「黃常移」「黃常移藏書章」「守瓶齋珍藏印」「浣月齋藏書印章」「小輪慶館藏書記」「蕉雨軒」等九種。序跋,方拱乾「序言」、梁穆序(康熙五十九年・一七二〇)。四庫總目卷一百二十二。〔其他〕封面「梁改亭先生鑒定 華亭董玄宰先生著 畫禪室隨筆 挾藻堂藏板」。

159 董華亭書畫錄一卷 明董其昌撰 青浮山人輯

原題,「董華亭書畫錄 青浮山人編輯」。〔其他〕一、封面「董華亭書畫錄 青浮山人輯」「丙申六月據畫藏膠逸湖鈔本刻」。二、靈鷲閣叢書第二集(別掲叢)所收本。

160 清河書畫舫十二卷 明張丑撰 十二册一帙

原題,「清河書畫舫 吳郡張丑青父造」。乾隆二十七年(一七六二)刊本。匡郭, 15.5×9.1 9行22字。左右雙邊。黑口。印記,「澗神齋圖書記」。序跋,嚴誠序(乾隆二十八年・一七六三)。四庫總目卷一百十三。〔其他〕一、封面「張米菴先生著 清河書畫舫 池北草堂開彫」。二、卷一末刻「乾隆壬午四月上浣六日仁和吳長元麗煌氏校于池北草堂」。

161 書學通軌 鈔本 明柯尚選撰 一册

原題,「曲禮外集附卷十四補書學通軌」。匡郭, 22.5×15.4 8行20字。四周單邊。白口。印記,「湖南秘笈」。序跋,柯尚選跋(萬曆五年・一五七七)。湖南識語,「癸卯(明治三十六年・一九〇三)七月,富岡桃華君所贈。近衛豫樂院公親筆。書學通軌。炳卿」。〔其他〕一、外題「曲禮全經」。二、近衛家照自筆鈔本。三、版心に「大唐六典考訂」とあるのは、六典考訂用の用紙を利用したもの。

162 庚子銷夏記八卷 清孫承澤撰 四册一夾板

原題,「庚子銷夏記」。乾隆刊本。匡郭, 17.8×12.7 10行20字。左右雙邊。黑口。印記,「唐栖朱氏結一廬圖書記」。序跋,盧文弨序(乾隆二十六年・一七六一)、張賓鶴跋。四庫總目卷一百十三。

163 江邨銷夏錄三卷 清高士奇撰 四册一帙

原題,「江邨銷夏錄 竹窓高士奇輯」。康熙刊本。匡郭, 18.1×13.2 9行18字。左右雙邊。黑口。印記,「逸園主人」等三種。序跋,宋榮序、朱彝尊序(康熙三十二年・一六九三)、高士奇序(康熙三十二年)。四庫總目卷一百十三「江村銷夏錄三卷」。〔其他〕封面「江邨銷夏錄 朗潤堂藏」。

164 淳化祕閣法帖考正十二卷 清王澐撰 四册一帙

原題,「淳化祕閣法帖考正 琅邪王澐虛舟詳定 天都秋水藕花居校刊」。乾隆刊本。匡郭, 19.6×12.3 10行18字。左右雙邊。白口。序跋,王澐「淳化祕閣法帖考正跋」(雍正八年・一七三〇)、「米芾法帖題跋原題」(元祐三年・一〇八八)、「黃伯思法帖刊誤原跋」,「王玠法帖刊誤原跋」(政和四年・一一一四)、「許翰法帖刊誤原跋」(政和五年・一一一五)。四庫總目卷八十六「淳化祕閣法帖考正十二考」。〔其他〕封面「琅邪王虛舟詳定 淳化祕閣法帖考正 附刻古今法帖考論書牋語」,「香韻閣」の印あり。

165 淳化祕閣法帖考正十卷附二卷釋文二卷 清王澐撰 釋文清沈宗憲較定 八册一帙

原題,「淳化祕閣法帖考正 王鶴林先生著 吳興沈宗憲芥舟臨帖雪川陳焯映之較畫」。匡郭, 20.9×13.5 9行18字。左右雙邊。白口。印記,「黃常移」。序跋,沈宗憲序(乾隆三十三年・一七六八)、王澐「淳化祕閣法帖考正跋」(雍正八年・一七三〇)、「米芾法帖題跋原

題〔元祐三年・一〇八八〕、「黃伯思法帖刊誤原跋」、「王玠法帖刊誤原跋」(政和四年・一一一四)、「許翰法帖刊誤原跋」(政和五年・一一一五)。四庫總目卷八十六「淳化秘閣法帖考正十二考」。

〔淳化秘閣法帖考正附二卷〕原題,「淳化秘閣法帖考正附 王籀林先生著 吳興沈宗憲芥舟書版 滄溪溫一貞又元校字」。

〔淳化閣帖釋文二卷〕原題,「淳化閣帖釋文 吳興沈宗憲芥舟較定 輯里溫本謙自牧校刊」。

165 淳化秘閣法帖考正附二卷 清王澐撰

淳化秘閣法帖考正十卷(別掲子165)に附す。

167 淳化閣帖釋文二卷 清沈宗憲較定

淳化秘閣法帖考正十卷(別掲子165)に附す。

168 竹雲題跋四卷金粟逸人逸事一卷 清王澐撰 金粟逸人逸事清朱琰撰 五册一帙

原題,「竹雲題跋 金壇王澐虛舟著 若上錢人龍壽泉訂。乾隆刊本。匡郭,189×101 8行18字。左右雙邊。白口。序跋,沈德潛序

〔乾隆三十二年・一七六七〕、錢人龍跋。〔其他〕一、帙外題「竹雲題跋附金粟逸事」。二、封面「沈芥舟手書 王虛舟竹雲題跋附朱笠

亭金粟逸人逸事 若上畫雲閣藏板」。

〔金粟逸人逸事一卷〕原題,「金粟逸人逸事」。

169 虛舟題跋原三卷 清王澐撰

虛舟題跋十卷(別掲子169)に附す。

170 虛舟題跋十卷虛舟題跋原三卷 清王澐撰 八册一帙

原題,「虛舟題跋 金壇王澐籍林著 吳興溫純一齋訂。匡郭,180×102 8行18字。左右雙邊。白口。序跋,錢陳羣「楊竹坡續刊竹

雲題跋序」、馮浩「虛舟題跋序」(乾隆三十六年・一七七二)、陳焯跋(乾隆三十三年・一七六八)。〔其他〕封面「王籀林先生著 虛舟題

跋 墨妙樓藏板」、「墨妙樓圖書」印あり。

〔虛舟題跋原三卷〕原題,「虛舟題跋原 金壇王澐林著 吳興溫純一齋訂。序跋,朱辰應跋(乾隆三十九年・一七七四)、溫純跋(乾隆五十三年・一七八八)。〔其他〕封面「虛舟題跋補原」。

171 印典八卷 清朱象賢輯

墨池編二十卷(別掲子171)に附す。

172 畫訣一卷山水純全集一卷 鈔本 清孔衍栻撰 山水純全集宋翰拙撰 一册

原題,「畫訣 曲阜孔衍栻石村著 吳江顧卓爾立校」。匡郭,153×92 10行13字。印記,「樓林畫堂」等三種。序跋,張潮「石邨畫訣題辭」、山陽外史賴翼跋。湖南識語,「癸卯(明治三十六年・一九〇三)五月、中尾柳處贈。炳卿」。〔其他〕一、表紙「孔石村畫論山水純全論」紫是堂珍藏秘玩。二、識語一種。

〔山水純全集一卷〕原題,「山水純全論」。匡郭,139×100 9行、15字より19字不等。序跋,韓拙「山水純全集序」(宣和三年・一一二二)、張禮邦「山水純全集後序」(宣和三年)。

173 石渠隨筆八卷 清阮元撰 二册

原題,「石渠隨筆 南書房行走詹事臣阮元」。匡郭,182×133 10行20字。四周雙邊。白口。〔其他〕一、封面「石渠隨筆 揚州珠湖草堂阮亨梅叔校采」。二、書入あり。

174 歷代畫史彙傳七十二卷首一卷附錄二卷 鈔本 清彭蘊棻輯 三十二册四帙

原題,「歷代畫史彙傳 長州彭蘊棻郎峯編」。8行20字。印記,「內藤」「字炳卿」。

〔歷代畫史彙傳附錄二卷〕原題,「歷代畫史彙傳附錄 長洲彭蘊棻郎峯編」。

175 歷代畫史彙傳附錄二卷 鈔本 清彭蘊棻輯

歷代畫史彙傳七十二卷(別掲子174)に附す。

176 畫友詩一卷 清趙修撰

原題，「趙季梅畫友詩」(封面)。序跋，秦炳文跋(咸豐七年·一八五七)。(其他)一、封面「趙季梅畫友詩」「師許刻」。二、靈鷲閣叢書第二集(別揭叢6)所收本。

177 別下齋書畫錄二卷 鈔本 清蔣光煦撰 二冊

原題，「別下齋書畫錄 海昌放菴主人蔣光煦編 龍花居士許光治校」。10行。印記，「留讀草廬藏本」「句吳華氏留讀草廬藏本」。

178 張憶孃簪花圖卷題詠一卷 清江標錄

原題，「張憶孃簪華圖卷題詠」。(其他)一、封面「張憶孃簪花圖卷題詠」「光緒丁酉三月靈鷲閣據豐潤張氏藏真跡刻」。二、靈鷲閣叢書第四集(別揭叢6)所收本。

179 消夏百一詩二卷 葉德輝撰

原題，「消夏百一詩 長沙葉德輝撰」。序跋，葉德輝「消夏百一詩序」(光緒三十三年·一九〇七)、皮錫瑞「消夏百一詩序」(光緒三十三年·葉德輝後序)(光緒三十三年)。(其他)一、封面「消夏百一詩」「光緒戊申夏五葉氏觀古堂刊」。二、觀古堂所著書第二集(別揭叢18)所收本。

180 王氏書苑十卷附補益十卷 明王世貞輯 補益明詹景鳳輯 二十三冊

〔書苑〕子113法書要錄十卷七冊。子114米海嶽書史一卷一冊。子115書法鈞玄四卷·子112東觀餘論二卷·子113附錄一卷以上六冊。〔補益〕子111書譜一卷·子117續書譜一卷·子116寶章待訪錄一卷·子126試筆一卷·子115高宗皇帝御製翰墨志一卷以上二冊。子119法帖譜系一卷·子119學古編一卷·子119字學新書摘抄一卷以上二冊。子119廣川書跋十卷五冊。
明刊本。匡郭，19.8×13.2 10行20字。左右雙邊。白口。印記，「藤虎」「字炳卿」「歐陽閣圖書記」「雲間」「存雅樓弘農氏珍藏」「思無邪齋」「伊勢國四日市高尾氏藏書記」。序跋，王世貞「古法書苑小序」、王世貞「古今法書苑序」、詹景鳳「書苑補益題辭」(萬曆十九年·一五九一)。湖南識語，「王氏書苑二十三本。庚子(明治三十三年·一九〇〇)十一月初澣。炳卿」。四庫總目卷一百十四存目「王氏書苑十卷書苑補益八卷」。(其他)一、存卷、書苑卷一より卷十。補益卷一より卷八。卷十一より卷十二。二、卷內刻「皇明朱衣姚汝循同校」「皇明詹景鳳王元貞全校」。

181 王氏書苑十卷附補益四卷 明王世貞輯 補益明詹景鳳輯 十四冊

〔書苑〕子105古畫品錄一卷·子110續畫品錄一卷·子106後畫錄一卷·子106續畫品一卷·子108貞觀公私畫史一卷·子112沈存中圖書歌一卷·子116筆法記一卷·子112山水論一卷以上一冊。子119歷代名畫記十卷三冊。子119聖朝名畫評三卷一冊。子115唐朝名畫錄一卷·子118五代名畫補遺一卷以上一冊。子116畫繼十卷二冊。子117益州名畫錄三卷一冊。子116米海嶽畫史一卷一冊。〔補益〕子121郭若虛畫論一卷·子120紀藝一卷以上一冊。子114宣和論畫雜評一卷·子118山水純全集一卷·子118畫山水訣一卷以上一冊。子119廣川書跋六卷二冊。
明刊本。匡郭，19.9×13.0 10行20字。左右雙邊。白口。印記，「藤虎」「字炳卿」「歐陽閣圖書記」「櫻林畫堂」。序跋，王世貞「重刻古畫苑選小序」、王世貞「古今名畫苑序」、陳文燭「王氏續畫苑跋」(萬曆十九年·一五九一)。湖南識語，「王氏書苑十四本。當缺一本。其第十一本亦屬殘缺他日當得足本校補也。庚子(明治三十三年·一九〇〇)十一月初澣。炳卿」。四庫總目卷一百十四存目。(其他)卷內刻「皇明朱衣姚汝循同校」「皇明新安詹景鳳株陵王元貞全校」「金陵徐智督刊」。

182 初學藝引畫四卷 鈔本 清李仕學輯 四冊一帙

原題，「初學藝引畫 揭揚李仕學亨敏輯」。10行21字。印記，「退思堂」。序跋，李仕學序。四庫總目卷二百三十存目「初學藝引二十三卷」。

183 初學藝引畫四卷 清李仕學輯 四冊一帙

原題，「初學藝引畫 揭揚李仕學亨敏輯」。乾隆刊本。匡郭，18.0×13.0 10行21字。四周雙邊。白口。「漱芳居本」。印記，「退思堂」。序跋，李仕學「畫引序」。四庫總目卷一百三十存目「初學藝引二十三卷」。

184 激素飛清閣金石碑記一卷 激素飛清閣評帖記一卷 鈔本 揚守敬撰 二冊一帙

原題，「激素飛清閣金石碑記 文昌潘福初先生鑒定 荆南揚守敬著 長陽黃宗緯校錄」。10行。序跋，揚守敬「激素飛清閣平碑記」。

〔同治六年・一八六七。〕〔其他〕一、帙外題「激素飛青閣平碑平帖記」。二、校訂あり。三、附屬物、郭蘭石について記した朱書箋一葉。
〔激素飛清閣評帖記一卷〕原題、「激素飛清閣評帖記 荆南揚守敬愷吾審定 永定能奎漢校録」。序跋、揚守敬「激素飛青閣平帖記」
〔同治七年・一八六八。〕

185 激素飛清閣評帖記一卷 清揚守敬撰

激素飛清閣金石平碑記一卷〔別掲子目〕に附す。

186 琴經十四卷 鈔本 明張大命纂集 三冊

原題、「琴經 閩潭城右衮張大命纂集 浙武林太韶沈音校閱」。10行20字。印記、「環山樓藏書記」。序跋、葉向高「太古正音琴經序」
〔萬曆三十七年・一六〇九〕、劉大任序、張大命自序〔萬曆三十七年〕、陳五昌「琴經跋」。〔其他〕校訂・書入あり。

187 重修正文對音捷要眞傳琴譜大全十卷 明楊表正撰 十冊一帙

原題、「重修正文對音捷要眞傳琴譜大全 閩延平永安貫川西峰山人楊表正撰 金陵三山街綉谷對溪書坊唐富春梓」。明刊本。匡郭、
19.7×13.3 10行24字。四周雙邊。白口。序跋、楊表正「重修正文對音捷要眞傳琴譜大全序」〔萬曆十三年・一五八五〕、「刻太古琴譜鈔」、
「刻琴譜眞傳序」、陳書箴「重修眞傳琴譜大全後跋」〔萬曆十三年〕、姚士畏「重修眞傳琴譜大全後跋」〔萬曆十三年〕。〔其他〕封面「楊
西峰先生著 琴譜合璧大全 重修正文對音 歷代名賢眞傳 梅墅石渠閣藏板」。

188 青蓮舫琴雅四卷 鈔本 明林有麟撰 二冊

原題、「青蓮舫琴雅 雲間林有麟仁甫輯」。匡郭、20.7×13.8 9行20字。四周單邊。白口。序跋、李紹箕「青蓮舫琴雅小引」、周裕度
「青蓮舫琴雅小引」〔萬曆四十二年・一六一四〕、林有麟「青蓮舫琴雅序」〔萬曆四十二年〕。四庫總目卷一百十四存目。〔其他〕一、封
面「松韻潤響 五清周所藏」。二、書入あり。

189 太古遺音不分卷 明楊掄輯 六冊一夾板

原題、「太古遺音」〔版心〕。明刊本。匡郭、22.7×14.1 8行16字。四周雙邊。白口。印記、「絨參」「逢軒私印」「陳瑚藏閱」等五種。

序跋、「琴序」。四庫總目卷一百十四存目。

190 新刊正文對音捷要琴譜眞傳六卷 明楊表正撰 六冊一帙

原題、「新刊正文對音捷要琴譜眞傳 閩延平貫川西峯山人楊表正撰 金陵三山街書肆對溪唐富春梓」。明刊本。匡郭 20.7×13.7 10行
24字。四周雙邊。白口。印記、「養廬病夫」等二種。序跋、「刻太古琴序」、劉御「琴譜眞傳序」〔萬曆元年・一五七三〕、楊表正「刻眞
傳琴譜序」〔萬曆元年〕。〔其他〕封面「金陵楊掄輯 琴譜合璧 太古遺音 白牙心法 文林閣唐錦池梓」。

191 大還閣琴譜六卷萬峰閣指法闕疑一卷谿山琴況一卷 清徐鉉撰 六冊一帙

原題、「琴譜」〔封面〕。康熙刊本。匡郭、15.5×9.8 6行。四周雙邊。白口。「大還閣」。印記、「雲煙家藏書記」等二種。序跋、蔡毓
榮「青山琴譜序」〔康熙十二年・一六七三〕、陸符序〔崇禎十七年・一六四四〕、伊桓序、錢棻序、蔡敏榮跋。〔其他〕封面「徐青山先生
訂正 琴譜 大還閣藏板」。

〔萬峰閣指法闕疑一卷〕原題、「萬峰閣指法闕疑」。匡郭、15.1×9.8 7行16字。四周單邊。白口。
〔谿山琴況一卷〕原題、「谿山琴況 婁東徐鉉青山父著 吳門夏溥子瀾父校」。匡郭、15.5×9.8 7行18字。四周雙邊。白口。「大
還閣」。四庫總目卷一百十四存目。

192 谿山琴況一卷 清徐鉉撰

大還閣琴譜六卷〔別掲子目〕に附す。

193 萬峰閣指法闕疑一卷 清徐鉉撰

大還閣琴譜六卷〔別掲子目〕に附す。

194 初學藝引琴四卷 清李仕學纂 四冊一帙

原題、「初學藝引琴 揭陽李仕學亨敏纂。乾隆刊本。匡郭、17.9×13.1 10行21字。四周雙邊。白口。「漱芳居本」。印記、「退思堂」。
序跋、李仕學「琴引序」〔乾隆十三年・一七四八〕。四庫總目卷一百三十存目「初學藝引二十三卷」。

195 學古編一卷 元音丘行撰

原題，「學古編」(外題)。序跋，危素「學古編序」(至正四年・一三四四)、吾衍跋(大德四年・一三〇〇)。四庫總目卷一百十三。〔其他〕一、校訂・書入あり。二、附屬物，「學古編序」等の手寫四葉、「趙琦美印」あり。三、王氏書苑補益(別掲子100)所收本。

196 文房圖贊一卷文房圖贊續一卷十友圖贊一卷 鈔本 宋林洪撰 續元羅先登撰 十友圖贊明顧元慶撰 一冊

原題，「文房圖贊 宋林洪著」。印記，「備前金川難波藏書」等二種。序跋，林洪序(嘉熙元年・一二三七)。〔其他〕卷末手寫「文化甲戌仲多初六七日摹于左海客居 玉松子恭筆」。

〔文房圖贊續一卷〕原題，「文房圖贊續 元羅先登著」。序跋，樊士寬序(元統二年・一三三四)、沈周跋。〔十友圖贊一卷〕原題，「十友圖贊 吳郡顧元慶著」。序跋，顧元慶「十友圖贊序」。

197 文房圖贊續一卷 鈔本 元羅先登撰

文房圖贊一卷(別掲子106)に附す。

198 十友圖贊一卷 鈔本 明顧元慶撰

文房圖贊一卷(別掲子106)に附す。

199 文房肆放圖說八卷 清唐秉鈞撰 六冊一帙

原題，「文房肆放圖說 古妻姊文馮孝壽愚亭同參 上海表兄康愷飲和參繪圖 練水唐秉鈞銜銓纂 弟秉鉞甥馮以炳全校 家先生桐園公閑 家宰地山曹大人鑒定」。乾隆刊本。匡郭，17.9×11.7 9行20字。左右雙邊，黑口。序跋，沈初序(乾隆四十三年・一七七八)、汪烜序(乾隆四十一年・一七七〇)。〔其他〕封面「沈雲榭先生鑒定 練水唐銜銓著 文房肆放圖說 是書原板 竹映^{山莊藏板}」(下半開摺)。

200 隨園食單一卷 清袁枚撰 一冊

原題，「隨園食單」(封面)。乾隆五十七年(一七九二)刊本。匡郭，18.8×14.1 11行21字。左右雙邊，白口。序跋，「隨園食單序」。

〔其他〕一、封面「乾隆壬子子鍾 隨園食單 小倉山房藏版」。二、書入あり。

201 初學藝引棋二卷 清李仕學纂 二冊一帙

原題，「初學藝引棋 揭陽李仕學亨敏纂。乾隆刊本。匡郭，18.2×13.0 10行21字。四周雙邊，白口。「漱芳居本」。印記，「退思堂」。序跋，李仕學「基引序」(乾隆八年・一七四三)。四庫總目卷一百三十存目「初學藝引二十三卷」。

202 新增格古要論十三卷 明曹昭撰 明舒敏編 四冊一帙

原題，「新增格古要論 雲間曹昭明仲著 雲間舒敏志學編校 吉水王佐功載校增 新都黃正位黃叔重校。明刊本。匡郭，19.4×12.0 10行20字。四周單邊，白口。「吳應芝梓」(一卷第一葉)。印記，「藤虎」「字炳卿」「玉洲」「明光浦桑嗣榮家藏印」等五種。序跋，舒敏志學「格古要論序」。湖南識語，「格古要論計四本庚子(明治三十三年・一九〇〇)十月念七。炳卿」「此書係桑嗣榮舊藏。嗣榮桑山氏、字子殘。號玉洲。通稱左內。紀州人。善畫。畫乘要略云，明光浦有桑嗣榮者，山水墨蘭皆有筆力。蓋於介石為先輩。王洲著有繪事鄙言」(帙背)。四庫總目卷一百二十三「格古要論三卷」。〔其他〕封面「雲間曹明仲著訂吉水王功載增輯 增訂格古要論 叔紹堂藏板」。

203 前塵夢影錄二卷 清徐康撰

原題，「前塵夢影錄 吳徐康子晉撰」。序跋，江標跋(光緒三十二年・一八九六)、楊峴跋(光緒十四年・一八八八)、李芝綬跋(光緒十二年・一八八六)、徐康跋(光緒十一年・一八八五)。〔其他〕一、封面「徐子晉先生前塵夢影錄」「丁酉三月據稿本刊元和江氏叢書之一」。二、靈鶴閣叢書第四集(別掲叢6)所收本。

204 地震解一卷 鈔本 明西洋龍華民撰

實際格地二卷(別掲子205)に附す。

205 光論一卷 清張福傳譯

原題，「光論」。序跋，張福傳「光論自敘」。〔其他〕一、封面「光論 譯泰西本」「江氏刊」。二、靈鶴閣叢書第二集(別掲叢6)所收本。

206 空際格致二卷 附地震解一卷 籌算一卷 鈔本 明西洋高一志撰 地震解明西洋龍華民撰 籌算明西洋羅雅谷撰 三册一帙

原題，「空際格致 極西耶穌會士高一志撰 古絳後學韓雲訂」。8行20字。四庫總目卷一百二十五存目。〔其他〕帙外題「空際格致 籌算」。

〔地震解一卷〕原題，「極西耶穌會士龍華民述」。6行15字。〔其他〕卷末手寫「天啓六年歲次丙寅五月夏至日」。

〔籌算一卷〕原題，「籌算」。9行22字。序跋，羅雅谷自序（崇禎元年・一六二八）。

九 雜 家 類

207 鸞子二卷 葉德輝校輯

原題，「鸞子 長沙葉德輝校輯」。序跋，葉德輝「校輯鸞子序」（光緒十八年・一八九二）。〔其他〕一、外題「輯鸞子」。二、封面「鸞子」。三、觀古堂所著書第二集（別揭叢書）所收本。

208 鬼谷子三卷 附篇目考一卷 附錄一卷 梁陶弘景注 附錄清秦恩復輯 三册一帙

原題，「鬼谷子 梁陶弘景注」。乾隆五十四年（一七八九）刊本。匡郭，17.2×13.0 11行21字。四周雙邊。黑口。印記，一種。序跋，秦恩復「鬼谷子跋」（乾隆五十四年・一七八九）、秦恩復「鬼谷子跋」（乾隆五十四年）、阮元跋。〔其他〕一、帙外題「秦刻鬼谷子」。二、封面「鬼谷子陶宏景注三卷 乾隆己酉江都秦氏石研齋校梓」。

〔鬼谷子篇目考一卷〕原題，「鬼谷子篇目考」。

〔鬼谷子附錄〕

209 鬼谷子篇目考一卷 清秦恩復輯

鬼谷子三卷（別揭子部）に附す。

210 鬼谷子附錄一卷 清秦恩復輯

鬼谷子三卷（別揭子部）に附す。

211 淮南子二十一卷 漢劉安撰 漢高誘注 清莊述吉校刊 四册一帙

原題，「淮南子 漢涿郡高誘注 武進莊述吉校刊」。乾隆五十三年（一七八八）刊本。匡郭，17.7×13.2 11行21字。四周單邊。黑口。印記，「干」「翁」。序跋，高誘跋。四庫總目卷一百十七。〔其他〕一、封面「淮南子二十一卷 乾隆戊申三月校刊于咸寧官署」。二、校訂・書入あり。三、識語一種。

212 淮南鴻烈閉詰二卷 漢許慎撰 葉德輝輯

原題，「淮南鴻烈閉詰 漢太尉祭酒許慎記 賜進士出身員外郎銜吏部文選司主事加三級葉德輝輯刊」。序跋，葉德輝「輯淮南鴻烈閉詰序」（光緒十七年・一八九二）、葉德輝「淮南鴻烈閉詰跋」（光緒二十年・一八九四）。〔其他〕一、封面「淮南鴻烈閉詰」「光緒乙未春二月長沙葉氏即園刊」。二、觀古堂所著書第二集（別揭叢書）所收本。

213 金樓子一卷 梁世祖孝元皇帝御撰

原題，「金樓子 梁湘東王譚」。四庫總目卷一百十七「金樓子六卷」。〔其他〕龍威秘書戊戌集說雜著十種（別揭叢書）所收本。

214 田閒書一卷 宋林芳撰

原題，「田閒書 宋林芳」。〔其他〕龍威秘書戊戌集說雜著十種（別揭叢書）所收本。

215 筆疇一卷 一册

原題，「筆疇」。明刊本。匡郭，19.4×11.7 8行16字。四周雙邊。黑口。印記，「酒竹文庫」等四種。序跋，「筆疇序」、「重刊筆疇跋」。湖南識語，「丁巳（大正六年・一九一七）五月，工學博士和田君持贈。炳卿」。

216 九流緒論三卷 明胡應麟撰

原題，「九流緒論 明東越胡應麟撰」。序跋，「九流緒論引」。「其他」少室山房集少室山房叢書（別掲卷1）所收本。

217 三教源流搜神大全七卷 □兩名撰 二册

原題，「三教源流搜神大全」（封面）。宣統元年（一九〇九）刊本。匡郭，19.7×12.2 14行28字。左右雙邊。白口。印記，「湖南秘板」。序跋，葉德輝「重刊繪圖三教源流搜神大全序」（宣統元年・一九〇九）、葉德輝後序（宣統元年）。「其他」封面「三教源流搜神大全 徐崇立署 己酉春仲郎園校刊」。

218 大明仁孝皇后勸善書二十卷 明仁孝皇后撰 十册一木箱

原題，「大明仁孝皇后勸善書」。永樂刊本。匡郭，23.9×8.1 14行28字。四周雙邊。黑口。印記，「厚載之記」。序跋，「勸善書序」（永樂三年・一四〇五）、朱高熾「大明仁孝皇后勸善書後序」（永樂五年・一四〇七）、朱高煦「大明仁孝皇后勸善書後序」（永樂五年）、朱高燧「大明仁孝皇后勸善書後書」（永樂五年）、胡廣「觀善書啓」（永樂五年）。「其他」識語「嘉善代。長覺寺什物。有田郡安田村稱名寺眞誓ノカタミナリ。奉持門蓮社上人眞與之。觀善書拾卷。寬延元戊仲春。比井浦長覺寺法宿付與之」（木箱）。

219 灼艾集二卷續集二卷餘集二卷別集二卷 明萬表輯 六册

原題，「灼艾集」。明刊本。匡郭，15.6×12.0 10行18字。左右雙邊。白口。印記，「橘菴」「北山影印」「貴適齋藏書記」「定武孫子眞永保之」等六種。序跋，李登「題灼艾集引」（嘉靖二十八年・一五四九）。四庫總目卷一百三十一存目「灼艾集八卷」。「其他」一、外題「灼艾集 北山七僧居士同橋庵藏本演爲遺書之內」。二、書入あり。

〔灼艾續集二卷〕原題，「灼艾續集」。「其他」補鈔あり。
〔灼艾餘集二卷〕原題，「灼艾餘集」。
〔灼艾別集二卷〕原題，「灼艾別集」。

220 灼艾續集二卷 明萬表輯

灼艾集二卷（別掲子219）に附す。

221 灼艾餘集二卷 明萬表輯

灼艾集二卷（別掲子219）に附す。

222 灼艾別集二卷 明萬表輯

灼艾集二卷（別掲子219）に附す。

223 風俗通義十卷 漢應劭撰 明鍾惺評 二册

原題，「風俗通義 漢汝南應劭著 明竟陵鍾惺評」。匡郭，20.0×11.3 9行25字。四周單邊。白口。印記，「汲野氏圖書記」。序跋，應劭「風俗通義序」。四庫總目卷一百二十一「風俗通義十卷附錄一卷」。

224 新刻風俗通義十卷 漢應劭撰 一册一帙

原題，「新刻風俗通義 漢汝南應劭著 明錢唐胡文煥校」。明刊本。匡郭，19.7×12.9 10行20字。左右雙邊。白口。印記，「逐風軒」「香島書屋」「香島書庫之記」「龍門安田元藏圖書記」等六種。序跋，應劭「風俗通義序」。四庫總目卷一百二十一「風俗通義十卷附錄一卷」。

225 試筆一卷 宋歐陽脩撰

原題，「試筆 廬陵歐陽修撰」。四庫總目卷一百二十七存目。「其他」王氏書苑補益（別掲子100）所收本。

226 廬陵雜說一卷 宋歐陽脩撰

原題，「廬陵雜說 宋歐陽修撰」。「其他」龍威秘書戊戌集（別掲卷1）所收本。

227 志林一卷 宋蘇軾撰

原題，「志林 宋蘇軾撰」。「其他」龍威秘書戊戌集說郭雜著十種（別掲卷1）所收本。

228 容齋隨筆十六卷續筆十六卷三筆十六卷四筆十六卷五筆十卷 宋洪邁撰 十二册三帙

原題，「容齋隨筆」。明刊本。匡郭，15.1×33.1 9行18字。左右雙邊。黑口。印記，「金氏竹移」「近藤氏藏」「懶雲草堂藏本」等四種。序跋，李翰「容齋隨筆五集舊序」（弘治十一年・一四九八）、何異「容齋隨筆五集總序」（嘉定五年・二二二二）、馬元調「重刻容齋隨筆紀事」（崇禎三年・一六三〇）。四庫總目卷一百十八。〔其他〕補鈔あり。

〔容齋續筆十六卷〕原題，「容齋續筆」。序跋，自序（紹熙三年・一一九二）。

〔容齋三筆十六卷〕原題，「容齋三筆」。序跋，「容齋三筆序」（慶元二年・一一九〇）。

〔容齋四筆十六卷〕原題，「容齋四筆」。序跋，「容齋四筆序」（慶元三年・一一九七）。

〔容齋五筆十卷〕原題，「容齋五筆」。

229 容齋續筆十六卷 宋洪邁撰

容齋隨筆十六卷（別掲子228）に附す。

230 容齋三筆十六卷 宋洪邁撰

容齋隨筆十六卷（別掲子228）に附す。

231 容齋四筆十六卷 宋洪邁撰

容齋隨筆十六卷（別掲子228）に附す。

232 容齋五筆十卷 宋洪邁撰

容齋隨筆十六卷（別掲子228）に附す。

233 東齋記事一卷 宋許觀撰

原題，「東齋記事 宋許觀」。〔其他〕龍威秘書戊集（別掲叢1）所收本。

234 潤泉日記三卷 宋韓流撰 一册

原題，「潤泉日記 宋韓流撰」。乾隆武英殿聚珍版。匡郭，18.3×11.5 9行21字。四周雙邊。白口。校者名。四庫總目卷一百二十一。

235 雲谷雜記四卷首一卷末一卷 宋張漢撰 二册

原題，「雲谷雜記 宋張漢撰」。乾隆武英殿聚珍版。匡郭，18.6×11.4 9行21字。四周雙邊。白口。印記，「掛川文庫」「島家藏印」。

四庫總目卷一百十八「雲谷雜記四卷」。

236 席上腐談一卷 元蘇瑛撰

原題，「席上腐談 宋俞琰」。四庫總目卷一百四十六「席上腐談二卷」。〔其他〕龍威秘書戊集說郛雜著十種（別掲叢1）所收本。

237 震澤長語二卷 明王鏊撰 一册

原題，「陳眉公訂正震澤長語 吳郡王鏊濟之父著 秀水項燦先順伯父嘉興沈逢吉吉甫父同校」。明刊本。匡郭，19.5×13.5 9行20字。

四周單邊。白口。序跋，王鏊「震澤長語序」。四庫總目卷一百二十一。

238 華陽博議二卷 明胡應麟撰

原題，「華陽博議 東越胡應麟撰」。序跋，胡應麟「華陽博議引」。〔其他〕少室山房集少室山房筆叢（別掲叢1）所收本。

239 莊嶽委談二卷 明胡應麟撰

原題，「莊嶽委談 明東越胡應麟撰」。序跋，「莊嶽委談引」。〔其他〕少室山房集少室山房筆叢（別掲叢1）所收本。

240 池北偶談二十六卷 清王士禎撰 八册一帙

原題，「池北偶談 濟南王士禎阮亭著 高都姪廷掄簡菴較」。康熙三十九年（一七〇〇）刊本。匡郭，19.1×13.8 11行23字。左右雙邊。黑口。印記，「海粟園藏書」「吉林索綽絡氏」。序跋，王士禎「池北偶談序」（康熙三十年・一六九一）、姪廷掄跋（康熙三十九・一七〇〇）。

○。四庫總目卷一百二十一。〔其他〕一、封面「康熙庚辰夏五 池北偶談 臨汀郡署授梓」。二、書入あり。

241 居易錄三十四卷 清王士禛撰 十二冊二帙

原題，「居易錄 濟南王士禛著」。雍正刊本。匡郭，168×126 10行20字。左右雙邊。黑口。印記，一種。序跋，王士禛「居易錄自序」。四庫總目卷一百二十一。〔其他〕附屬物，「駱宏奎」と記した箋一葉。

242 香祖筆記十二卷 清王士禛撰 六冊

原題，「香祖筆記 新城王士禛貽上」。康熙刊本。匡郭，159×127 10行19字。左右雙邊。白口。印記，「繡雲山房」「讀來世書齋」。序跋，宋榮序（康熙四十四年・一七〇五）、王士禛自序。四庫總目卷一百二十一。〔其他〕卷內刻「青浦陳琮應坤校」。

243 簪曝雜記六卷 清趙翼撰 卅冊

原題，「簪曝雜記 陽湖趙翼靈樞」。匡郭，175×121 11行21字。左右雙邊。白口。印記，「藤虎」「字炳卿」。〔其他〕明清紀略三種彙編（別掲史17）所收本。

244 乙卯劄記一卷 鈔本 清章學誠撰

〔其他〕章氏遺書（別掲叢16）所收本。

245 丙辰劄記一卷 鈔本 清章學誠撰

〔其他〕章氏遺書（別掲叢16）所收本。

246 知非日札一卷 鈔本 清章學誠撰

〔其他〕章氏遺書（別掲叢16）所收本。

247 竹葉亭雜記八卷 清姚元之撰 二冊

原題，「竹葉亭雜記 桐城姚元之伯昂」。光緒十九年（一八九三）刊本。匡郭，174×114 12行24字。四周雙邊。黑口。印記，「湖南秘極」。〔其他〕封面「竹葉亭雜記八卷」「光緒癸巳七月陽湖汪洵著檢」。

248 羣書治要四十五卷 和刻本 唐魏徵等奉勅撰 二十四冊

原題，「羣書治要 秘書監鉅鹿男臣魏徵等奉勅撰」。匡郭，199×145 9行18字。四周雙邊。白口。印記，「湖南秘極」。序跋，朝散大夫國子祭酒林信敬「校正羣書治要序」（天明七年・一七八七）、尾張國校督學臣細井德民「刊羣書治要考例」（天明五年・一七八五）、魏徵等「羣書治要序」。〔其他〕存卷，卷一より卷三。卷五より卷十一。卷十四より卷十九。卷二十三より卷五十。

249 五色線一卷 宋闕名撰

原題，「五色線 宋闕人闕」。四庫總目卷一百四十四存目「五色線二卷」。〔其他〕龍威秘書戊集說鄂雜著十種（別掲叢7）所收本。

250 鷄肋一卷 宋趙崇鉤撰

原題，「鷄肋 宋趙崇鉤」。四庫總目卷一百三十五「雞肋一卷」。〔其他〕龍威秘書戊集（別掲叢7）所收本。

十類書類

251 北堂書鈔一百六十卷 唐虞世南撰 清孔廣陶校注 十六冊二帙

原題，「北堂書鈔 隋秘書郎虞世南撰 南海孔廣陶校註」。光緒十四年（一八八八）刊本。匡郭，186×150 12行22字。四周單邊。黑口。印記，「湖南秘極」「湖南」等四種。序跋，孫星衍序，孫星衍序（嘉慶七年・一八〇二）、孫星衍序（嘉慶十年・一八〇五）、傅以禮序（光緒三年・一八七七）、孔廣陶「校刊北堂書鈔元本序」（光緒十四年・一八八八）、孔昭燾後跋（光緒十四年）、傅以禮跋（光緒三年）。四庫總目卷一百三十五。〔其他〕封面「孫忠愍侯祠堂舊校影宋原本 北堂書鈔 南海孔氏三十有三萬卷堂校注重刊」「光緒戊子正月 開雕十月告竣」。

三、沈思孝「唐類函序」(萬曆三十一年)、李維楨「唐類函序」。四庫總目卷一百三十八存目。〔其他〕書入あり。

262 饒旁註事類捷錄十五卷 明鄧志讓撰 明鄧士龍校 五冊

原題,「饒旁註事類捷錄 饒安百拙生鄧志讓著 宗人濟寰士龍校 書林萃慶堂余彰德梓」。明刊本。匡郭, 20.4×11.9 10行18字 四周單邊。白口。印記,「內藤乾藏書」「乾吉」「紹本」等五種。序跋,鄧士龍序,「百拙生自敘」(萬曆三十一年·一六〇三)。〔其他〕一、外題「事類捷錄」。二、附屬物、箋一葉。

263 新刻眉公陳先生編輯諸書備採萬卷搜奇全書三十七卷 明陳繼儒編輯 六冊

原題,「新刻眉公陳先生編輯諸書備採萬卷搜奇全書 華亭眉公陳繼儒編輯 書林懷軒陳恭敬梓行」。明刊本。匡郭, 21.4×12.0 四周單邊。白口。印記,「內藤乾藏書」。序跋,「萬寶全書題詞」。〔其他〕封面「徐筆調先生精纂 萬寶全書 存仁堂梓」。

264 增補萬寶全書二十卷 明陳繼儒纂輯 清毛煥文增補 四冊一帙

原題,「增補萬寶全書」。匡郭, 19.7×11.3 四周單邊。白口。序跋,毛煥文序(乾隆四年·一七三九)。〔其他〕封面「陳眉公先生纂輯 增補繪圖萬寶全書 三讓堂梓」。

265 通雅五十二卷首三卷 明方以智撰 十二冊一夾板

原題,「通雅 桐山方以智密之輯著 同里姚文燮經三較訂」。康熙刊本。匡郭, 21.1×22.6 10行24字。四周單邊。黑口。「浮山此藏軒」。印記,「金陵夏氏收藏圖書」等三種。序跋,姚文燮「通雅序」(康熙五年·一六六〇)、方以智自序(崇禎十四年·一六四二)、方以智序(崇禎十五年·一六四三)、方以智「通雅凡例」(崇禎十六年·一六四三)。湖南識語,「共十二本。戊申(明治四十一年·一九〇八)正月。炳卿」。四庫總目卷一百十九「通雅五十二卷」。〔其他〕一、封面「方密之先生手輯 姚經三先生校定 通雅 本衙藏板」。二、首卷內容,「音義棟論」「讀書類略」「小學大畧」「詩說」「文章薪火」。

266 省軒考古類編十二卷 清柴紹炳撰 清姚廷謙評 四冊

原題,「省軒考古類編 仁和柴紹炳虎臣纂 華亭姚廷謙平山評 長洲汪琬哲文宣城施閏章尚白石門呂留良晚村寧都魏禧冰叔參 鐵嶺高 續勳希武越步青訂 姪謙南屏男世堂青山校」。雍正刊本。匡郭, 15.0×11.5 10行21字。左右雙邊。黑口。印記,「星階過眼」等二種。序跋,姚廷謙序(雍正二年·一七二四)、高越序(雍正四年·一七二六)、柴紹炳自序、高續勳「凡例」(雍正三年·一七二五)。四庫總目卷一百三十九「考古類編十二卷」。

267 三才彙編六卷 清龔在升撰 十冊一帙

原題,「三才彙編 同學顧理美輝六增著 學人毛襄華伯參訂 男龔銘卓淑如同校」。康熙刊本。匡郭, 20.0×13.0 9行24字。左右雙邊。白口。印記,「陳號青收藏章」等三種。序跋,盧紘序(康熙六年·一六六七)、徐元文敘(康熙六年)、葉方蘭序(康熙六年)、龔在升序(康熙六年)、四庫總目卷一百三十九存目「三才彙編四卷」。〔其他〕欄外刻あり。

268 欽定古今圖書集成十四卷 清康熙中敕撰 七冊

原題,「欽定古今圖書集成方輿彙編職方典」。雍正內府活字印本。匡郭, 20.7×13.7 9行20字。四周雙邊。白口。〔其他〕存卷,方輿彙編職方典卷五百六十五より卷五百七十八。

269 永樂大典二卷 鈔本 明解縉等奉敕輯 一冊

匡郭, 34.3×22.1 8行, 雙行28字。四周雙邊。黑口。印記,「藏園居士」等三種。〔其他〕一、存卷,卷二千六百十・卷二千六百十一。二、丙寅藏園居士(蔣士銓、乾隆丁丑進士)識語あり。三、朱絲欄。四、蔣士銓撰本。

十一 小說家類

270 乾牒子一卷 唐溫庭筠撰

原題,「乾牒子 唐溫庭筠」。〔其他〕龍威秘書戊戌說郛雜著十種(別掲敷?)所收本。

- 271 酉陽雜俎二十卷續集十卷 唐段成式撰 六册一帙
 原題,「酉陽雜俎」唐臨淄段成式柯古撰 明古虞毛晉子晉訂。明刊本。匡郭, 184×132 9行19字。左右雙邊。白口。「汲古閣」。印記,「小紅鴨館」、「吉林索綽絡氏」、「海粟園藏書」、「桐城姚伯印氏藏書記」等五種。序跋,段成式「酉陽雜俎序」、毛晉跋。四庫總目卷一百四十二。「其他」一、封面「臨淄段成式柯古撰 正續酉陽雜俎 廣文堂藏板」。二、書入あり。
 「酉陽雜俎續集十卷」原題,「酉陽雜俎續集」唐臨淄段成式柯古撰 明古虞毛晉子晉訂。序跋,毛晉跋。
- 272 酉陽雜俎續集十卷 唐段成式撰
 酉陽雜俎二十卷(別掲子汎)に附す。

273 玉溪編事一卷 五代蜀闕名撰

原題,「玉溪編事」蜀撰人闕。「其他」龍威秘書戊集(別掲叢。)所收本。

274 遺史記聞一卷 宋詹玠撰

原題,「遺史記聞」宋詹玠。「其他」龍威秘書戊集(別掲叢。)所收本。

275 仇池筆記一卷 宋蘇軾撰

原題,「仇池筆記」宋蘇軾。四庫總目卷一百二十「仇池筆記」卷。「其他」龍威秘書戊集(別掲叢。)所收本。

276 雲齋廣錄一卷 宋李獻民撰

原題,「雲齋廣錄」宋李獻民。四庫總目卷一百四十四存目「雲齋廣錄八卷後集一卷」。「其他」龍威秘書戊集說郭雜著十種(別掲叢)所收本。

277 程史一卷 宋岳珂撰

原題,「程史」宋岳珂。四庫總目卷一百四十一「程史十五卷」。「其他」龍威秘書戊集(別掲叢。)所收本。

278 別國洞冥記一卷 漢郭憲撰 一册

原題,「亦政堂訂正別國洞冥記」漢郭憲撰 明王體元項燧先校。明刊本。匡郭, 195×123 8行18字。四周單邊。白口。

279 甄異記一卷 晉戴祚撰

原題,「甄異記」戴祚。「其他」龍威秘書戊集(別掲叢。)所收本。

280 郭氏玄中記一卷 晉郭璞撰 葉德輝輯

原題,「郭氏玄中記」長沙葉德輝撰輯。序跋,葉德輝「輯郭氏玄中記序」。「其他」一、外題「輯郭氏玄中記」。二、封面「郭氏玄中記」「卽園輯刊」。三、觀古堂所著書第二集(別掲叢)所收本。

281 旌異記一卷 劉宋侯君素撰

原題,「旌異記」宋侯君素。「其他」龍威秘書戊集(別掲叢。)所收本。

282 近異錄一卷 劉宋劉質撰

原題,「近異錄」宋劉質。「其他」龍威秘書戊集(別掲叢。)所收本。

283 唐年補錄一卷 唐馬總撰

原題,「唐年補錄」馬總。「其他」重校說郭寫第四十二(別掲叢)所收本。

284 楊娼傳一卷 唐房千里撰

原題,「楊娼傳」唐房千里撰。「其他」龍威秘書戊集(別掲叢。)所收本。

285 廣異記一卷 唐戴孚撰

原題、「廣異記 戴君字」。「其他」龍威秘書戊集（別掲叢）所收本。

286 太平廣記三百四十三卷目錄七卷 宋李昉等奉敕撰 五十五册

原題、「太平廣記」。明刊本。匡郭，19.5×14.0 12行22字。四周單邊。白口。印記，一種。四庫總目卷一百四十二「太平廣記五百卷」。
〔其他〕一、存卷、目錄卷一より卷七。卷二十二より卷三十八。卷四十七より卷八十七。卷九十四より卷百。卷百八より卷百十三。卷百二十六より卷百四十八。卷百六十三より卷百九十九。卷二百五より卷二百五十。卷二百六十五より卷三百二。卷三百九より卷三百十九。卷三百二十八より卷三百四十。卷三百四十七より卷三百七十七。卷三百八十四より卷三百八十九。卷三百九十六より卷四百。卷四百二十五より卷四百六十五。卷四百八十より卷五百。ただし卷五百は第七葉以下闕す。二、校訂・書入・補鈔あり。三、毛裝。

287 太平廣記五百卷 宋李昉等奉敕撰 六十四册

原題、「太平廣記」。乾隆二十年（一七五五）刊本。匡郭，11.6×8.4 12行22字。白口。印記，「松木雲德」等三種。序跋，黃晟「重刻太平廣記序」（乾隆十八年・一七五三）。四庫總目卷一百四十二。「其他」封面「乾隆乙亥年夏月 天都黃曉峰校刊 太平廣記 槐蔭草堂藏板」。

288 乘異記一卷 宋張君房撰

原題，「乘異記 宋張君房」。「其他」龍威秘書戊集（別掲叢）所收本。

289 吉凶影響錄一卷 宋岑象求撰

原題，「吉凶影響錄 宋岑象求」。「其他」龍威秘書戊集（別掲叢）所收本。

290 漁樵閒話一卷 宋蘇軾撰

原題，「漁樵閒話 宋蘇軾」。四庫總目卷一百四十四存目「漁樵閒話」一卷。「其他」龍威秘書戊集（別掲叢）所收本。

291 搜神祕覽一卷 宋章炳文撰

原題，「搜神祕覽 宋章炳文」。「其他」龍威秘書戊集（別掲叢）所收本。

292 撫青雜說一卷 宋王明清撰

原題，「撫青雜說 宋王明清」。「其他」龍威秘書戊集（別掲叢）所收本。

293 睽車志一卷 宋郭象撰

原題，「睽車志 宋郭象撰 陶宗儀輯」。四庫總目卷一百四十二「睽車志六卷」。「其他」五朝小說（別掲叢）所收本。

294 睽車志一卷 宋郭象撰

原題，「睽車志 宋郭象」。四庫總目卷一百四十二「睽車志六卷」。「其他」龍威秘書戊集（別掲叢）所收本。

295 鬼董五卷 宋沈□撰

原題，「鬼董」。序跋，錢孚跋（泰定三年・一三三〇）。「其他」龍威秘書戊集（別掲叢）所收本。

296 睽車志一卷 元歐陽玄撰

原題，「睽車志 宋歐陽玄纂 陶宗儀輯」。「其他」五朝小說（別掲叢）所收本。

297 二酉綴遺三卷 明胡應麟撰

原題，「二酉綴遺 東越胡應麟撰」。序跋，胡應麟「二酉綴遺引」。「其他」少室山房集少室山房筆叢（別掲叢Ⅱ）所收本。

298 虞初新志二十卷 清張潮輯 十册一帙

原題，「虞初新志」（封面）。乾隆刊本。匡郭，10.5×7.7 9行20字。四周雙邊。白口。「詒清堂」。印記，「藤虎」「字炳卿」「碧山室藏」

書印」桐孫得意書冊自蔡博妓免酒。序跋，張潮自序（康熙二十二年・一六八三）、張繹後跋（乾隆二十五年・一七六〇）。湖南識語，「青柳秋堂遺書，有皆川淇園手記及菊池五山印記。炳卿」（快背）。〔其他〕封面「重刊袖珍 虞初新志 詒清堂藏板」。

十二 釋家類

299 雙樹幻鈔三卷 明胡應麟撰

原題，「雙樹幻鈔 明東越胡應麟撰」。序跋，「雙樹幻鈔引」。〔其他〕少室山房集少室山房筆叢（別揭叢本）所收本。

300 天主實義二卷 鈔本 明西洋利瑪竇撰 二册一帙

原題，「天主實義 耶穌會士利瑪竇述 閩中欽一堂梓」。9行19字。序跋，馮應京「天主實義序」（萬曆二十九年・一六〇二）、李之藻「天主實義重刻序」（萬曆三十五年・一六〇七）。四庫總目卷一百二十五存目。〔其他〕一、封面「西國利先生著 天主實義 欽一堂藏板」。二、卷末手寫「小杉醇校字」。

301 重刻畸人十編二卷西琴曲意八章 鈔本 明西洋利瑪竇撰

原題，「重刻畸人十篇 利瑪竇述 後學汪汝淳校梓」。10行20字。序跋，李之藻序（萬曆三十六年・一六〇八）、周炳謨「重刻畸人十篇引」、王家植「題畸人十篇小引」、「冷石生演畸人十觀」、涼庵居士跋、汪汝淳跋（萬曆三十九年・一六一二）。四庫總目卷一百二十五存目「畸人十篇」卷附西琴曲意一卷。〔其他〕一、校訂あり。二、卷末手寫「小杉醇校字」。三、西學凡等七種（別掲子記）所收本。〔西琴曲意八章〕原題，「西琴曲意八章」。

302 西琴曲意八章 鈔本 明西洋利瑪竇撰

重刻畸人十編二卷（別掲子記）に附す。

303 三山論學紀一卷 鈔本 明西洋文儒著撰 廿冊

原題，「三山論學紀 泰西耶穌會後學艾儒略著」。9行19字。〔其他〕一、封面「思及艾先生述 三山論學紀 武林天主堂重梓」「三山論學紀 泰西耶穌會士文儒著述 同會費奇規陽瑪諾訂費樂德訂 值會陽瑪諾准 杭州范中 錢塘舒芳懋較」。二、校訂あり。三、卷末手寫「小杉醇校字」。四、西學凡等七種（別掲子記）所收本。

304 天主十誠解略不分卷 鈔本 泰西王豐肅述

原題，「天主十誠解略 泰西王豐肅述 閩中欽一堂梓」。7行15字。序跋，葉向高「西學十誠初解序」（天啓四年・一六二四）。〔其他〕一、封面「西國王泰隱先生述 天學十誠解略 欽一堂繙板」。二、西學凡等七種（別掲子記）所收本。

305 天方典禮擇要解二十卷後編一卷 清劉智撰 六册

原題，「天方典禮擇要解 金陵劉智介廉纂述 海陽俞楷陳芳點訂 山陽楊斐棗淇益校梓」。匡郭，1966×142 9行18字。四周雙邊。黑口。印記，「湖南祕板」。序跋，鹿祐「天方禮經序」、徐偉「天方典禮序」、景日陟「一齋書序」、楊斐棗序、劉智自序。四庫總目卷一百二十五存目「天方典禮擇要解二十卷」。〔其他〕封面「金陵劉介廉纂述 天方典禮擇要解」。〔天方典禮擇要解後編一卷〕原題，「天方典禮擇要解後編 金陵劉智介廉纂述 石城曹賢五週參訂 山陽楊斐棗淇益較梓」。序跋，跋（康熙四十九年・一七一〇）。

306 天方典禮擇要解後編一卷 清劉智撰

天方典禮擇要解二十卷（別掲子記）に附す。

307 天方性理圖傳五卷首一卷 清劉智撰 六册

原題，「天方性理圖傳」。同治刊本。匡郭，193×126 9行18字。四周雙邊。黑口。「敦畏堂」。印記，「湖南祕板」。序跋，王澤弘「天方性理序」、喬松年序（同治五年・一八六〇）、徐元正「天方性理書序」（康熙四十七年・一七〇八）、俞楷「天方性理圖說序」、梁滄賞「天方性理圖說序」（康熙四十三年・一七〇四）、袁汝琦序（康熙四十三年）、丁灝漫「天方性理書序」（康熙五十一年・一七一二）、黑

鳴鳳序(康熙四十九年・一七一〇)、劉智自序、京江談「重刊天方性理序」(乾隆二十五年・一七六〇)、黑鳴鳳跋。〔其他〕一、封面「金陵劉介廉纂述 天方性理 京江談氏重刊」。二、一部白口あり。

十三 道家類

308 老子經不分卷 鈔本 一冊

原題、「孝子經」(外題)。11行21字。〔其他〕一、十灣寫本。二、表紙に「老子の道は天下の至柔を以て天下の至堅を馳騁するに在り 重は輕の根たり靜は躁の君たりといふに在り 虎兒ノ語」と署す。三、毛裝。

309 老子道德經二卷 魏王弼注 二冊

原題、「老子道德經 晉王弼注」。乾隆武英殿聚珍版。匡郭、18.0×11.5 9行21字。四周雙邊。白口。校者名。印記、「掛川文庫」「鳥家藏印」。

310 道德真經註四卷 元吳澄撰 二冊一帙

原題、「道德真經註 臨川吳澄述」。康熙刊本。匡郭、19.5×12.3 10行20字。四周雙邊。黑口。印記、「虞卿之印」等四種。序跋、「重刻道德經序」、吳澄跋。四庫總目卷一百四十六。〔其他〕一、帙外題「吳草廬道德真經註」。二、封面「河上公章句 道德經解 本衙藏版」。三、校訂あり。

311 太上老子道德經二卷 元何道全述註 二冊

原題、「太上老子道經 無垢子何道全述註」。明刊本。匡郭、19.3×12.5 8行17字。四周雙邊。黑口。印記、「浩齋」「私春堂主」「觀文堂」。序跋、蕭富「重刊道德經後序」「老子道德經太極左仙公葛玄序」。

312 老子衍一卷 鈔本 清王夫之撰 一冊

原題、「老子衍 衡陽王夫之撰 男啟纂注」。10行22字。序跋、王夫之自序。〔其他〕毛裝。

313 沖虛至德真經八卷 晉張湛注

原題、「沖虛至德真經 列子 張湛處度注」。匡郭、24.4×14.7 14行26字。左右雙邊。白口。刻工名。序跋、黃丕烈跋(嘉慶元年・一七九六)、跋。〔其他〕一、封面「景宋本列子」。二、卷末刻「光緒甲申借鐵琴銅劍樓宋本專刊」「吳門徐元圃刻」。三、鐵華館叢書(別掲)所收本。

314 列子八卷 唐盧重元解 四冊一帙

原題、「列子 唐通事舍人盧重元解」。嘉慶八年(一八〇三)刊本。匡郭、19.0×13.6 10行21字。左右雙邊。白口。「石研齋」。印記、「湖南秘極」。序跋、秦恩復序(嘉慶九年・一八〇四)。〔其他〕一、外題・帙外題「列子盧重元注」。二、封面「列子盧重元注八卷 嘉慶八年江都秦氏開雕」。

315 文子十二卷 和刻本 三冊

原題、「文子」。寶曆八年(一七五八)刊本。匡郭、20.0×13.4 9行18字。四周雙邊。白口。印記、「湖南秘極」「ツカタ」等四種。序跋、江忠固「文子序」、信夫藤國跋。四庫總目卷一百四十六「文子二卷」。〔其他〕一、卷末刻「寶曆八戊寅年春 東都書林 本石町三丁目 文英閣勉勵堂藏」。二、書入あり。

316 通玄真經十二卷 唐徐靈府注

原題、「通玄真經」。匡郭、17.3×12.3 10行20字。左右雙邊。黑口。〔其他〕一、封面「景宋本文子徐靈府注十二卷 光緒癸未暢月仁和 高保康書檢」。二、卷末刻「光緒九季歲在昭陽洽協長州蔣氏開彫」「吳門徐元圃刻」。三、鐵華館叢書(別掲)所收本。

317 南華真經正義四卷南華真經識餘三卷 清陳壽昌撰 六册一帙

原題，「南華真經正義 宛平陳壽昌輯」。光緒十九年（一八九三）刊本。匡郭，15.0×20.5 10行20字。四周雙邊。白口。印記，「湖南秘板」。序跋，陳壽昌序（光緒十三年・一八八七）、許貞幹序後、慶堃跋（光緒二十四年・一八九〇）。湖南識語，「汪卿雅言錄云，光緒中有大興陳壽昌刻南華真經詮註。後附莊子韻・莊子異同。下署己名。近日有在廠肆購南海吳荷尾先生稿本。二名南華真經詮註。據之一字不異并序例無。真抄錄有數卷。吳末註者則上缺之惟錄白文耳。所附二種即係原書眉上所錄。摘出是又為郭象之竊向秀矣。」〔其他〕一、帙外題「南華真經正義」。二、封面「南華真經正義 識餘附」。「光緒十九年仲春怡顏齋開雕」。

〔南華真經識餘三卷〕原題，「南華真經識餘 宛平陳壽昌輯」。〔其他〕封面「南華真經識餘三種 怡顏齋藏」。

318 南華真經識餘三卷 清陳壽昌撰

南華真經正義四卷（別掲子317）に附す。

319 太上黃庭內景玉經一卷外景玉經一卷 鈔本 □梁丘子撰 一册

原題，「黃庭內景玉經 東都森鎮大年父訂 門生久保田方句讀」。10行25字。序跋，森鎮大年「黃庭經序」（明和元年・一七六四）、山思孝「黃庭經跋」（明和元年）。湖南識語，「戊申（明治四十一年・一九〇八）六月。炳卿」。〔其他〕一、外題「黃庭經秘本」。二、書入あり。三、識語一種。

〔太上黃庭外景玉經一卷〕原題，「黃庭外景玉經 東都森鎮大年父訂 門生久保田方句讀」。

320 太上黃庭外景玉經一卷 鈔本 □梁丘子撰

太上黃庭內景玉經一卷（別掲子319）に附す。

321 玉壺遐覽四卷 明胡應麟撰

原題，「玉壺遐覽 明東越胡應麟撰」。序跋，「玉壺遐覽引」。〔其他〕少室山房集少室山房筆叢（別掲叢12）所收本。

集部

一 楚辭類

1 楚辭韻讀一卷宋賦韻讀一卷 清江有誥撰

原題，「楚辭韻讀」。嘉慶二十四年（一八一九）刊本。〔其他〕一、封面「歙江有誥音三學 楚辭韻讀 嘉慶己卯開雕」。二、江氏音學十書（別掲經17）所收本。

〔宋賦韻讀一卷〕原題，「宋賦韻讀」。

2 宋賦韻讀一卷 清江有誥撰

楚辭韻讀一卷（別掲集1）に附す。

3 反離騷一卷 漢楊雄撰

唐書直筆新例不分卷（別掲史48）に附す。

二 別集類

4 晉司隸校尉傅玄集三卷 晉傅玄撰 葉德輝輯

原題，「晉司隸校尉傅玄 賜進士出身誥授中憲大夫四品銜吏部主事葉德輝輯刊」。序跋，葉德輝「輯錄晉司隸校尉傅玄集鈔」（光緒二十七年・一九〇一）。〔其他〕一、封面「晉司隸校尉傅玄集三卷」。「光緒壬寅中夏葉氏觀古堂刊」。二、觀古堂所著書第二集（別掲叢12）所收本。

5 陶隱居集一卷 梁陶弘景撰 一册

原題，「陶隱居集 梁林陵陶弘景通明著 明太倉張溥天如閱」。明刊本。匡郭，19.7×33.0 9行18字。左右雙邊。白口。序跋，張溥

「陶隱居集題詞」。

6 華陽陶隱居集二卷 梁陶弘景撰 清嚴可均輯

原題，「華陽陶隱居集 梁隱居先生陶弘景撰」。序跋，葉德輝「重刊華陽陶隱居集序」〔光緒二十九年・一九〇三〕、「隋江總序」。〔其他〕一、封面「華陽陶隱居集 安化陶觀鏡署」〔光緒癸卯冬月葉氏觀古堂刊〕。二、觀古堂彙刻書第二集〔別掲卷ノ〕所收本。

7 唐李嶠單提詩百二十首不分卷 鈔本 一冊

原題，「一百二十詠詩注 故中書令鄴國公李嶠雜詠百二十首 登任郎守信安郡博士張庭芳注并序」。10行22字。序跋，張庭芳序。〔其他〕一、外題「唐李嶠單提詩百二十首」。二、卷末手寫「右依仁融堅者之嚴命令膳書也以無點之本愚推之筆點之條後見被改正者多幸々々松林」右嘉永二年寫本田中教忠所藏寫手粗惡魯魚頗多姑從原本他日若得觀善本則當加校訂也。三、校訂あり。四、壬子二月神田香の峯識語あり。五、毛裝。

8 王子安集佚文一卷校記一卷 唐王勃撰 清羅振玉輯併撰校記 一冊

原題，「王子安集佚文 上虞羅振玉校錄」。民國七年（一九一八）排印本。匡郭，158×104 10行21字。左右雙邊。黑口。序跋，羅振玉序（民國七年・一九一八）。〔其他〕一、校訂・書入あり。二、序末尾に「羅振玉印」あり。〔王子安集校記一卷〕原題，「王子安集校記 上虞羅振玉校」。

9 王子安集校記一卷 清羅振玉撰

王子安集佚文一卷〔別掲卷ノ〕に附す。

10 沈下賢文集十二卷 唐沈亞之撰

原題，「沈下賢文集 吳興沈亞之下賢」。序跋，董光漢「新刊沈下賢集序」〔光緒二十一年・一八九五〕、「沈下賢文集序」〔元祐元年・一〇八〇〕。四庫總目卷一百五十一「沈下賢集十二卷」。〔其他〕一、封面「沈下賢集十二卷」。二、觀古堂彙刻書第二集〔別掲卷ノ〕所收本。

11 范文正公集二十卷別集四卷政府奏議二卷 宋范仲淹撰 七冊

原題，「范文正公集」。匡郭，182×143 11行21字。左右雙邊。白口。「歲寒堂」。序跋，蘇軾「范文正公文集序」〔元祐四年・一〇八九〕。

〔范文正公別集四卷〕原題，「范文正公別集」。〔范文正公政府奏議二卷〕原題，「范文正公政府奏議」。序跋，韓琦「范文正公奏議序」。四庫總目卷五十六存目「范文正公奏議」一卷。書牘一卷范忠公奏議二卷」。

12 范文正公別集四卷 宋范仲淹撰

范文正公集二十卷〔別掲卷11〕に附す。

13 蘇老泉先生全集二十卷附附錄二卷 宋蘇洵撰 附錄宋沈斐輯 六冊一帙

原題，「蘇老泉先生全集 宋眉山蘇洵著」。康熙刊本。匡郭，182×124 9行19字。左右雙邊。白口。印記，一種。序跋，邵仁泓序〔康熙三十七年・一六九八〕。〔其他〕一、外題「蘇老泉集」。二、封面「吳門邵滄來校訂 蘇老泉先生全集 文靖書院藏板」。〔蘇老泉先生全集附錄二卷〕原題，「蘇老泉先生全集附錄 宋左奉議郎充婺州學教授沈斐輯」。

14 蘇老泉先生全集附錄二卷 宋沈斐輯

蘇老泉先生全集二十卷〔別掲卷13〕に附す。

15 新刻臨川王介甫先生詩文集一百卷 宋王安石撰 十六冊

原題，「新刻臨川王介甫先生詩集 宋荆公臨川介甫王安石著 明豐城後學鎮靜李光祚校 廿二世孫鳳翔翊宗補梓」。明刊本。匡郭，218×137 19行20字。四周單邊。白口。序跋，（嘉靖三十九年・一五六〇）、黃次山「紹興重刊臨川文集跋」〔紹興十年・一一四〇〕、「王荆國公跋」〔嘉靖十五年・一五三六〕、茅坤「王文公文集引」、章袁「臨川文集跋」〔嘉靖十五年〕、李光祚「光啓堂重校荆公文集序」〔萬曆四十年・一六一二〕、陳九川「王臨川文集後序」〔嘉靖二十五年・一五四〇〕。四庫總目卷一百五十三「臨川集一百卷」。〔其他〕一、外題「王臨川集」。二、伯健付箋「王臨川集」。

- 16 學易集八卷 宋劉跋撰 二册
原題，「學易集 宋劉跋撰」。乾隆武英殿聚珍版。匡郭，18.9×11.6 9行21字。四周雙邊。白口。校者名。四庫總目卷一百五十五。
- 17 水心文集二十九卷 宋葉適撰 八册一夾板
原題，「水心文集」。匡郭，18.8×13.4 10行20字。左右雙邊。白口。序跋，電鈔「葉水心先生文集序」（乾隆二十年・一七五五）、朱椿序（乾隆二十年）、王直「舊序」（景泰二年・一四五二）、趙汝譚「原序」、黎小序（正統十三年・一四四八）、俞文瀾「跋重刊葉水心先生文集後」（乾隆二十年）。四庫總目卷一百六十。
- 18 新刻瓊瑋白先生集十二卷 宋白玉蟾撰 明林有聲校 三册一帙
原題，「新刻瓊瑋白先生集 宋海南白玉蟾著」。明刊本。匡郭，20.9×12.5 9行18字。四周單邊。白口。序跋，何繼高「瓊瑋白真人文集跋」（萬曆二十二年・一五九四）、林聲有「刻白真人文集後序」（萬曆二十二年）。〔其他〕外題，瓊瑋白真人文集。
- 19 方泉先生詩集三卷 宋周文瑛撰 一册
原題，「方泉先生詩集 陽穀周文瑛晉僊」。宣統元年（一九〇九）影印本。10行20字。印記，「湖南祕極」。序跋，羅振玉題記。湖南識語，「己酉（明治四十二年・一九〇九）七月，羅叔言學部持贈。炳卿」。四庫總目卷一百六十二「方泉集四卷」。〔其他〕封面「方泉先生詩集三卷」「宣統元年國光社印」。
- 20 湖山類彙五卷附錄一卷水雲集一卷附錄三卷 宋汪元量撰 二册一帙
原題，「湖山類彙 水雲汪元量大有行吟 須溪劉辰翁會孟批點」。乾隆刊本。匡郭，18.2×12.8 10行19字。左右雙邊。黑口。「知不足齋正本」。序跋，劉辰翁「湖山類彙跋」、鮑廷博跋（乾隆三十年・一七六五）。四庫總目卷一百六十五「湖山類彙五卷水雲集一卷」。〔其他〕一、帙外題「湖山類稿 水雲集」。二、封面「湖山類彙 知不足齋開影」。〔湖山類彙附錄一卷〕
〔水雲集一卷〕原題，「水雲集一卷 錢唐汪元量大有著」。乾隆刊本。匡郭，18.2×12.9 10行19字。左右雙邊。黑口。「仁和陳載周刊」。序跋，吳城「知不足齋合刻汪水雲詩序」、陸嘉穎跋（崇禎五年・一六三三）、吳焯跋（雍正元年・一七二三）、鮑廷博跋（乾隆三十年・一七六五）。
〔水雲集附錄三卷〕
- 21 湖山類彙附錄一卷 宋汪元量撰
湖山類彙五卷（別揭集20）に附す。
- 22 水雲集一卷 宋汪元量撰
湖山類彙五卷（別揭集20）に附す。
- 23 水雲集附錄三卷 宋汪元量撰
湖山類彙五卷（別揭集20）に附す。
- 24 鯨背吟集一卷 鈔本 元朱晞顏撰 一册
原題，「鯨背吟集 元朱晞顏撰」。匡郭，21.4×14.3 8行21字。四周雙邊。白口。序跋，紀昀等「鯨背吟集提要」（乾隆四十七年・一七八二）、朱晞顏「鯨背吟集序」（至元二十八年・一二九二）、「鯨背吟集跋」。四庫總目卷一百六十七。〔其他〕一、朱絲欄。二、欽定四庫全書模本。三、附屬物、欽定四庫全書「鯨背吟集」第一葉等之鈔寫した原稿用紙三葉。湖南宛封筒一通。
- 25 草廬吳文正公全集四十九卷首一卷外集三卷 元吳澄撰 十五册二帙
原題，「草廬吳文正公全集」。乾隆刊本。匡郭，20.5×13.6 10行21字。左右雙邊。白口。湖南識語，「共十五本。丁未（明治四十年・一九〇七）十月。炳卿」。〔其他〕一、外題「吳草廬集」。二、卷內刻「崇仁縣訓導萬瑛校刊」。〔草廬吳文正公外集三卷〕原題，「草廬吳文正公外集」。
- 26 草廬吳文正公外集三卷 元吳澄撰
草廬吳文正公全集四十九卷（別揭集25）に附す。

27 金淵集六卷 元仇遠撰 一册

原題、「金淵集 元仇遠撰」。乾隆武英殿聚珍版。匡郭，18.1×11.4 9行21字。四周雙邊。白口。校者名。印記，「湖南秘板」。序跋，「御製題仇遠金淵集」(乾隆四十年・一七七五)。湖南讖語，「丙午(明治三十九年・一九〇六)五月。炳卿」。四庫總目卷一百六十六。

28 金臺集一卷 鈔本 元趙賢撰 一册

原題，「金臺集 南陽酒賢易之學 臨川危素大撰編」。11行22字。序跋，「金臺集跋」，李好文序(至正十二年・一三五二)、黃潛序(至正十年・一三五〇)、張翥「金臺編序」(至正二十四年・一三六四)、危素序、程文序(至正十一年・一三五二)、賈師泰「葛邏祿易之詩序」(至正十二年)。「其他」一、卷末手寫「小衫醇校合」「文化二年乙丑孟夏提月依田利和校正」。二、校訂あり。

29 熊士選集一卷附錄一卷 明熊卓撰 一册

原題，「熊士選集 四明范欽校刊」。明刊本。匡郭，17.4×12.2 8行20字。四周單邊。白口。序跋，李夢陽「熊士選集序」(正德七年・一五二二)、吳嘉聰「刻熊士選集」(正德七年)、陳德文跋(嘉靖二十二年・一五四三)。「熊士選集附錄一卷」

30 熊士選集附錄一卷 明熊卓撰

熊士選集一卷(別掲集29)に附す。

31 王文成公全書三卷 明王守仁撰 二册

原題，「王文成公」。匡郭，21.0×13.0 8行17字。四周雙邊。黑口。印記，一種。四庫總目卷一百七十一「王文成公全書三十八卷」。「其他」一、存卷、卷二より卷四。二、外題「王陽明全書」。

32 燕市雜誌一卷 明于燕芳撰

建州女直考一卷(別掲集33)に附す。

33 疑雨集四卷 明王彥泓撰

原題，「疑雨集 金壇王彥泓次回著。序跋，葉德輝「重刻疑雨集序」、嚴繩孫序、侯文燦序。「其他」一、封面「疑雨集 粟拔題」「光緒乙巳夏即園葉氏刊」。二、觀古堂彙刻書第二集(別掲集7)所收本。

34 張蒼水集二卷附錄一卷 明張煌言撰 二册

原題，「張蒼水集」。民國排印本。匡郭，13.8×10.2 13行32字。四周雙邊。白口。印記，「湖南秘板」。序跋，徐孚遠跋(永曆十五年・一六六二)、張煌言序(永曆十六年・一六六二)、章炳麟後序(光緒二十七年・一九〇一)。「張蒼水集附錄一卷」

35 張蒼水集附錄一卷 明張煌言撰

張蒼水集二卷(別掲集34)に附す。

36 投筆集二卷 鈔本 清錢謙益著 二册

原題，「投筆集 虞山蒙叟錢謙益著」。匡郭，8行18字。序跋，序。

37 續學堂文鈔二卷首一卷詩鈔二卷首一卷 清梅文鼎著 四册二帙

原題，「續學堂文鈔 宛陵梅文鼎定九甫著 孫毅成循齋甫較梓」。匡郭，17.7×12.6 9行19字。四周雙邊。白口。序跋，張自超序。四庫總目卷一百八十四存目「續學堂文鈔六卷詩鈔四卷」。「其他」一、封面「宣城梅定九先生著 續學堂詩文鈔 木家藏版」。二、首卷內容、「傳」、「李光地」「恭紀」、方苞「墓表」。「續學堂詩鈔二卷」原題，「續學堂詩鈔 宛陵梅文鼎定九甫著 孫毅成循齋甫較梓」。序跋，沈起元序(乾隆十七年・一七五二)、施閏章「原序」(康熙十八年・一六七九)、曹溶「原序」、梅庚「原序」。

38 續學堂詩鈔二卷 清梅文鼎著

續學堂文鈔二卷(別掲集37)に附す。

39 香南居士集六卷 清崇恩撰 六册一帙

原題,「香南居士集 長白覺羅崇恩仰之」。匡郭, 19.3×12.2 9行18字。左右雙邊。白口。印記, 一種。

40 嘉樂堂詩集一卷 清和珅著 一册

原題,「嘉樂堂詩集 英額和珅致齋著」。匡郭, 18.7×13.0 9行21字。四周雙邊。白口。湖南識語,「癸酉(昭和八年・一九三三)四月,倉石助教持贈」。

41 南雷詩曆五卷 清黃宗羲撰 一册

原題,「南雷詩曆 後學全祖望選定鄭人節較刻」。匡郭, 17.4×13.0 12行22字。左右雙邊。黑口。印記,「復廬所藏」。序跋, 黃宗羲「詩曆題辭」。

42 南崖集四卷 清陶元淳撰 一册

原題,「南崖集 常熟陶元淳子師」。康熙刊本。匡郭, 18.4×13.2 9行21字。左右雙邊。黑口。刻工名。序跋, 趙執信「南崖集序」。
〔其他〕一、封面「陶子師先生著 南崖集 詒清堂藏板」。二、卷末刻「男貞一正靖謹校」。

43 陳檢討四六二十卷 清陳維崧撰 清程師恭注 六册一帙

原題,「陳檢討四六 宣興陳維崧其年讓 皖江程師恭叔才氏註 武進陳明善服游校閱」。乾隆三十五年(一七七〇)刊本。匡郭, 15.0×10.7 9行21字。左右雙邊。白口。印記,「內藤」「字炳卿」等三種。序跋, 張英序(康熙三十二年・一六九三)、「益都馮相國壽詩跋」。
湖南識語,「共六本。庚子(明治三十三年・一九〇〇)九月十六日。炳卿(佚背)。四庫總目卷一百七十三。〔其他〕封面「乾隆庚寅年 新鐫 陳檢討四六 亦園藏版」。

44 漁洋山人精華錄十卷 清王士禛撰 清林信編 十册一帙

原題,「漁洋山人精華錄 門人侯官林信編」。康熙刊本。匡郭, 18.8×13.7 11行21字。左右雙邊。黑口。序跋, 錢謙益序。〔其他〕一、卷末刻「康熙三十九年五月十五日門人林信謹書」。二、補鈔あり。

45 南州草堂集三十卷首一卷續集四卷楓江漁父圖題詞一卷青門集一卷菊莊詞一卷 清徐鉉撰 八册

原題,「南州草堂集 吳江徐鉉電發著」。康熙刊本。匡郭, 17.8×12.7 11行19字。四周單邊。黑口。印記,「藤虎」「字炳卿」「醜文居圖書記」。序跋, 黎士弘序(康熙三十三年・一六九四)、朱彝尊序(康熙三十四年・一六九五)、尤侗序(康熙三十四年・一六九五)、徐鉉自序(康熙三十四年・一六九五)、姜宸英「舊序」(康熙四十年・一六九五)、程康莊「舊序」(康熙七年・一六六八)、錢肅潤「舊序」(康熙九年・一六七〇)、杜紹凱「舊序」(康熙十年・一六七二)、方齊茂「舊序」(康熙十年)、龍光「舊序」(康熙十三年・一六七四)、朱鶴齡「舊序」(康熙十五年・一六七〇)、張綱孫「舊序」(康熙十五年)、孫宇臺「舊序」、周綸「舊序」(康熙二十年・一六八一)、汪懋麟「舊序」(康熙十七年・一六七八)、潘耒「舊序」(康熙二十四年・一六八五)。湖南識語,「共八本。辛丑(明治三十四年・一九〇一)二月八日。炳卿」。
〔其他〕封面「南州草堂集附楓江漁父題詞青門贈別詩 菊莊藏板」。

〔南州草堂續集四卷〕原題,「南州草堂續集 吳江徐鉉疇亭」。序跋, 徐鉉序(康熙四十四年・一七〇五)。
〔楓江漁父圖題詞一卷〕原題,「楓江漁父圖題詞 菊莊編次」。序跋, 張尚瑗序、葉舒齋跋。
〔青門集一卷〕原題,「青門集」。序跋, 湯斌序(康熙二十六年・一六八七)。
〔菊莊詞一卷〕原題,「菊莊詞 鱸鄉徐鉉填」。匡郭, 17.0×12.2 10行19字。四周雙邊。黑口。序跋, 丁澎序(康熙十三年・一六七四)、王嗣槐「詞引」(康熙十三年)、傅燮調序(康熙三十三年・一六九四)、吳謫跋。

46 南州草堂續集四卷 清徐鉉撰

南州草堂集三十卷(別掲集45)に附す。

47 左汾近藁一卷 清閻詠撰

潛邱御記六卷(別掲子35)に附す。

48 鹿洲初集二十卷 清藍鼎元撰

原題,「鹿洲初集 漳浦藍鼎元玉霖著 衡山曠敏本魯之評」。序跋, 曠敏本序(雍正四年・一七二六)、曠敏本序(雍正十年・一七三二)、藍鼎元「鹿洲初集舊序」(雍正九年・一七三二)、張伯行「鹿洲初集舊序」(康熙四十八年・一七〇九)、汪紳文序(康熙六〇年・

一七二二)。「其他」一、外題「鹿洲初集 文集」。二、鹿洲全集(別掲叢書)所收本。

49 切問齋集十六卷 清陸羅撰 八册一帙

原題,「切問齋集 吳江陸耀朗甫著」。乾隆五十七年(一七九二)刊本。匡郭,19.0×13.0 9行20字。左右雙邊。白口。印記,三種。序跋,張玉樹序。「其他」封面「乾隆壬子季開」切問齋。陣吉堂。〔下牛闕損〕。

50 東原文集十卷 清戴震撰

原題,「文集」。「其他」戴氏遺書(別掲叢書)所收本。

51 文集八卷 鈔本 清章學誠撰

「其他」章氏遺書(別掲叢書)所收本。

52 外集二卷 鈔本 清章學誠撰

「其他」章氏遺書(別掲叢書)所收本。

53 章實齋文不分卷 鈔本 清章學誠撰 二册一帙

原題,「章實齋文」(外題)。10行24字より29字不等。「其他」一、帙外題「章實齋文 抄本」。二、第一册第二葉に「章實齋未刻稿」。辛酉重陽後十日寄贈。湖南先生。秀水金與祥」と署し、「頌清」印を捺す。第二册第二葉に「章實齋未刻稿」と署す。三、伯健付箋「章實齋未刻稿。氏11」。

54 雜文一卷 鈔本 清章學誠撰

「其他」章氏遺書(別掲叢書)所收本。

55 無聞集四卷 鈔本 清崔述撰

原題,「無聞集 大名崔述東壁稿 石屏門人陳履和校刊」。「其他」一、封面「大名崔東壁先生著 無聞集 道光四年正月東陽縣署中刻。二、崔東壁先生遺書(別掲叢書)所收本。

56 匪石山人詩一卷 清鈕樹玉撰

原題,「匪石山人詩 吳縣鈕樹玉」。「其他」一、封面「匪石山人詩」光緒乙未夏元和江氏刊。二、靈鶴閣叢書第三集(別掲叢書)所收本。

57 碧城僊館詩鈔八卷 清陳文述撰

原題,「碧城僊館詩鈔 錢塘陳文述雲伯」。「其他」一、封面「碧城僊館詩鈔八卷 丙申春據原本重刻」。「靈鶴閣叢書本」。二、靈鶴閣叢書第三集(別掲叢書)所收本。

58 湘綺樓自定本四卷 清王闈運撰 一冊

原題,「湘綺樓自定本 湘潭王闈運王父撰」。匡郭,16.6×11.6 10行21字。左右雙邊。黑口。印記,「湖南秘板」。湖南諺語,「戊申(明治四十一年・一九〇八)十月,一宮房次郎君所贈。炳卿」。「其他」一、外題「湘綺樓詩舊本」。二、封面「湘綺樓詩全四卷」善化經濟堂叢書。

59 晦明軒稿一卷 清楊守敬撰 一冊

原題,「晦明軒稿」(外題)。匡郭,19.8×11.9 9行20字。左右雙邊。黑口。印記,「湖南秘板」。

60 師伏堂詠史一卷 鈔本 清皮錫瑞撰 一冊

原題,「師使堂詠史 善化皮錫瑞鹿門」。12行25字。「其他」一、卷頭手寫「熊本狩野直喜藏書」。二、毛裝。

61 師伏堂駢文四卷 鈔本 清皮錫瑞撰 一冊

原題,「師伏堂駢文 善化皮錫瑞」。10行25字。「其他」一、校訂あり。二、毛裝・節本。

62 浚民遺文一卷 清孫傳鳳撰

原題,「浚民遺文 吳孫傳鳳」。序跋,江標序(光緒二十一年・一八九五)。「其他」一、封面「浚民遺文」光緒乙未閏五月江氏師鄉

室校刊。二、靈鷲閣叢書第一集（別掲叢6）所收本。

三 總集類

63 文選六十卷 梁昭明太子蕭統輯 唐李善注 清何焯評點 清葉樹藩參訂 二十册

原題，「文選」 梁昭明太子撰 文林郎守太子右內率府錄事參軍事崇賢館直學士臣李善注上 長洲葉樹藩呈衛氏參訂。乾隆刊本。匡郭，195×143 12行25字。左右雙邊。白口。「海錄軒」序跋，葉樹藩「重刻文選序」（乾隆三十七年・一七七二）、昭明太子「文選序」、何焯題（康熙四十年・一七〇二）。四庫總目卷一百八十六「文選註六十卷」。「其他」一、第一册首部闕損。二、朱墨本。三、書入あり。

64 才調集補註十卷 清殷元勳箋注 清宋邦綏補注 六册一帙

原題，「才調集補註」 虞山馮默庵鈍吟先生評閱 古吳殷元勳于上箋註 長洲宋邦綏況梅補註。乾隆五十八年（一七九三）刊本。匡郭，180×126 10行21字。四周雙邊。白口。序跋，韋毅「才調集跋」、宋邦綏序（乾隆二十九年・一七六四）、宋思仁序（乾隆五十八年・一七九三）、吳五綸「才調集序」（乾隆三十九年・一七七四）。「其他」一、帙外題「才調集」。二、封面「乾隆五十八年仲夏鐫」才調集補註 思補堂藏板」。三、卷末刻「男思仁校刊」。

65 唐詩品彙二十四卷 明高標輯 八册一帙

原題，「五言古詩 新寧高標輯」。明刊本。匡郭，190×114 10行20字。四周雙邊。黑口。印記，「一、堂自娘」等四種。湖南識語，「壬申（昭和七年・一九三二）七月。炳卿」。「其他」一、外題「唐詩」、帙外題「唐詩品彙明黑口本殘帙」。

66 唐詩選七卷附錄一卷 明李攀龍編選 蔣一葵箋釋 四册

原題，「唐詩選 濟南李攀龍編選 晉陵蔣一葵箋釋 雲間陳繼儒重校」。明刊本。匡郭，230×134 9行20字。左右雙邊。白口。印記，二種。序跋，李攀龍「唐詩選序」、王稔登「鏡李于麟唐詩選跋」、吳亮「箋釋李選唐詩序」、蔣一葵「唐詩選跋」（萬曆四十一年・一六一三）。四庫總目卷一百九十二存目「唐詩選七卷」。「其他」一、外題「滄溟唐詩選」。二、補鈔あり。

〔唐詩選附錄一卷〕原題，「唐詩選附錄」。

67 唐詩選附錄一卷

唐詩選七卷（別掲集66）に附す。

68 明文授讀六十二卷 清黃宗羲編 二十四册

原題，「明文授讀 姚江黃梨洲先生選授 門人張錫珉男百家校讀」。康熙刊本。匡郭，181×128 9行20字。左右雙邊。白口。「味芹堂」。序跋，黃宗羲「明文授讀序」、黃百家序（康熙三十七年・一六九八）、張錫珉序（康熙三十八年・一六九九）。四庫總目卷一百九十四存目。

69 遺民詩十二卷近青堂詩一卷 清卓爾堪選輯 十二册

原題，「遺民詩 寶香山人卓爾堪子任選輯」。康熙刊本。匡郭，186×131 10行18字。左右雙邊。白口。「近青堂詩一卷」原題，「近青堂詩 寶香山人卓爾堪子任著」。序跋，吳綺「近青堂詩集序」。

70 近青堂詩一卷 清卓爾堪選輯

遺民詩十二卷（別掲集69）に附す。

71 國朝詩別裁集三十六卷 清沈德潛輯 十二册一夾板

原題，「國朝詩別裁集 長洲沈德潛稿士纂評 江陰翁照靈堂長洲顧貽祿敬百長洲周準欽秦吳縣蔣重光子宜同輯」。乾隆刊本。匡郭，170×127 10行19字。左右雙邊。白口。印記，「結一廬藏書印」「頻春館主」。序跋，沈德潛「國朝別裁集序」（乾隆二十四年・一七五九）。「其他」一、封面「長洲沈歸愚纂評 國朝詩別裁集」。二、卷末刻「吳縣張玉毅蔭嘉校錄」。

72 十八家序文集 鈔本 一册

9行19字。「其他」一、內容、江陳「七克篇序」、龐迪「七克自序」、彭端吾「西聖七編序」、李之深「聖水紀言序」、張氏「絕微同文紀

卷二用夏解、劉胤昌「答鄉人書」、涼菴居士「天學初函序」、利瑪竇「譯幾何原本引」、徐光啓「幾何原本雜議」、馮應京「輿地全圖總敘」、艾儒略「題萬國全圖」、徐光啓「題萬國二圖圖敘」、熊三拔「水法本論」、常胤緒「兩儀玄覽圖序」、拱宸「兩儀玄覽圖敘」、張問達「西儒耳目資序」、王應麟「欽勒大西洋國土葬地居舍碑文」、宇庶「南昌府公移」、「禮部批准旅資執照」。二、卷末手寫「小衫醇校字」。

73 祭文類集 鈔本 四册一帙

匡郭、187×131。10行20字。左右雙邊。白口。印記、「大興朱氏竹君藏書印」、「朱筠」等三種。〔其他〕一、第四册末に「康熙辛巳」と書す。二、欄外に「蕉雪樓藏書」と刻した用箋に鈔寫される。三、標題書名は假。

74 聖駕東巡盛京展謁三陵禮成恭記 鈔本 奉天府學生員閻沛撰 一册

6行14字。印記、「湖南」等二種。〔其他〕一、經折特裝本。朱紙金絲欄。二、卷後「明治丙午四月三日觀於六甲山房 同觀 富岡謙三 幸田成友 水木要太郎 白石村治 鹿田靜七 水落義弑 永田好三郎 小山田竹次郎 打越竹三郎 濱和助」。

75 江左三大家詩鈔三卷 清顧有孝趙澹輯 三册

原題、「江左三大家詩鈔 吳江顧有孝茂倫趙澹山子輯 丹徒談允謙長益常熟嚴拭子張桐城方文爾止同里吳之紀小脩參」。匡郭、17.6×12.8。11行21字。四周單邊。白口。序跋、顧有孝「江左三大家詩鈔敘」（康熙六年・一六六七）、趙澹序（康熙六年）。〔其他〕封面「江左三大家詩鈔 錢牧齋 龔芝麓 吳梅村」。

76 新喻三劉文集六卷首一卷 清覺用其輯 六册

原題、「新喻三劉文集 宋集賢學士劉敞原父先生遺文 新喻縣知縣崇安暨用其校訂 墨莊裔孫水西劉氏敬梓」。乾隆十五年（一七五〇）刊本。匡郭、18.2×12.4。10行21字。左右雙邊。白口。「水西劉氏藏板」。印記、「四明戚氏抱經樓藏書印」。序跋、晏斯盛序、劉啓焜「文集跋」（乾隆十五年・一七五〇）。〔其他〕封面「乾隆十五年鑄三劉文集 水西藏板」。

77 玉臺新詠十卷 陳徐陵輯 清吳兆宜注 清程際盛刪補 四册

原題、「玉臺新詠 陳尚書左僕射太子少傅東海徐陵孝穆編 吳江吳兆宜顧令原注 長洲程際盛東冶刪補」。乾隆刊本。匡郭、17.2×12.5

78 文苑英華二十五卷 宋李昉等奉敕輯 五册一帙

原題、「文苑英華」。明刊本。匡郭、21.1×15.1。11行22字。四周單邊。白口。刻工名。印記、「恭親王章」、「正誼書屋珍藏圖書」、「趙氏藏書」、「隴西華山私記」、「寶傳」、「吳興」等八種。序跋、周必大序（嘉泰四年・一一〇四）。四庫總目卷一百八十六「文苑英華一千卷」。〔其他〕存卷、卷一より卷二十五。

79 西山先生眞文忠公文章正宗二十四卷續集二十卷 宋眞德秀輯 二十四册

原題、「西山先生眞文忠公文章正宗」。明刊本。匡郭、19.9×21。10行21字。左右雙邊。白口。刻工名。印記、三種。四庫總目卷一百八十七「文章正宗二十卷」。〔其他〕外題「文章正宗」。

80 西山先生眞文忠公文章正宗續集二十卷 宋眞德秀輯

原題、「西山先生眞文忠公文章正宗續集二十卷（別掲集）」に附す。

81 紫陽方先生瀛奎律髓四十九卷 元方向撰 清陳士泰校 十六册二帙

原題、「紫陽方先生瀛奎律髓 吳郡陳士泰虞尊甫校」。康熙刊本。匡郭、13.1×9.2。8行18字。四周單邊。黑口。序跋、方向「瀛奎律髓原鈔」（至元二十年・一二八三）、陳士泰序（康熙四十九年・一七一〇）。四庫總目卷一百八十八「瀛奎律髓四十九卷」。〔其他〕封面「紫陽方先生原本 瀛奎律髓」、「顯谿草堂」印あり。

82 漢鏡歌十八曲集解一卷 清譚獻撰

原題、「漢鏡歌十八曲集解 仁和譚儀仲儀纂」。序跋、譚儀序（癸酉）。〔其他〕一、封面「漢鏡歌十八曲集解一卷 仁和譚氏本」。「元

和江氏刻」。二、靈鷲閣叢書第三集(別掲叢書)所收本。

83 明賢尺牘四卷 清王元勳程化駿同輯 二册

原題,「明賢尺牘 常執王元勳含章休寧程化駿漢從同輯 仁和許增邁孫輯梓」。光緒刊本。匡郭,16.8×12.7 12行23字。左右雙邊,黑口。印記,「湖南祕板」。序跋,譚獻「重刻明賢尺牘跋」(光緒二十四年·一八九八)。「其他」封面「明賢尺牘 海虞楊沂孫書」「光緒戊戌仲夏許氏榆園開雕」「明賢尺牘 靈樹楊沂孫題」「光緒庚子孟夏許氏榆園開雕」。

84 青門集一卷 清徐鉉撰

南州草堂集三十卷(別掲集45)に附す。

85 楓江漁父圖題詞一卷 清徐鉉撰

南州草堂集三十卷(別掲集45)に附す。

86 二李唱和集一卷 宋李昉李至撰 一册

原題,「影北宋本二李唱和集」(封面)。光緒十五年(一八八九)刊本。匡郭,19.4×13.5 12行19字。左右雙邊,白口。印記,「湖南祕板」。序跋,序,傅雲龍跋(光緒十五年·一八八九)、陳田序(光緒十五年)、陳田跋。「其他」封面「影北宋本二李唱和集」「光緒己丑貴陽陳氏采于日本」。

87 圭塘欬乃集二卷 鈔本 元許有壬許有孚許相馬撰 一册

原題,「圭塘欬乃集」(外題)。匡郭,18.5×12.2 15行23字。左右雙邊,白口。「兼山堂日鈔」。序跋,周伯璠跋(至正十年·一三五〇)、「圭塘欬乃并引」、段天祐跋、周溥跋(至正十年)、哈刺臺跋(至正十一年·一三五二)、丁文昇跋、黃昇跋、趙恒跋(至正二十四年·一三六四)、張守正跋、王翰跋、陵煥然跋、王國寶跋、涇濱跋(洪武十三年·一三八〇)。四庫總目卷一百八十八。「其他」一、外題「圭塘欬乃集(詩)」。二、卷末手寫「乾隆甲寅五月收于經義書齋 共五十三葉」。

88 沅湘通藝錄八卷四書文二卷 清江標輯

原題,「沅湘通藝錄 賜進士出身五品銜翰林院編修 國史館協修提督湖南學政江標編校」。序跋,江標跋(光緒二十三年·一八九七)。「其他」一、封面「沅湘通藝錄 賜進士出身五品銜翰林院編修提督湖南全省學政江標編校刊」「光緒二十三年歲在丁酉十一月刻成於長沙使院之靈圖書八卷又附兩卷詩錄續刊」。二、靈鷲閣叢書第六集(別掲叢書)所收本。〔四書文二卷〕

89 四書文二卷 清江標輯

沅湘通藝錄八卷(別掲集88)に附す。

四詩文評類

90 文心雕龍十卷 梁劉勰撰 明楊慎批點 清張松孫輯註 二册

原題,「文心雕龍 梁劉勰撰 長洲張松孫鶴坪輯註 明楊慎批點 男智鑿樂水校」。同治七年(一八六八)刊本。匡郭,17.8×12.8 9行18字。四周雙邊,白口。印記,「湖南祕板」等二種。序跋,張松孫「序言」(乾隆五十六年·一七九二)。「其他」封面「同治戊辰年春鐫 明楊升菴批點 長洲張鶴坪輯註 文心雕龍 校對無訛 悉遵梁刊 杭城文光堂藏板」。

91 浩然齋雅談三卷 宋周密撰 一册

原題,「浩然齋雅談 宋周密撰」。乾隆武英殿聚珍版。匡郭,18.5×11.5 9行21字。四周雙邊,白口。校者名。印記,「掛川文庫」「島家藏印」。四庫總目卷一百九十五。

92 精選古今名賢叢話詩林廣記前集十卷後集六卷 宋蔡正孫撰 四册一帙

原題,「精選古今名賢叢話詩林廣記 蒙齋野逸蔡正孫粹然」。匡郭,18.1×11.2 8行16字。左右雙邊,黑口。印記,二種。序跋,張鼎「重刊詩林廣記序」(弘治十年·一四九七)、蔡正孫序。四庫總目卷一百九十五「詩林廣記前集十卷後集十卷」。「其他」一、存卷、前集

卷一より卷十。後集卷五より卷十。二、外題「詩林廣記」。
〔精選古今名賢叢話詩林廣記後集六卷〕原題，「妙選古今名賢叢話詩林廣記 蒙齋野逸蔡正孫粹然」。

93 精選古今名賢叢話詩林廣記後集六卷 宋蔡正孫撰

精選古今名賢叢話詩林廣記前集十卷〔別掲集92〕に附す。

94 藝苑卮言二卷 明王世貞撰 二册一帙

原題，「藝苑卮言 吳郡王世貞元美著」。明刊本。匡郭，19.3×13.4 10行20字。左右雙邊。白口。印記，「天閣」「古司馬氏」。〔其他〕存卷、卷五・卷六。

95 藝林學山八卷 明胡應麟撰

原題，「藝林學山 東越胡應麟撰」。序跋，胡應麟「藝林學山引」。〔其他〕少室山房集少室山房筆叢〔別掲叢92〕所收本。

96 詩數內編六卷雜編六卷外編四卷 明胡應麟撰

原題，「詩數內編 明東越胡應麟撰」。序跋，汪道昆「詩數序」（萬曆十八年・一五九〇）。四庫總目卷一百九十七存目「詩數十八卷」。〔其他〕少室山房集〔別掲叢92〕所收本。
〔詩數雜編六卷〕原題，「詩數雜編 明東越胡應麟撰」。
〔詩數外編四卷〕原題，「詩數外編 明東越胡應麟撰」。

97 詩數雜編六卷 明胡應麟撰

詩數內編六卷〔別掲集96〕に附す。

98 詩數外編四卷 明胡應麟撰

詩數內編六卷〔別掲集96〕に附す。

五 詞 曲 類

99 雁門集四卷 鈔本 元薩都拉撰 三册

原題，「欽定四庫全書雁門集 元薩都拉撰。匡郭，21.7×14.4 8行21字。四周雙邊。白口。印記，「文溯閣寶」「乾隆御覽之寶」。序跋，紀昀等「欽定四庫全書雁門集提要」（乾隆四十七年・一七八二）。四庫總目卷一百六十七。〔其他〕文溯閣四庫全書本。

100 曝書亭刪餘詞一卷曝書亭詞手稿原目一卷校勘記一卷 清朱彝尊撰 校勘記葉德輝撰

原題，「曝書亭刪餘詞 秀水朱彝尊撰」。序跋，葉德輝「曝書亭刪餘詞序」（光緒二十九年・一九〇三）。〔其他〕一、封面「曝書亭刪餘詞一卷原稿目一卷校勘記一卷 金鑑于榮著」「光緒癸卯冬長沙葉氏刊」。二、觀古堂彙刻書第二集〔別掲叢7〕所收本。
〔曝書亭詞手稿原目一卷〕原題，「曝書亭詞手稿原目」。
〔曝書亭詞校勘記一卷〕原題，「曝書亭詞校勘記」。

101 曝書亭詞手稿原目一卷 清朱彝尊撰

曝書亭刪餘詞一卷〔別掲集100〕に附す。

102 曝書亭詞校勘記一卷 清葉德輝撰

曝書亭刪餘詞一卷〔別掲集100〕に附す。

103 菊莊詞一卷 清徐鉉撰

南州草堂集三十卷〔別掲集45〕に附す。

104 衍波詞一卷 清孫孫意撰

原題、「衍波詞 仁和孫藻意秀分」。序跋，許宗彥序（嘉慶十二年・一八〇七）。「其他」一、封面「據舊藏原稿本 衍波詞 靈鷲閣内史檢刻」「丙申六月」。二、靈鷲閣叢書第三集（別掲叢。）所收本。

105 樂府指迷二卷 上卷宋張炎撰 下卷元陸行直撰 一册

原題，「寶顏堂訂正樂府指迷 白雲散人西秦張玉田纂 華亭仲醇陳繼儒繙水天生沈德先校」。明刊本。匡郭，19.7×12.0 8行18字。四周單邊。白口。四庫總目卷二百存目「樂府指迷一卷」。

106 戲曲攷原一卷 清王國維撰 一册

原題，「戲曲攷原 海甯王國維」。宣統刊本。匡郭，12.6×9.7 11行21字。四周單邊。黑口。「晨風閣」。印記，「湖南秘板」。湖南譚語。「此書并目錄六卷，己酉歲（明治四十二年・一九〇九）十一月，清國羅叔言學部所寄也」。

107 曲錄六卷 清王國維撰 三册

原題，「曲錄 海甯王國維」。宣統刊本。匡郭，12.4×8.6 11行21字。四周單邊。黑口。「晨風閣」。印記，「湖南秘板」。序跋，王國維「曲錄序」（宣統元年・一九〇九）。湖南譚語，「王君國維余於己亥歲識之滬上。君時從吾友藤田劍峯而學善屬文讀日英書。尤喜哲學樸學人也。比書蒐羅繁富鈎稽確鑿可稱必傳亦其篤摯云效矣」。「其他」書入あり。

叢書部

一 雜叢類

1 說郛六司 元陶宗儀輯 明陶珽重較 五册

〔寫第四十二〕史43大唐創業起居注三卷・史44乾淳起居注一卷・史201御塞行程一卷・史36照豐日曆一卷・子283唐年補錄一卷以上一册。〔寫第五十五〕史38大事記一卷・史119三朝野史一卷・史117五代新說一卷・史133三楚新錄一卷・史35青溪寇軌一卷。〔寫第五十六〕史227使高麗錄一卷・史288天南行記一卷・史281高昌行紀一卷・史277北轅錄一卷・史287西使記一卷以上一册。〔寫第六十一〕史219雲南志略一卷・史199遼東志略一卷・子58桂海虞衡志一卷・史203岳陽風土記一卷・史224真臘風土記一卷・史184陳留風俗傳一卷・史211成都古今記一卷・子56臨海水土記一卷・子57臨海異物志一卷以上一册。〔寫第六十五〕史256來南錄一卷・史289入蜀記一卷・史272攬轡錄一卷・史274騷騷錄一卷・史276吳船錄一卷・史270汎舟錄二卷・史271乾道庚寅奏事錄一卷・史246河源志一卷・史268子役志一卷・史247峽程記一卷以上一册。〔寫第一百九〕子97太乙經一卷・史304木經一卷・子53宋紹經一卷・子67褚氏遺書一卷・子63脉經一卷・子64子午經一卷・子66玄女房中經一卷・子88相地骨經一卷・子96相兒經一卷・子93龜經一卷・子95卜記一卷・子94筮龜論一卷・子103百怪斷經一卷・子98土牛經一卷・子68漏刻經一卷・子102感應經一卷・子101感應類從志一卷・子99夢書一卷以上一册。

匡郭，20.1×13.5 9行20字。左右雙邊。白口。印記，一種。「其他」一、殘本。存卷上の如し。二、附屬物、秋田・新報社の原稿用紙四枚に「邊境紀行 元 張羅卿」の筆寫あり。

2 說郛雜著十種 清馬俊良輯

龍威秘書彙集（別掲叢。）所收本。

3 五朝小説 明閩名輯 一册

史228雜林類事一卷・史172房廷事實一卷・史121燕北錄一卷・史224北邊備對一卷・史125蒙韃備錄一卷・子293睽車志一卷・子296睽車志一卷以上一册。

4 說郭續二寫 明陶珏輯 二册
明刊本。匡郭，190×134 9行20字。左右雙邊。白口。印記，「湖南秘板」「高平隆長」等三種。〔其他〕殘本。存卷上の如し。

〔号第二十五〕史236瀛涯勝覽一卷・史238海槎餘錄一卷・史232吳中勝記一卷・史231東南雜志一卷・史278南陔志一卷・史239貴陽山泉志一卷・史231金陵冬遊記畧一卷・史212蜀都雜抄一卷・史207豫章漫抄一卷以上一册。〔号第二十六〕史203廬陽客記一卷・史233居山雜志一卷・史233武夷游記一卷・史231太湖泉志一卷・史263半塘小志一卷・史262諸寺奇物記一卷・史264西于寺記一卷・史248西浮籍一卷・史208楚小志一卷・史280朔雪北征記一卷・史249烏蛮瀾夜談記一卷・史286邊城紀行一卷・史281滇行紀畧一卷・史273銀山鐵壁護談一卷・史276游臺宕路程一卷・史213榕城隨筆一卷・史265西吳枝乘一卷・史282禮白獄記一卷・史283蓬壺夜話一卷以上一册。
匡郭，200×135 9行20字。左右雙邊。白口。印記，一種。殘本。存卷上の如し。

5 龍威秘書戊集 清馬俊良輯 四册

經123翰軒絕代語一卷・子28臆乘一卷・子289吉凶影響錄一卷・子277程史一卷・子275仇池筆記一卷・子233東齋記事一卷・子290漁樵閒話一卷以上一册。子226廬陵雜說一卷・子274遺史記開一卷・子292撫青雜說一卷・子291搜神秘覽一卷・子273玉溪編事一卷・子288乘異記一卷・子285廣異記一卷・子282近異錄一卷・子279甄異記一卷・子281旌異記一卷・子294駁車志一卷・子250鷄肋一卷・史170虎口餘生記一卷・子284楊媪傳一卷以上二册。子285鬼董五卷一册。叢？說乳雜著十種（子270乾牘子一卷・子227志林一卷・子213金樓子一卷・子249五色線一卷・子276雲齋廣錄一卷・子214田閒書一卷・子236席上商談一卷・史271王烈婦一卷・史272平定交南錄一卷・史270西北域記一卷以上一册）。

乾隆嘉慶間刊本。匡郭，119×88 9行20字。左右雙邊（翰軒絕代語・臆乘は四周雙邊）。黑口。

6 靈鷲閣叢書 清江標輯 四十五册

〔第一集〕經45韓詩遺說二卷・經47訂譌一卷一册。經35尙書大傳七卷一册。經112皇象本急就章一卷・經133說文解字索隱一卷・經140補例一卷以上一册。史212漢事會最人物志三卷二册。子39某友臆說一卷・子42教童子法一卷以上一册。集62浚民遺文一卷・史264欽定四庫全書總目提要四部類敘一卷以上二册。子43先正讀書訣一卷一册。〔第二集〕史226朔方備乘札記一卷・史277使德日記一卷・史277德國議院章程一卷・史232英軺私記一卷以上一册。史231新嘉坡風土記一卷・史211中西度量權衡表一卷・子205光論一卷・子65人參攷一卷以上一册。

册。子133董華亭書畫錄一卷一册。子176畫友詩一卷・史273士禮居藏書題跋記續一卷以上二册。史289江寧金石待訪目二卷・史200山左南北朝石刻存目一卷以上一册。〔第三集〕集62漢鏡歌十八曲集解一卷・集57碧城樓館詩鈔八卷・史221聽園西疆雜述詩四卷以上七册。史217瓊州雜事詩一卷・集56匪石山人詩一卷・集14行波詞一卷以上二册。〔第四集〕史42文史通義補編一卷・史243鈔本目一卷・史241刊本所有鈔本所無目一卷一册。史211和林金石錄一卷・史222詩一卷・史250和林考一卷以上一册。子203前塵影錄二卷一册。史285西遊錄注一卷・史233澳大利亞洲新志一卷一册。子178張憶懷管花圖卷題詠一卷一册。〔第五集〕史283藏書記事詩六卷六册。〔第六集〕集88沅湘通藝錄八卷・集89四書文二卷十册。史253日本華族女學校規則一卷・史276黃堯圃先生年譜二卷以上二册。
光緒刊本。匡郭，157×102 11行23字。左右雙邊。黑口。印記，「湖南秘板」。序跋，俞樾「總敘」（光緒二十三年・一八九七）。〔其他〕封面「元和江氏靈鷲閣叢書」「校刻于湖南使院 蘇州察院院場振新書社經印」。

7 觀古堂彙刻書 葉德輝輯 十六册

〔第一集〕經45三家詩補遺三卷一册。經122爾雅補注四卷二册。經120爾雅圖贊一卷・史68山海經圖贊二卷以上一册。經136徐星伯說文段注札記一卷・經138譚定庵說文段注札記一卷・經133桂未谷說文段注鈔一卷・經134補鈔一卷以上二册。史258南離志經籍考二卷一册。史266萬卷堂書目四卷一册。史267絳雲樓書目補遺一卷・史270靜惕堂書目宋人集一卷・史271元人文集一卷・史280徵刻唐宋祕本書目一卷・史281考證一卷・史282徵刻書唐五先生事略一卷・史272竹窠齋傳鈔書目一卷以上一册。〔第二集〕史275結一廬書目四卷・史276附錄一卷一册。史279華陽陶隱居內傳三卷・集6華陽陶隱居集二卷以上一册。集10沈下賢文集十二卷二册。史201金陵百詠一卷・史204嘉禾百詠一卷以上一册。集33疑雨集四卷二册。集10曝書亭刪餘詞一卷・集11曝書亭詞稿原目一卷・集27校勘記一卷以上一册。
光緒三十四年（一九〇八）重編。匡郭，173×120 11行22字。左右雙邊。黑口。印記，「湖南秘板」。〔其他〕封面「觀古堂彙刻書 山陰魏誠書」「光緒壬寅八月湘澗葉氏印行」。

二 景仿類

8 鐵華館叢書 清蔣鳳藻輯 六册一帙

子313冲虛至德真經八卷一册。子316通玄真經十二卷一册。子3新序十卷一册。經111羣經音辨七卷一册。經152字鏡五卷一册。經147佩觿三

卷一册。

光緒刊本。印記，「湖南秘極」。湖南識語，「鐵華館叢書六本。景宋本文字。景宋本列子。校宋本新序。群經音辨。佩觿。字監。癸卯（明治三十六年・一九〇三）十一月廿一日。炳卿」（帙背）。〔其他〕欄外「鐵華館審定善本」と刻す。

三輯 佚類

9 莫高窟石室祕錄一卷 清羅振玉撰 一册

原題，「莫高窟石室祕錄 上虞羅振玉述。宣統元年（一九〇九）刊本。匡郭，171×118 10行23字。四周單邊。黑口。「誦芬室校印」。印記，「湖南秘極」。〔其他〕封面「莫高窟石室祕錄」「宣統己酉刊」。

10 敦煌石室遺書 清羅振玉等輯 三册

原題，「敦煌石室遺書」（封面）。宣統元年（一九〇九）刊本。匡郭，171×118 10行23字。四周單邊。黑口。印記，「湖南秘極」。〔其他〕封面「敦煌石室遺書」「宣統己酉刊」。

11 鳴沙山石室祕錄一卷 羅振玉述 一册

原題，「鳴沙山石室祕錄改定之本 上虞羅振玉述」。匡郭，174×114 13行30字。四周雙邊。黑口。「國粹學報社印」。印記，「湖南秘極」。

四 一人所著書類

12 少室山房筆叢四十八卷 明胡應麟撰

原題，「少室山房筆叢 明東越胡應麟撰。序跋，陳文燭序。四庫總目卷一百二十三「少室山房筆叢正集三十二卷續集十六卷」。〔其他〕少室山房集（別揭叢B）所收本。

13 少室山房集六十四卷 明胡應麟撰 十二册一帙

叢12少室山房筆叢四十八卷（史331經籍會通四卷・子32丹鉛新錄八卷・史47史書佔畢六卷以上三册。集5藝林學山八卷・子26九流緒論三卷・史379四部正譌三卷・史15三墳補逸二卷・子297西綴遺三卷以上三册。子238華陽博議二卷・子239莊嶽委談二卷以上一册。子321玉齋退覽四卷・子299雙樹幻鈔三卷以上一册。集36詩數內編六卷・集37雜編六卷・集38外編四卷以上四册。光緒二十二年（一八九六）刊本。匡郭，200×145 11行24字。四周單邊。黑口。「廣雅書局榮」。印記，「湖南秘極」。〔其他〕封面「少室山房集二十卷」「光緒二十二年春二月廣雅書局校刊」。

14 鹿洲全集 清藍鼎元撰 二十四册

集48鹿洲初集二十卷十册。史171鹿洲公案二卷二册。史175東征集六卷三册。史176平臺紀畧一卷一册。史81脩史試筆二卷二册。子21棉陽學準五卷三册。子40女學六卷三册。初集文集二集公案三集東征集四集平臺紀畧五集脩史試筆六集棉陽學準七集女學」。

15 戴氏遺書 清戴震撰 十四册一夾板

經43毛鄭詩考正四卷首一卷・經42吳溪詩經補注二卷以上二册。經51考工記圖二卷一册。子2原善三卷・子2原象一卷・子3續天文略二卷以上一册。子3孟子字義疏證三卷一册。經171聲韻攷四卷一册。經172聲類表九卷首一卷一册。經174翰軒使者絕代語釋別國方言十三卷一册。集50東原文集十卷一册。史25水地記一卷・子84策算一卷以上一册。子83句股割圓記三卷一册。乾隆刊本。匡郭，186×131 10行21字。四周雙邊。白口。「微波榭刻」。序跋，盧文昭「戴氏遺書序」（乾隆四十三年・一七七八）。湖南識語，「己亥（明治三十二年・一八九九）秋，在滬上購戴校本經注。即孔氏微波榭刻戴氏遺書本也。壬寅（明治三十五年・一九〇二）三月十六日，游平安購此一函十四本以補之。戴氏遺書刊行者止于此。炳卿」（夾板）。〔其他〕夾板上「原板戴氏遺書」。

16 章氏遺書 鈔本 清章學誠撰 王宗炎編次 十八册

史171文史通義九卷三册。史172校讐通義四卷一册。集51文集八卷六册。史171湖北通志檢存稿四卷・集52外集二卷以上五册。史170湖北通志未成稿一卷一册。子24乙卯劄記一卷・子25丙辰劄記一卷以上二册。子246知非日札一卷・子38閱書隨劄一卷・集51雜文一卷以上一册。

匡郭，19.5×14.1，12行24字。四周單邊。白口。〔其他〕一、稿本。二、卷首章氏遺書目錄卷等、湖南校語あり。三、第一冊表紙に識語あり「原卷中有一二篇未刻者。竝抄存無不沒某卷數有全卷已刻者并不列其卷數如第三第十第十一第十二第十九等卷是已」。四、附屬物、湖南宛封筒一通。湖南備忘一葉。

17 崔東壁先生遺書 鈔本 清樓述撰 二十八冊

序目一冊。史30考信錄提要二卷一冊。史31補上古考信錄二卷一冊。史32唐虞考信錄四卷二冊。史33夏考信錄二卷一冊。史34商考信錄二卷一冊。史35豐鎬考信錄八卷四冊。史36洙泗考信錄四卷二冊。史37豐鎬考信別錄三卷一冊。史38洙泗考信餘錄三卷一冊。史39孟子事實錄二卷一冊。史40考古續說二卷一冊。史41考信附錄二卷一冊。史42三代正朔通考一卷・經43經傳禮祀通考一卷・史44三代經界通考一卷以上一冊。經45讀風偶識四卷二冊。經46古文尙書辨僞二卷一冊。經47論語餘說一卷一冊。經48易卦圖說一卷一冊。史49五服異同彙考三卷二冊。集50無聞集四卷二冊。

8行23字。印記，「內藤」「字炳卿」「藤虎」。序跋，汪廷珍序、蕭元桂跋（道光六年・一八二六）、楊道生識（道光六年）、陳履和「校刊考信錄例言九則」（道光二年・一八三二）、陳履和「勸授文林郎福建羅源縣知縣崔東壁先生行畧」（嘉慶二十三年・一八一八）。湖南識語，「崔東壁遺書廿八本。庚子（明治三十三年・一九〇〇）三月念七。炳卿」。〔其他〕一、外題「崔東壁先生遺書」。二、封面「崔東壁先生遺書板存金華府學」。

18 觀古堂所著書 葉德輝撰 十六冊

〔第一集〕經95天文本單經論語校勘記一卷・經97孟子章句一卷・史100劉熙事蹟考一卷以上一冊。經97月令章句四卷一冊。史106古今夏時表一卷・經20易通卦驗節候校文一卷以上一冊。經106釋人疏證二卷一冊。史106山公啓事一卷・史107佚事一卷一冊。史307秘書省續編到四庫圖書目二卷二冊。子32瑞應圖記一卷一冊。〔第二集〕子207鬻子二卷・子280郭氏玄中記一卷以上一冊。子212淮南鴻烈閉詰二卷一冊。子100淮南萬畢術二卷一冊。子7傅子三卷・子7訂譌一卷一冊。集1晉司隸校尉傅玄集三卷一冊。史409古泉雜詠四卷二冊。子179消暑百一詩二卷一冊。

光緒三十三年（一九〇七）重編。匡郭，18.1×12.5，11行22字。左右雙邊。黑口。印記，「湖南秘板」。〔其他〕封面「觀古堂所著書魏潭書」「光緒壬寅八月湘潭葉氏印行」。

第二部 『鹿角志』關係史料の部

第二部 『鹿角志』 關係史料の部目次

内藤十灣著作類

1 鹿角志四卷 稿本	二二二
2 村誌草稿	二二二
3 鹿角郡史編纂ノ旨義	二二一
4 鹿角志進呈人名	二二一
5 十灣手控	二二一
6 自助録	二二二
盛岡・南部氏	
7 南部氏系圖付永福寺系圖	二二二
8 永福寺系圖	二二二
9 南部古實紀	二二二
10 岩崎御出陣記	二二三
11 南部家御領分中惣高御年貢米御役金錢并御役立諸色員數 元祿四年分大圖改申帳	二二三
○	
12 八戸御城主南遠江守様御家中御支配帳	二二三
○	
13 寶曆九年秋田分限帳	二二三
○	
14 出羽奥州境論開書	二二三
15 南部領与秋田領山境爭論繪圖・裁許之覺	二二四

16 鹿角御境江御檢使衆御下之節之拔書	二二四
17 安永三年御境山名公義江書上	二二四
18 鹿角御境留書	二二四
19 鹿角御境目通村々江被仰渡之書付	二二五
○	
20 毛馬内御代官被相勤候人々天和年中書留帳	二二五
21 寛政九年毛馬内町御取上之節控留	二二五
22 毛馬内諸事留	二二五
23 心控書留帳	二二五
24 御用金覺書	二二六
25 毛馬内町之もの共諸士ニ被召出候付御取扱之留	二二六
26 毛馬内御百姓田地出入之覺	二二六
27 御町市右衛門仁助屋敷境出入留	二二六
28 十和田山開墾之願書并添見込書	二二六
○	
29 鹿角銅山記	二二七
30 天保十二五年中大差引目錄	二二七
31 鹿角郡尾去澤御銅山三澤御鋪内働方仕法書上帳	二二七
32 諸吹方諸入費一ヶ年積記	二二七
33 退還新聞第三十五號	二二七
34 小坂鑛山鑛業誌	二二七
35 金屬辨	二二八
36 沈澱銅製煉法	二二八

37	嶺山強識	二二八
	毛馬内・櫻庭氏	
38	櫻庭氏家譜	二二八
39	櫻庭氏家譜	二二八
40	古記録	二二八
41	御證文寫并御書員數留付善家中身帶帳	二二九
42	鹿角古事記	二二九
43	鹿角太平記	二二九
44	毛馬内古實記	二二九
45	錦木塚之傳記	二二〇
46	田道將軍墳墓考	二二〇
47	中津山氏ノ古記寫・花輪川村左學ノ古記寫	二二〇
48	策	二二〇
49	策	二二〇
50	櫻庭綱久・綱忠等書狀	二二〇
51	雜書	二二一
52	雜書	二二一
53	雜書	二二一
54	江戸御立歸り御用之節心控留	二二二
55	統意公江戸御登留付江戸御立歸り御用之節心控留	二二二
56	櫻庭家記録	二二二
57	舊御家中身帶帳	二二二
58	八戸彌六郎願書	二二二
59	けふのせば布并鹿角由來集	二二二
60	鹿角由來集	二二三
61	浪人詩集	二二三
62	邦内郷村志八卷 存卷、卷第六	二二三
63	不動院棟札書	二二三
64	鹿角郡下浦神社由緒書上帳	二二三
65	羽黒山本末并分限御改帳	二二四
66	仁叟寺由緒書	二二四
67	仁叟寺由緒書	二二四
68	切支丹宗門御改帳	二二四
69	鹿角郡毛馬内村檢地水帳	二二五
70	鹿角郡大掛村・石野村御檢地水帳	二二五
71	鹿角郡瀬田石村御檢地水帳	二二五
72	鹿角郡川欠御檢地水帳付給所新田場所野竿改帳	二二五
73	給所新田場所野竿改帳	二二五
74	万屋村田畑居屋敷地續順路書上帳	二二六
75	全郡改正地租録	二二六
76	小瀧山御用留	二二六
77	御立林改帳	二二六
78	御立林改帳	二二六

繪圖類

79	狐子平立林一卷	二二六
80	小瀧七瀬御用留	二二七
81	御林書上帳	二二七
82	濁川村杉御立林ニ而杉剪候ニ付相尋候一卷書上	二二七
83	古川村与瀬田石村郷境爭論ニ付差出候口上書寫	二二七
84	北櫻庭爭論赤森一件留書	二二七
85	御境御用狀御境奉行へ御山役往返	二二八
86	古人馬淵實右衛門梓貞助初而之御目見申上候節御願書之寫	二二八
87	御境吟味役出生訴并御屆書控	二二八
88	秋田葛原村田地用水借候次第	二二八
89	櫻庭肥後領閑伊郡千徳村新田改之節之御用狀寫	二二八
90	閑伊郡千徳村・長澤村被遣知行新田百姓小高	二二九
91	出役紀行	二二九
92	寸陰館諸規則并ニ法率	二二九
93	又新學校新築金出納調	二二九
94	十濤學校教員條約書	二二九
95	北秋田郡私立教育會規則草案	二二九
96	御布告	二三〇
97	三戸古城繪圖	二三〇
98	三戸古城繪圖	二三〇
99	南部盛岡城正廳ノ圖	二三〇
100	南部盛岡城繪圖	二三〇
101	明治元年南部藩ヨリ白石へ御轉封ノ時ノ圖	二三〇
102	櫻庭家ノ盛岡内九郎家屋ノ圖	二三一
103	櫻庭兵庫預毛馬内館之圖	二三一
104	毛馬内館之圖	二三一
105	毛馬内櫻庭家中屋敷圖	二三一
106	大坂夏御陳卯年天主寺表御合戰諸備圖	二三一
107	攝州大坂冬御陣圖	二三一
108	前備備押之圖	二三一
109	對軍之變化備之圖	二三一
110	對軍之變化備之圖	二三一
111	供勢備書之圖	二三一
112	内裏之圖	二三一
113	徳川幕府江戸城家屋之圖	二三一
114	徳川幕府江戸城内西御丸之圖	二三一
115	津輕領繪圖	二三一

116	陸奥・出羽繪圖	一一三
117	羽州米澤城之圖	一一三
118	加州金澤城之圖	一一三
119	越前大野城之圖	一一三
120	紀州和歌山城之圖	一一三
121	播州姫路城之圖	一一三
122	淡州須本之城圖	一一三
123	伊豫大洲城之圖	一一三
124	備中松山城之圖	一一四
125	筑後久留米城之圖	一一四
126	萬國山海輿地方圖全直圖	一一四
○		
127	秋田縣地圖	一一四
128	秋田縣第二大區第八小區圖	一一四

第二部 『鹿角志』關係史料の部

内藤十灣著作類

- 1 鹿角志四卷 稿本 内藤十灣撰 内藤湖南校 一册
 作成年次、明治三九年（一九〇六）九月 一三二枚 24.2×16.2 十灣「鹿角志序」（湖南自筆）、十灣「例言」、十灣跋、湖南跋（湖南自筆、明治三九年九月）。
- 2 村誌草稿 内藤十灣撰 一册
 作成年次、明治一〇年（一八七七）年四月から八月まで 二二枚 24.5×17.2 印記、「三餘堂」。〔其他〕一、第二天區九小區（三矢澤村・尾去澤・鑛山・尾去村・松谷村）について記す。
- 3 鹿角郡史編纂ノ旨義 内藤十灣撰 一册
 作成年次、明治三四年（一九〇一）二月 七枚 24.2×17.1 〔其他〕一、「鹿角郡史編纂會規定」及び「史料蒐集ノ指針」を付す。二、當冊子は、『鹿角志』編纂の賛同者を募るため回覽せしもの（五〇名の賛同者あり）。
- 4 鹿角志進呈人名 一册
 作成年次、明治四〇年（一九〇七） 作成者、内藤十灣 八枚 24.4×16.3 印記、「笑而不答」「南面百城」。〔其他〕一、付人名表。
- 5 十灣手控 一册
 作成者、内藤十灣 四四枚 12.0×16.8 〔其他〕一、「南部古實記」^紀（史料番號9）と合冊。二、東條信耕撰先哲叢談後編序（龜田綾

瀬撰・呂陶齋書）・同上(原徳齋撰)、唐音須用名目、通人詞、采配湖之法、武鑑諸大名御高手控、司馬光撰「古局象棋圖」、元祿一四年(一七〇三)三月一四日付片岡源五右衛門より大石藏之助宛書狀(播州赤穂花嶽寺藏板)、西洋事情拔書等を収録。

6 自助録一冊

作成年次、明治一九年(一八八六) 作成者、内藤十灣 一八二枚 28.5×17.3 十灣識語、「君通稱泰助初在奈良養齋翁塾後遊千江幡梧樓翁之門前後皆寺子莫逃之同門友也某誌中云年甫十二遊於江都者誤也 十灣叟誌」。「其他」一、板垣退助の演説等當時の政治・社會に關する新聞記事、および宗教・哲學・思想等の著作よりの抜粹を収録。

盛岡・南部氏

7 南部氏系圖付永福寺系圖 一冊

原題、「御當家系圖 永福寺系圖」。七枚 13.2×8.3 「其他」一、南部家第一代光行(建保三年卒)から第三六代利敬(文政三年卒)まで記す。二、『鹿角志』引用史料(「南部氏家譜」)。

8 永福寺系圖 一冊

原題、「御當家系圖 永福寺系圖」。七枚 13.2×8.3 「其他」一、永福寺住職第三四世良榮(天文元年卒)から第五世祐宣まで記す。

9 南部古實紀 一冊

六三枚 11.2×16.0 印記、「櫻庭」「大櫻藏本」「綱久」等。「其他」一、「十灣手控」(史料番號5)を合冊。二、収録記事の年代は天文三年(一五四三)から明和二年(一七六五)まで。三、天文三年(一五四三)閉伊陣先手櫻庭安房之介、天正一〇年(一五九二)六月一日南部大膳大夫分國之内諸城破却書立寫(「毛馬内・山城・南部大學持、花わ・山城・大光寺左衛門持」と記す)、寛永二〇年(一六四三)閉伊山田浦江阿蘭陀船漂着等の記事を収める。

10 岩崎御出陣記 一冊

原題、「岩崎御陣人數」。七枚 12.5×32.4 印記、「櫻庭」「大櫻藏本」「綱久」等。「其他」一、文政一〇年(一八二七)修補。二、文化五年(一八〇八)三月寫之。三、慶長六年(一六〇一)三・四月、岩崎城を攻めた利直の分隊の人数を記す。四、『鹿角志』引用史料。

11 南部家御領分中惣高御年貢米御役金錢并御役立諸色員數元祿四年分大圖改申帳 一冊

原題、「御領分中惣高御年貢米御役金錢并御役立諸色員數元祿四年分大圖改申帳」。作成年次、元祿五年(一六九二)二月二十八日一〇八枚 30.0×19.5 「其他」一、鹿角、二、三、閉伊の四郡において、「御藏入」より「御給所」の方が石高が多い。二、『鹿角志』引用史料。

12 八戸御城主南遠江守様御家中御支配帳 一冊

一五枚 11.7×31.7

13 寶曆九年秋田分限帳 一冊

五九枚 17.0×24.2 印記、「三餘堂印」。「其他」一、裏表紙「内藤仙藏所藏明治二十六年九月再表紙」。二、寶曆九年(一七五九)七月、出羽國久保田(秋田)城主佐竹義教が幼少のため、幕府が國政の監督のために派遣した安西彦五郎・建部荒次郎兩名宛に提出された分限帳の寫し。

14 出羽奥州境論聞書 一冊

作成年次、天明二年(一七八二) 三〇枚 24.6×16.7 印記、「櫻庭」「大櫻藏本」等。「其他」一、慶安四年(一六五二)四月二〇日

作成の聞書寫し、および後年の聞書控え。二、文政一〇年（一八二七）修補。三、「慶安四年二月吉日 定日御寄合御人數」、「御境目所金山之事」等を收録。三、『鹿角志』引用史料（「秋田御論山記」）。

15 南部領与秋田領山境争論繪圖・裁許之覺 一冊

原題、「奥劬南部領鹿角郡花輪村毛馬内村与羽劬秋田領澤尻村十二所村味噌内村茂内村別所村扇田村大館村山境争論之事裁許申付覺」。作成年次、延寶五年（一六七七）六月四日 47.5×162.0 印記、「三餘堂印」。十灣識語、「此繪圖花輪圓徳寺住職齊藤麟道師ノ贈ル所明治三十六年十一月下流 十灣叟」。「其他」一、繪圖裏に裁許之覺を記す。二、繪圖に秋田方よりの主張（地名呼稱・南部の百姓の行動等）を記す付箋あり。三、『鹿角志』引用史料（「秋田御論山御裁許墨引繪圖」）。

16 鹿角御境江御檢使衆御下之節之拔書 一冊

原題、「書拔」。作成年次、文化七年（一八一〇）六月 一〇枚 26.0×16.8 印記、「櫻庭」「大櫻藏本」「綱久」等。〔其他〕一、文政一〇年（一八二七）修補。二、奥書「此書附文化七年六月工藤周平至極極密而持參仍而禁他見」。三、延寶五年（一六七七）四月一日から同六年四月二四日までの鹿角境論山見分留書。

17 安永三年御境山名公義江書上 一冊

原題、「安永三年御境山名公義江書上尤御論山之節之儀なり」。作成年次、寛政一〇年（一七九八）正月 一九枚 14.5×32.8 印記。「櫻庭」「大櫻藏本」「綱久」等。〔其他〕一、文政一〇年（一八二七）修補。

18 鹿角御境留書 一冊

作成年次、寛政八年（一七九六）一月吉日 作成者、阿部權藏 三五枚 15.0×8.8 印記、「櫻庭」「大櫻藏本」「綱寛」等。〔其他〕一、文政一〇年（一八二七）修補。二、奥書「被仰付認之 阿部權藏」。三、元和四年（一六一八）七月、寛永一六（一六三九）八月、寛文一三年（一六七三）八月等の南秋境論に關する記事を收録。

19 鹿角御境目通村々江被仰渡之書付 一冊

作成年次、享和元年（一八〇一）二七枚 26.2×17.3 印記、「櫻庭」「大櫻藏本」「綱久」等。〔其他〕一、文政一〇年（一八二七）修補。二、三矢澤・土深井ほか村々への、御境目での草薪刈取・牛馬放・脇道等の禁止に關する申渡を收録。三、朽損箇所あり。

20 毛馬内御代官被相動候人々天和年中々書留帳 一冊

作成年次、寛政一二年（一七九九）正月 一〇枚 14.0×34.0 印記、「櫻庭」「大櫻藏本」「綱久」等。〔其他〕一、文政一〇年（一八二七）修補。二、原表紙裏「延寶五年八月廿日鹿角御代官小枝指清兵衛 是ハ御城留書ヨリ入 皆文化七年七月廿日綱官書入」。

21 寛政九年毛馬内町御取上之節控留 一冊

原題、「控留」。作成年次、寛政九年（一七九七）七月二六日から二月二五日まで 二八枚 24.3×16.6 印記、「櫻庭」「大櫻藏本」「綱久」等。〔其他〕一、文政一〇年（一八二七）修補。

22 毛馬内諸事留 一冊

作成年次、寛政九年（一七九七）二四枚 26.1×17.5 印記、「櫻庭」「大櫻藏本」「綱久」等。〔其他〕一、文政一〇年（一八二七）修補。二、寛政九年毛馬内町御取上一件記録（毛馬内町は、櫻庭兵庫預り町か、知行所町か、というのが争點、但し七月二六日から八月二六日までの記事を收録。

23 心控書取帳 一冊

作成年次、文政三年（一八一〇）九月二〇枚 27.0×14.8 〔其他〕一、寛政九年（一七九七）一二月、毛馬内村御藏肝入忠右衛門ほか二名が、森岡表へ「毛馬内町者櫻庭兵庫御預町之處知行町同様之扱」いをうけて迷惑していると訴えたのがもとで、取り調べのうえ、結局二月二六日、毛馬内町は取り上げられて代官支配を命じられている。本記録は、この一件に關する櫻庭家側の控。本件の御沙汰書は、盛岡藩「御家被仰出」（『藩法集9盛岡藩上』）にも收録。

24 御用金覺書 一冊

原題、「覺書」。作成年次、明和七年(一七七〇)五月 作成者、伊藤喜三右衛門 一二枚 250×168 [其他] 一、毛馬内町市右衛門が御用金を仰せ付けられた一件に関する記録。

25 毛馬内町之もの共詰士ニ被召出候付御取扱之留 一冊

作成年次、天明三年(一七八三)一〇月から同七年(一七八七)一〇月まで 一〇六枚 260×150 印記、「櫻庭」「大櫻藏本」「綱久」等。[其他] 一、文政一〇年(一八二七)修補。二、御用金等に関する記事を収録。

26 毛馬内御百姓田地出入之覺 一冊

原題、「毛馬内御百姓之内若松(屋)利左衛門同市右衛門田地出入ニ付、御代官富田守右衛門殿古來ニ間違双方書付直々取上候付、御役人共相詰御訴之覺」。作成年次、享保三年(一七二八)六月六日 二枚 287×175 [其他] 一、「御代官へ仲間ノ口上之覺」等を収める。

27 御町市右衛門仁助屋敷境出入留 一冊

作成年次、延享四年(一七四七)二月 作成者、刈谷清右衛門 二三枚 283×170 [其他] 一、市右衛門方屋敷手形(元禄一六年一〇月九日付)、仁助方屋敷手形(元文三年三月四日付)、および双方より檢斷七右衛門宛書付(延享四年二月一日付)等の控えを収める。二、朽損箇所あり。

28 十和田山開墾之願書并添見込書 一冊

原題、「願書并添見込書」。作成年次、明治二年(一八六九)二月 一四枚 276×185 [其他] 一、今泉ノ再助より宿老・檢斷宛の願書、「新開畑千枚諸入用積書」、「御教之宛民百軒ニ而開發見込書」を収める。

○

29 鹿角銅山記 一冊

作成年次、明和元年(一七六四)作成者、湯瀬須藏 一四枚 142×193 印記、「櫻庭」「大櫻藏本」「綱久」等。[其他] 一、文政一〇年(一八二七)修補。二、正徳六年(一七一六)作成原本の寫し。三、『鹿角志』引用史料(銅山記)。

30 天保十二丑年中大差引目録 一冊

作成年次、天保一三年(一八四二)一月 差出人・宛名、青山吉郎兵衛ほか二名より中津山吉左衛門ほか六名宛 一〇枚 245×175 [其他] 一、鍔銅代受取覺ほか。

31 鹿角郡尾去澤御銅山三澤御鋪内働方仕法書上帳 一冊

作成年次、慶應三年(一八六七)一〇月 八枚 246×172 [其他] 一、末尾「右者御勘定奉行古澤其人様御登山ニ付被仰付相認候下書也 澤出吉亭主人」。

32 諸吹方諸入費一ヶ年積記 一冊

作成年次、明治六年(一八七三)二月 一二枚 245×165 [其他] 一、末尾「西ノ第十二月 熔礦所 上」。二、熔礦出銅并諸入料を記す。

33 遐邇新聞第三十五号 一冊

原題、「明治七年(一八七四)九月二十七日遐邇新聞第二十五號」。五枚 225×148 十灣識語、「尾去澤坑夫鬭争ノ事件記載アルニ依リ殘シ置」。

34 小坂嶺山鑛業誌 一冊

作成年次、明治三六年(一九〇三)一月 一八枚 265×194 印記、「十灣」「待五百年後之知己」「三餘堂印」。[其他] 一、洋装本。二、裏表紙「明治三十八年五月小坂嶺山ヨリ贈ラル 三餘堂」。三、付小坂嶺山地形圖(縮尺三〇〇〇分の1、80.0×119.0)一枚。

四、地理・略歴・地質・鑛床等を記す。

35 金屬辨 薩摩 鑛泥陳入撰 一冊

作成年次、明治九年（一八七〇）八月 一六枚 24.4×17.3 印記、「三餘堂印」。「其他」一、末尾「安政五年歲次戊午春二月初六日書於天壤書屋 鑛泥陳入草」。「明治九年丙子八月中浣川口義行子ヨリ原本借シ寫」。二、裏表紙「内藤貞善藏書」。

36 沈澱銅製煉法 一冊

二四枚 25.0×17.5 「其他」一、付圖六枚。二、裏表紙「内藤調一坐右」。三、「沈澱法質問ノ概要」を收める。

37 鑛山強識 一冊

原題、「鑛山強識 三餘堂」。二一枚 24.3×16.8 印記、「三餘堂印」。「其他」一、末尾「第十月九日 熔礦所」。二、「採礦ヨリ生銅ニ至ル迄ノ順序」を收める。三、付明治八年（一八七五）二月一〇日付大館支所より第二大區九小區正副戸長宛文書一通。

毛馬内・櫻庭氏

38 櫻庭氏家譜 一冊

原題、「系胤譜考」。二四枚 30.3×19.8 「其他」一、大櫻庭家（千九百石）は良綱（南部家初代光行腹心）から綱得まで、同姓櫻庭家（千石）は良綱から轉統まで、櫻庭分家（百石）は櫻庭光康三男光忠から統英まで、それぞれ記す。二、「鹿角志」引用史料。

39 櫻庭氏家譜 一卷

26.0×33.0 「其他」一、光康（從信直公利直公賜貳千石）から統意まで記す。

40 古記録 一冊

七三枚 27.8×16.6 「其他」一、表紙欠の櫻庭家御用留三冊綴。二、収録記事の年代は、明曆二年（一六五六）から天保六年（一八三

41 御證文寫并御書員數留付舊御家中身帶帳 一冊

作成年次、寛政七年（一七九五）一月 作成者、立山市内 一七枚 24.5×16.2 「其他」一、「舊御家中身帶帳」（史料番號57）と合冊。二、付明治二八年（一八九五）三月六日調「宛書簡一通」。三、秋田城之介愛季より立山市内宛（文政四年七月一〇日）、櫻庭兵助光英より立山善兵衛宛（明曆三年二月一三日）等の證文寫、ならびに櫻庭家はか八戸・中野・江刺・漆戸・毛馬内・野田の各家よりの御書員數を記す。四、「鹿角志」引用史料。

42 鹿角古事記 一冊

作成年次、文化五年（一八〇八）一二月 作成者、中津山左源太 四二枚 24.0×16.5 印記、「櫻庭」「大櫻藏本」「綱久」「三餘堂印」等。十灣識語、「此書明治三十六年春上京ノ時奈良貞志氏所贈」。「其他」一、文政一〇年（一八二七）修補。二、奥書「享保元丙申年ヨリ安永九庚子年迄ニ書 文化五戊辰十二月再書」。三、「鹿角郡田畑開始之變」、「津輕平藏逆心の事」、「九戸政實逆心の事」等の記事あり。四、「鹿角志」引用史料。

43 鹿角太平記 一冊

作成年次、文政四年（一八二一）四月 作成者、湯瀬勇 五一枚 28.0×19.0 印記、「櫻庭」「大櫻藏本」「綱寛」。「其他」一、文政一〇年（一八二七）修補。二、奥書「文政四年巳四月綱寛公御代 湯瀬勇寫之」。三、「永享十一年十二月晦日國司下向之事」、「四家衆鹿角發向之事」、「信直朝臣鹿角御手ニ入ル夏」等の記事あり。四、「鹿角志」引用史料。

44 毛馬内古實記 一冊

作成年次、寛政九年（一七九七）一〇月 九枚 15.6×9.0 印記、「櫻庭」「大櫻藏本」「綱久」等。「其他」一、文政一〇年（一八二七）修補。二、奥書「此書留毛馬内不動院ヨリ無心寫之留ナリ 寛政九年初冬十月寫書」。三、毛馬内善徳寺、白根金山、秋田南部

境論、毛馬内町の始まり等について記す。四、『鹿角志』引用史料。

45 錦木塚之傳記 一通

30.3×25.0 印記、「三餘堂印」。十灣識語、「奈良眞志氏所贈」。(其他)一、錦木古人黒澤覺平による。二、『鹿角志』引用史料。

46 田道將軍墳墓考 一冊

二枚 19.2×13.2 [其他]一、小田嶋由義調書拔書。二、付明治三年(一八九九)二月三日付小田嶋由義より内藤調一宛書簡。三、『鹿角志』引用史料。

47 中津山氏ノ古記寫・花輪川村左學ノ古記寫 一冊

作成年次、明治三十六年(一九〇三)八月 作成者、内藤十灣 一八枚 24.7×17.2 十灣識語、「右一書花輪川村左學ヨリ借り寫 明治卅六年八月中流」。(其他)一、毛馬内古人・馬淵金左衛門、田道將軍の碑、および花輪城代等に關する記事を收める。

48 策 一冊

作成年次、天保八年(一八三七)六月 作成者、櫻庭綱清之内史・青山榮信 四枚 14.4×37.1 [其他]一、表紙裏「君子之善惡若有有所不記者有如北水 天保八年丁酉夏六月 青山榮信 澤出直方殿・瀧嘉福殿」。二、櫻庭綱清の詩作、手習、論語下見、論語論講出席、澤出源左久孟子講談拜聽、鎗術稽古等に關する記事(六月朔日〜同二九日)を收める。

49 策 一冊

作成年次、天保八年(一八三七)七月 作成者、櫻庭綱清之内史・大志田直敬 四枚 15.8×36.4 [其他]一、表紙裏「君子之善惡若有所不記者有如北水 天保八年丁酉七月 大志田直敬 澤出直方殿・内藤貞修殿」。二、櫻庭綱清の馬術・鎗術稽古、詩作、論語下見、論語論講・歌會出席、詩經講釋拜聽等に關する記事(七月朔日〜晦日)を收める。

50 櫻庭綱久・綱忠等書狀 一綴

一三通 15.0×22.5 [其他]一、櫻庭綱久より内藤仙藏ほか宛六通(年代不明)、櫻庭綱忠より内藤調一宛五通付包紙五枚(文久四年正月七日〜慶應三年正月七日)、櫻庭統安より内藤仙藏宛一通、毛馬内典膳より内藤仙藏宛一通。二、年頭の到來物に對する禮狀等。

51 雜書 一冊

作成年次、享保一五年(一七三〇) 一三九枚 30.0×20.5 [其他]一、天明三年(一七八三)正月淺沼郷左衛門合綴す。二、收錄記事の年代は、享保一五年正月元日から二月二九日まで。三、御城御用および御屋鋪御用の留書よりなる。四、御城御用には、南部家目付所・用人中よりの廻狀寫、櫻庭兵右衛門より目付中への書付寫、宗門組合目録控、殿様參覲、醫書板行、江戸よりの御尋人、諸奉公人取逃欠落、伊勢參宮等の記事を收める。五、御屋鋪御用には、毛馬内御代官よりの御用狀、千徳村への御用金賦課、家中の役替・家督・切米等に關する記事を收める。

52 雜書 一冊

作成年次、享保一十九年(一七三四) 作成者、當番・上關安左衛門 七九枚 30.0×20.0 [其他]一、收錄記事の年代は享保一十九年(一七三四)正月元日から二月晦日まで。二、御城御用および御屋鋪御用の留書よりなる。三、御城御用には、南部家目付所・用人所よりの廻狀寫、勘定所よりの指紙寫、櫻庭兵右衛門知行所より目付中・勘定頭中への手紙寫、宗門御組合目録寫、および新田證文寫等を收める。四、御屋鋪御用には、御屋鋪の年中行事(正月・端午等)、家中の縁組・離縁・法事等に關する記事、新田檢地、および仁叟寺本堂建立等の記事を收める。

53 雜書 一冊

作成年次、延享四年(一七四七) 作成者、當番・立山一郎右衛門 二五七枚 28.0×18.0 [其他]一、收錄記事の年代は延享四年(一七四七)正月元日から二月二九日まで。二、御城御用および御内用の留書よりなる。二、御城御用には、南部家・家老中よりの奉書・指紙、および目付所よりの廻紙等の寫を收める。三、御内用には、櫻庭家中に關すること、および旦那様・奥様の寺院への佛參

(代参)等に関する記事を収める。

54 江戸御立歸り御用之節心控留 一冊

作成年次、安永三年(一七七四)七月吉日 作成者、湯瀬勇左衛門安顯 七枚 23.5×16.2 [其他] 一、「統意公江戸御登留」(史料番號55)と合冊。二、安永三年七月一〇日より同年八月一四日までの、櫻庭統意御勝手方御用に關する記事を収録。

55 統意公江戸御登留付江戸御立歸り御用之節心控留 一冊

作成年次、安永五年(一七七六)一月一六日 作成者、湯瀬勇左衛門安顯 三四枚 24.6×17.0 [其他] 一、「江戸御立歸り御用之節心控留」(史料番號54)と合冊。二、安永五年一月一六日から安永八年四月三日までの、櫻庭統意の江戸御登り、御立歸りに關する記事を収録。

56 櫻庭家記録 一冊

七枚 28.0×17.7 [其他] 一、収録記事の年代は延寶二年(一六七四)から享保一八年(一七三三)まで。二、延寶二年(一六七四)三月櫻庭光英知行加増(二百石・閑伊郡譜代村)等の記事を収録。三、表紙欠。

57 舊御家中身帶帳 一冊

一一枚 24.5×17.0 [其他] 一、事書「櫻庭綱忠舊家頼身帶帳」。二、「御證文寫并御書員數留」(史料番號41)と合冊。

58 八戸彌六郎願書 一冊

作成年次、寛政九年(一七九七) 作成者、幽篁 五枚 24.0×16.5 [其他] 一、享保一四年(一七二九)七月日、當在彌六郎より朽内與兵衛宛の家格に關する願書の寫し。

59 けふのせば布付鹿角由來集 菅江眞澄撰 一冊

原題、「眞澄遊覽記の内けふのせばの、鹿角由來集」。二五枚 24.9×16.3 印記、「三餘堂印」。十灣談語、奥書「明治三十六年八月

中旬騰寫畢 十灣曼 此書眞澄遊覽記ノ内ヨリ花輪小田嶋由義郡長奉職中秋田市ニ於テ騰寫セシモノヲ予借受テ轉寫セシモノナリ。
[其他] 一、天明五年(一七八五)八月二六日から一〇月一日までの、南部地方の旅日記。二、『鹿角志』引用史料(「けふのせばの」)。

60 鹿角由來集 一冊

二〇枚 24.9×16.3 印記、「三餘堂印」。十灣談語、奥書「此書ノ原本花輪ノ川村善太郎氏所藏ナルヲ借受ケテ騰寫シ畢ル 明治三十六年九月下流 十灣曼」[其他] 一、「鹿角四拾二郷ニ侍四十二人覺」、「八郎太郎生を替候事」の記事あり。二、『鹿角志』引用史料。

61 浪人詩集 一冊

一五枚 24.3×17.2 [其他] 一、奥書「泉澤恭助書之 狹布里毛馬内住人沙原内藤貞與此主」。二、遊歷人作「錦木塚懷古」、「錦樹丘」等を収録。三、『鹿角志』引用史料。

62 邦内郷村志八卷 存卷、卷第六 大卷秀詮撰 一冊

原題、「御邦内郷村志卷六」。原本作成年次、寛政九年(一七九七) 二九枚 27.8×19.8 印記、「三餘堂印」。「待五百年後之知己」[十灣]。十灣談語、「此郷村志ハ、東京麴町富士見町南部御邸御藏本ヲ兒湖南拜借シ人ヲ雇フテ騰寫セシメ、予カ鹿角志編纂ノ材料トシテ贈來リシモノ也 明治三十九年丙午二月十六日 七十五翁十灣團」[其他] 一、『鹿角志』引用史料(「南部郷村志」)。

63 不動院棟札書 一冊

原題、「棟札書 鹿角郡毛馬内村不動院」。作成年次、延享二年(一七四五)五月八日 一一枚 24.5×17.2 印記、「櫻庭」。「大櫻藏本」[綱久]等。[其他] 一、文政一〇年(一八二七)修補。二、「奉造若宮八幡宮殿一字諸願成就所 本願主源朝臣武田權之助 遷宮者羽黒山在廳法印量山別當不動院法印源慶敬白 千時慶長十三歳戊申九月吉日」ほか棟札四七枚の寫し等。三、『鹿角志』引用史料。

64 鹿角郡下浦神社由緒書上帳 一冊

原題、「神社由緒書上帳 鹿角郡毛馬内村不動院」。作成年次、延享二年(一七四五)五月八日 三三枚 28.7×19.6 [其他] 一、事

書「鹿角郡下浦神社縁起并本尊神木書上申事」。二、ほかに救世圓通十一面觀音大士本堂上梁銘并序(金光寺)の寫し一枚挿入。三、『鹿角志』引用史料(神社由緒書上帳)。

65 羽黒山本末并分限御改帳 一冊

原題、「本末并分限御改帳 羽黒山末派南部鹿角郡下浦毛馬内村不動院」。作成年次、延享三年(一七四六)十月日 五二枚 29.7×20.1 [其他] 一、不動院より羽黒山御別當御役所宛書上控。二、『鹿角志』引用史料(羽黒山末派本末并分限御改帳)。

66 仁叟寺由緒書 一冊

原題、「知行所毛馬内村菩提所凱翁山仁叟寺由緒書」。作成年次、延享三年(一七四六)三月二五日 一枚 24.3×15.5 印記。「櫻庭」「大櫻藏本」「綱久」等。[其他] 一、文政一〇年(一八二七)修補。二、「仁叟寺由緒書」(史料番號67)と合冊。三、南部岩手郡森岡報恩寺より關三ヶ所御役寮への書上帳寫。四、『鹿角志』引用史料(關三ヶ所御役寮へ書上 報恩寺)。

67 仁叟寺由緒書 一冊

原題、「仁叟寺之事」。作成年次、享和二年(一八〇二) 作成者、横田宇左衛門 七枚 15.3×10.5 [其他] 一、横田宇左衛門手控。二、「仁叟寺由緒書」(史料番號66)と合冊。三、『鹿角志』引用史料(仁叟寺記)。

68 切支丹宗門御改帳 一冊

原題、「切支丹宗門御改帳 櫻庭兵庫領鹿角郡毛馬内村・大欠村・高清水村・芦名澤村・荒川村・瀬田石村」。作成年次、寛政九年(一七九七)四月一五日 四五枚 12.2×34.0 印記、「三餘堂印」「待五百年後之知己」。[其他] 一、後年の修補。二、毛馬内の「來者」・「去者」の記事より同村と尾去澤銅山・白根銀山との繋がりの深さがわかる。三、文化二年(一八一五)四月一五日付、櫻庭兵庫預御境吟味役・古人同心・在古人の「切支丹宗門御改帳」(五枚)を合冊。

69 鹿角郡毛馬内村御檢地水帳 一冊

原題、「鹿角郡御檢地水帳 毛馬内村・同村之内万屋分」。作成年次、寶永五年(一七〇八)五月 三九枚 14.8×37.9 [其他] 一、櫻庭兵四郎領毛馬内村および同村内万屋村について、寶永五年(一七〇八)三月一六、一九、二二、二四、二六、二八、二九、四月一、六日に實施された檢地の記録。

70 鹿角郡大掛村・石野村御檢地水帳 一冊

原題、「鹿角郡御檢地水帳 櫻庭兵四郎領大掛村・同人領石野村」。作成年次、寶永五年(一七〇八)五月 二二枚 15.0×38.8 [其他] 一、櫻庭兵四郎領大掛村および同人領石野村について、寶永五年(一七〇八)三月二五、二六、二八、二九日に實施された檢地の記録。

71 鹿角郡瀬田石村御檢地水帳 一冊

原題、「鹿角郡御檢地水帳 櫻庭兵四郎領瀬田石村」。作成年次、寶永五年(一七〇八)五月 一八枚 15.0×38.4 [其他] 一、櫻庭兵四郎領瀬田石村について、寶永五年(一七〇八)三月二九日、四月朔日、二日に實施された檢地の記録。

72 鹿角郡川欠御檢地水帳付給所新田場所野竿改帳 一冊

作成年次、享保一四年(一七二九)四月 五枚 14.8×38.2 [其他] 一、享保一四年四月「給所新田場所野竿改帳」(史料番號73)と合冊。

73 給所新田場所野竿改帳 一冊

作成年次、享保十九年(一七三四)四月 一〇枚 14.6×37.8 [其他] 一、享保一四年四月「鹿角郡川欠御檢地水帳」(史料番號72)と合冊。

74 万屋村田畑居屋敷地積順路書上帳 一冊

作成年次、安政五年（一八五八）九月 一九枚 15.2×38.8 [其他] 一、後欠。

75 全都改正地租録 一冊

作成者、内藤十灣 一四枚 12.2×17.2 [其他] 一、三餘堂主人控。二、表紙「明治九丙子年（一八七六）ヲ地租改正調成ノ期トス
明治十一年戊寅（一八七八）二月下流等計。三、『鹿角志』引用史料。

○

76 小瀧山御用留 一冊

作成年次、元文四年（一七三九）正月元日 三五枚 24.4×17.4 [其他] 一、元文四年（一七三九）から延享元年（一七四四）までの
小瀧山に関する記録。

77 御立林改帳 一冊

作成年次、寛保三年（一七四三）九月吉辰 一九枚 28.5×19.5 [其他] 一、「御立林改帳」（史料番號78）と同じもの。但し、裏表紙欠。
二、末尾「寛保三年十一月廿日改濟」。三、荒川領（小瀧山ほか）、瀬田石領、高清水領（七瀧ほか）、毛馬内領の御立林について記す。

78 御立林改帳 一冊

作成年次、寛保三年（一七四三）九月吉辰 一九枚 28.8×17.2 [其他] 一、「御立林改帳」（史料番號77）と同じもの。二、末尾「寛
保三年十一月廿日改濟」。三、荒川領（小瀧山ほか）、瀬田石領、高清水領（七瀧ほか）、毛馬内領の御立林について記す。

79 狐子平立林一卷 一冊

作成年次、延享二年（一七四五）六月 二〇枚 27.0×15.2 [其他] 一、内藤仁右衛門（貞親）・中津山吉左衛門より境奉行小野五郎

兵衛・米橋茂右衛門宛、六月二七日付「覺」、兵四郎ほか二名より毛馬内町山守權九郎宛、寶永六年（一七〇九）三月三日付「遣候證
文」等を収録。二、瀬田石村境付立林の内狐子平に関する記録。

80 小瀧七瀧御用留 一冊

作成年次、明和元年（一七六四）八月吉日 二八枚 24.4×17.0 [其他] 一、明和元年（一七六四）から享和元年（一八〇一）までの、
小瀧・七瀧御立林に関する記録。

81 御林書上帳 一冊

作成年次、文化二四年（一八一七）六月 四八枚 24.0×16.6 [其他] 一、櫻庭兵庫知行所芦名澤村老名作右衛門ほか五名より玉井平
馬・蠅田作左衛門宛「御林書上帳」の控え。二、御林の四至、御山守名前、木敷を記す。

82 濁川村杉御立林ニ而杉剪候ニ付相尋候一卷書上 一冊

作成年次、^{（家持）}五年申七月一日 作成者、岩舟義兵衛 一四枚 24.5×17.2 [其他] 一、濁川村山見および同村百姓の詮議記録。
二、朽損箇所あり。

○

83 古川村与瀬田石村郷境争論ニ付差出候口上書寫 一冊

原題、「御知行所瀬田石村郷境南部監物様御知行所古川村与之争論ニ付御双方々被仰上候一卷」。作成年次、文政七年（一八二四）
三月から同一三年（一八三〇）八月まで。一二七枚 24.5×16.3 [其他] 一、「北櫻庭争論赤森一件留書」（史料番號84）を参照のこ
と。

84 北櫻庭争論赤森一件留書 一冊

作成年次、天保七年（一八三六）三月 三〇枚 28.0×19.0 [其他] 一、「古川村与瀬田石村郷境争論ニ付差出候口上書寫」（史料番號

83) を参照のこと。一、表紙欠。

85 御境御用狀御境奉行へ御山役往返 一冊

作成年次、寛政三年(享和改元、一八〇一) 一三枚 24.8×17.3 印記、「櫻庭」「大櫻藏本」「綱久」等。〔其他〕一、文政一〇年(一八二七) 修補。

86 古人馬淵右衛門悻貞初而之御目見申上候節御願書之寫 一冊

作成年次、享和二年(一八〇二) 二月 六二枚 28.2×17.0 印記、「綱寛」。〔其他〕一、馬淵金兵衛について、寛文中(一六六一) 七二) 秋田境目論山の初江戸評定所へ十三ヶ度罷出、と記す。三、「鹿角御境留書」(史料番號18) の末尾に馬淵金兵衛の記事あり。二、朽損箇所あり。

87 御境吟味役出生訴并御届書控 一冊

作成年次、文化二年(一八一四) 一月 作成者、近内織右衛門 八枚 27.3×14.5 印記、「櫻庭」「大櫻藏本」「綱久」等。〔其他〕一、文政一〇年(一八二七) 修補。二、「毛馬内御給人并御境吟味役貫右衛門嫡孫 馬淵健太」に関する届書の控え。

88 秋田葛原村田地用水借候次第 一冊

五枚 25.0×18.0 〔其他〕一、秋田扱人より南部扱人宛、享保八年(一七三三) 五月一七日付「手形之事」の寫しを收める。

○

89 櫻庭肥後領閑伊郡千徳村新田改之節之御用狀寫 一冊

原題、「千徳御知行御本田御新田共去去年御願之通被仰付置候處、此度請御竿御通被成候付御先立仕候控留、但ッ御本御改之儀此度御序ニ御願ニ而」。作成年次、安永五年(一七七六) 四月 作成者、上關里右衛門 五八枚 27.8×17.0 〔其他〕一、安永五年六月二四日付の「知行高目録」の寫し等。二、収録記事の年代は安永五年二月二日から三月晦日まで。

90 閑伊郡千徳村・長澤村被遣知行新田百姓小高 一冊

原題、「被遣知行新田百姓小高 閑伊郡千徳村・同郡長澤村」。作成年次、慶應元年(一八六五) 閏五月 五枚 13.5×27.0

91 出役紀行 一冊

作成年次、慶應元年(一八六五) 閏五月 作成者、御新田御用差向懸・熊谷助右衛門 一六枚 15.2×18.8 〔其他〕一、付屋敷圖(24.2×34.3) 一枚。

○

92 寸陰館諸規則并ニ法率 一冊

一〇枚 24.8×17.1 〔其他〕一、表紙左下「花輪學館之寫」。二、明治三年(一八七〇) 三月一七日閉館。

93 又新學校新築金出納調 一冊

作成年次、明治八年(一八七五) 五月 一三枚 24.5×17.1 〔其他〕一、「又新學校獻金人員」等を記す。

94 十灣學校教員條約書 一冊

原題、「條約書」。作成年次、明治一五年(一八八二) 二月三日 〔其他〕一、委囑者の十灣學校委員と被囑者の内藤調一との間の條約書。

95 北秋田郡私立教育會規則草案 一冊

三枚 24.5×16.5

○

96 御布告 一冊

原題、「御布告 曲正所」。作成年次、明治六年（一八七三）一月 八八枚 24.0×17.0〔其他〕一、收録記事の年代は明治五年九月から同六年九月まで。二、大政官布告、司法省・大藏省・教部省等達、秋田縣布達の各寫し。

繪圖類

97 三戸古城繪圖 一枚

原題、「三戸御古城」。作成者、田中館廉政 55.0×134.5 印記、「田氏廉政」。〔其他〕一、三ノ丸に「二千石 赤石城主 櫻庭安房」との記載あり。

98 三戸古城繪圖 一枚

原題、「三戸古城」。68.8×161.0〔其他〕一、付箋(38×88)あり。二、付箋に南部氏の居城の變遷(平良崎―三戸―盛岡―三戸―盛岡)を記す。三、繪圖に「二千石 赤石主 今ハ毛馬内 櫻庭安房」との記載あり。

99 南部盛岡城中正廳ノ圖 一枚

31.4×81.6

100 南部盛岡城繪圖 一枚

原題、「御城圖」。55.0×73.0 印記、「三餘堂印」。〔其他〕一、右上・朱筆「朱書ハ明治元年城地政府へ城地奉還ノ頃ノ分ナリ」。

101 明治元年南部藩ヨリ白石へ御轉封ノ時ノ圖 一枚

52.0×50.0

102 櫻庭家ノ盛岡内丸邸家屋ノ圖 一枚

107.0×109.5〔其他〕一、左下・朱筆「安政四丁巳年（一八五七）五月吉日認」。

103 櫻庭兵庫預毛馬内館之圖 一枚

原題、「櫻庭兵庫御預毛馬内御館之圖」。作成年次、享和三年（一八〇三）二月十二日 82.0×122.8〔其他〕一、右下「享和三年十月十二日御城中ノロへ内藤武右衛門を以差出、御徒目付地口市之丞江相渡、尤御目付御手塞之由ニ付」。二、付箋(覺)一枚 14.0×11.4)あり。

104 毛馬内館之圖 一枚

原題、「毛馬内館」。76.9×120.5

105 毛馬内・櫻庭家家中屋敷圖 一枚

71.3×131.8〔其他〕一、泉澤恭助、内藤泰藏等の屋敷を記す。

106 大坂夏御陳・卯年天王寺表御合戰諸備圖 一枚

作成年次、元祿一〇年（一六九七）九月二日 作成者、櫻庭直良 36.0×82.0〔其他〕一、元和元年（一六一五）大坂夏の陣天王寺表合戰諸備圖。

107 攝州大坂冬御陳圖 一枚

82.0×98.0〔其他〕一、慶長一九年（一六一四）大坂冬の陣圖。

108 前備備押之圖 一冊

原題，「御前備御備押」。15.1×36.7

109 對軍之變化備之圖 一枚

原題，「天保十四年癸卯（一八四三）大閏九月七日於淡島蛮人對軍之變化御備之圖」。30.2×38.2〔其他〕一，「墨、進圖朱、應化并虛北之圖」。

110 對軍之變化備之圖 一枚

28.6×38.2〔其他〕一，「墨、進朱、應化并虛北之圖」。

111 供勢備着之圖 一枚

原題，「供勢御備着」。30.0×28.6

○

112 內裏之圖 一枚

24.9×34.0

113 德川幕府江戸城家屋之圖 一枚

作成者，泉澤貞務 110.0×91.0〔其他〕一，「天保癸卯（一八四三）晚冬泉澤貞務寫」。

114 德川幕府江戸城内西御丸之圖 一枚

65.0×62.7

115 津輕領繪圖 一枚

作成者，荒川則順 27.6×39.4〔其他〕一，「慶應四辰（一八六八）八月寫之 荒川則順圖」。

116 陸奥・出羽繪圖 一枚

原題，「鄰國一体圖」。27.6×39.4〔其他〕一，「荒川氏所持之圖」。

117 羽州米澤城之圖 一枚

原題，「羽州米澤城」。28.2×37.6

118 加州金澤城之圖 一枚

原題，「加州金澤城」。28.3×37.5

119 越前大野城之圖 一枚

原題，「越前大野城」。28.4×37.7

120 紀州和歌山城之圖 一枚

原題，「紀州和哥山城」。28.2×37.7

121 播州姫路城之圖 一枚

原題，「播州姫路城」。28.1×37.8

122 淡州須本城之圖 一枚

原題，「淡州須本城」。28.3×37.6

123 伊豫大洲城之圖 一枚

原題、「伊豫大洲城」。28.3×37.7

124 備中松山城之圖 一枚

原題、「備中松山城」。28.2×37.6

125 筑後久留米城之圖 一枚

原題、「筑後久留米城」。28.8×38.2

126 萬國山海輿地方圖全直圖 長久保赤水撰 一枚

37.0×51.0〔其他〕一、「嘉永七年甲寅（一八五四）春正月日騰寫之 内藤貞善藏」。二、「往古泉州一ノ宮某姓コノ圖ヲ携來テ珍藏ニ 秘スル處ナルヲ予乞ウケコレヲ寫ニ國字ヲ以テ書ス、今童男女子ニワカリヤスカランヲ主トス」（地圖周圍の十灣自筆の文中）。

○

127 秋田縣地圖 一枚

49.0×82.6 印記、「船坂」〔其他〕右下「秋田縣戶數合計拾萬九千三百三十六戶 人員六十萬四千百拾四人」。

128 秋田縣第二大區第八小區圖 一枚

原題、「鹿角郡八小區圖」。27.5×39.0 印記、「十灣」「待五百年後之知己」〔其他〕一、花輪（明治一〇年には第八小區扱所が、同一 二年には郡區編成改正により郡役所が置かれる）よりの里程を記す。

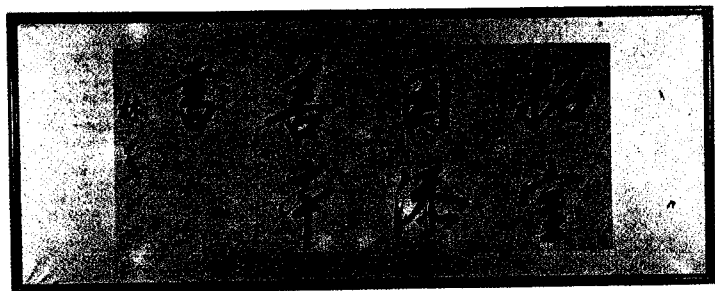
第三部

關西大學総合圖書館
開館記念特別展示

内藤文庫展觀目錄の部

関西大学総合図書館
開館記念特別展示

内藤文庫展観目録



あ い な ゝ

関西大学図書館長 名 取 栄 史

関西大学総合図書館開館披露を記念して、本学所蔵内藤文庫の善本、稀覯書、軸物、甲骨等約四十点を展示公開することになった。

内藤文庫は、恭仁山荘及び京都内藤家に収蔵されていた内藤湖南、伯健二代の収集による内外の典籍類で約三万余冊がこのたび内藤家御遺族の御厚志により本学が譲り受けたものである。

これを受けて昨五十九年、学内各分野の有識者より成る『内藤文庫調査特別委員会』が発足した。委員会の目的は、本文庫の完全な目録作成である。然しながら今回の図書館建設、移転という大事業のため、目録作成のための基本的方針と具体的計画を策定したに留まり、その本格的活動は今後に俟たねばならぬ。幸いにして館員の協力により一応のリストアップは終り、また、文庫が本学図書館に移された際、親しく来学され御検閲願った故神田喜一郎博士より調査研究上の有効適切な御助言御教示も頂いている。

本展示は上述の事情からおわかりのように文庫の全体を精査し特別な主題等を設けて選定したものではない。極言すれば、偶々目についたものうち、委員の関心を惹いたものを取り上げたものである。とは云え、そこには自らなる意識下の選択が為され、所謂、内藤学、もしくは本文庫の真髄を窺わずに足るものを展観し得たことは時にとってまことに慶賀すべきことである。

選定、解題、展示様態はすべて委員会の手に委ねたが、これに関わる一切の責任は勿論主催する本学図書館が負うものである。また解題に当っては執筆者自身の判断に従いその自由な意向に基づく筆とした。

文末に委員の貴名を記し、委員各位及びとくに甲骨解題の労を取られた伊藤道治神戸大学教授に深甚な謝意を表する。

最後に場所的制約上、期間中二回に分けて展示する遺憾をお断り申し上げる。

石尾芳久

大庭 脩

○奥村郁三

鍛治邦雄

藪田香融

竹本正幸

津川正幸

◎名取栄史

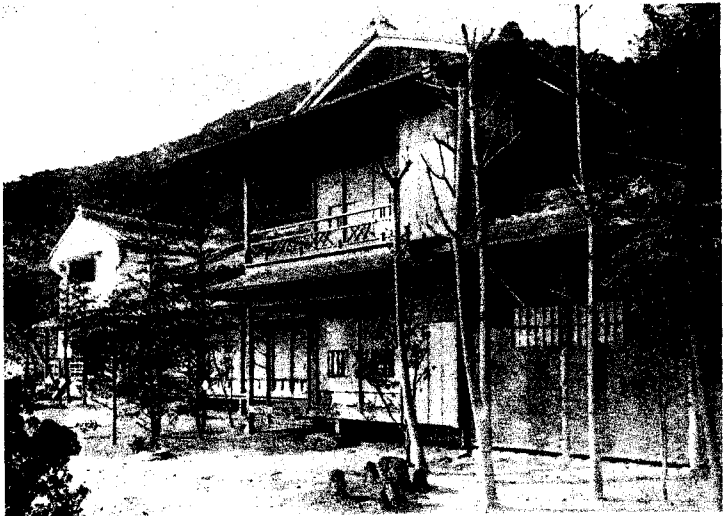
肥田皓三

福永光司

宮下三郎

◎館長が委員長を兼ねる

○は副委員長



昭和二年当時の恭仁山荘全景
京都府相楽郡加茂町瓶原

展覧期間

昭和六十年四月二十八日―六月二十九日

(但し図書館休館日を除く)

第一期 五月末日迄

第二期 六月末日迄

(期間を分けております関係上、展示室にない本目録記載の書籍類を
閲覧ご希望の方はメイン・カウンターへお申し出下さい)

「内藤文庫」について

「内藤文庫」の内容は、内藤虎次郎(湖南)氏と内藤乾吉(伯健)氏との旧蔵書からなる。湖南旧蔵書中には湖南の父、内藤調一(十湾、三余堂)氏(以上いずれも故人)の遺書が含まれている。総点数はまだ不明であるが、冊子体のいわゆる「書籍」は三万二千余冊である。質・量とも圧倒的部分を占めるのは湖南旧蔵書類で、湖南の蔵書印のあるもの、自筆の識語のあるもの、或はそれらのないもの等の冊子体書籍の他、拓本類、考古資料類・掛幅類・写真資料類、書簡資料類、個々の片断とした形の資料類等もかなりの量にのぼり、しかも今となつては貴重な資料群を形成している。これらは本学の「内藤文庫」の一つの特徴をなすものである。

湖南旧蔵書はむろんこれだけではなく、京大人文科学研究所や杏雨書屋、その他の公的機関にも分蔵されており、それらを参考にすることによって伝説的な湖南蔵書の全貌がほぼ明らかになると思われる。

内藤家から書籍類を本学に移管された直後、仮に図書館に山積みされた状態のまま、内藤家蔵書を知悉されている故神田喜一郎博士を煩わし、蔵書の一覧を請うたが、その際の神田博士の総合的所見は次の五項目である。この五項目の所見と、以下の個々の解題のうち「文史通義 稿本」(章学誠)「梵学津梁 稿本」(慈雲)の二点はその際、学内諸機関に対する説明と内藤文庫設置の対外公表用に備えるように、と直接起文されたものである。神田博士からはこの他内藤文庫の整理の大きな方針に関し貴重な示唆を得た。神田博士が道山に帰られたこ

とは痛恨の極みであるが、故博士の先師を思われる情と本学に対する暖かい援助を偲んでそのまま掲出する(簡明を期されたものであるため、以下にはそれぞれ「註」をつけて一般の理解に便ならしめた)。

神田喜一郎氏所見

(一) 中国学の各方面に亘っていて、哲学・史学・文学における重要典籍を殆んど網羅していること。それに仏教や美術に関した典籍も少なくないのが一つの特徴である。

(二) それらの典籍が多く善本であること。明代の版本や中国の諸鈔本が少なからず含まれており、中には海内の孤本ともいふべきものがあつた。

(三) 日本の古版本や古鈔本も多数存在する。その中にも海内の孤本が少なくない。

(四) 以上の書籍の中には湖南博士の自筆書入のあるものが少なくないが、これは博士の学問を知るに非常に貴重なものである。

(五) その他多数の掛物や屏風があるが、この中にも貴重なものがあつた。

(神田 喜一郎)

註 湖南の遺品は冊子体書籍の他、さまざまなものに及ぶが、収集の程度は自己の学問との関連ということで一貫している。展示に用いた甲骨片や封泥、百万塔陀羅尼などは歴史資料であると共に書誌資料であり、戴震の書、章学誠の書、羅振玉の書、慈雲尊者の書、山梨福川の書など全てそうである。趣味ではなく、湖南の学問体系の中にはまり込んだ資料類といふことができる。(奥村 郁三)

目次

Table with 3 columns: Page number, Title, Page number. Includes items like 1 文史通義, 2 梵学津梁, 3 貞觀政要, 4 幻雲文集付月舟録, 5 南史, 6 北史, 7 読史方輿紀要, 8 唐明律合篇, 9 春秋経伝集解, 10 困学紀聞注, 11 北斉道興治疾方, 12 元史, 13 歴代帝王編年互見図, 14 建州始末, 15 文移選要, 16 大唐六典, 17 故唐律疏議, 18 章夷翁先生年譜, 19 愆語, 20 説文解字注附部分韻等, 21 李氏蔵書.

Table with 3 columns: Page number, Title, Page number. Includes items like 22 李氏統蔵書, 23 五岳眞形圖傳, 24 高麗版大藏経, 25 華嚴経残卷, 26 百万塔・陀羅尼, 27 広橋家旧蔵「令集解」と「賊盜律」について, 28 稻川詩草, 29 山梨福川書「龍飛」, 30 旧拓孔宙碑, 31 甲骨片, 32 漢「出行図」画像磚, 33 漢の封泥, 34 慈雲尊者書「雲門云日々是好日」, 35 章学誠「与朱少白論文」並に自筆跋, 36 「拓室因添善本書」 林則徐書, 参考出品, 1 「少見多怪」内藤虎次郎(湖南)書, 2 「宇治橋擬宝珠銘」内藤乾吉(伯健)書, 内藤虎次郎小伝, 内藤乾吉小伝.

1 文史通義 稿本

清・章学誠撰 十八冊

稀覯書として特にあぐべきものの第一。天下の孤本である。清朝の特異な学者で、今日世界的に有名になっている章学誠の十八冊に及ぶ稿本である。大正のはじめ内藤博士がこの稿本を得られ、章学誠の学問を顕彰されたのがきっかけとなって、はじめて中国でも章学誠の学問の真価が知られるに至ったのであって、中国学史上記念すべき書物である。

なお、章学誠自筆の掛幅もあるが、これは中国にも存在しない珍品である。
(神田 喜一郎)

註 章学誠(一七三八一—一八〇二)字は実斎。清朝考証学が一世を風靡する中で一種の史論を立て、精密な構成を以て独自の経学・史学の研究法を「文史通義」に於て展開した。湖南がその真価を論じたのはこの稿本によってであり、胡適など大いに驚いて章学誠研究を深め、のちこの書を見るためわざわざ湖南の京都宅を訪れたという。

右稿本は「章氏遺書」で湖南は「旧鈔全集本」と呼んでいる。全体は文史通義九卷、校讐通義四卷、文集八卷、湖北通志校讐稿四卷、外集二卷、湖北通志未成稿一卷の他、乙卯割記、丙辰割記、知非日札、閱書劄記、雜文各一卷で計十八冊である。編次は王宗炎(章学誠が晩年草稿整理を依頼した)で、ほぼ各巻に筆写者の名が記されている。目録部分の朱筆は湖南のものである。湖南遺書中、現在判明している章学誠関係の書物は「章実齋文」(鈔本、二冊。また章实齋未定稿とする)「文史校讐通義」(鈔本、六冊)「章氏遺書、文史通義・校讐通義」(道光原刻本、五冊)「章氏遺書、文史通義・校讐通義」(浙江書局補刊本、五冊)「章实齋先生遺書」(宣統二年鉛印本、

四冊)「章氏遺書」(浙江図書館鉛印本、十二冊)「文史通義補篇」(雲鶴閣叢書、第四集、一冊)「文史通義・校讐通義」(光緒十九年刊本、四冊)「文史通義論語」(志古堂刊本)の他「乙卯割記」「丙辰割記」「章实齋信據」「章实齋文鈔」各一冊であり、近時のものとして「章实齋先生年譜」(胡適著、一九二二年、商務印書館)「章实齋年譜」(胡適著、姚名達訂補、一九三二年、中国史学叢書、商務印書館)である。
なお「校讐通義」は「文史通義」と並んで重要な著作であり、中国の目録の学を真に学問として大成させたものといわれるものである。
(奥村 郁三)



2 梵学津梁 稿本

日本・慈雲撰 三冊

慈雲尊者はわが国ではじめて本格的なサンスクリット学を創始した、世界的に知られた江戸時代の碩学である。尊者は大阪の人であるから、大阪にある大学として特に貴重すべきものである。(神田 喜一郎)

註 梵学津梁は全部で一千巻という大部なものであって、この書はそのうち、巻三二〇、末許第二十二、「梵文金剛般若経諸訳互証」一帙三冊である。「炳燭審定善本」の印一顆がある。慈雲尊者(一七一八一—一八〇四)は葛木山人とも号し、晩年、河内高貴寺に住した。そのサンスクリット学は研究の水準の高さにおいて中国にも世界にも誇れる先哲である。湖南は尊者の学問に敬服し、顕彰に努めた。
(奥村 郁三)



3 貞観政要 鈔本

唐・吳兢撰 十冊



十巻。六行、行十三字、胡蝶装、平古止点つき。「湖南秘極」の印一顆があり、また巻十末尾に「松下見林藏書」と署している。もと菅家が伝えた秘本で、後、松下見林(一六七三—一七〇三)の手に帰し、遂に湖南の架蔵する所となった。室町末鈔本といわれている。この有名な鈔本の通行の諸刊本は「元」の戈直が校訂刊刻したので始めてあるが、戈直が拠った原本の姿は不明である。ところがこの鈔本は戈直の刊本の以前に我が国に伝来した貞観政要を写しており、不明の原本の姿を止めるとともに通行本とかんがりの相違を示し、通行本を校訂することができる。学術上貴重な鈔本である。胡蝶装は書物が卷子体から冊子体へ移行する過渡の装訂であり、平古止点は訓読みの原点でそれぞれ内容とは別に書誌学・言語学上の別個の資料を提供している。

貞観政要は唐の太宗が群臣と政事を論じた語を編した書。治世の書で歴朝の天子が尊崇し、我が国でも皇室をはじめ、源頼朝や北条氏、徳川家康なども尊崇した。家康は慶長五年（一六〇〇）に開板し、紀州藩も文政六年に刊刻したが、いずれも戈直本である。（奥村 郁三）

4 幻雲文集付月舟録 鈔本

月舟亭桂撰 三冊



不分巻。寛永鈔本。「炳卿珍藏旧槧古鈔之記」の印一類あり。内容は記・説・序・銘・月舟和尚住東山建仁禪寺語録・贊・辞・跋・書簡・文集付北征集で語録（月舟録）が最も量の多いところである。湖南の御自慢の書物で、のち統群書類従に収められたものの原本である。月舟亭桂（一四六〇—一五三三）は室町後期の臨済の高僧で月舟は字、幻雲は号である。五山文学の中で重要な位置を占める。禪林における位置はもちろん、奈良平安と江戸時代にはさまれる五山の学問・文学の重要さはいうまでもないが、月舟は絶海中津の系譜で建仁寺を中心活躍した派に属する。（奥村 郁三）

5 南史
6 北史

唐・李延寿撰 二十冊
唐・李延寿撰 三十冊

共に北監本の原本。南史八十巻、北史百巻。款式はほぼ同じ。十行、行二十一字（南史32x14.2、北史31.7x14.2）、板心に南史は「万曆三十一年刊（一六〇三）、北史「万曆二十六年刊」（一五九八）、印記は「篋竜氏」及び「炳卿審定善本」。黄絹包背装。万曆中、北京の国子監で刊刻した十三経注疏、及び二十一史（史記から元史までの明代に存在した二十一種の正史）が北監本で、十三経注疏は万曆十四年から同二十一年に、二十一史は万曆二十四年から同三十四年に成立した。掲出の南・北史はこれである。表紙は少損しているが、原装の美麗さを十分維持しており、中は上等の白綿紙を用いた美本である。

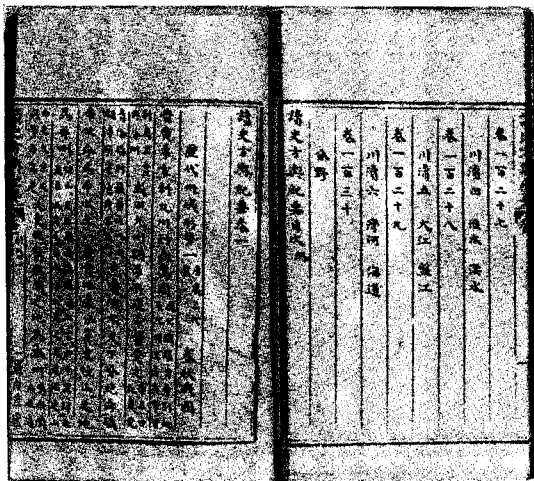
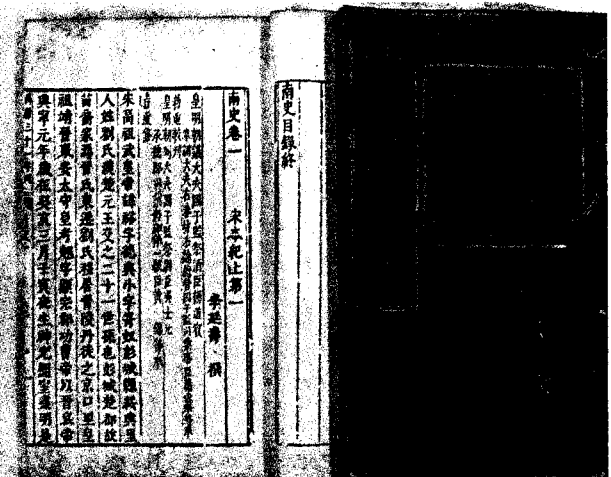
南史は八十巻で、宋・武帝・永初元年（四三〇）から陳・後主・禎明三年（五八九）の間の宋・齊・梁・陳の四王朝、一七〇年間の歴史、

北史は一百巻、北魏・道武帝・登国元年（三八六）から隋・恭帝・義寧二年（六一八）までの北魏・北齊・北周・隋の四王朝、二三三年の歴史である。南・北史はいろいろ特徴があって、史家の議論となる所であるが、例えば文章が古文を盛んにする気運を押し進めたこと、列伝の体が一個人一個人でなく、家伝を記してその中に個人の伝を入れ、また隋代を隋・唐と一括して把握せず、北朝の中に位置づけていることなどであり、それぞれ当時の思想の一端を示しているものである。（奥村 郁三）

7 読史方輿紀要 鈔本

清・顧祖禹撰 二十七冊

百三十巻であるが、そのうち存巻は巻一八、三七、三八の三巻二冊を欠く巻四十（山西二）迄の二十七冊。九行、行十八十九字、烏絲欄の用紙を用い板心部に「清白草廬」とある。印記は表紙に「雲煙家藏書記」他がある。この書は広雅書局本や圖書集成局排印本などがあるが、それらの稿本と思われる。刊刻諸本と比較することによって正誤補欠することができる。特に首部が残されていることは有益・貴重である。



この書は中国歴代州域の形勢を論じ、地名とその変遷をのべたもので、歴史地理学・地志の基本文献である。「水経注」(北魏 酈道元)や「天下郡国利病書」(清・顧炎武)と共に地理の三大書と称せられる。顧祖禹は攻守の形勢なども説き、ために張之洞は「書目答問」で「兵書」に分類している。顧祖禹(一六二四—一六八〇)字は復初また景范、宛溪先生という。顧祖禹はこの大作一部があるだけだが総序で述作の由来をのべ、また古来の地志に対してそれぞれ判断を示し、体系だった歴史地理の指針を与える等不朽の名著とされる。

(奥村 郁三)

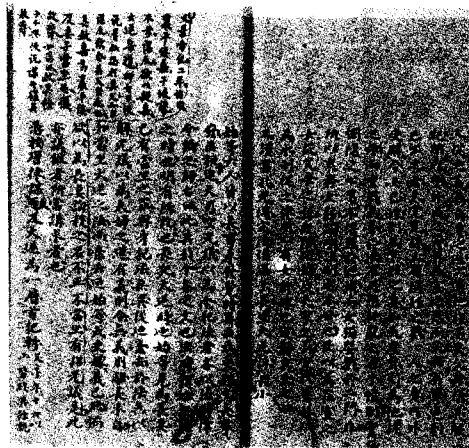
8 唐明律合篇 稿本

清・薛允升撰 二十六冊

孤本。この書は民国十一年(一九二二)に天津・除氏退耕堂刊本があり、また一九三七年に「万有文庫」にも収められたが、そのもととなった自筆稿本である。書名を唐明律合篇でなく唐明律「合刻」と称している他、編次に諸本と大差がある。通行の「合篇」は巻毎に「唐律」を本文のみあげ、次に明律を唐律にすぐつけ、そのあと唐明律の得失を論じる形である。この書はまず「唐律疏議」を全部あげ、次に明律をあげ、いわば前後二部に分けている。唐律部分三十卷、明律部分三十卷である。唐律部分は、沈家本が光緒十六年(一八九〇)に孫氏岱南閣本から重刻した「重刻唐律疏議」を薛允升がさらに校訂を加え、光緒十七年に「重校刊唐律疏議」として上梓したものをを用いて、それをさらに自ら校訂しているものである(十行、二十一字)。第十三冊目以下が明律部分であるが、その首に「唐明律合刻序」をつけ、

これ以下底本なしの鈔本である(十行、二十一字)。また、日本官板「故唐律疏議」に付された勅廷儀序その他をつけている。沈家本は「唐律疏議の伝刻に二種あり、一は東瀛本(日本官板)で一は孫氏岱南閣本であるが、東瀛本は偽舛はなは多く以て参考に資するに足らず」と一蹴したが、薛允升は参考に資したとみえる。重刻のテキストとしては孫刻を用いるのがよいという意味では沈家本の発言は是としなければならぬが、内容については当然のことながら日本官板を二蹴することはできない。そのようなこともあるが、この書は唐・明律の比較研究の意義が重要である。この二つの律の相違は中国法の変遷を知る基本問題にかかる。従ってこの稿本の存在が学術上貴重な材料を提供するわけである。

(奥村 郁三)



9 春秋経伝集解 慶元古活字本

晋・杜預撰 十五冊

三十巻。八行、行十七字(20.1 x 16.3)、四周双边、黒口で「炳卿珍藏旧聚古鈔之記」の印記がある。湖南は明治三六年に丁寧な識語を記している。大要は「旧刻本左伝十五冊のうち第一巻—四巻、第十一巻—十二巻の六巻三冊は慶元の際の活字板本で、第五巻—十巻、第十三巻—二十巻、第二十五巻—二十八巻の十八巻九冊は寛永前刻本で、以上いずれも清岡長親卿手沢本である。第二十一巻—二十四巻、第二十九巻—三十巻の六巻三冊は版もずつと降る。これには有職の正墨印があるので、中原家旧蔵か。第一、二巻は破損もつとも甚しく、第十一巻は巻首二葉が欠けている。異日抄補すべきである」というものである。長親卿手沢本という根拠は慶元古活字本と寛永前刻本を通じて長親の自署がみられるからである。

識語の最後に「異日抄補すべし」とあるのを受けて、伯健は第十二巻首二葉を鈔補し、「首二葉以家蔵古活字本(其板与此本微異)鈔補昭和十三年十二月十三日 乾吉」と記した。家蔵古活字本とは、昭和十年大阪府立図書館の湖南旧蔵善本の展覧に供され、その際の図録「恭仁山莊善本展覧目録」(国宝十点を含む九十五点が展示された)中にみえる古活字本春秋経伝集解である。「微異」とされたのが具体的にどのような点で、如何なる問題を含むかは今後の課題である。湖南・伯健二代の手が入った書本である。

春秋経伝集解とは、元来春秋の経と伝とは別別にあつたものを杜預が両者を合せて一つにして注を加えたものである。杜預(二二二—二

八四)字は元凱、晋の武帝の統一に功をたて鎮南將軍を追贈された。左伝につき、漢代、賈逵・服虔の注があつたが早く亡び杜注長く伝えられた。

(奥村 郁三)



湖南の蔵書には湖南自身の書き入れのあるものが多く、例えば愛蔵の善本、稀覯書にその書物の由来や性格を記した(9の如し)が、それはそのまま無類の書誌学研究の指針となるものであって、湖南の書き入れが一字一句見逃せないのはそのためである。内容・形式とも単なるメモではない。

内容に立ち入った註記もまたあるが、この書はその代表のようなもので、世上有名になっている。「困学紀聞」は宋の王應麟(一二三三—一二九六、字は伯厚、号は淨寧)の撰で、同じ撰者の「玉海」と共に宋末に出た経籍考証の割記でその後の史学に重大な影響を与え、清朝考証学の淵源となった。清の閻若璩・全祖望・錢大昕等による「困学紀聞七箋」とか、同三箋とかの研究書があるのはそのためである。

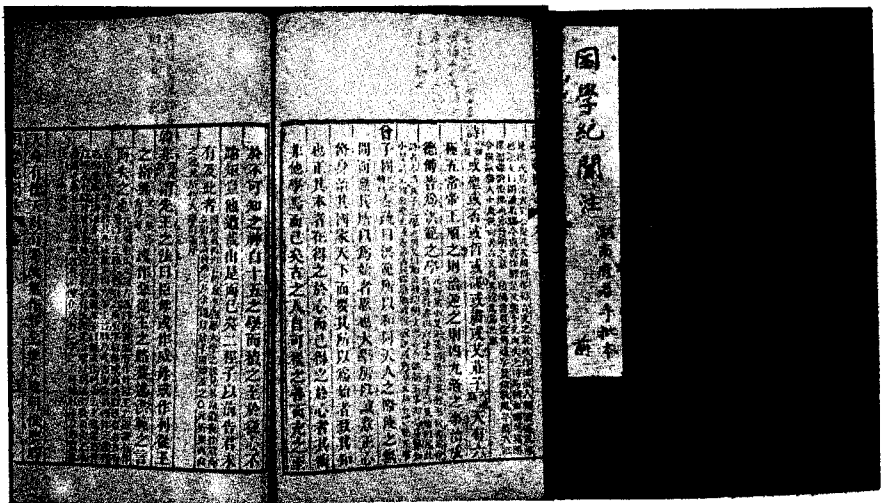
湖南手批本の底本は清の翁圻注する所の「困学紀聞注」二十卷(道光五年、翁氏守福堂刊本)である。今、この書の標題を「困学紀聞注 湖南手批本」として掲出したのは、右の七箋とか翁注困学紀聞と同性格の湖南注困学紀聞であり、湖南の学問を知る上で極めて貴重な書であるからであり、また、伯建がこの書を新たに装訂し直した際、帙の外題に「困学紀聞注 湖南府君手批本」と記していることによる。右の外題でわかるように、伯建またこの批考本を尊重したが、伯健歿後、その机上の最も手近な所に置かれていたことから常に坐右に置いていたことがわかる。この書も父子に受け継がれた学問と深く関係する。(奥村 郁三)

11 北斉道興治疾方 鈔本

北斉・道興撰 一册

洪江抽斎自筆鈔本。不分卷。十行、行二十字不等。印記は「炳脚審定善本」「湖南秘板」の他「弘前医官洪江氏蔵書」、岡氏、森氏の蔵書印がある。湖南の識語によると明治四十年(一九〇七)幸田巨浪(成友)から贈られた。慶応元年(一八六五)森約之の識語がある。

金石萃編卷三十五に「都邑師道興造石像記並治疾方」として造像記とともに収録されているものの写本で「治疾方」という名の示すように、さまざまな病状毎の薬の調合法を記したもの。抽斎の研究生活の一端を示す鈔本である。この文章の原碑は洛陽郊外、伊闕山龍門、西山南部薬方洞洞口通路北側にある。北斉・後主・武平六年(五七五)の造。この本の抽斎の標題は「北斉道興治疾方」である。



洪江抽斎(一八〇五—一八五八。名は全善、字は道純、抽斎はその号)は市野迷庵、狩谷掖斎に師事し、また医師であった。森枳園らと共に「経籍訪古志」八巻を編したが、この書はかえって中国でその真価が認められ、光緒十一年(一八八五)明治十八年)、上海で刊行され、その後有名になった。(奥村 郁三)

12 元 史

明・王禕 宋濂等奉勅撰 四十五册

明・洪武三年(一三七〇)内府刻本で遞修本。二百十卷、十行、行二十字(8.4x16.1)。卷五十二以下に原刻の姿をとどめている。明代最初の刻本で元史編纂(洪武二年)の翌年に刻された。これが洪武三年刻本であることは、百衲本元史が完好な洪武三年本(在南京)の影印でそれと較べると板式書体はもちろん、板の割れ目の線なども一致することからわかる。但、保存状態は良好でなく、板も磨耗しており、板自体に拙劣な修理のあとがみられるものもある。また次々と補刻されており、嘉靖年間(一五二九)から万曆、天啓、崇禎、清朝の順治、康熙、雍正に及ぶ。また、完全に欠落している部分(特に首巻から五十一巻までにみられる如く)は南監本元史で補填し、この南監本自体も補刻がある。また補鈔部もあり、それにも洪武本や南監本によるものがある。このように複雑な構成を持っている元史であるが、中心は洪武本であること疑いなく、このこと自体貴重本であるが、一つの板が長く使用され補修され続けたことよって各代の特徴もみえる上、南監本で補填している姿を含め、板本の変遷を知る一つの典型といえる。こうした書本の実物を間近に見られることは有益の一語に

つぎる。

元史は元一代の正史、あまりにも短時日で成立したため後世その体系に批判があるが、かえって史料として手を加えないままのものがあ

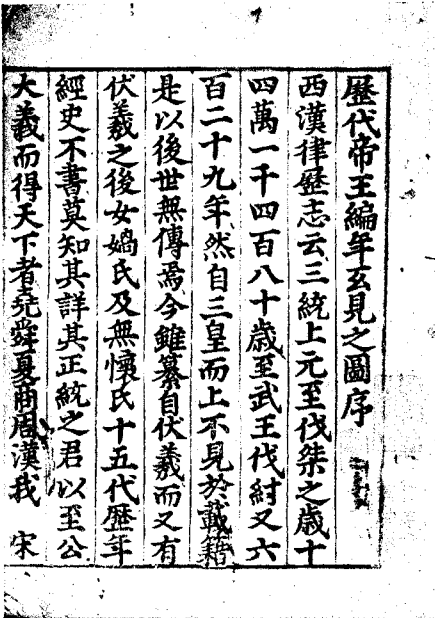
(奥村 郁三)



13 歴代帝王編年互見図

宋・馬仲虎撰 一冊

不分巻。寛永六年(一六二九)の刻、八行(24.3x19)。一種の年表である。「炳卿珍藏旧槧古鈔之記」の印の他勝鹿文庫、森氏、松本氏の蔵印がある。巻末に繁台・馬仲虎編とあり、宋・高宗・乾道三年(一一六七)の贊皇紀の書後(原初の姿)、次に日本・御田融天皇・永和二年(一一三六)重刻の刊記がある(この書本の原初の姿)。跋は寛永六年(一六二九)謙庵道慶と「朝鮮国江陽君苗裔」李真栄との二跋があり(この書本の最終の姿)、跋中に考証を加えている。森枳園の手に帰し、枳園は明治十年(一八七七)、右の二跋をもとに識語を付し解説している。それによると松本幸彦(痴庵主人)の「古板録」(天保七年、一八三六年成書、一卷)中に「歴代帝王編年図古板一本」と著録されているのがこれである。原刻本が韓国本であることは板式・字体からわかる。それが原初の姿をそのまま写しているのは宋・孝宗を「今上皇帝」といい、匡胤(太祖の諱)、恒(真宗の諱)を避けていることからわかり、永和の重刻はその忠実な模刻で、さらに板坂卜斎(小田原役に徳川家康に従軍した儒医)が模刻して伝えたものだという。いずれにせよ原刻の姿を忠実に伝えたもので、書誌的には高麗板の姿を示し、むろん稀覯本であるが、室町以前の時期における日本と韓国(高麗朝)との文化関係を示す一つの書物でもある。なお印記中の「勝鹿文庫」は井上幸彦の蔵書である。湖南蔵書中には韓国板もかなり含まれるが、その一つの例という考えから掲出した。(奥村 郁三)

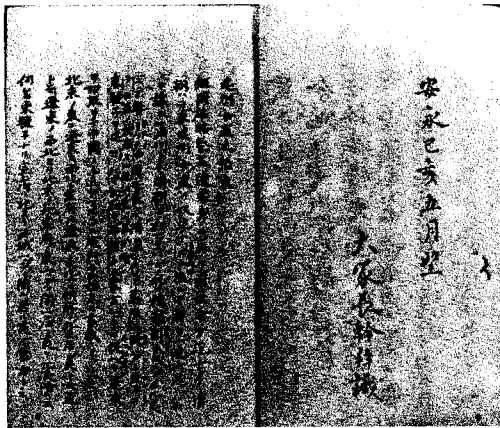


14 建州始末 鈔本

荻生北溪撰 荻生徂徠訂 一冊

滿住といい、自身は滿州汗と称した。太宗に至ってその地の氏族名を始めて「滿州」と称した(もともと「滿州」は民族名で地名でない)。清朝は滿族の王朝であるから、清朝の研究は当然建州の盛衰の研究が付属する。北溪はわが国清朝研究の草分けであり、この草稿本は日本最初の清朝研究という学問史上の位置を占めるものである。この草稿本の流伝は北溪の死後、子の仲直から大家長幹の叔父に譲られ、さらに長幹の手に譲られ、長幹は家の「十襲の宝」とすると感激の意をこめて識語をかき、草稿の始めに綴じ込んだものである。湖南は清朝研究について、精力的に開拓した近代のパイオニアであり、湖南の学問の一端を示す表現として掲出した。(奥村 郁三)

和文、不分巻。草稿本である。十行、行二十六、七字不等。「浅草文庫」「水山文庫」の印記がある。安永八年(一七七九)大家長幹の識語、明治三十年(一八九七)北沢乾道の跋がある。表紙裏に大槻如電(一八四五—一九三一)が明治四十六年(一九三九)大正二年。大正天皇踐祚前であるので四十六年とした)に湖南に割愛する旨記している。荻生北溪(一六七三—一七五四。徂徠の弟、名は惣七郎、また観、号は北溪。物觀ともいう)の稿本に徂徠が朱筆で補正したもので、浄書されたものは幕府に差し出しているが、その草稿本である。内容は明代における建州の形勢を論じたもの。建州とは中国東北吉林省を中心とする地名。滿族興起の地で、清の太祖がその地を統治し





万曆二十八年(一六〇〇)、金陵書房刊行、二卷。十二行行二十四字(22.3x13.5)。中に挿入された伯健のメモに「湖南秘極」と註記されていた。新しく修理されているがその際何等かの理由で印記が失われ、ために伯健がメモを挿入したのと思われる。稀覯に属する。

内容は中央諸官司で往復する文章の例文集である。張希暉はこれを「牒語」と呼び、一般に牒語を申しむのはまちがいで、信を示し、情をのべ、盟を成し、約をたすのは牒(公文書)がなかったら、通することはできないではないか、といっている。「擬」「咨」「移」など

興四年(一一三八)刊本である。昭和五年(一九三〇)、湖南の情報と指示で玉井是博氏が北京でその全貌を知り、驚喜して日本に紹介した。

伯健の校訂は朱字と藍字を用い、朱字はこの新発見の宋刻六典により、藍字は「職官分紀」(宋・孫逢吉撰、六典の逸文がある。家熙木見)による。以上のことから伯健校訂本は六典テキストの一つの到達点に位置する。なお「唐六典」(唐・玄宗皇帝撰、李林甫等奉勅注)は開元二十六年(七三八)成書、開元最盛期に当時の法と制度を以て統治の理念を表現しようとしたもので、法の全史を通じての基本文献である。

(奥村 郁三)



の規定の文書の中に「切惟」とか「貴院煩照咨文内事理」とか「爲此合咨」とかその他の語を文中の一定の場所に使用するスタイルが、この文例から伺うことができる。湖南は大正三年(一九一四)以来、京都大学の演習で、唐以後、元・明・清の公牘をとりあげ、大正九年まで続いている。その内容は知らないが、この本などはこのような演習と関係があるかも知れない。

(奥村 郁三)

16 大唐六典

伯健校訂本 十五冊

底本は近衛家版六典の大正新印本で珍らしいものではない。伯健の学問の一端を示すものとして掲出した。標題を「大唐六典 伯健校訂本」としたのは、学者の綿密な校訂を経ることによって底本は生れ変わるからである。

底本は三十巻。八行、行十八字、注文十七字で享保九年(一七二四)刊刻の近衛家蔵版本と大きく、内容、冊数すべて同じものである。この書は近衛家歴聖世の研究であった「唐六典」校訂事業の成果としてでたもので、普通近衛家版六典と呼び、今世紀宋刻六典が広く知られるようになって後も最上のテキストとして使用される。宋刻六典の存巻は全体の半分であること、家熙の校訂が詳細で適格な方法をとっていることによる。近衛家熙(一六六七—一七三六、預楽院、撰政太政大臣)は古今の制度に通じ、書画茶花に通じ、当時第一級の能書家・智識人であった。六典校訂には前後二十年をかけ、精力この書に尽くるもの、といわれた。なお、宋刻六典は現在北京図書館、北京大学図書館、南京博物館に分蔵され、全三十巻のうち十五巻を存し、紹

17 故唐律疏議 鈔本

唐・長孫無忌撰 十六冊

清代の精鈔本。三十巻。九行、行十八字。終始一筆でいささかの乱れもない。また朱筆の校点・案語があるが、これらも本文と同筆であって、案語も含めてもとの鈔本を忠実に鈔写したものと考えられる。

「故唐律疏議」としては元・泰定四年(一三二七)の刻本が最も早く、諸刊本はそれからはじまるとしてよい。現在、滂喜齋本故唐律疏議がそれに擬定される可能性があるが、仁井田陣博士と伯健との論争がある。今後残された問題は泰定原初本の姿をつきとめることであるが、それには日本や中国に残されたいくつかの鈔本の検討をきめ手とする他ない。滂喜齋本の正体もそれによって知ることができ。ただし、滂喜齋本と諸鈔本が一致することが多いからである。例えばこの鈔本の九行、行十八字は滂喜齋本や他の元刻残巻と一致し、巻三の錯簡部分は錯簡のままの忠実な模写であるが、それをもととの姿は十行行十八字であることが認定でき、また板本では日本官板「故唐律疏議」にのみ付されている泰定本刊行当初の「議判唐律疏議官職名氏」があり、泰定本直系と考えてよい。これらのことから、この精鈔本は述上の問題の手がかりを与える諸鈔本のうちの貴重な一本である。

「唐律」及び「律疏」という中国法史上、もつとも重要な法典の全貌は「故唐律疏議」によってのみ知ることができるので、学術上、その重さはいうまでもない。

(奥村 郁三)

田、史学では錢大昕、邵晋涵、小学では段玉裁・王念孫・王引之と並び称された大儒であった。金石の学、古代文字の学が如何に発達しても段注説文の助けを借りなければならぬのはいうまでもない。

今、この書を見ると、王念孫や戴震(音均表)の序、説文各篇のそれぞれの校字者の名に姚鼎、王引之、阮元、顧广圻等、清朝學術の錚錚たる大家が名を連ね、文字通り庄巻である。内容の充実、加えて板の精好、湖南が「炳卿審定善本」と印したのも当然である。原刻本が稀少となった現在、清朝考拠の学と史法をわがものにし、新たな史学を構築しようとした湖南の学問を表現するものとして掲出した。

(奥村 郁三)

21 李氏蔵書

明・李贄撰 二十八冊

22 李氏続蔵書

明・李贄撰 二十四冊

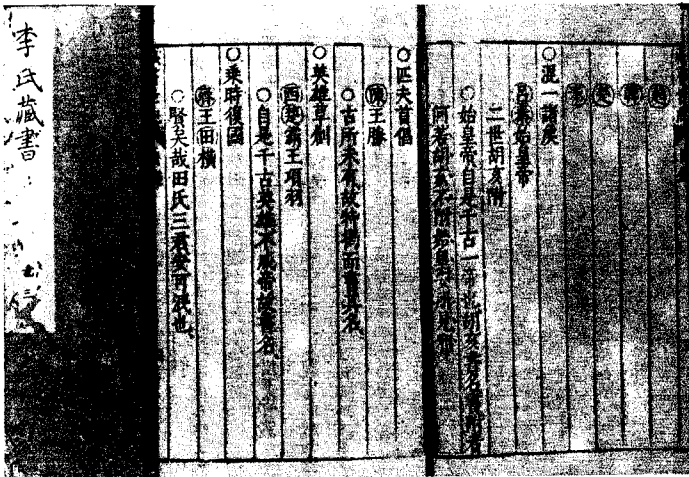
「蔵書」六十八巻。九行、行二十字(88×143)。万曆二十七年(二五九九)焦竑序等四序、同年方時化書後がある。「續蔵書」二十七巻。十行、行二十二字(81.1×113.6)。天啓三年(一六二二)陳仁錫等三序がある。中に「温陵李載贄 輯著 古吳陳仁錫 明卿評正」といい、欄外刻がそれである。湖南はもう一種の「蔵書」を所持し(焦竑序から巻二まで、一冊のみ)、それは各序の順序に入らあり、全体の編次が異り、匡高も違う。従って「續蔵書」とともに、明刻とすることを除いて刊年や出版事情については今、仮りに留保しておく。「蔵書」とは自己のためのもので人に示すものでないとの意で名づけ

られた。「蔵書」は戦国から元まで、「續蔵書」は明初以来のそれぞれの人物評伝である。
李贄(一五二七—一六〇二)字は卓吾、号は宏甫、温陵居士等。嘉靖三十一年挙人。陽明学左派に位置する。官途を歩いて万曆八年、雲南省姚安知府で解職さる。その思想の過激さの故に捕えられ、万曆三十年北京の獄中で自死した。その主張は「蔵書」に示された古今人物の褒貶に現れる。始皇帝を以て千古の第一帝とし、呂不韋を以て智謀といい、李斯を以て才力といい、馮道を以て吏隠とする等々である。これらの人物はいずれも悪逆無道、義理なき人物と評価が定まっていた人である。人心を惑わし聖人に背くもの、李贄より甚だしきはなしとして弾劾され、万曆三十年禁書となり既刊未刊とも焼棄されたが、民間ひそかに読まれ伝えられた。清朝また禁書で、四庫提要は目のみ存し、聖を非とし法をなみするの書で目に存するのは罪をあばくためである、としている。中国では清末民国になってから自由思想の先駆として評価され始め、革命後、一九五九、六一年に新たに出版され、見るのに容易となった。

湖南はこの書を明治三十四年(一九〇一)五月に入手したことを歎に記しており、同年八月に雑誌「日本人」でとりあげ評論した。湖南はこの論文の終りに「激蕪」の如し、といい、盛夏の際だから一服の清凉剤としてすすめる、と結んでいるが、高く評価したことは提要は「此書、孔子を排撃して別に褒貶をたて、凡そ千古相伝の善悪、顛倒位を易えざるなし」というが「其の断断乎として一家の見を出し、敢て孔子の奴隷たらざる見るべし」と断じていることからわかる。わが国では吉田松陰が傾倒したので、湖南が第一番に評価したというわけ

ではないが、明治三十四年の時点でのこの発言はやはり特筆さるべきである。なお、松陰、名は寅次郎、湖南の父十湾は松陰を敬服して止まず、因って以て子に虎次郎と名づけたという。(奥村 郁三)

(奥村 郁三)



23 五岳眞形圖傳 一巻

日本・大江匡綱撰
安永四年 皇都書林清雲堂刊本

撰者の自序(漢文)によれば、安永三年(一七七四)三月、宮家から匡綱に唐刻の『五岳眞形図』が下賜されたので、その「傳」(解説文)を国字で書いたのが本書であるという。巻首に明の杜方照の五岳眞形圖傳序を載せているのによれば、本書の内容は「日本国の五岳の方位並びに辨」の一条を除き、他は悉く杜氏の「傳」によって国訳したものと見られる。



24 高麗版大藏經(新摺本)

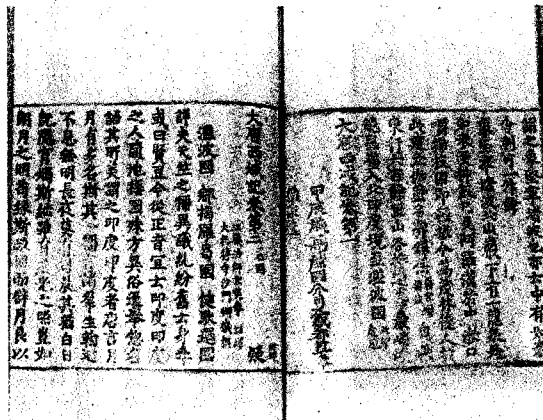
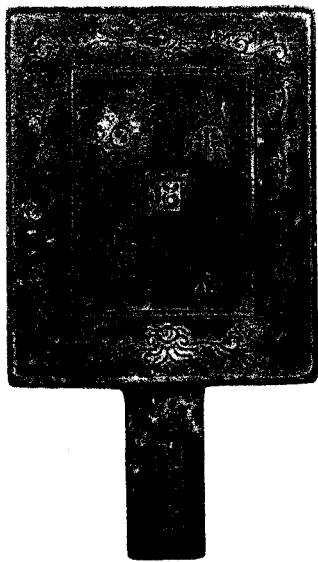
十一冊

- (イ)大藏目錄 三卷一冊
- (ロ)大唐大慈恩寺三藏法師伝 十卷三冊
- (ハ)高僧法顯伝 一卷一冊
- (ニ)大唐西域求法高僧伝 二卷一冊
- (ヘ)南海寄帰内法伝 四卷一冊
- (ホ)大唐西域記 十二卷四冊

五岳真形図は、五岳すなわち東岳の泰山、南岳の衡山、中岳の嵩山、西岳の華山、北岳の恒山のそれぞれを神秘的に図形化して一種の携帯用護符としたものであり、古く道教の古典『抱朴子』(遐覽篇)などにその靈力が記述されているが、わが国では江戸の中期以後、とくに文化文政の頃に一部の知識人たちに愛用されている。なお、併せ陳列されている白銅製の五岳真形図一枚は、その製作年代を詳らかにしないが、山城の国で鑄造されたことが銘記されている。

ちなみに湖南先生はまた戊午の歳(大正七年)九月には、『抱朴子』にやや遅れる道教の神字奥義書『真誥』(運題象篇)に載せる女真・右英夫人の五言詩「玄波振滄濤、洪津鼓萬流」以下八句四十字をも軸物として揮毫されている。

(福永 光司)



仏教の經典・論書などを総集した叢書が大藏経もしくは一切経という。インドでは早くパーリー語の三藏(経律論)があり、仏教が流布するにつれて、漢語・西蔵語・蒙古語等に翻訳され、それぞれの大藏経が成立した。なかでも最も完備したものが漢訳大藏経であることはいままでもないが、唐の開元録で一〇七六部(五〇四八卷)、貞元録で一二五八部(五三九〇卷)を数える。

印刷された大藏経の最も早いものは、宋の太祖の開宝四年(九七二)の、いわゆる蜀版大藏経(五三〇七卷)であるが、この蜀版を底本とし、さらに厳密な校訂を加えて開板されたものが高麗版大藏経である。当時、北方の契丹の侵略になやまされていた高句麗は、顕宗朝から文宗朝のころ(一〇一〇—一〇八二)に、国難除去の願いをこめて、国家の事業としてこれを完成したという。さらに文宗の第四子、僧義天は、宋・契丹・日本にも聖教を求め、統大藏経四千余巻を刊行し、高麗版はますます完備された。高麗版の板木は大邱郊外の符仁寺に保管されていたが、高宗の十九年(一二三二)に侵略してきた蒙古兵のために焼かれてしまった。この年、王室は逃がれて江華島に遷ったが、高宗の二十三年(一二三六)、蒙古折伏の折願をこめて再び彫造の業を起し、同三十八年(一二五二)九月に完成したものが、現在、慶尚南道の伽耶山海印寺に保管される大藏経の板木である。板木の総数は八一、二五八枚、その両面に二三行一四字詰の経文がぎっしりと刻みこまれ、合計一五二四部(六五九八卷)を数える。板木はすべて樺木材を用い、三年間海水に浸したあと、さらに数年塩水で蒸してから乾燥したもので、版刻技術の粋をこらしたものである。しかもその内容に、一字一画の誤まりがなく、完璧なテキストだといわれて

いる。明治以後日本で刊行された縮刷大藏経や大正新脩大藏経が、この高麗版を底本としていることから、その優秀さが察せられよう。

内藤文庫所収の高麗版大藏経は、高麗時代の古摺本ではなく、日本統治時代の新摺本である。(イ)「大藏目録」に挿入された年月不詳、湖南宛松本寅吉書翰によれば、「藏経ハ今回宮内省ニ一部印刷シテ国宝ニ編入、其上ハ一切印刷スル不能事ト相成候」とあり、国宝指定直前に、在韓中の松本を通じて入手した事情が判明する。このとき湖南は、「貞元新定釈教録一三〇巻、「同統」一卷(合一四冊)、「一切経書義」一一〇巻(四四冊)以下、九部九四冊を代価四〇一円七六銭で購入したのであるが、今回は標記のもののみを展示した。

以下、展示の書目の内容について簡単にふれておこう。

(イ)「大藏目録」三巻は、高麗版大藏経の日録である。現在、海印寺に蔵される高宗再雕のものであるとはいってもない。

(ロ)「大唐大慈恩寺三藏法師伝」一〇巻は、有名な玄奘三蔵(五九九—六六四)の伝。序によれば、はじめ慧立が撰述し、五巻であったものを、のち垂拱四年(六八八)彦惊が増補して一〇巻としたことがわかる。玄奘伝の根本史料である。

(ハ)「高僧法顯伝」一卷。法顯(三二四—三九九)が、みずからインドに赴いた時のことをしるした紀行文である。玄奘の「大唐西域記」(後述)とともにインド仏教史研究の好資料とされている。

(ニ)「大唐西域求法高僧伝」二巻、唐の義浄(六三三—七一三)の撰。唐の貞観より天授年中(六三三—六八〇)にいたる五〇年間に西域に求法した高僧の事績を集録したもの。すべて六〇人の伝記を挙げる。永昌元年(六八九—六九二)のころ、義浄がインドよりの帰

であるが、本華嚴經の旧写分と書法甚だ相似しており、おそらく同一人の書写かと思われる。滋惠堂帖には、曾省軒が跋を加えてそれを唐人の書とするが、これまた同じ誤まりを犯したものである。

その他、湖南藏、宋の元祐五年（一〇九〇）の李訥写の涅槃經殘卷、大阪の田村太兵衛旧藏の法華經等、みな唐の書法を襲っているが、その実は唐代の書でない。清代の学者は、これを唐代の書とするが、それは誤まりである。こうして湖南は、本華嚴經の旧写分（第四十卷）を明初の写であろうと断じている。

x

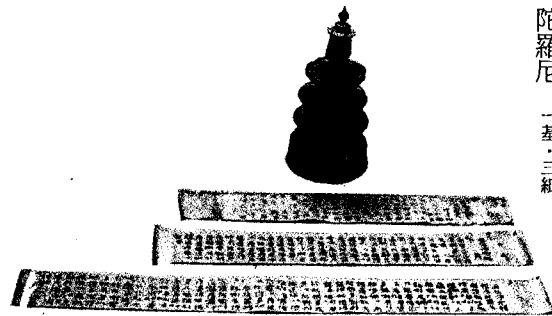
湖南が本残卷の旧写分を明初の写と推定する積極的な論拠は、同卷首の経題下にしろされた「大和寧國藏」の五文字にもとづく。「大和寧國」とは、韃靼（タタール）の阿魯台（アルタイ）が建てた国で、「明史」韃靼伝によれば、明の永楽帝が阿魯台を封じて和寧王とした記事が見える。和寧は喀喇和林（カラコルム）の別称で、元朝滅亡後、元室の余党が和林に拠って北元を建てた。北元滅亡後、モンゴル族は韃靼（タタール）と瓦剌（オイラート）に分裂抗争していたが、明は、オイラートと結んでタタールを抑える方針をとった。しかるにオイラートが強大化すると、こんどはタタールを援けてオイラートを制せんとした。永楽帝が阿魯台を封じて和寧王としたのは、このころのことである。湖南はその年代を永楽十年（一四一三）と考証している。しかし結局、オイラートの脱斂（トゴン）が興起し、ついに阿魯台を殺したのが宣徳九年（一四三四）のことである。したがって「大和寧國」が存続したのは、永楽十年から宣徳九年までの僅か二十余年にすぎなかったのである。

大和寧國は、僅か二十余年しか存続しなかったが、元朝の余風を承けて深く仏教を尊重し、はるか江南の僧俗の援助をうけて、一部の大藏經を書写した。しかしその完成をみずして国は滅んだ。この華嚴經殘卷は、実にこの和寧國藏經の一部である。まことに天下の稀本といわねばならぬ。

以上の説は、湖南ならではの考証にもとづく。湖南の跋文とともに、この天下の稀本を併せ見ることができるとは、まことに痛快である。

(蘭田 香融)

26 百万塔・陀羅尼 一基・三紙



名をしるしたものであらう。

塔身に納めた陀羅尼は、いずれも「無垢浄光経」によるもので、根本・自心・相輪・六度の四種があるが、本品ではこのうちの六度を欠く。木版か銅版かは、議論のあるところであるが、いずれにせよ世界最古の印刷物であることは間違いない。

(蘭田 香融)

27 広橋家旧藏「令集解」と「賊盜律」について三二冊



木造三重小塔 一 高二・三檜、底徑一〇・三檜
根本陀羅尼 一 縦五・五檜、横五六・三檜
自心陀羅尼 一 縦五・六檜、横四三・八檜
相輪陀羅尼 一 縦五・七檜、横三九・八檜

藤原仲麻呂の乱が平定された天平宝字八年（七六四）九月、戦死者の亡魂を慰めるため、孝謙上皇（重祚して称徳天皇）によって発願され、五年後の神護景雲四年（七七〇）四月に完成された百万塔の遺品である。これらの小塔は、大安・元興など、京畿の十人寺に各一〇万基つつ奉納されたが、兵乱や火災で失われ、今では法隆寺にしか残っていない。最近の寺宝調査で四五、七五五基の存在が確認されたが、別に、明治二十一年、皇室に献上された四八基（東京国立博物館現藏）がありそのほか民間に流出したものも少なくない。今でも時々古書展の目録で見かけることがある。本品もそうしたものの一つと思われるが、入手の経路は明らかでない。

小塔は塔身部と相輪部より成るが、塔身はヒノキの一本で三層の笠を削り出し、高さ一三檜、相輪はカツラの一本で九輪とその上に宝珠を成形し、高さ八・五檜。いずれも轆轤挽きで、均整のとれたプロポーションは、当時の木工技術の水準の高さを示している。表面には胡粉を塗ったらしいが、今では剝落して、木肌の上に轆轤挽きの削り目を看取することができる。塔身の軸部中央に径二・二檜、深さ八檜の孔をくりぬき、この孔に陀羅尼摺本一部を納め、上から相輪部を嵌めこむ形式である。法隆寺と東博の蔵品には、上層の笠や基底部に製作年月や製作工人名を墨書したものが多く、本品でも上層の笠の上にかすかに約七字分ほどの墨書の痕跡がみとめられる。多分、製作工人

内藤文庫には、広橋家旧蔵の「令集解」と「賊盜律」の写本が伝えられている。いずれも貴重な写本であって、令集解の研究、及び律の研究にとって重要な史料の価値を有することは、總説を要しないところである。

「令集解」には内藤湖南の朱筆で記した次の如き識語が認められる。
癸丑歲購此書後以示三浦教授云々云々標題乃廣橋伊光卿所書蓋其家舊藏也
甲寅四月虎記

すなわち、この識語によれば、湖南は右「令集解」写本を癸丑一、大正二年に購入し、甲寅一、大正三年に三浦周行氏に示した。三浦周行氏は右令集解の標題をみて廣橋伊光の書するところであると鑑定され、それによりこの写本を広橋家旧蔵のものとして認定した、ということである。湖南が写本の系譜の鑑定に如何に慎重な配慮をなしたかということを立て証するものである。三浦周行氏の鑑定を補強するものとして、本写本と一括してたばねられている律写本のうちの「賊盜律」の写本に「廣橋藏書」の印が存するという事実のもつ意味は重要であり、三浦周行氏が認定されたように、広橋家旧蔵本と認定して差支えない、と思う。

広橋伊光は、「弁官補任」によれば、宝暦八年右少弁、明和六年左大弁（任権中納言）を歴任し、明和五年参議となつている。さらに「公卿辞典」によれば、「従一位文化十年九月廿日准大臣、文政六年四月四日薨、七十九、典仁親王尊号の事に關し幕府の処置を憤り中山愛親と議して、愛親の関東下向の事を議決す、この時伊光は議奏の職に在り、尊号事件落着の後差控を命ぜられた」とある。
注目すべきは、太政官の弁官の職に長くあつた、という事実である。

う。それが広橋伊光の手沢本となつていることは、伊光の律令学への精勵を示すものである。

右「令集解」写本「職員令」の巻には、朱筆による追加書入れが多く認められる。

たとえば、神祇官条に「尚厩知人則昔能官人野王家官猶職位也礼記欣喜歡樂之官也鄭玄曰官猶事也又曰其官於天也鄭玄曰官法也説文事所居也廣雅官君也」とあるが如くである。国書刊行会「令集解」においては、右文は「尚書以下註文據金榜註補」とある。国書刊行会本「令集解」序文には「文学博士三浦周行氏は注意と助力とを与へられたり」とある。広橋家本「令集解」「職員令」の巻の朱筆追加書入れは、ほとんど漢籍よりの文であり、その意味において三浦周行氏が「注意と助力」を与えられた国書刊行会本の底本と同じ種類のものがあることが、うかがわれる。国書刊行会「令集解」の校合について指導的役割を果たした三浦周行氏は、湖南の購入した右「令集解」の写本をみて、直感的に国書刊行会本「令集解」の底本と同種類のものと認定するところがあつたであらう。その意味において広橋家旧蔵「令集解」は、近世宮中の律令学の性格を知る上にも貴重な写本なのである。すなわち、この種の写本が漢籍よりの引用文を多く補わなければならないような性格のものであつたことは、近世宮中の律令学において、日本律令と中国律令のそれぞれの研究が分離し、日本律令の研究―律令学については、「令集解」の一の原型に能うかぎり廻ることに力を尽していたことが知られるのである。

広橋家旧蔵「賊盜律」については、「廣橋藏書」の印がおしてあるのであるから、広橋家旧蔵本であることは、明白である。

太政官弁官は、太政官の基本的事務を職掌とし、太政官の伝統に通曉していなければならぬ重要な官職であつたのであるから、弁官の職責を滞りなく果たすためには、有職掌についての深い学識をもつていなければならないのである。しかも、有職掌の根源は、古代律令学にある。「令集解」のすぐれた写本が広橋家に伝えられていること、太政官弁官の職にあつた広橋伊光の手沢本であつたことも、当然の理由があるのである。広橋伊光は次に示す「職員令」の奥書によつても知られるように当時の宮中に伝えられた最高の写本を求めていたのであつて、古代律令学について憧憬に近い情念を有していたことが推定される。

広橋伊光はこの研鑽を通じて、尊王の志を抱くにいたつたことと思われる。そのことが彼をして尊号事件にかかわらしめる原因となつたと考えてよいのである。

広橋家旧蔵「令集解」には、次の如き重要な奥書をしるす巻がある。すなわち、それは、国史大系本令集解に認められないものである。巻六「職員令」の次の奥書である。

延寶元年仲冬初六拾燈下令一校畢

権大納言伊光

「公卿補任」（後西天皇・万治二年）によれば、「非参議從三位大炊御門藤経光二十二月五日叙。左中將如元。前内大臣経孝公明。寛永十五八八誕生。正保二正六叙爵。同四三五從五位上。慶安三七廿正五位下。同日侍從。同五五四從四位下。同日左少將禁色。承応三三五從四位上。同十一左中將。明暦元六月廿正四位下。」とあり、宝永元年前左大臣從一位をもつて薨じている。藤原北家流である。藤原氏の主流たりし家柄であり、そのような家に伝えられた「令集解」写本は当時の宮中で求めうる最も由緒のある写本であつたことは明白であらう。

広橋家旧蔵「賊盜律」の「凡謀反、及大逆者、皆斬」という疏文のなかに「謀危国家、始興狂計、其事未行時而必誅即同貞反」という文がある。「其事未行時而必誅」を国史大系本では「其事未行。持而必誅。」としており、「持」について、「持、原作持而抹改、前本作持、疏議作持」という頭註を附している。国史大系本の「持」を、広橋家旧蔵本では「時」となしていることは、それが犯罪の予備と未遂を区別する明法家の解釈をあらわすとすれば重要である。但し原典考証上は唐律疏議の「将」を以て正当とする（湯浅幸孫氏の御教示による）。律疏文の考証についても広橋家旧蔵「賊盜律」写本が貴重な意義をもつものであると断じてよい。（石尾芳久）

28 稻川詩草 七巻 五冊
29 山梨稻川書「龍飛」 一幅

「稻川詩草」は江戸時代の漢学者山梨稻川（一七七一―一八二六）の詩集で、文政四年（一八二二）静岡で刊行された。稻川の学問は中国の文字声音の研究が中心で、主著「文緯」のすぐれた内容は、我邦の中国音韻学の第一の大著と称せられている。同時に、稻川は詩人としての名が高く、「稻川詩草」に収める作品の文藻の富麗と気韻の高邁が、近世邦人漢詩中の白眉とされる。

内藤湖南は稻川の学問を推重して、昭和二年山梨稻川百年祭が静岡で開催された時、わざわざその地に赴き「山梨稻川の学問」の講演を行っている。「山梨稻川集」の刊行に側面からの援助を惜しまなかった。

稲川は書もまたみごとで、「龍飛」の二大字の真蹟は、湖南が谷本富博士から贈られ愛蔵したものである。(肥田 晴三)



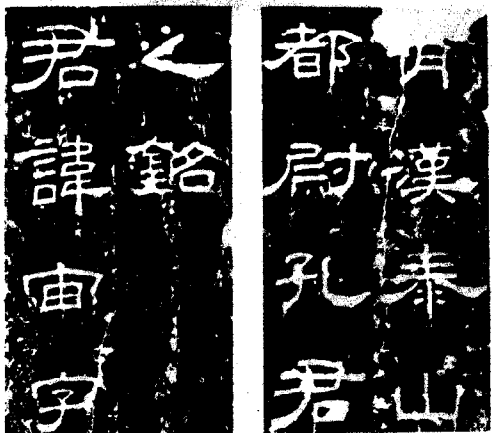
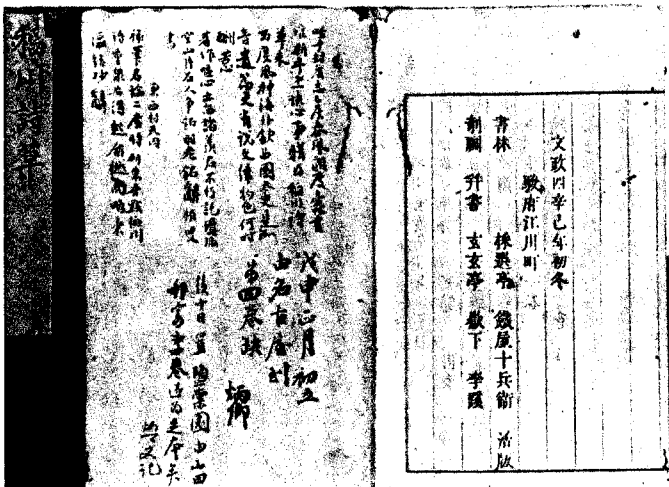
30 旧拓孔宙碑 乾隆前旧拓 付羅振玉題記

一冊

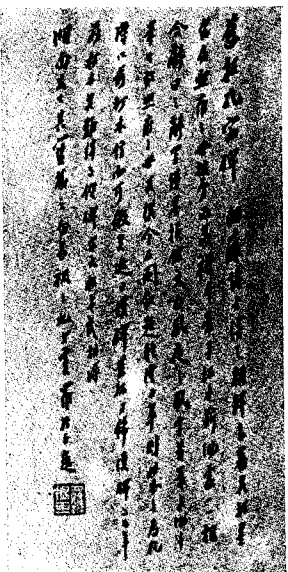
湖南遺品の中には拓本の逸品が多く、京大人文研に収蔵されているが、なおかなりの量が存在しており貴重な資料群を形成している。ここに掲出するのはその一例。極美の拓本で、湖南が入手したことを祝して羅振玉が題記し、巻末に付せられている。その中で羅振玉は乾隆以前の旧拓であることを詳しく立証している。漢碑の旧拓は少ないのである。法帖仕立て。

孔宙は孔子十九世の孫、官は泰山郡都尉で致仕し、後漢・桓帝・延熹六年(二六三)に歿した。翌年門人達が建碑したがこれである。書風は隸書の中でも古樸さを脱し、横長の結体で流れるように書き上げている。かの曹全碑と共に、漢隸の一つの到達点を示している。碑は曲阜の孔子廟にある。

湖南は明治四十一年に「稻川詩草」を入手したが、流布まれなこの書物を購得したよるこびを絶句四首に作って朝日新聞に載せ、また、入手したのは第四冊を欠く不完本であったのを、知友置塩棠園から不足の巻を贈られ完本となったいきさつを、本書の巻末に自筆でししている。



は大きい。湖南とは奇しくも同年の生れ、一八九九年中国ではじめて面談している。辛亥革命を避けて一九一一年十一月日本に王国維(一八七七—一九二七)とともに亡命、京都に住して湖南や狩野君山を始め、京都大学の中国研究者と親交を結んだ。一九三〇年、湖南は伯健に命じて麻大の羅振玉宅を訪れしめ金文拓本集冊を借らしめている。湖南の拓本・法帖の蒐集は書の趣味からくるものでなく、第一義的に學術資料として存する。逆に、あらゆるものが學術資料として動員されたといってもよい。むろん第一級の能書家の一人であるが、現代の書家という概念には入らず、書は学者智識人の必須要件たる正技であったわけで旧中国文化(或は日本の)のスタイルの延長であった。湖南はそういう面を同時代の他のひとびとと同じように持ちながら、それら全てを近代史学に投入したのである。(奥村 郁三)



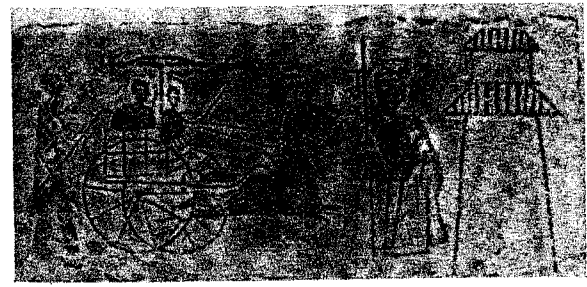
羅振玉(二八六六—一九四〇)。字は叔言、一つに叔蘊。号は雪堂)は古代中国史研究ではあまりに有名。清朝考拠の学の延長に位置し金石、特に古碑の研究はもっとも早く手がけ、のち甲骨、敦煌文献、漢・晋木簡、明器等十九世紀末以来の新出の資料の研究に端緒を与え、新生面をひらき、また駆使して中国古代史学に貢献した。「満州国」の大臣になるなどその政治的立場は革命中国にとってはもちろん、現代のわれわれにとっても受け入れるところではないが、研究上の遺産

内藤湖南旧蔵の甲骨は十六片から成る。うち第一期四片、第二期八片、第三、四期二片、第四期二片であり、内容別では、祭祀類八片、田獵類二片、方國類一片、旬夕類五片である。衆知の如く、湖南先生は、甲骨文字研究法を創始した羅振玉・王国維と親交があり、発見当初より甲骨文に強い関心をもっていたことは、その著作に見られる所であるが、此等の甲骨を入手した時期、経路などは現在では明らかにはできない。然し、十六片のうちの第一期旬夕類(整理番号四)を除く十五片、実際には十四片は、早く貝塚茂樹氏によって採拓されているので、整理番号四は、後に偽刻四片と共に入手されたものと見ることが出来る。この四の甲骨は、やゝ字体が崩れるが、吉・晋・咎三貞人の同版資料として重要であり、また整理番号一は、祭祀・宗教の研究に、五は第二期後半の貞人集団の性格を知る上で、一四は宗教と語法の研究にとり重要な資料である。なお四を除く十四片は、貝塚茂樹・伊藤道治『甲骨文字研究』(同朋舎)に紹介されているので、参照されたい。

(伊藤 道治)

漢代に墓室を構築するためのブロックを磚(せん)と呼び、その表面に画を描いたり浮彫にしたものを画像磚といつて墓壁の裝飾に用いた。その画のモチーフに貴人が車に乗っているものを出行図という。この磚は輜車(ようしゃ)という乗用車に乗った貴人が右の棧門に近づき、門前には門亭長又は門卒が戟を手にして警戒しており、左にも卒の姿が見えるという、後漢の典型的な図柄である。

(大庭 脩)



七 癸 貞 旬 卜
 癸 亥 卜 吉
 貞 旬 七 吉
 貞 癸 卯 卜 吉
 執 貞 寤 佳 止 辭 二月
 王 貞 執 貞 寤 佳 止 辭 二月
 貞 邑 貞 作 于 邑 貞 邑 貞 作 貞 王 殷 省 若

(整理番号四)

(整理番号一)

南 月
 隻 弗 己 其 丑 卜 今

(整理番号三)

癸 貞 禍 貞 旬 六月
 三 丑 七 卜

(整理番号九)

辛 酉 貞 方 貞 方 酉
 登 牛 其 貞 牛
 來 于 甲 申 登

(整理番号一五)

33 漢の封泥

木や竹を書写材料として使用するとき、書信のカバー、あるいは荷袋などにつけて宛名その他を書くためにシールするため、粘土をおしつけてその上に印をおした。このシールを封泥という。封泥は発信者をしめすことになり、開封された後には廃棄されるので、その出土地は文書の集まる場所であり、かつ出土地発信の封泥は原則としてその地にはない。前世紀末、山東省、齊の遺蹟から出土したものが注目されてから蒐集研究が始まり、印刷の資料として貴重視された。羅振玉もその価値をみとめた一人であるからそのころの品物であろうが、購入品の可能性もある。

(大庭 脩)

34 慈雲尊者書「雲門云日々是好日」

一幅

慈雲尊者の書は、高德の人格がそのまま書に現われたものといわれ、高深な人格のにじみ出た、独特の書風をなしている。偉大な梵学者である尊者は、梵字の筆法を漢字に応用して、この独自の書風を完成されたともいわれている。「雲門云日々是好日」は碧巖集の中の語である。

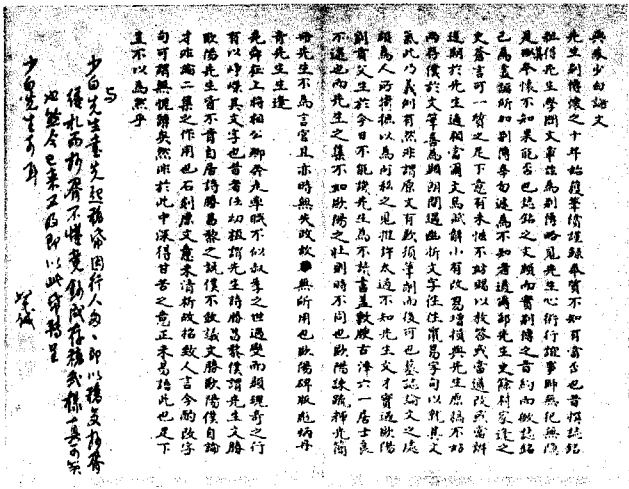
(肥田 晴三)



35 章学誠「与朱少白論文」並に自筆跋

朱少白とは章学誠の師朱筠(字竹君)の子の朱錫庚(字は少白)のことで、章氏がその文を論する一文を草して人に命じて清書させ、推敲の上その後五行にわたってその所以を追書し、朱少白に贈ったものである。この章学誠の文章は彼の遺文集には洩れていたが、たまたま東京の文求堂にあった朱少白の文稿『笥河少白父子文稿』を東本願寺の大谷登誠師が購入した中にこの一紙があったので、大谷師より内藤湖南に贈与された。末尾五行は特に『研幾小録』の中に拡大して「章實齋先生筆蹟」として掲載されている。なお主文二十行を清書した人は、『文史通義』第一冊を浄書した周友石であることが、筆蹟の比較により明らかである。

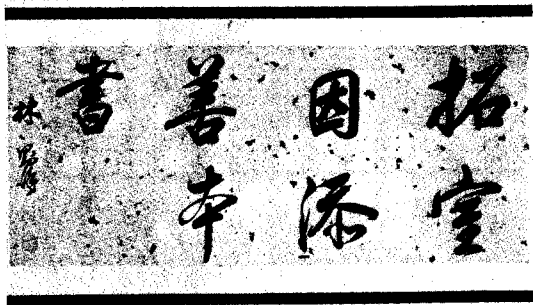
(大庭 脩)



36 「拓室因添善本書」七字

林則徐書 額装二面

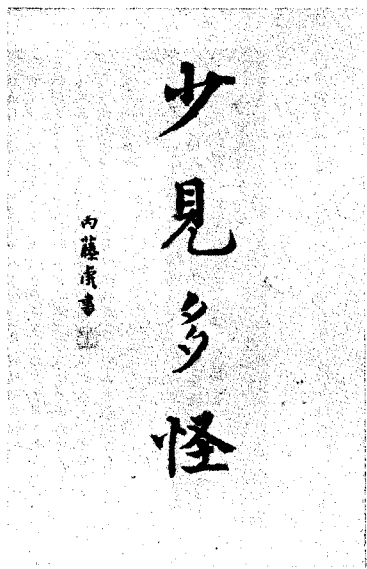
林則徐(一七八五—一八五〇)字は少穆。元撫。号は峽村老人、書室は雲左山房。嘉慶十六年(一八一二)の進士。一九三九年、欽差大



1213

臣として広東でアヘン二万箱余を廃棄し、やがて英国とのアヘン戦争に入ることにはあまりに有名。アヘン戦争に敗れた清朝は林則徐を新疆の最西部、イリに放逐した。特に水利などに苦心し、経世の学を重んじ龔自珍・黄爵滋・魏源などと交流した。イリでの追放中も水利を考え、今でも林公渠などいわれる施設があるという。のち許され、雲貴総督になり、一八四九年致仕した。林文忠公全集がある。この額は「恭仁山莊」では座敷にかけられた湖南の愛蔵品である。

(奥村 郁三)



湖南の書は多言を要しないが、学者また書人であり、書人また学者であった時代(このような時代はほぼ明治で終りを告げる)の中でも名筆の一人である。その方向は北碑を好まず、ひたすら南朝から隋唐の書を追究した。これは湖南の学問からくるのであって、中国全文化史における南朝文化の位置に対する評価と、書の発達史の歴史を通じて、正統は王羲之・王献之を頂点とする書法にある、とすることからくる。湖南の書はこの書法の研究の実践であった。唐代の製法を模して作られた雀頭筆を中国へ持参し、羅振玉に書かせてみた、などはこうした書法の分析的研究の挿話である。事実晩年の傑作「褚臨蘭亭序跋」は雀頭筆で書いている。硯などを集める趣味はなかった。伯健によると、京都時代から特にすぐれているが、書は天性うまい。天性の芸術的感覚が現れるので、そう苦労しなくてもうまい字が書ける何かがある、という。掲出の「少見多怪」はわずか四字であるが、豎法や見の字にみえる勾法など、特に智永の影響を思わせるものがあり、上のような湖南の書の特徴がよく示されている。湖南の書は二王に典型を求めながら独自の境地を開いた書である。(奥村 郁三)

この四字はもともと「牟子」(後漢・牟融の撰。隋書経籍志は儒家に、旧唐書経籍志、新唐書芸文志は道家に入れる)の語で「見る所少なく、怪しむ所多し。らくたを見て馬の背中に腫れものがあるという」といつている。知ることの少ない人は間違ったことをいうものだ、ということ、痛烈な揶揄ととれる。湖南は「多怪」どころか「見る所少なく」しかも「断する(偏見と独断)所が多い」学人がいると手きびしい。

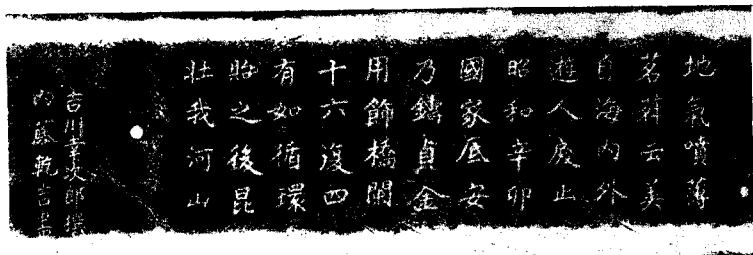
この拓本は京都府宇治市、宇治橋の擬宝珠の新銘で、昭和二十六年(一九五二)の作。撰文は吉川幸次郎博士、彫金は大久保朝胡氏である。昭和の金石として屈指のものとなる。文の内容は宇治川の情景に歴史を盛り込み、あたかも対日平和条約の年にあたり、美はしい山河を後世に残したいと感慨をこめている。銘の通例で一句置きに韻を踏んだ美文(文は吉川博士の全集に収録)。宇治橋には同時に作られた橋川時雄博士の撰ならびに書の擬宝珠銘がある。すぐれた三人の中国学者と一人の彫金家の鑲骨の作である。書は直接書丹された。

伯健の書は湖南に似ていることは一見してわかる。それは両先生の用筆法が南朝で正統とされた指掌法にあることが原因の第一で、独得の丸味を帯びるのはそこからくる。智永を習いこんだのもそうである。書を学究の対象としたことは徹底しており、例えば敦煌法律文書にある形態からだけでは判断のつかぬ難読の草体字などを、当時の筆法から帰納して断案を下しているなど、書法の精通を直接活用している好例である。正倉院文書の研究(神田喜一郎博士らと正倉院倉内内調査)でも同様であるが、いずれも書法の徹底的分析と実際に筆で試してみないとわからない結果である。

晩年の書は湖南と区別がつかないものがあるが、両者をよく比較してみると、同じく南朝風の洗練さがあるが湖南の書はその中にも剛気があり、伯健の書はより理詰めで精緻な洗練美を求めている風がある。いずれにせよ指掌法を追究した書で強いといえば学風の違いという他

ない。

(奥村 郁三)





内藤虎次郎

(一八六六一—一九三四)
(慶応二年—昭和九年)

旧南部藩、鹿角郡毛馬内(秋田県鹿南市十和田毛馬内)内藤調一(号十灣、書室は三余堂)の次子。字は炳卿、号は湖南。湖南は近代日本の生んだ、稀にみる天才学者の一人であり、深い学問と卓越した識見は一世を絶した。その学問は具体的には「東洋史学」において結実したが主として東洋史を以って語る近代日本の思想家の一人でもある。

湖南の事実認識の過程における、立証・立論の精密さは常人の及ぶところではないが、しかも考証のための考証に墮する風とは全く無縁であった。事柄の核心に一気に迫る独創的方法はまさに天才の独壇場と称せられる所以である。またその学問は、講学上のいわゆる「東洋史」の枠ではとても覆いきれるものではなく、政治問題あり、芸術問題あり、日本史問題あり、なお文章家であり第一級の書をものにした。その多彩な述作は、歴史に価値の中心を置いた湖南の全学問の必然の結果であるとともに、それぞれの分野での研究成果は今日の学問の基礎を作ったもので、なお他の凌駕を許さぬものがある。

驚異的な広がりや深さを示した多方面の認識が有機的に関連を持っているのが、湖南の学問の全体像であるが、その背後には明治以後近代化に猛進するわが国の現状と文明に対する深い憂慮があった。わが

国の近代化は端的にいえば中国侵略にその活路を得んとし、しかもそれは軍国主義に現れるような偏狭な独断的思考と結びついていることが多い。湖南は「我が学人」はしばしば独断がまずあって「誤つて之を名けて見識と為し」「その見識と合せざるものは之を容るるを欲せず又之を信する能はず」「其の独断の目を誇張するに急なる、雷同と偏頗とを避くるに遠あらず、死氣満紙、自ら託して靈活と為す、噴飯を為すに足る耳」と語勢に怒りを示している。こんなことで日本の新しい文明を作り上げることなどできるわけではない。欧米に開いた門戸を中国に閉じ、不学の故の偏狭さは開国日本の危機でなくて何であろう。湖南は自ら展開した東洋学の方法において、生涯、独断と偏狭と不学に抗したといえる。吉川幸次郎博士がこの天才の学問が、「史記」の著者司馬遷のように「憤り」から始まったとされるのは、いろいろの意味で至言というべきであろう。

むろん、湖南とて時代の制約を受けることは免れ難い。しかし、歴史は進歩する、とし、独創を尊重し、偏狭と不学を憎み、昭和六年「御進講」にあたって「古を非とし、今を是とする(非古是今)」唐代の学者、杜佑を口を極めて称揚した態度は近代の学問の徒の正道であることは疑いない。

湖南はまた稀代の書誌学者でもあり、大蔵書家でもあった。晩年隠棲した、京都府加茂町瓶原の「恭仁山荘」における書庫はほとんど伝説的存在であった。湖南はここで息を引きとるまで、学問に執念を燃やし続けた。この山荘には昭和七年(一九三二)、郭沫若氏(一八九二—一九七八。革命家・歴史家・文人、のち、中華人民共和国副総理・中国科学院院長。一九五五年来日の際、湖南の墓を法然院に訪ねる。

ている)が訪れ、昭和九年(一九三四)湖南が亡くなる二ヶ月前には鄭孝胥氏(一八六〇—一九三八。「満州国」総理、「清朝の遺臣」などいわれる。一八八二年卒人)が訪れた。あたかも日本がまっしぐらに侵略と破局へ突進して行く直前であった。(奥村 郁三)



内藤乾吉

(一八九九—一九七八)
(明治三十二年—昭和五十三年)

湖南長子、号を伯健という。大正十四年、東大法学部卒。その後現在の京大人文科学研究所に入り、東洋法制史を研究、京都府立図書館長を経て、大阪市立大学法学部教授で停年退官した。伯健は東大の仁井田隆博士とともに戦後の東洋法制史学の基礎を築いた碩学であった。主著に「中国法制史考証」がある。小島祐馬博士を恩師とした。

伯健の学問は、直接的には旧中国の官僚制とその法の研究で、敦煌官文書の研究は特にぬきんでていたが、その学問の背後に旧中国社会を貫く「歴史と文化」を深く見据えていた。従ってその智識は極めて該博、時に湖南ばりの博覧強記で人を驚かした。書論には強い自信を持ち、自らも書を能くしたが、これも伯健の学問の必然といえるもので、敦煌官文書の研究や正倉院の書の画期的研究を見ると、その必然であることが具体的によく示されている。「世の中には一の学問よりない

のに十の学問があるかの如く見せかけの名声を博する学者があるが、乾吉さんは十の学問がありながら一の学問より出されなかつた」とは伯健が尊敬していた故神田喜一郎博士の言であるが、学問上の謙虚さもさることながら、研究の背後の広がりや深さを指摘されたものである。

伯健の学風は湖南の学を深く尊敬しながら、単に祖述するという性質ではなく、誰に対しても常に自由な立場を留保していた。生前「实事求是」という言葉を好んだのはそのためである。言動もこの上なく謙虚、学問には極めて峻厳であったのも「实事求是」に支えられた自信のあらわれであった。別の表現をすれば「实事求是」に支えられた解放された精神で学問に臨んだわけで、その意味では湖南の根本的態度と相通するものがある。

(奥村 郁三)

関西大学総合図書館
開館記念特別展示
内藤文庫展観目録

昭和六十年四月二十八日発行

関西大学図書館
大阪府吹田市山手町

印刷 ナニワ印刷株式会社
大阪市北区天満一丁目九十九

書名・人名通檢

―後述)。また拓本等を含む非冊子体史料はまだ未調査であり大まかな数字をあげることもむづかしい。冊子体史料にしても右の数字は本目錄「第二部」に収録したものは含まれていないわけで、いずれにせよ最終的な整理が完成しないと正確な量を示すのはむづかしい段階である。内容という点からいえば、やはり上記本目錄「第三部」中の「内藤文庫」について「の小文と神田博士の所見とに要約されている。要はその収集の状況が書籍はもとより、その他のものもいゆる趣味的要素は皆無であり、すべて湖南の学術的観点からの収集ということにつき。湖南の学問というようなことを輕輕に論ずることはむろんでできないけれども、一つは「歴史の発展」の姿を捕捉する方法（例えば『支那史学史』や『支那上古史』で示されたもの）上の特色、これは湖南の歴史観と深い所で結ばれているものであるが、一般に内藤史学と称せられる根幹を形づくるものであり、二つはそのための歴史現象の「客観的認識」に到達するための方法（例えば『研幾小録』や『読史叢録』に示されたもの）上の特色は誰しもみとめる湖南の創造的な学問の特色である。このことよって、湖南はわが国近代の東洋史学（東洋学といつてもよい）の確立と構築に貢献し、それこそ「学術の発展の段階」を一步進めたわけである。いまこのような大きな、また深い問題を議論することはできないけれども、湖南の学問の体系が、この文庫のあらゆる種類の史料の収集状態にもよく表れているということは是非ここで指摘しておく必要がある。

三 本目錄編纂について

一人の学者の書籍（その他）の収集には、おのずからその学問の特徴が表れる、というのは当然といえは当然ながら、本学「内藤文庫」の状況は湖南の学問が如実に表れているといふべく、目録上にもこのことを表現する必要がある。少なくともその努力は必要である。本来図書館などで「某文庫」と特別に呼称するものの設置の基本的必要性はその人の学問にある。「某文庫」の設置は必然的に「某文庫目録」が要求されるが、公的機関等による、普通の見地からする目録や普通の漢籍目録とはおのずから違う性質を持つ。そうでなければその公的機関なり図書館なりの一般蔵書目録に解消しておいてもよいわけであり、またその方が合理的であり、実践的な意味がある。一方、個人文庫の設置には学術の発展史、文化の発展史の上で重要な意味があるわけである。この点、湖南のように学術上一時期を画した学者の収蔵品は特に重視されるのは当然のことである。内藤文庫に即して例をいえば、本目錄「第三部」にみえる甲骨片や百万塔及びその陀羅尼などを、例えば「考古資料」として書籍と全く切り離してしまえば湖南の収集意図・体系と別な体系で整理したことになってしまう。湖南の頭の中では甲骨片であれ封泥であれ、手跡であれ、書籍であれ全て整頓された学問上の体系のもとにはまり込んでいたはずである（上記「第三部」所収、「内藤文庫」について参照）。そこには少なくともある程度の工夫が必要となる。

とはいっても、それでは具体的にどうすればよいかということになると困難を極めることはいうまでもない。なまじ工夫をこらすとかえって結果はよくないとかが起り得る。しかし、それでもなお以上のことを少なくとも念頭におき努力することは必要な構えといふべきである。

さて「内藤文庫」はさまざまな要因で何らかの目録を早急に作成する必要性に迫られ、本目錄の編纂となつたわけであるが、現実的な問題として二つの前提がある。

(一) 利用者が早い公開を希望されることはもちろんであり、その要望に応えるのは学界や社会に対する責務であることはいうまでもない。それはそれとし、整理する側もこのような大規模で高度の内容を持つ多種の書籍等を扱うには多くの知識を吸収しなければならぬ。そのためには一刻も早く公開の端緒を開き学内外の知識を吸収しやすい体制を作らねばならない。早い公開（何らかの目録が必要）ということは、整理の側にも必要なのである。

(二) 最終的には「内藤文庫目録」を目指すことになるがそもそも現在大部の未調査分があり、すぐにはできない。そこで「内藤文庫目録」編纂までに一つのステップをおきそれをもって公開の端緒とし、一般的な要望の一部に応えたと同時に知識を吸収しやすいようにすることに役立つ。そしてこれが一つのステップとしての役を果たすと共に、独立の目録として最終の「内藤文庫目録」が完成した後もなお生命があるようにしたい。本学創立百周年記念出版でもある。

この二つのことから、具体的に次のような方針をたてた。

一 収録範囲の限定について

凡例(2)にあげたもの。内藤文庫中、漢籍善本を指した。「善本」の範囲は王重民『中国善本書提要』の傳振倫序にいうところにおおむね依拠した。傳序によると善本は宋・元・明刻本、清朝精刻本、禁書、旧鈔本、校本、精鈔本、稿本である。このうち、本学「内藤文庫」に宋刻はない（現時点。清朝精刻本については、王氏提要は大部分が康熙以前であるが、本目錄では一応乾隆以前とした。乾嘉の学の精華を重んずる意をこめてである。湖南の学問とも深く関係するからでもある。また本目錄で鈔本を採用するのに年代を限らなかつたのも上記傳序にいうところに合致する。また、凡例(2)の(イ)にあげたように湖南の多くの印記のうち、四種のは和刻を含み時代を限定しないで収録した。これは湖南の判断による善本という意味を持つからである。「第三部」の写真のあるものから例をとると「説文解字」(二五七頁)の如き善本は版本として道光にかかるけれども、湖南は「炳卿鑑定善本」と印している。この善本などは原刻も既に少なくなっており、また板の精好さ、校正の厳密さ、内容の充実などまさに「善本」の名にふさわしい。なお、その他、内藤伯健（乾吉）校本とすべき近衛版

『大唐六典』（大正新印本）、官版『唐律疏議』及び和刻『吏学指南』を特に採録している。これはそれぞれの底本の価値というのではなく、伯健校訂により生れ変わった価値を問題とするためであり、また、本文庫が伯健藏書を含めて成り立っていることと、伯健の学問の一端を示すためである（記述の中にこの類は一一註記してある）。母序のいう善本の趣旨にやはり合致しよう。その結果、「内藤文庫」の冊子体総数（現時点）一三、一〇五点、冊数にして三三、一〇五冊のうち、「第一部」収録は一、〇三四点（一、〇六四項目）、冊数にして四、五三〇冊（「第三部」三六点掲出のうち、十七点、冊数にして三五〇冊は「第一部」に収録）となった。「第二部」関係は右数字の枠外である。

一 収録できなかった書本（凡例③）について。

これは現時点での限界であった。数量的な限界は上記の如くであるが、内容的な本目録の限界について触れておくこととする。乾隆以前はかの基準は一応立てたものの、凡例③のようなものは、個々の書籍そのものが貴重な価値を持つものを多数含んでいることはいうまでもなく、また湖南の学問にとっても学術上の価値にとっても本目録収録の善本におとらぬ重要な価値をもっている。そして湖南の資料収集の実体を示す大きな部分であると共に他の公的機関に收藏されていない部分でもあり、従って本学「内藤文庫」の一つの特徴を形成するものである。例えば年代が新しい清末、民初の書籍にしても、もはや入手できず、写真をとるにも原本がない、というような類が多いのである。一見片片たる拓本資料群も同じことである。（法帖や仏典、国書はいうに及ばない。）まさに「貴重書」であり「貴重資料」がその中に含まれている。史料価値からみても湖南の学問からみても絶対的ゆるがせにできないものであることは断言できる。

本目録ではこうした史料に手をつけられなかったことはいかにも残念である。しかし、これらの史料群の目録編纂には今後多大の困難が予想されるところであって、学内外の援助・助言を望むこと、切なるものがある。「第三部」は、このような欠をたとい少しでも補いたい意図を以て、収録できなかった諸史料の片鱗でも示しておこうと考え、本目録の構成要素として立てたものである。

一 漢籍の記述内容について。

凡例④に示すような諸要素をとりあげたのは湖南の学問の根底に目録学の大きな分野があるからである。鄭樵のいう「辨章學術、考鏡原流」がなくて「支那史学史」はあり得ない。そこで、基本に『京都大学人文科学研究所漢籍分類目録』を据えた上、王重民『中国善本書提要』（これは「目録学」に傾く。一九八二年、上海古籍出版社）及び北京圖書館『中国版刻図録』（これは「版本の学」に傾く。一九八三年、覆刊編、勝村哲也、朋友書店発行）の示す諸要素を勘案した。さらにその上に湖南識語を加えた。湖南識語は湖南のその書本に対する判断であって、無上の解題となっているものが多い。とりあげた四種の印記もまたこの意味を持つ。十分に目的を達することはできなかった。

たかもしれないが、少なくとも學術的意図はかくの如きものである。

一般に研究上漢籍を求める場合には大規模、且つ理論的に漢籍を網羅・分類している前記『京都大学人文科学研究所漢籍分類目録』同『漢籍目録』、また『東京大学東洋文化研究所漢籍分類目録』に依ることが多いし、利用もまたそれらの機関の恩恵に浴するのが現実であろう。実際にそれらの機関の藏書を実見した際に、その収蔵漢籍と本目録所収の漢籍とが、同じ書名でも版や刊年その他の違い等が存在する場合、本目録によって知ることができ、従って見当をつけて本文庫を利用することができよう。記述が詳しくなったための結果的効果である。

一 本目録「第二部」について（凡例②）。

ここでは湖南の父十湾（調一。一八三二—一九〇八、「三余堂」はその室号）による『鹿角志』（本目録二二頁）をあげ、その関連の古文書等を掲げることとした。『鹿角志』編纂の際、十湾は日本近世古文書の類他さまざまな地方史料を収集したが、それが一括して保存され全体ではかなりの量にのぼり、内藤文庫の中でも特異な史料群を形成している。その中で『鹿角志』の内容の直接材料となったものはこの著述の中に列挙してあるが、その原本のほとんどが古文書中にやはり保存されていたのでそれを収録した。「第二部」は従って漢籍目録とは一見場違いのようにみえるが、内藤文庫にこのような地方史に関する得難い史料が存することを示すためと、内藤家の「家学」に関連する史料であるから、この際意味があるうと考えた。湖南の学問を知るために、その前半生を注目すべきであるとは常に伯健の主張する所であり、また三田村泰助『内藤湖南』（中公新書、一九七二）が主張する所である（同書「あとがき」）。ただ鹿角の学統という点からみると、湖南自らこれらの史料群の中から撰んだ十三点の古書筒を入れるべきであったかも知れない。しかし、これは既に高橋克三編『湖南博士と伍一人』（一九六五年、石川伍一人、内藤湖南博士生誕百年記念祭実行委員会発行）に公表されている（湖南はこの古書筒の原本を手許にとどめ、自ら筆写したものを高橋氏に送っている。その原本は裏打して保存されている）。これら鹿角地方関係の古文書・書簡類は、その地方の史に貴重な役割を持っている他に、「内藤文庫」の中の位置づけとしては、家学とその環境の關係に入るであろうが、今後詳しい調査をまたなければならぬ。

四 終 わ り に

以上不十分ながら本目録の意図を概略のべておいた。ただ「内藤文庫」の整理につき大きな観点から御助言をいただいた神田喜一郎博士が

亡くなられ（一九八四）、また、鹿角（毛馬内）にあって、九六年の生涯にわたり湖南顕彰に努められた高橋克三氏も亡くなられ（一九八五年。御令嗣正志氏も本年亡くなられた）た。湖南先生と直接関係を持たれた方で、本学「内藤文庫」とも深い関係のあった方々の帰幽に対し、謹んで哀悼の意を表する。この目録を差し上げ、御教示を得る機会はもはやない。

また、本目録構成について内藤文庫調査特別委員会の了解を得たのは昨年六月であり、それ以後極めて短時日に目録作成の実務を勉強しながらやり遂げてくれた七野敏光、藤沢聖、榎本淑子、の三氏の労を特に記して感謝の意を表する。「第二部」については助言をうけた委員の石尾芳久教授と工夫をこらして整理にあたった藤原有和氏に感謝しなければならぬ。公刊にあたって鋭意推進に努力を惜しまれなかった名取栄史図書館長、大岡克子収集整理課長にも感謝しなければならない。

一九八六・九・三十。

（奥村郁三）

関西大学所蔵

内藤文庫漢籍吉刊目録

昭和六十一年十月二十七日発行

編者 関西大学
内藤文庫調査特別委員会

発行者 関西大学図書館
大阪府吹田市山手町三十三三三五

印刷所 内外印刷株式会社
京都市南区吉祥院池田南町十三